



OFISTAR H7000

本体管理/コピー編

取扱説明書

このたびはOFISTAR H7000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お使いになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
注記	この表示は、操作に関する注意事項を示しています。
補足	この表示は、操作や機能の補足事項を示しています。
参照	この表示は、参照先のタイトルを示しています。



国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近隣して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本装置の受話器置台コード差込口（TEL）は、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては正常に動作しないことがあります。
- 一般電話回線と本装置の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本装置に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本装置の設置や配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本装置は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本装置の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 設置する場所が交換センタから遠い場合、ご使用になれないことがありますので、設置や移動にあたっては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。



警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本装置を倒したり、ネジで固定されているパネルやカバーなどを破損した場合、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。
- 本装置のネジで固定されているパネルやカバーなどは外さないでください。感電や故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。
- 本装置は、レーザの国際規格IEC825（Class1）に適合しています。このことはレーザ被爆の危険がないことを意味しています。レーザは本装置内部で放射されますが、本装置内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様が使用される場合はレーザ被爆はしません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザ被爆の原因となることがあります。
- 本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために

⚠警告

- **電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。発熱による火災・感電の原因となります。なお、本装置の定格電源は、100V、15Aとなっています。**
- **電源コードは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。**
- **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。**
- **電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。**
- **テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。**
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。**
- **ぬれた手で本装置を操作しないでください。故障や感電の原因となることがあります。**
- **電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。**
- **万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。たびたび漏電が起こる場合は、当社のサービス取扱所へご連絡ください。**
  - アース線が取り付けられるところは以下の部分です。
    - ▷電源コンセントのアース端子
    - ▷銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
    - ▷接地工事（第3種）が行われている接地端子
  - 以下のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。
    - ▷ガス管
    - ▷電話専用アース線
    - ▷避雷針
    - ▷水道管や蛇口
- **本装置を構内交換機（PBX）等に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。**

⚠警告

- 本装置は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。
- トナーが目に入らないように注意してください。トナーが目に入ったときは、すぐに水で洗眼し、医師の診察を受けてください。
- ドラム／トナーカートリッジは火の中に絶対に投じないでください。破裂したり、激しく燃えて、火災・やけどの原因となります。
  使用後のトナーカートリッジはビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

⚠注意

お使いになる前に

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本装置は、重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本装置の転倒などによりけがの原因となることがあります。
- 本装置を設置および移動した場合は、滑動防止用としてストッパを必ずロックしてください。本装置が移動して思わぬけがの原因となることがあります。
- お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されている場合は、本装置または外付け電話機がご使用になれない場合があります。この場合は、他の電話機等を外してください。

⚠注意

お使いのとき

- 近くに雷が発生したときは、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いて、ご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源を切り、電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。
- 本装置の電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。プラグが変形し、発火の原因となることがあります。
- 本装置の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために

⚠注意

お使いのとき

●本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ネジで固定されているパネルやカバーおよび電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本装置の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から10cm以上離してください。通風孔をふさぐと本装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ドラム／トナーカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に引っかけたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがありますのでご注意ください。

●「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。けがの原因となります。すぐに電源を切り、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

●つまった用紙を取り除くときは、本装置内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。特に折紙などの導電率の高い紙は、確実に取り除いてください。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻きついているときや、見えない部分や見にくい部分につまった用紙を取り除くときは、無理に取らないでください。けがの原因となります。すぐに電源を切り、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

●本装置を移動するときは、まず電源コードや電話機コードなどを外したことを確認してから行ってください。電源コードが電源コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

●操作パネルのタッチパネルディスプレイの上に重いものを載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損して、けがの原因となることがあります。

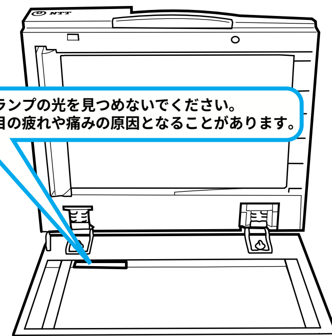
●本装置の上に重いものを乗せないでください。本装置のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してけがの原因となることがあります。

●本装置の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。引火の原因となることがあります。

●カートリッジ内のドラムを、絶対に加熱したり、表面を剥離したりしないでください。健康を害する原因となることがあります。

⚠注意

●**原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となることがあります。**



●**厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れて、けがをすることがあります。**

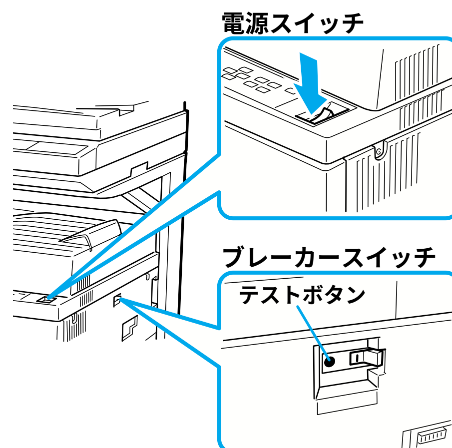
●**狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となることがあります。**

●**1か月に一度は本装置の電源を切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は当社のサービス取扱所までご連絡ください。**

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいほこりがついていませんか。
- 電源コードに、きれつや擦り傷などはありませんか。

●**本装置には漏電保護回路がついています。1か月に一度は本装置の電源を切り、漏電保護回路が正常にはたらくか確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電の原因となることがあります。なお、漏電保護回路の確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合は当社のサービス取扱所までご連絡ください。**

①電源スイッチを ⏻（切）にします。
②ボールペンなどの先で、ブレーカースイッチの左にあるテストボタンを押します。
ブレーカースイッチが｜（入）から◯（切）に倒れれば、正常に動作しています。
③確認後、ブレーカースイッチ、電源スイッチの順に｜（入）にします。



安全にお使いいただくために

⚠注意

ステープルフィニッシャーをお使いのとき

- **ステープルフィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、けがをすることがあります。**
- **つまったホチキス針を取り除くときには、指などにけがをしないように十分にご注意ください。**
- **安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、またはステープルフィニッシャーを右へ動かして本体と分離したときには、安全スイッチが働いて、機械は作動しなくなります。**
  安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、機械は作動状態になり、けがの原因となることがあります。

注記 お願い

設置場所について

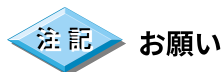
- **製氷倉庫など、特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。**

- **温度が急激に変化する場所には置かないでください。冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本装置の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。**

- **高温、多湿、低温の場所には置かないでください。**
  いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は以下のとおりです。
  温度　10〜35 ℃
  湿度　15〜85%
  - 温度が35 ℃のときは湿度47.5%以下、湿度85%のときは温度27.8 ℃以下で使用してください。

- **以下のようなところには置かないでください。**
  - クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
  - ほこりや振動が多い場所
  - 換気の悪い場所
  - 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
  - 床が丈夫でない場所

- **本装置の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。**
  このような現象が本装置の影響によると思われましたら、本装置の電源をいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下のような方法を試みてください。
  - 本装置をテレビなどから遠ざける。
  - 本装置またはテレビなどの向きを変える。



お願い

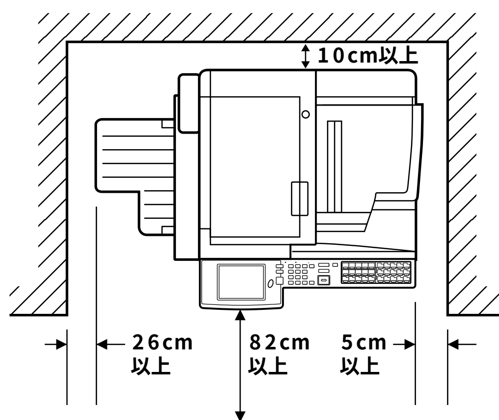
設置場所について

●電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコンなど）。

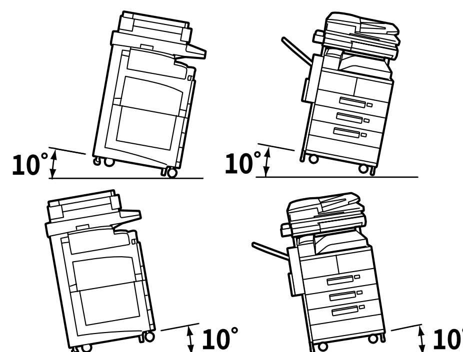
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本装置の寿命が短くなることがあります。

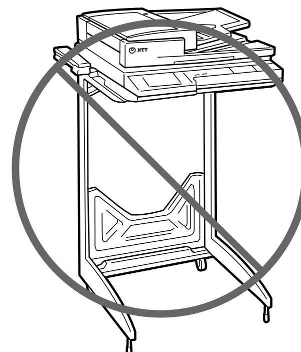
●本装置の操作、消耗品類の交換、日常点検など、本装置を正しく使用し性能を維持する作業を行うために、図のような設置スペースを確保してください。



●本装置を移動する場合は、機械を右図に示す角度以上に傾けないでください。転倒などによるけがの原因となることがあります。



●ラックを単独で使用しないでください。転倒などによるけがの原因となることがあります。



●本装置を移転、移動するときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

安全にお使いいただくために

 お願い

取り扱いについて

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませて、かたく絞ってからふいてください。

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●通信やコピーなどの動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、本装置の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

●電源スイッチをOFFにしてから、再度ONにする場合は、5秒以上の間隔をおいてください。

●記録紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。

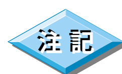
●自動的に冷却ファンが回ることがありますが異常ではありません。

●感光体に手を触れないでください。感光体の表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。

●しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

●残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。また、青焼紙等と重ねて保管しないでください。

●紙づまりのとき、記録紙は破れないように静かに取り除いてください。
取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずにすべて取り除いてください。


お願い

その他

●停電がおきた場合や電源を切った場合は、ファクシミリの機能・動作が停止すると同時に、メモリに蓄積されている原稿（同報送信、メモリ送信、メモリ代行受信など）が消えてしまう場合があります（内蔵のバッテリにより、158時間以上充電していた場合で約3時間はバックアップ機能が働きます）。

●キャッチホンサービスをご契約になる場合には、以下の点にご注意ください。

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。
キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。
- なお、キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

コピー禁止事項

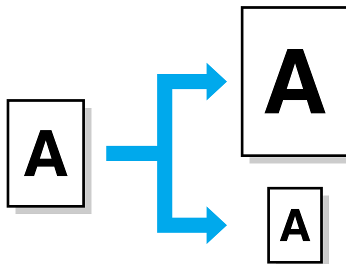
●自分で利用するものでも何をコピーしてもよいとは限りません。法律によって、単にコピーを所有するだけでも罰せられるものもありますので注意してください。

- **紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています（見本であってもコピーすることは禁止されています）。**
- **政府の模造許可をとらない限り、未使用の郵便切手や、官製ハガキなどをコピーすることは禁止されています。**
- **外国で流通している紙幣、貨幣、証券類をコピーすることは禁止されています。**
- **政府発行の印紙、法令で規定されている証券類をコピーすることは禁止されています。**
- **民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に使用するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。**
- **政府発行のパスポート、公共団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類もコピーしない方がよいと思われます。**

著作権の対象となっている書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内、その他これに準じる限られた範囲内で使用する場合を除き、作者に無断でコピーすることは法律で禁止されています。

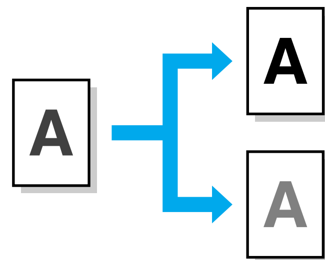
機能アラカルト

縮小/拡大する



参照 ● 「4-3 倍率を選ぶ(縮小/拡大)」

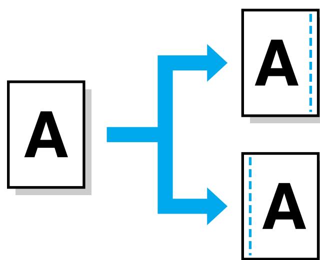
コピー濃度を調整する



参照 ● 「4-4 コピー濃度を調整する
(コピー濃度)」

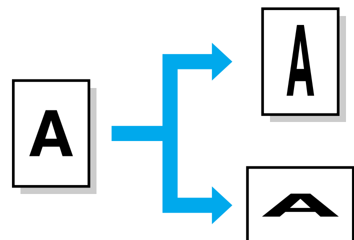
とじしろをつける(余白をあける)

コピーの上下左右にとじしろをつけることができます。



参照 ● 「5-1 とじしろをつける(とじしろ)」

たてよこ異なる倍率でコピーする



参照 ● 「5-2 縦長/横長に変形する
(たてよこ独立変倍)」

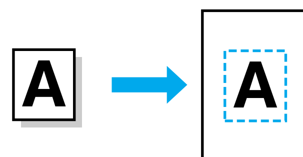
原稿の画質に合わせてコピーする

文字原稿はもちろん、写真原稿や、文字/写真原稿に応じた画質を選択することができます。

参照 ●「5-3 原稿の画質に合わせてコピーする(原稿の画質)」

原稿イメージを中央に移動する

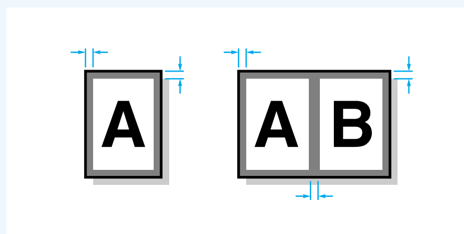
原稿と用紙の大きさが異なる場合でも、原稿の中央を用紙の中央に合わせてコピーします。



参照 ●「5-5 原稿イメージを中央に移動する(センター移動)」

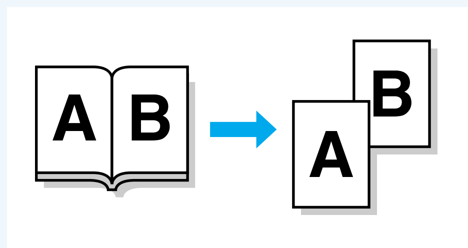
いらない影を消す

本などからコピーするとき、コピー用紙の周囲や中央に写る影を消してコピーします。



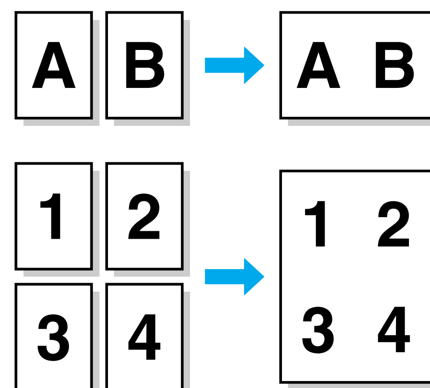
参照 ●「5-4 原稿の影を消す(わく消し)」

見開き原稿を左右別々にコピーする



参照 ●「5-6 見開き原稿を左右に分割する(ページ連写)」

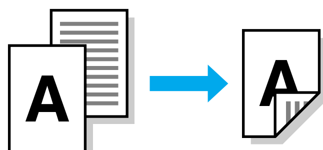
2枚または4枚の原稿を1枚にまとめる



参照 ●「5-7 2枚または4枚の原稿を1枚の用紙にコピーする(まとめて1枚)」

両面コピーする
(自動両面ユニット装着機)

片面原稿からも両面原稿からも両面コピーをとることができます。



参照 ●「5-8 両面コピーする」

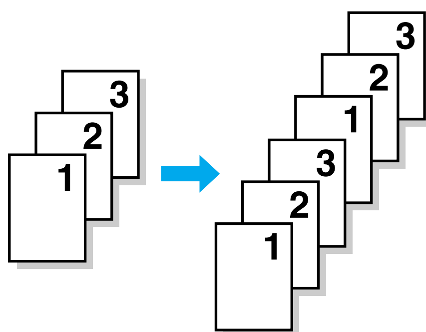
はがきにコピーする
(多重手差しキット装着機)

多重手差しトレイを使用して、はがきにコピーすることができます。



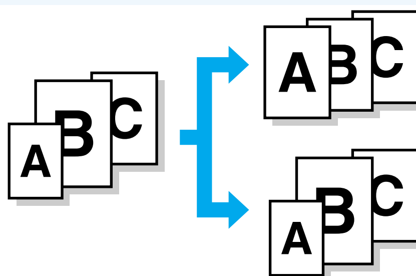
参照 ●「5-9 はがきにコピーする」

複数部のコピーをページ順に排出する
(ソートキット装着機)



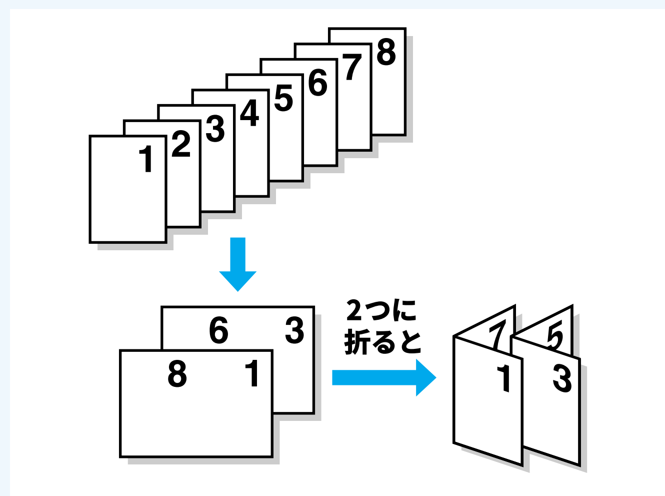
参照 ●「5-10 1部ごとにページ順に並べて排出させる(ソート)」

サイズの異なる原稿を一度にコピーする **(自動両面原稿送り装置装着機)**



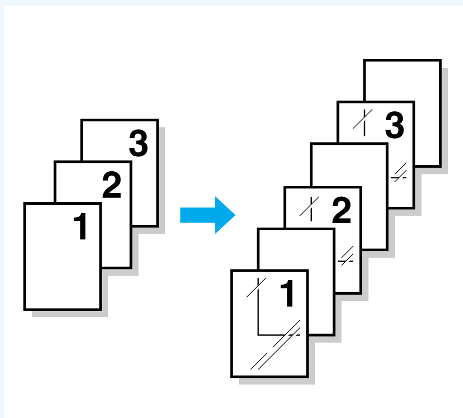
参照 ●「5-11 異なるサイズの原稿を一度に読み取る(ミックスサイズ原稿送り)」

中とじ冊子となるようにコピーする(自動両面原稿送り装置/自動両面ユニット装着機)



参照 ●「5-12 中とじ冊子となるようにコピーする(小冊子作成)」

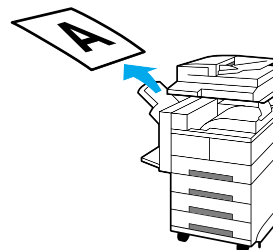
OHPフィルムの間に紙を入れる



参照 ●「5-13 OHPフィルムにコピーする(OHPコピー)」

コピーのおもて面を上にして排出させる

(サイドトレイキット装着機)



参照 ●「5-15 ホチキスとめをする/排出先を指定する」

登録した操作をワンタッチで呼び出す

操作をジョブメモリーボタンに登録すると、ワンタッチで呼び出すことができます。

参照 ●「5-16 定型操作を登録してコピーする(ジョブメモリー)」

本書の使い方

マニュアル体系

本機を幅広くご利用いただくため、以下のマニュアルを用意しております。

●本体管理／コピー編

コピー操作方法、紙づまりの処置、本機の日常の管理方法および使用上の注意などについて記載しています。

●ファクス編

ファクスの操作方法、ファクス時のトラブル処置方法について記載しています。なおパーソナルコンピューターから本機を介して直接ファクスする方法は、プリンターガイドへ記載しています。

●プリンタガイド

プリンター機能、パーソナルコンピューターから直接ファクスする方法、ご使用上の注意事項、プリンター用操作パネルの操作方法、プリンタードライバー/ファクスドライバーのインストール方法について記載しています。

●ネットワーク環境設定ガイド

本機をネットワークプリンターとして使用する場合の設定と操作方法について記載しています。

●スキャナガイド

本機をネットワークスキャナーとして使用する場合の設定と操作方法について記載しています。

各マニュアルは以下のように同梱されています。

マニュアル名／商品名	OFISTAR H7000	PCプリンタユニット	LAN接続ユニット
本体管理／コピー編	○	×	×
ファクス編	○	×	×
プリンタガイド	×	○	×
ネットワーク環境設定ガイド	×	×	○
スキャナガイド	×	×	○

本書の構成

本書は以下の構成になっています。

第1章　お使いいただく前に

各部の名称や電源の入れ方/切り方、タッチパネルディスプレイの使い方など、操作前に理解していただきたいことがらを説明しています。
本機をはじめてご利用される方は操作の前に必ずお読みください。

第2章　用紙のセット

本機で使用できる用紙と用紙に対する注意事項、用紙の補給方法、多重手差しトレイへの用紙のセット方法について説明しています。

第3章　原稿のセット（コピー）

本機でコピー時に使用できる原稿と原稿に対する注意事項、原稿のセット方法について説明しています。

第4章　基本のコピーと操作

基本的なコピーのしかたと、知っていると便利な操作について説明しています。通常のコピーや操作のほとんどは、この章で説明しています。

第5章　便利な機能を使ったコピー

便利なコピーの機能と、その機能を使ってコピーする方法を説明しています。

第6章　仕様設定

機械の使いがってを向上させるための設定方法を説明しています。

第7章　トラブルと思ったら

用紙や原稿がつまったときやエラーメッセージが表示されたときの対処方法を説明しています。また、診断の方法も説明しています。

第8章　日常の管理

本機の清掃方法、メーターの確認方法や、ドラム／トナーカートリッジの交換方法など、日常の管理について説明しています。

付録

主な仕様、機能の組み合わせ一覧表、保守サービスについて説明しています。

主なオプション

オプション名	ご利用になると
増設記録紙カセット	用紙トレイ4となります。
多重手差しキット	はがきなど、用紙トレイでは使用できない用紙にコピーまたはプリントすることができます。
自動両面ユニット	自動的に用紙の両面にコピーまたはプリントすることができます。 オフセット出力キットが同梱されています。
サイドトレイキットA	用紙のおもて面を上にして排出することができます。 簡易サイドトレイとともにオフセット出力キットが同梱されています。
サイドトレイキットB	用紙のおもて面を上にして排出するこができます。 自動両面ユニットを装着している場合にご利用になれるサイドトレイです。
サイドトレイキットC	ファクス受信文書の出力、プリント出力をそれぞれ別のサイドトレイに排出することができます。コピーは排出できません。
サイドトレイキットD	ファクス受信文書の出力、プリント出力をそれぞれ別のサイドトレイに排出することができます。コピーは排出できません。 自動両面ユニットを装着している場合にご利用になれるサイドトレイです。
オフセット出力キット	センタートレイに排出時、1部ごとにずらして排出することができます。
G4通信ユニット	ISDN回線に接続してG4通信を1通信行うことができます。
増設G3ポート	G3回線を増設します。(標準のG3回線と合わせて3回線まで増設できます。)
増設G4ポート	G4通信を2通信同時に行うことができます。
済スタンプキット	ファクス送信時、自動両面原稿送り装置から読み込んだ原稿にスタンプを押すことができます。
デュアルアクセス拡張キット	2つの作業を同時に行う場合の組み合わせが多くなります。
増設メモリ(4MB)	ファクスで使用する蓄積容量が増加します。 2枚まで増設することができます(標準の2MBと合わせて最大10MB)。
ファクス用ハードディスク	ファクスで使用する蓄積容量が増加します。 増設メモリ(4MB)を2枚装着する必要があります。
PCプリンタユニット	本機をプリンターとして利用することができます。 パーソナルコンピューターから直接ファクス送信することもできます。
LAN接続ユニット	本機をネットワークプリンター、およびネットワークスキャナーとして利用することができます。
プリンタ増設RAMモジュール	プリンターで使用するメモリー容量が増加します。16MBと32MBがあります。 2枚まで増設することができます(標準の16MBと合わせて最大80MB)。
プリンタ用ハードディスク	電子ソートプリントが可能となります。 プリンタ増設RAMモジュール(16MBまたは32MB)を最低1枚は装着する必要があります。
プリンタ用キャッシュメモリ	プリンターの処理効率が向上します。
メールボックス	指定したビンにプリントを出力して、複数のユーザーから出力されたプリントが混在するのを防ぐことができます。 ファクスの受信文書を回線ごとに指定したビンに出力することもできます。 コピーは排出できません。
ステープルフィニッシャー	コピーやプリントにホチキスとめして排出することができます。

補足　オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

本書の表記

本書では以下の表記が使用されます。

タッチパネルディスプレイ上の項目やボタンを表します。

操作前のタッチパネルディスプレイ表示を示します。

参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 原稿をセット

2 コピー機能一覧画面の センター移動 を選択します。

コピーできます。 コピーメモリー残量100% セット 1

用紙トレイ	縮小/拡大	コピー濃度
とじしろ	たてよこ独立変倍	原稿の画質
わく消し	センター移動	
まとめて1枚（Nアップ）	両面コピー	ソート
ミックスサイズ原稿送り	小冊子作成	サイド排出

次のページがあります...

基本コピー　お好みコピー　コピー機能一覧

タッチパネルディスプレイ内で選択する項目を示します。

3 必要に応じてその他の機能を設定します。

5

便利な…コピー

参照

…によっては選べない…があります。…-B 機能の組み…一覧表」を参照…ださい。

操作パネルの上のボタンを表します。

4 コピー枚数をテンキーで入力し、 スタート を押します。

原稿イメージが用紙の中央に移動してコピーされます。

補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、 C クリア を押して入力し直してください。

通信中　蓄積文書あり　割り込み　リセット　ストップ　スタート　クリア

操作パネル上で選択する項目を示します。

補足 **操作や機能の補足を表すマークです。**



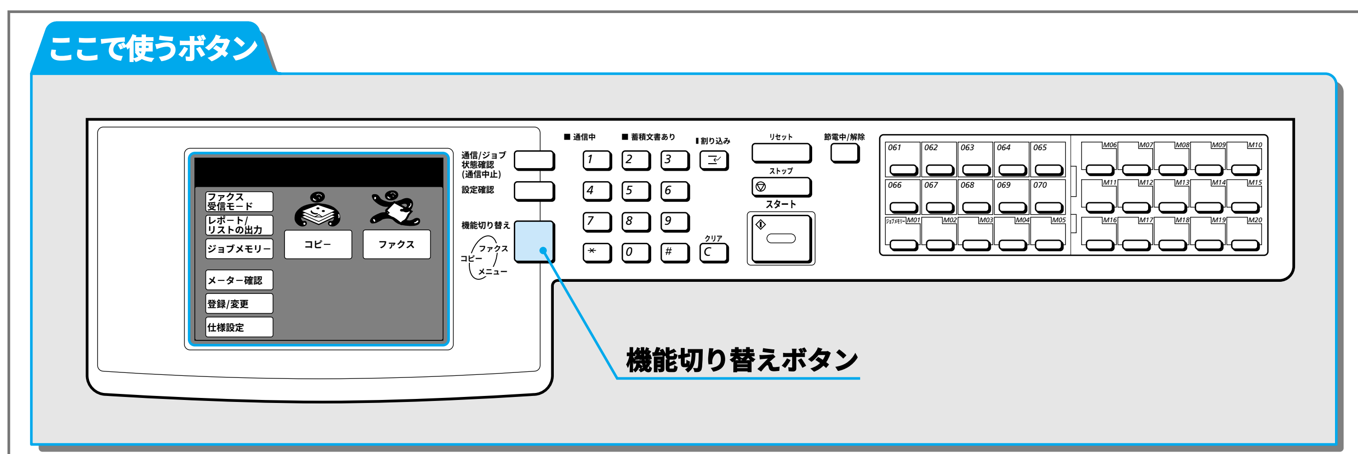
操作に関する注意です。

参照 **参照先のタイトルを表すマークです。**



安全にご利用いただくための注意事項です。

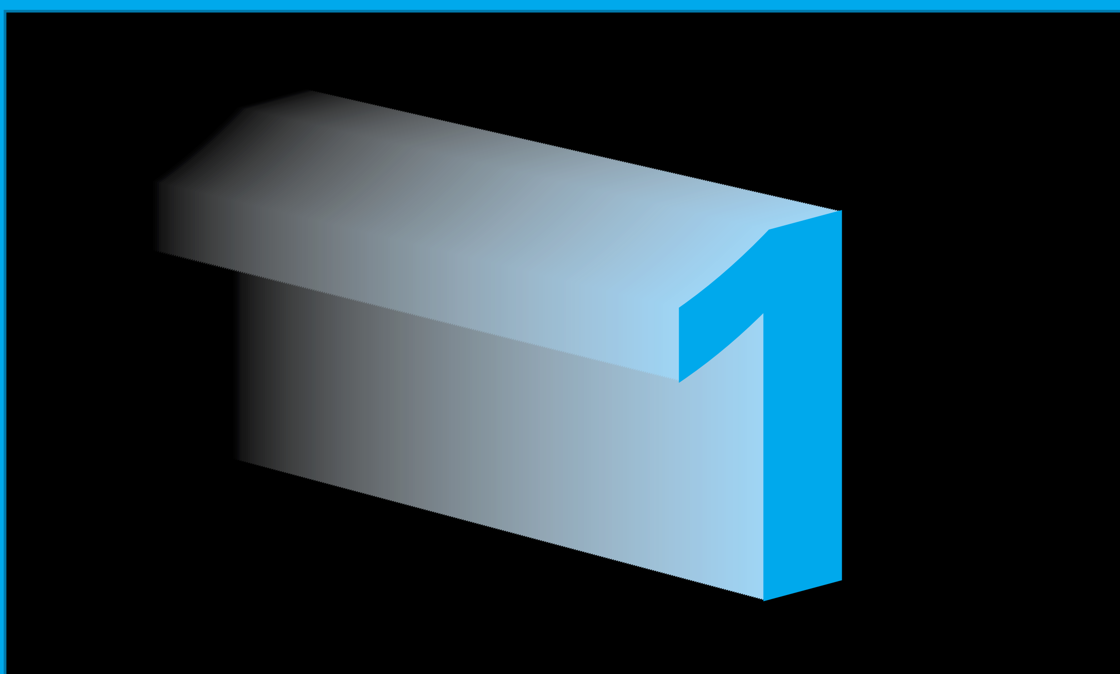
「ここで使うボタン」では、その節の操作で必要なボタンおよびキーの位置が示されています。



目　次

第4章　基本のコピーと操作

第5章　便利な機能を使ったコピー

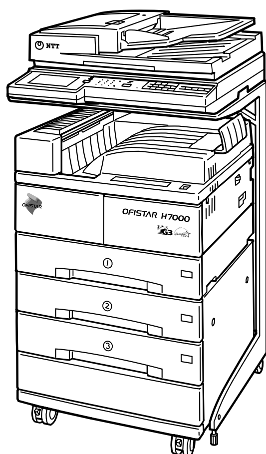


お使いいただく前に

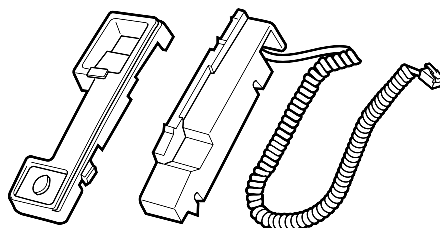
1-1 商品の構成

以下のものがそろっているか確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

●本体（一式）

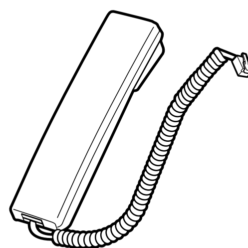


本装置 1台

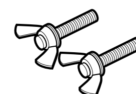


（上部）　（下部）

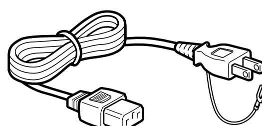
受話器置台 1組



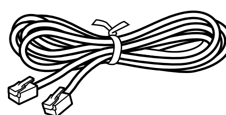
受話器 1個



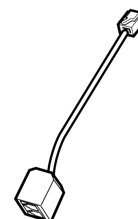
スクリュー 2個



電源コード 1本

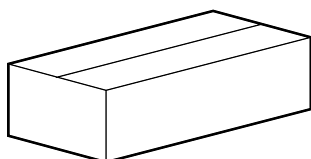


電話機コード 1本

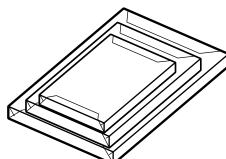


分岐コネクタ 1個

●付属品



ドラム／トナーカートリッジ 1個

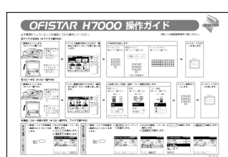


用紙（A3、B4、A4各250枚）

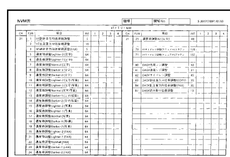




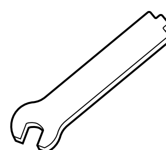
取扱説明書 2冊



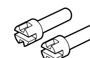
操作ガイド 1枚



NVM表 2枚



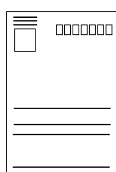
スパナ 1本



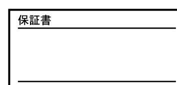
ピン 2本



工事説明書 1部



商品アンケートはがき 1枚



保証書 1枚

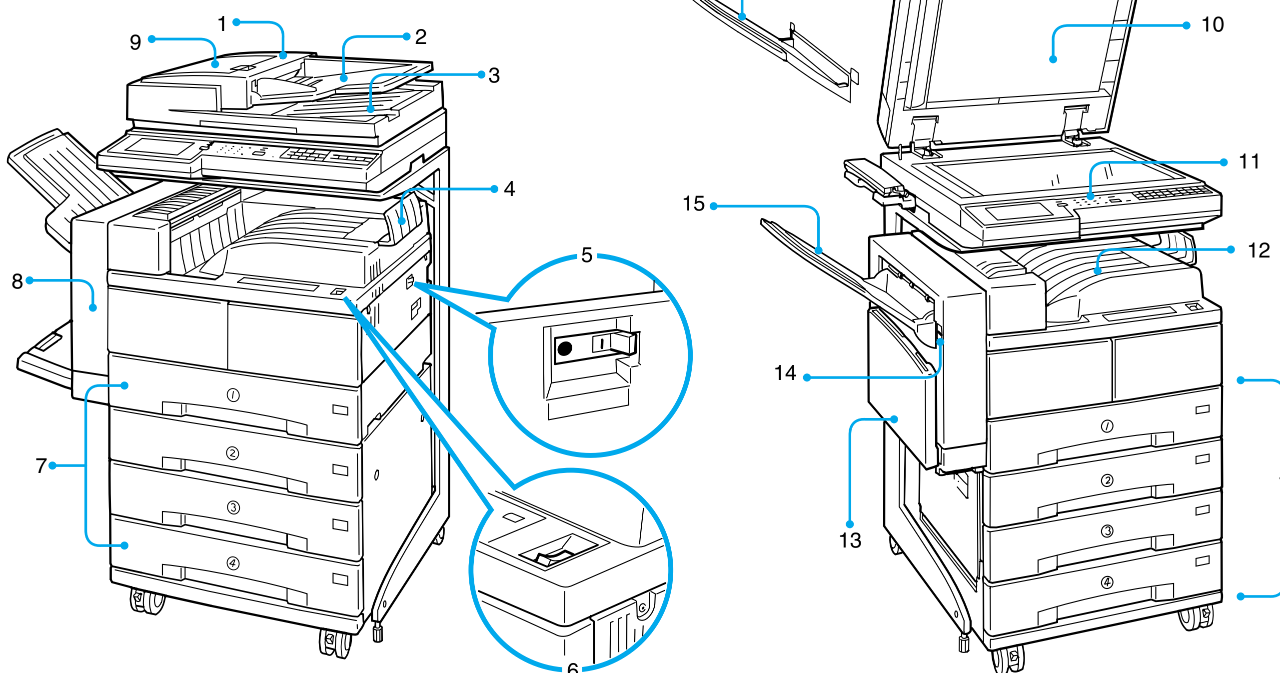


「NTT通信機器お取扱相談センタ」シール 1枚

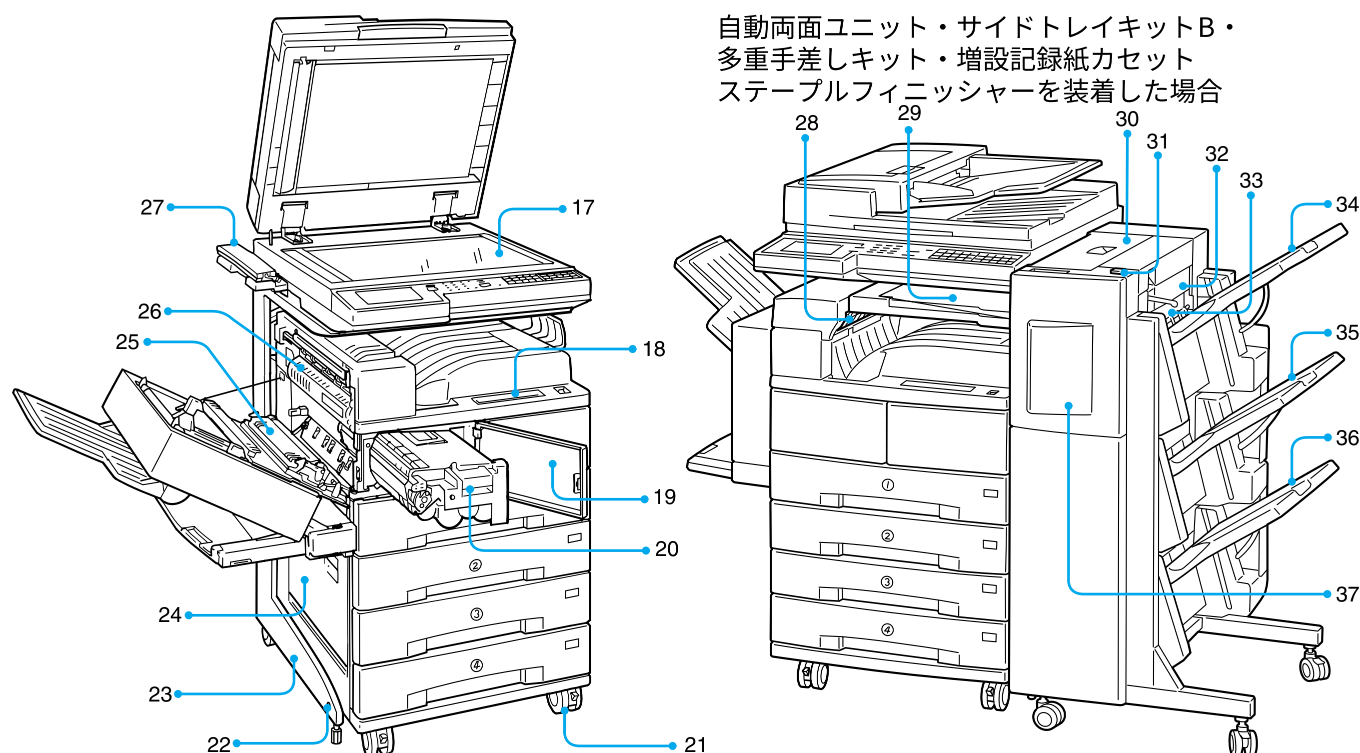
1-2 各部の名称とはたらき

●本体

自動両面ユニット・サイドトレイキットB・
多重手差しキット・増設記録紙カセットを
装着した場合



1	原稿検知ランプ	原稿が正しくセットされるとランプが点灯します。
2	原稿トレイ	自動両面原稿送り装置を使用するときに、原稿をセットします。
3	自動両面原稿送り装置	複数枚のシート物原稿を一括でセットでき、1枚ずつ自動的に送る機能をもっています。また両面原稿からのコピーの時には、原稿を反転させて送ります。原稿ガラスに原稿を置いてコピーするときには、原稿カバーの役目をします。
4	用紙ストッパー	A3など大きい用紙のためのストッパーです。コピー、プリント時は開いておきます。
5	ブレーカースイッチ	機械の電源を入/切するスイッチです。通常は ┃（入）にしておき、操作しません。
6	電源スイッチ	機械の電源を入/切するスイッチです。
7	用紙トレイ1～4*	用紙をセットします。トレイ4はオプションです。
8	自動両面ユニット*	両面コピーのときに、用紙を反転します。
9	原稿読み取り部カバー	原稿づまりを処置するときに、このカバーを開けます。
10	原稿カバー	原稿を押さえます。
11	操作パネル	操作に必要なボタンと表示ランプやタッチパネルディスプレイがあります。
12	センタートレイ	コピーのうら面が上になって排出されます。
13	多重手差しトレイ*	トレイにセットされていないはがきなどの用紙を使ってコピーするときに、用紙をセットします。
14	自動両面ユニット開レバー*	自動両面ユニットを開くときに使います。
15	サイドトレイ*	おもて面を上にして排出されます。 (サイドトレイキットBを装着した場合のサイドトレイ)
16	簡易サイドトレイ*	おもて面を上にして排出されます。 (サイドトレイキットAを装着した場合のサイドトレイ)

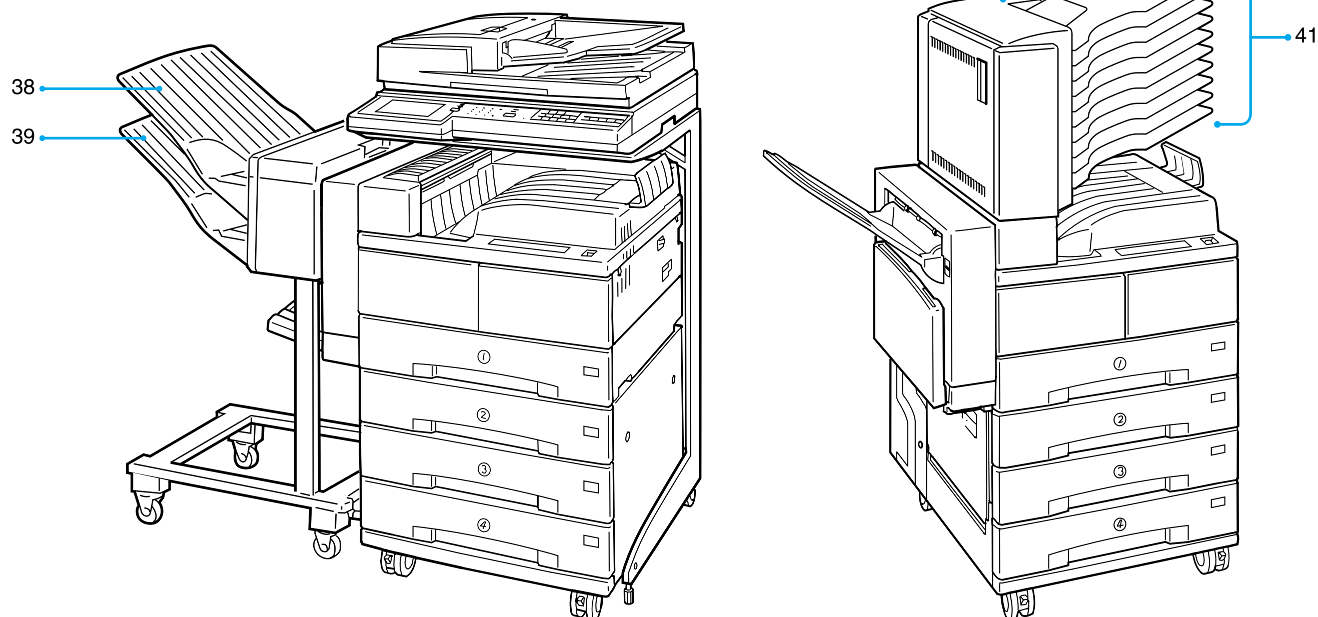


17	原稿ガラス	原稿をセットします。
18	プリンター用操作パネル*	プリンター機能を使うときに操作します。
19	フロントカバー	ドラム/トナーカートリッジを交換するときに、このカバーを開きます。
20	ドラム/トナーカートリッジ	感光体ドラムとトナー(画像形成剤)の一体型カートリッジです。
21	ストッパー	機械の位置を固定します。
22	ラック接続ピン	ラックと本体(出力部)を接続しています。
23	ラック	原稿読み取り部を載せます。
24	左側下部カバー	用紙づまりの処置のとき、カバーを開きます。
25	左側上部カバー	用紙づまりの処置や、ドラム/トナーカートリッジの交換のときに、カバーを開きます。
26	定着部	用紙に現像されたトナーをここで定着します。高温になっていますので、触れないように注意してください。
27	ハンドセット(受話器)	電話を使って会話をするときに使います。
28	センタートレイ排出口カバー*	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。
29	フィニッシャー接続部 上面カバー*	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。このカバーを開ける場合は、必ずステープルフィニッシャーを右側へ移動させてから行ってください。
30	フィニッシャー上面カバー*	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。
31	<一時停止/再開>ボタン*	スタッカートレイに排出されたコピーや文書を取り出すときに使用します。
32	フィニッシャー排出口カバー*	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。
33	フィニッシャー排出口*	ステープルフィニッシャーを使用する場合は、ここからコピー用紙や受信文書、プリント文書が出力されます。
34	スタッカートレイ1（上段）*	設定されているジョブ（コピー・ファクス・プリンター）が、排出されます。
35	スタッカートレイ2（中段）*	設定されているジョブ（コピー・ファクス・プリンター）が、排出されます。
36	スタッカートレイ3（下段）*	設定されているジョブ（コピー・ファクス・プリンター）が、排出されます。
37	フィニッシャーフロントカバー*	ホチキス針の交換や針づまりのときに開けます。

*印の装置や部品は、オプションです。

※コピーの出力の優先順序は、スタッカートレイ1（上段）→スタッカートレイ3（下段）です。

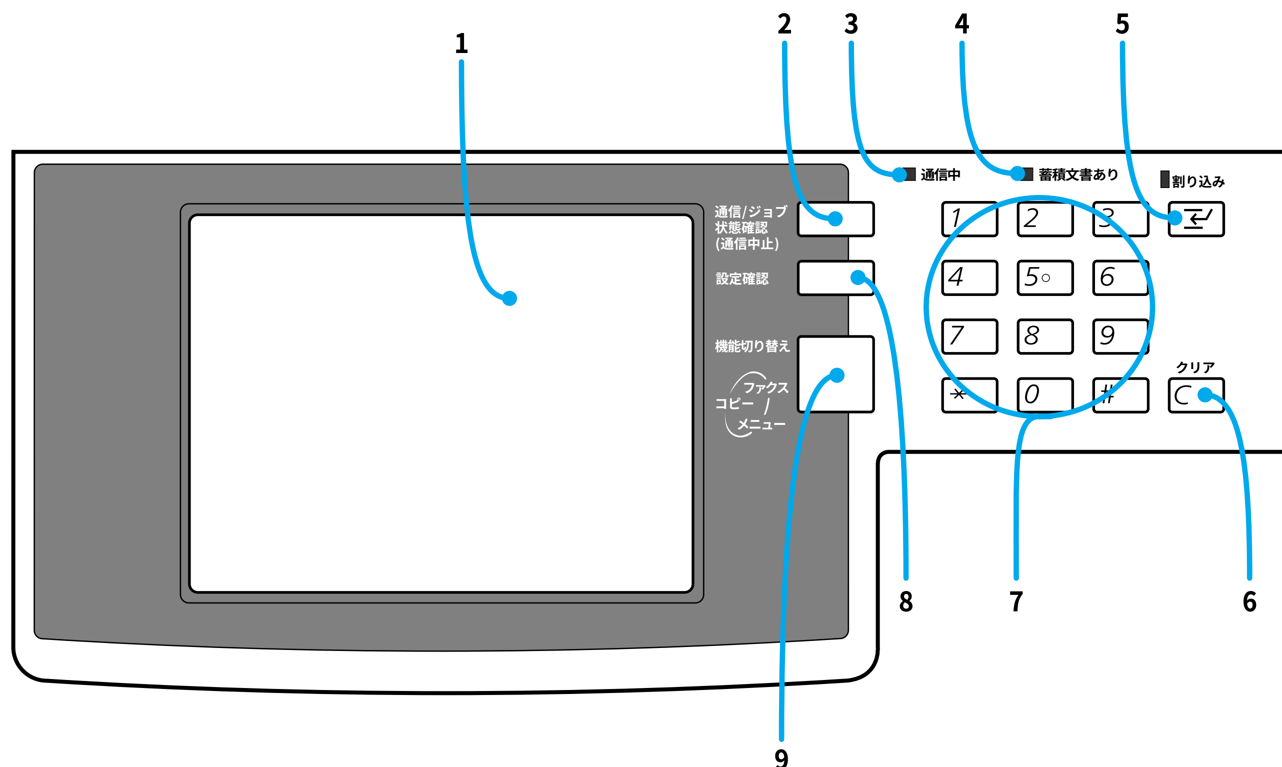
※プリンターからの出力の優先順序は、スタッカートレイ3（下段）→スタッカートレイ1（上段）です。



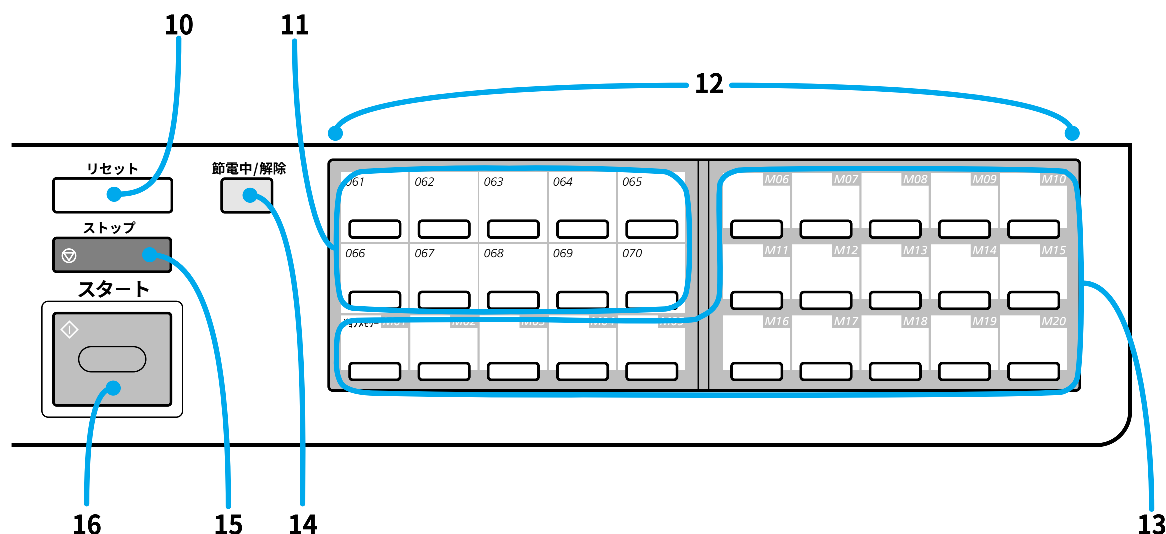
38	サイドトレイ1（上段）	おもて面を下に排出します。
39	サイドトレイ2（下段）	おもて面を上に排出します。
40	メールボックス	PCプリンタユニット装着時、指定したビンにプリントを排出することができます。 ファクスの受信文書を指定したビンに排出することもできます。
41	ビン1～10	おもて面を下にして排出します。

※コピー機能では、サイドトレイ1（上段）、およびサイドトレイ2（下段）を使用することはできません。センタートレイに排出されます。
※プリンターの排出先は、サイドトレイ1（上段）のみです。
※サイドトレイの故障を検知すると、ファクスの出力はセンタートレイに切り替えられます。
※オフセット出力は、上段のみ動作します。
※コピー機能では、メールボックスを使用することはできません。

●操作パネル



1	タッチパネルディスプレイ	表示される機能ボタンに直接指で触れて、各種機能および必要な操作を指示します。
2	通信／ジョブ状態確認（通信中止）ボタン	コピーやファクス通信、プリントの状態を確認するときに押します。 また、ファクス通信を中止する場合にも使用します。
3	通信中ランプ	ファクス機能で点灯するランプです。
4	蓄積文書ありランプ	機械内部のメモリーに文書を蓄積しているときに点灯します。 代行蓄積文書がある場合は点滅します。
5	割り込みボタン	連続コピー中やファクスの受信プリント中に、他のコピーを優先させたいときに押します。割り込みボタンを押すと、ボタンの上のランプが点灯します。
6	クリアボタン	数値の入力を間違えたときなどに押します。
7	テンキー	コピー部数/ファクス番号を入力するときや、各種機能設定時に数値を入力するときに使用します。 ＊、# ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。
8	設定確認ボタン	設定されている機能を確認するときに押します。
9	機能切り替えボタン	メニュー画面、コピー画面、ファクス画面に切り替えるときに押します。



10	リセットボタン	設定をすべて取り消して初期画面にするときに押します。
11	ワンタッチボタン	ファクス通信のときに相手先をワンタッチで指定できます。 登録した短縮番号の001～070が対応しています。
12	ワンタッチパネル	ワンタッチボタンやジョブメモリーボタンを使用することができます。 上図はパネルを2枚めくった状態を表示しています。
13	ジョブメモリーボタン	登録されている操作手順を呼び出すときに使います。ワンタッチパネルを2枚めくるとジョブメモリーのパネルになります。
14	節電中／解除ボタン	節電中（待機中）は、このボタンが点灯します。節電中（待機中）にこのボタンを押すと機械は節電状態から復帰します。
15	ストップボタン	コピー作業や通信作業を中止するときに押します。
16	スタートボタン	原稿の読み込みを開始するときに押します。

1-3 電源を入れる/切る

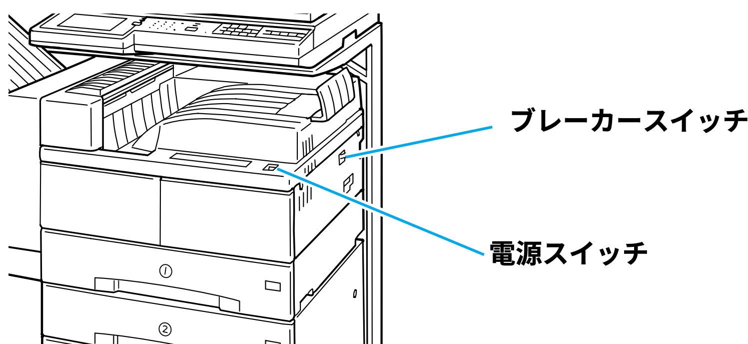
1

お使いいただく前に

参照

● 節電機能については、「節電機能について」を参照してください。

機械を始動するときは電源スイッチを入れます。電源を入れてから約48秒後にコピーできる状態になります。
本機には自動的に待機状態になる節電機能を搭載しています。



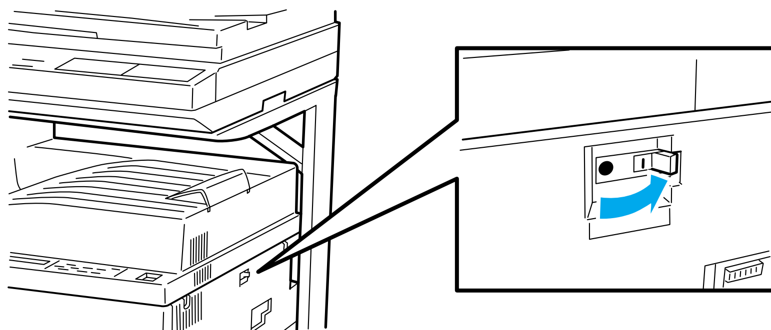
ブレーカーについて

参照

● 漏電保護回路については、「安全にお使いいただくために」の「漏電保護回路について」を参照してください。

ブレーカースイッチは、長期間使用しない場合や移動する場合以外、┃(入)にしておきます。

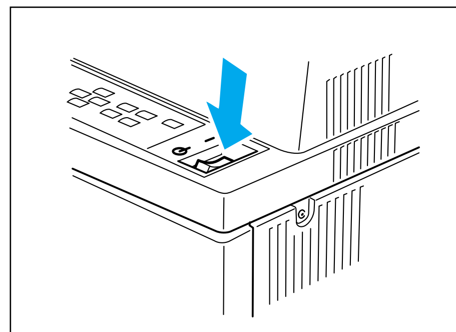
- ブレーカースイッチが連続して落ちる場合は、当社のサービス取扱所に連絡してください。
- 1か月に一度は、漏電保護回路が正常にはたらくか確認してください。



電源を入れる

電源スイッチを、｜(入)にします。

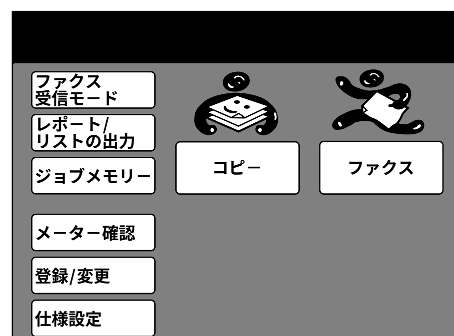
電源が入ります。





● 電源を入れる際は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけたのち、電源を入れてください。5秒以上間隔をあけずに電源を入れると、ハードディスクやメモリーの故障の原因となることがあります。

しばらくすると、タッチパネルディスプレイに初期画面が表示されます。



補足

● 初期画面をメニュー画面以外に設定している場合は、設定している画面が表示されます。

スタート予約について

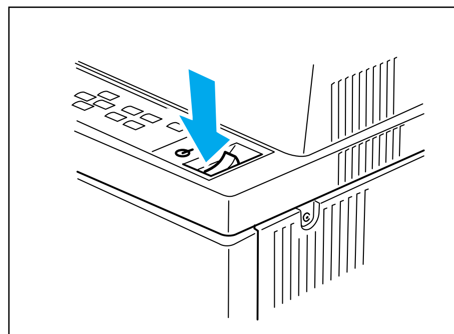
コピー画面を表示させて原稿をセットし、[スタート] を押すと、機械が使用できる状態になり次第、自動的に読み取りが開始されます(この機能を「スタート予約」と呼びます)。

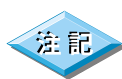
● スタート予約をすると、タッチパネルディスプレイのメッセージエリアに「自動的にスタートします。(スタート予約中)」と表示されます。
● [ストップ] を押すとスタート予約は解除することができます。また操作パネルのいずれかのボタンを押すとスタート予約は解除されます。

電源を切る

蓄積文書ありランプが消灯していることを確認し、電源スイッチを ⏻ (切)にします。

電源が切れます。





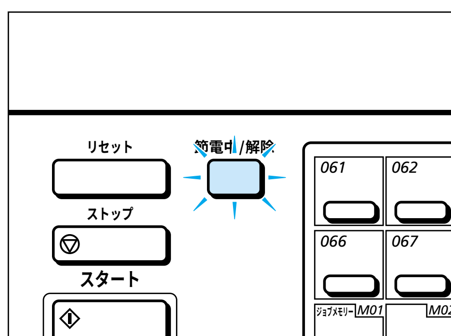
- コピーの蓄積文書は、電源を切ると削除されます。
- 操作パネルの蓄積文書ありランプが点灯しているときに電源を切り、3時間以上放置すると、メモリーに蓄積されている文書が削除されます。削除された文書は復旧できませんので注意してください。
- また、電源を切ってから3時間以内で復旧できるのは、それ以前に158時間以上充電していた場合に限ります。

節電機能について

節電機能とは、電源が入っている状態で一定時間使用しなければ、機械が待機状態になる機能です。機械を使用しないときは、電力を節約することができます。節電機能には以下の3つのモードがあります。

- ROSセーブ　…………………モーターが止まっている状態
- ローパワーモード ……………ヒーター部の温度を下げている状態
- スリープモード ………………ヒーター部の電力を止めて、最も電力を節約できる状態

ローパワーモードまたはスリープモードのときは、タッチパネルディスプレイが消灯し、［節電中/解除］が点灯します。



参照

- 節電機能の設定方法については「6-1 仕様設定について」を参照してください。

節電状態を解除する

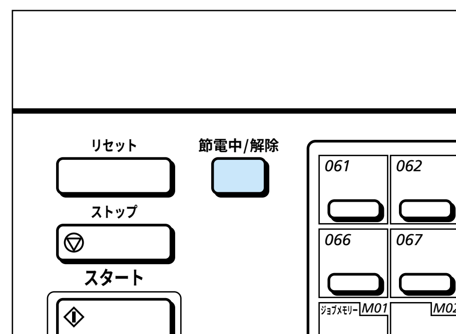
操作手順

補足

- 機械のいずれかのボタンまたはタッチパネルディスプレイを押しても、節電状態を解除できます。またローパワーモードのときは、自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたり、原稿カバーを上げても解除できます。

1 点灯している 節電中/解除 を押します。

節電状態が解除されます。



1-4 タッチパネルディスプレイの画面表示のしかた

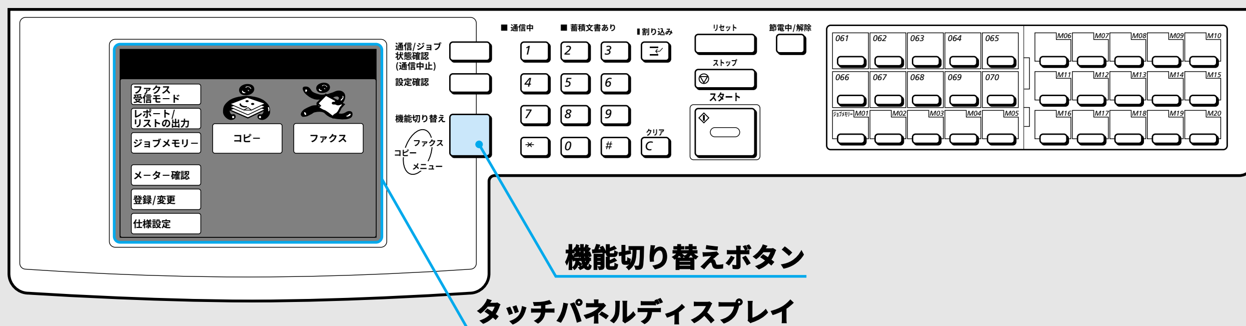
タッチパネルディスプレイでは、ディスプレイ上のボタンに直接指で触れることによって、各種機能を選択することができます。

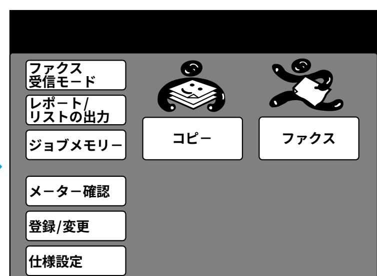
メニュー画面/コピー画面/ファクス画面を表示する

機能切り替え を押すごとに、メニュー画面、コピー画面、ファクス画面と切り替わります。

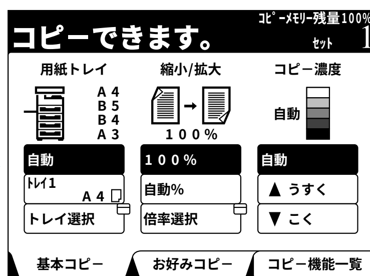
- 工場出荷時の設定では、電源を入れるとメニュー画面が最初に表示されます。
- メニュー画面の コピー や ファクス を選択しても、下図のコピー画面やファクス画面を表示することができます。
- オプションの装着状態によっては、表示されない画面やボタンがあります。

ここで使うボタン

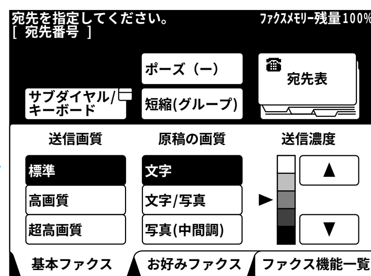




メニュー画面



コピー画面



ファクス画面

メニュー画面では、画面上にあるボタンを選択して、それぞれの設定画面を表示することができます。

コピー画面では、コピーの各種機能を選択することができます。

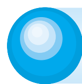
参照

● コピー画面には、基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の3つの画面があります。「基本コピー／お好みコピー／コピー機能一覧の画面を表示する」を参照してください。

ファクス画面では、ファクスの各種機能を選択することができます。ファクス画面には、基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧の3つの画面があります。

参照

● ファクス機能については、「ファクス編」を参照してください。

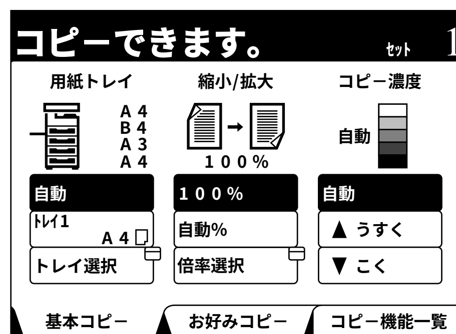
 基本コピー/お好みコピー/コピー機能一覧の画面を表示する

コピー画面には、基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の3つの画面があります。工場出荷時は、コピー画面を表示すると基本コピー画面が表示されるように設定されています。

- 各画面に表示されている機能については、「第4章　基本のコピーと操作」「第5章　便利な機能を使ったコピー」を参照してください。
- コピー画面の表示の変更は「6-1　仕様設定について」を参照してください。

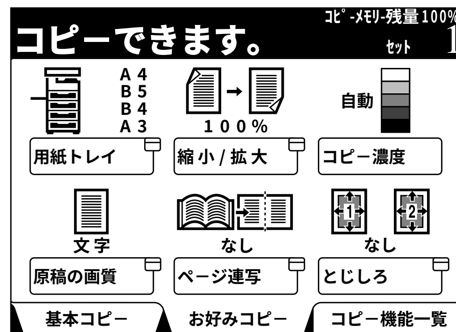
●基本コピー画面

基本コピー を選択すると、右図のような画面が表示されます。



●お好みコピー画面

お好みコピー を選択すると、右図のような画面が表示されます。



参照

- お好みコピー画面に表示される6つの機能は変更することができます。変更のしかたについては、「6-1 仕様設定について」を参照してください。

●コピー機能一覧画面

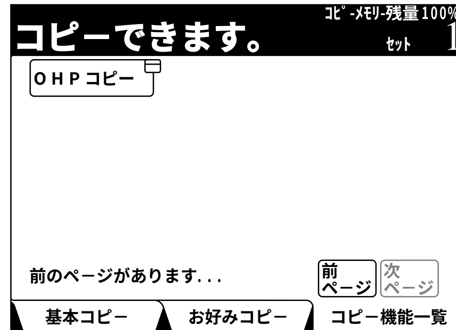
コピー機能一覧 を選択すると、右図のような画面が表示されます。



補足

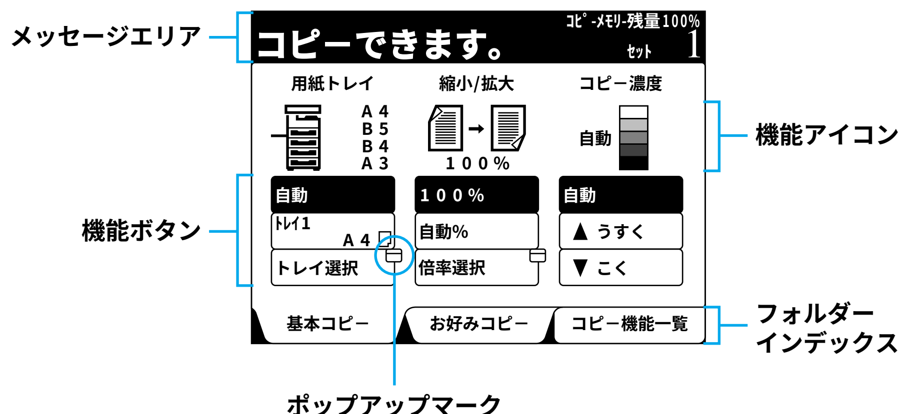
- オプションの装着状態によっては表示されないボタンがあります。

次ページ を選択すると、コピー機能一覧画面の次の画面が表示されます。前ページ を選択すると前の画面に戻ります。



1-5 タッチパネルディスプレイ各部の名称とはたらき

タッチパネルディスプレイに表示される各部の名称とそのはたらきを説明します。
ここでは、コピー画面の基本コピー画面を例に説明します。



名　　称	機　　　　能
メッセージエリア	機械の状態や操作ガイドなどのメッセージが表示されます。 右に表示される数字はコピー枚数を表しています。
機能アイコン	機能の設定状態が絵で表示されます。
機能ボタン	機能の設定や指示をするときに選択します。 黒く反転表示されているボタンが選択されています。
ポップアップマーク	ポップアップ画面があることを示します。 このマークのついている機能ボタンを選択すると、ポップアップ画面が表示されます。
フォルダーインデックス	基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の各画面に切り替えるときに選択します。選択した画面がいちばん上に表示されます。

補足

- 枠が点線で表示されているボタンを選択することはできません。
- トレイ4はオプションです。

1-6 機能設定のしかた

タッチパネルディスプレイでの機能の設定のしかたと、取り消しかたを説明します。

機能によっては、基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の各画面で、機能ボタンを選択することによって設定/取り消しができるものと、機能ボタンを押した次の設定画面で設定/取り消しをするものがあります。

コピー画面の各画面上で機能を設定する

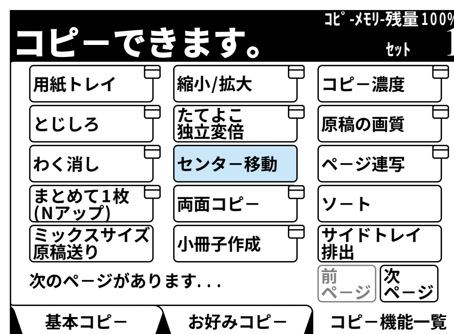
機能を設定するには、機能ボタンに直接指で触れてボタンを選択します。
選択した機能ボタンは、黒く反転表示されます。

- ポップアップマークがついているボタンに触れるとポップアップ画面が表示されます。この場合の設定のしかたについては、次項「ポップアップ画面を表示して機能を設定する」を参照してください。

以下では、コピー機能一覧画面でセンター移動機能を設定する操作を例に説明します。

操作手順

1 **コピー機能一覧画面の センター移動 を選択します。**



センター移動 が黒く反転表示されて、センター移動機能が設定されます。



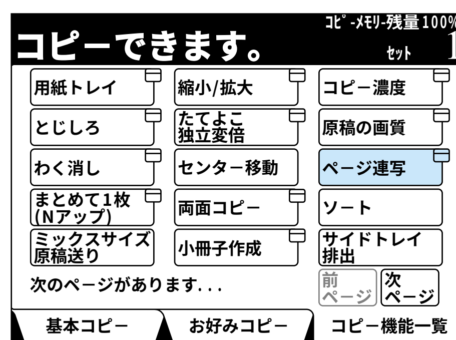
ポップアップ画面を表示して機能を設定する

ポップアップマークのついている機能は、設定用の画面(ポップアップ画面)で機能設定をします。

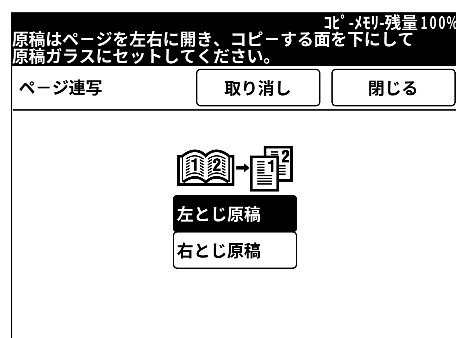
以下では、コピー機能一覧画面でページ連写機能を設定する操作手順を例にして説明します。

操作手順

1 コピー機能一覧画面の［ページ連写］を選択します。

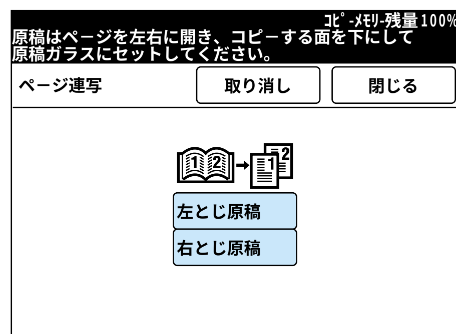


ポップアップ画面が表示されます。



2 設定したい機能や値が表示されているボタンを選択します。

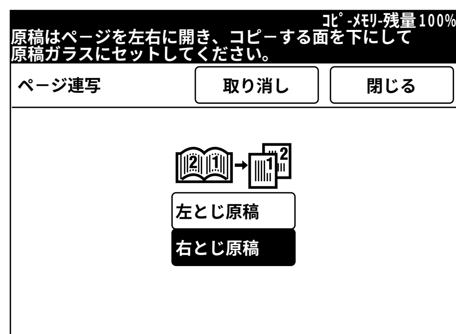
ここでは、例として［右とじ原稿］を選択します。



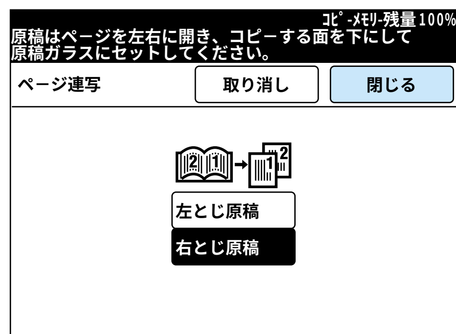
補足

- 機能によっては、数値をテンキーを使って入力するもの、［▲］や［▼］ボタンで値を設定するものなどもあります。詳しい操作については、本書の各機能の説明を参照してください。

選択したボタンが黒く反転表示されます。



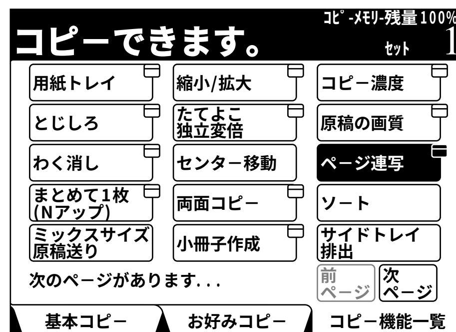
3 閉じる を選択します。





● 取り消し を選択すると、ページ連写の設定が取り消されます。

コピー機能一覧画面に戻り、ページ連写 が黒く反転表示され、ページ連写機能が設定されたことを表します。



コピー画面の各画面上で設定を取り消す

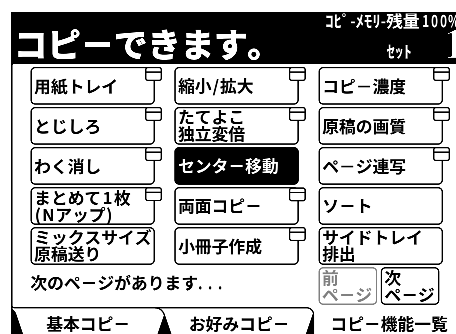
機能設定を取り消すには、黒く反転表示されている機能ボタンに直接指で触れてボタンを選択します。
選択した機能ボタンは、白く表示され、設定が取り消されます。

● ポップアップマークがついているボタンに触れると、次の設定画面が表示されます。この場合の設定の取り消し方については、次項「ポップアップ画面を表示して設定を取り消す」を参照してください。

以下では、コピー機能一覧画面でセンター移動機能の設定を取り消す操作を例に説明しています。

操作手順

1 **コピー機能一覧画面で黒く反転表示されている センター移動 を選択します。**



センター移動 が反転表示され、センター移動機能の設定が取り消されます。



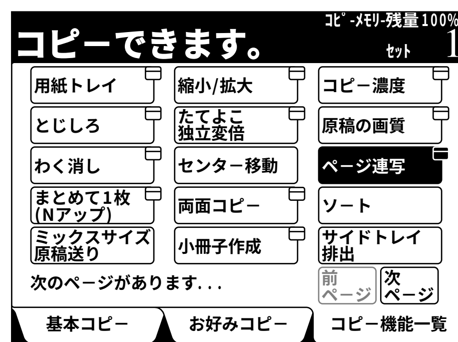
ポップアップ画面を表示して設定を取り消す

ポップアップ画面で設定されている機能の設定を取り消す方法について説明します。

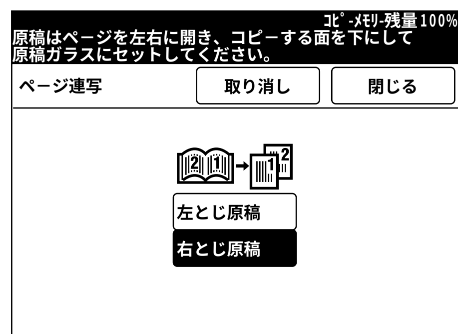
以下では、コピー機能一覧画面でページ連写機能の設定を取り消す操作を例に説明します。

操作手順

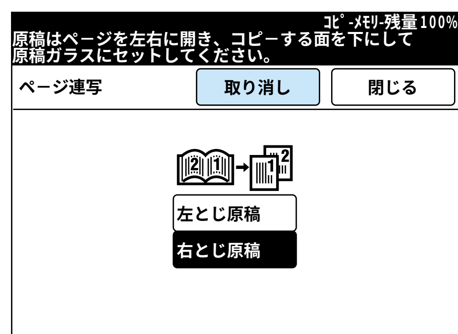
1 コピー機能一覧画面で黒く反転表示されている ページ連写 を選択します。



ポップアップ画面が表示されます。



2 取り消し を選択します。

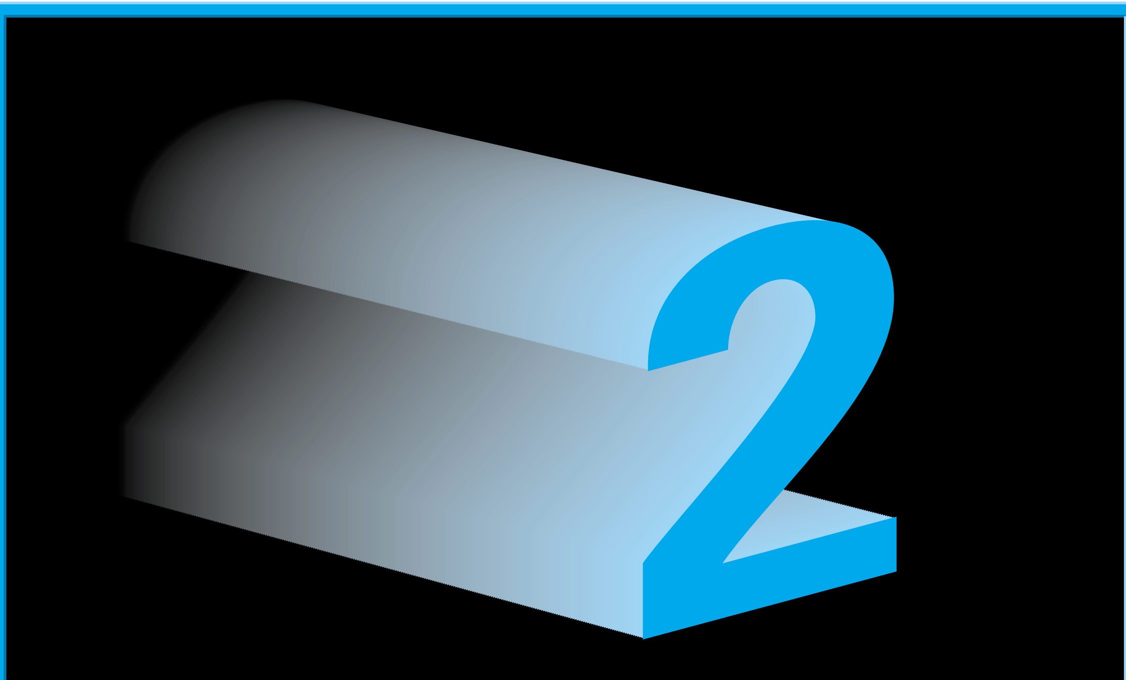


補足

- 用紙トレイ 、 縮小/拡大 、 コピー濃度 、 原稿の画質 は、常に設定が必要な機能のため、設定画面に 取り消し が表示されません。
- 閉じる を選択すると、黒く反転表示されている機能で設定されます。

画面がコピー機能一覧画面に戻り、黒く反転表示されていた［ページ連写］が白く表示され、ページ連写機能の設定が取り消されます。





用紙のセット

2-1 用紙を補給する(用紙のセット)

補 足

● コピー中でも、使用中の用紙トレイ以外のトレイには用紙を補給できます。
● トレイ4は、オプションの増設記録紙カセット装着時に表示されます。

コピー中に用紙がなくなると、タッチパネルディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。

●トレイ1に用紙を補給してください。
●トレイ2に用紙を補給してください。
●トレイ3に用紙を補給してください。
●トレイ4に用紙を補給してください。
●手差しトレイに用紙をセットしてください。

メッセージに従って用紙を補給し、〈スタート〉を押すと、コピーを続けることができます。
また、用紙トレイにセットされていない用紙、はがき、OHPフィルムなどにコピーするときは、多重手差しトレイを使います。
ここでは、各用紙トレイに用紙を補給する操作、および多重手差しトレイに用紙をセットする操作について説明します。
なお、各用紙トレイにセットできる用紙サイズと枚数は以下のとおりです。

用紙トレイ	セットできる用紙サイズ	セットできる用紙枚数（上質紙64g/m²相当）
トレイ1〜4	A5▯（トレイ1のみ）、B5、B5▯、A4、A4▯、B4、A3、8.5×11"（レター）、8.5×11"▯（レター）、8.5×13"▭、8.5×14"▭、11×17"、八開	約500枚
手差しトレイ	最小：官製はがき〜最大：A3または11×17" ●ただし用紙送り方向に対して、縦方向にセットしてください。	約50枚

補 足

● トレイ1〜4において自動用紙選択が行えるサイズはA5▯、B5▯、B5、A4▯、A4、B4、A3です。
● 8.5×14"▭とB4は、どちらか一方のみ使用可能となり、また、工場出荷時は、B4に設定されています。設定を変える場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

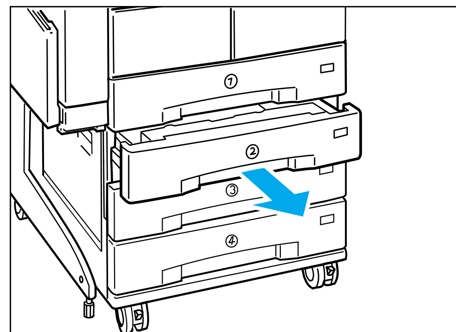
用紙トレイ1〜4に用紙を補給する

以下の手順で、用紙トレイ1、2、3、4に用紙を補給します。

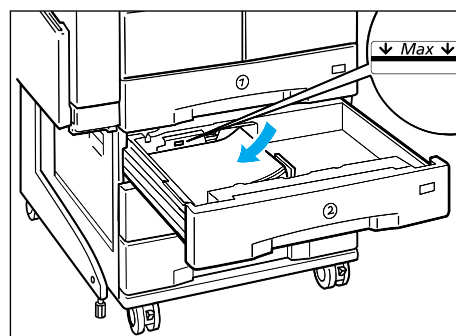
● 用紙トレイ4はオプションです。
● 各用紙トレイにセットできる用紙枚数は、約500枚までです。

操作手順

1 **用紙を補給するトレイを、手前に止まるところまで引き出します。**



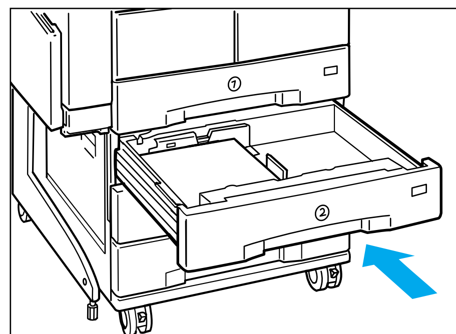
2 **用紙の先端をきれいにそろえてセットします。**



補足

- セットした用紙の上面にコピーされます。
- 用紙トレイ1～4にセットできる枚数は約500枚です。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。

3 **奥に突き当たるところまでトレイをゆっくりと押し込みます。**



多重手差しトレイに用紙をセットする

用紙トレイにセットされていない用紙や、各用紙トレイにセットできない定形外の用紙、はがきなどにコピーしたいときは、多重手差しトレイを使います。

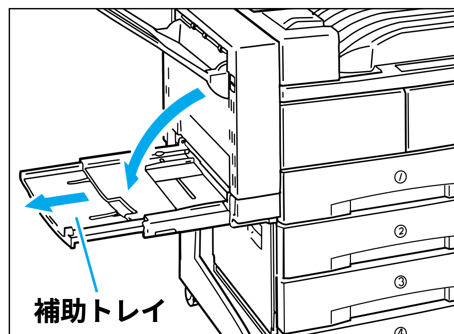
- 多重手差しトレイはオプションです。
- 多重手差しトレイを使ってコピーすると、先端に最大5mmの余白が発生します。

操作手順

1 **多重手差しトレイを開きます。**

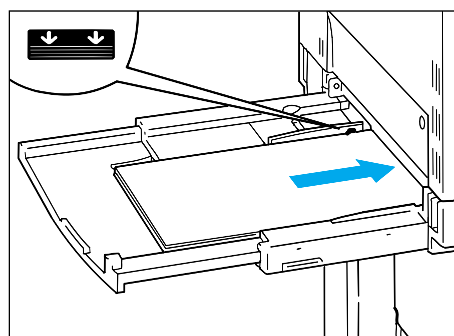
用紙のサイズに応じて、多重手差しトレイの先の補助トレイを引き出します。

● 右図は、自動両面ユニットを装着している場合です。



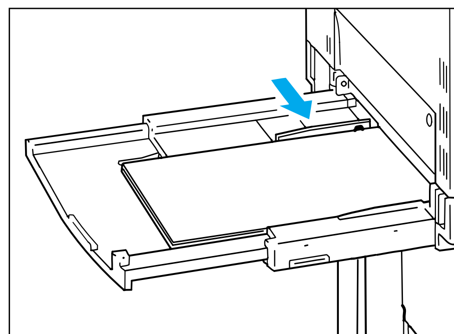
2 **コピーしたい面を下に向けて、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。**

● 多重手差しトレイにセットできる枚数は約50枚あるいは高さが5mm以下です。
● 白い線を超えて用紙をセットしないでください。



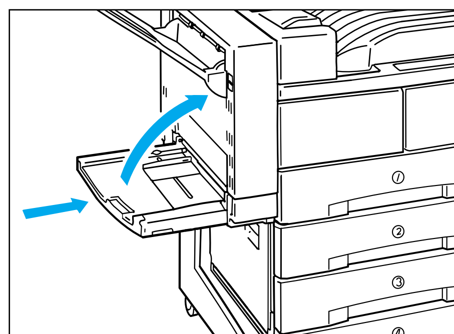
3 **セットした用紙の端に、用紙ガイドを軽く当てます。**

● ガイドは用紙の端に合わせてください。用紙の端に合っていないとコピーに汚れがでることがあります。
● コピー中に、ディスプレイに「手差しトレイに用紙をセットしてください。」と表示されたときは、操作手順2〜3を繰り返します。



4 **コピーが終了したら、多重手差しトレイをもとに戻します。**

● 多重手差しトレイに用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてください。
● 補助トレイを引き出した場合は、補助トレイを押し込んでください。



2-2 トレイの用紙サイズを変更する

参照

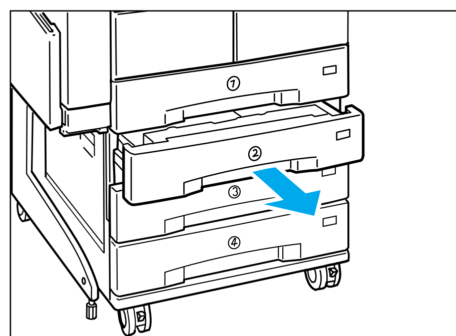
● セットできる用紙サイズについては「2-1 用紙を補給する（用紙のセット）」を参照してください。

トレイの用紙サイズを変更する場合は、以下の手順に従って用紙サイズを変更してください。多重手差しトレイを使用することで、用紙トレイにセットされていないサイズの用紙にコピーすることもできます。

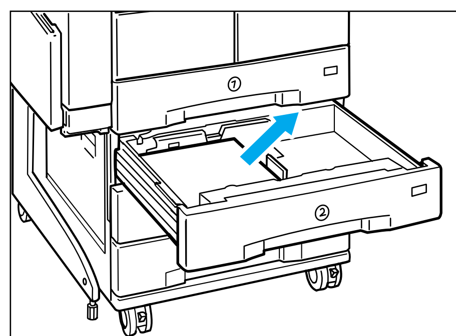
トレイ1～4の用紙サイズを変更する

操作手順

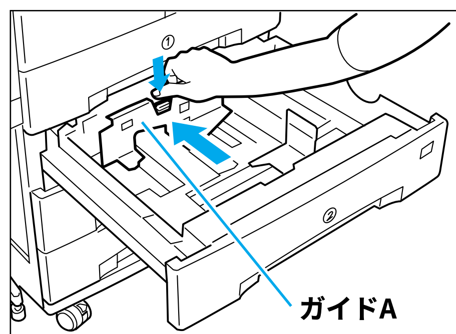
1 用紙のサイズを変更する用紙トレイを手前に止まるところまで引き出します。



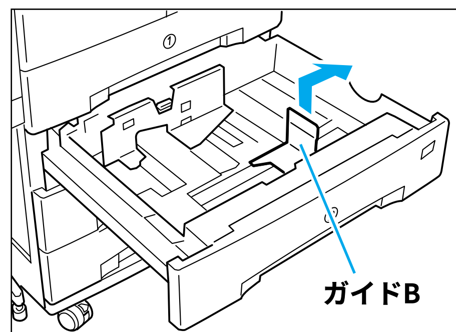
2 用紙がセットされているときは、取り除きます。



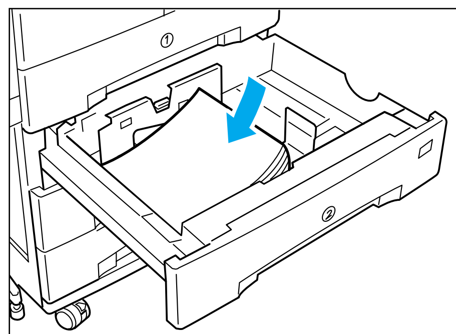
3 図のようにボタンを押しながらガイドAを奥まで移動させます。



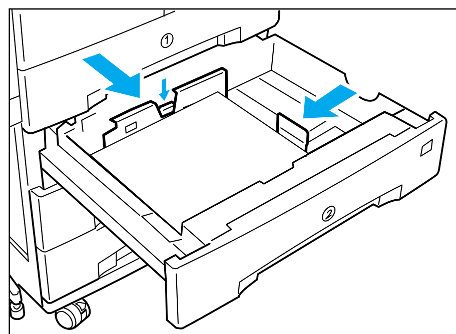
4 **ガイドBを持ち上げるようにして右側へ移動させます。**



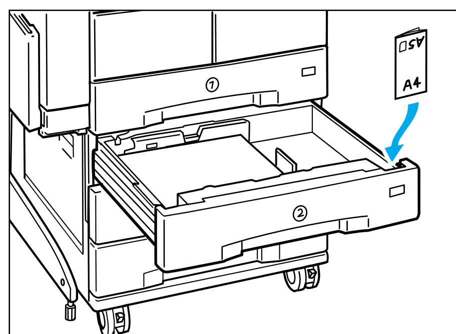
5 **セットしたい用紙を左手前隅に合わせてセットします。**



6 **ガイドAはボタンを押しながら、ガイドBは持ち上げるようにして移動させ、用紙に軽く当ててセットします。**

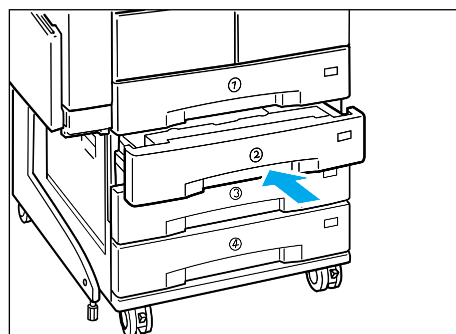


7 **用紙トレイのラベルを抜き出し、セットした用紙トレイのサイズを表示させるようにしてセットします。**



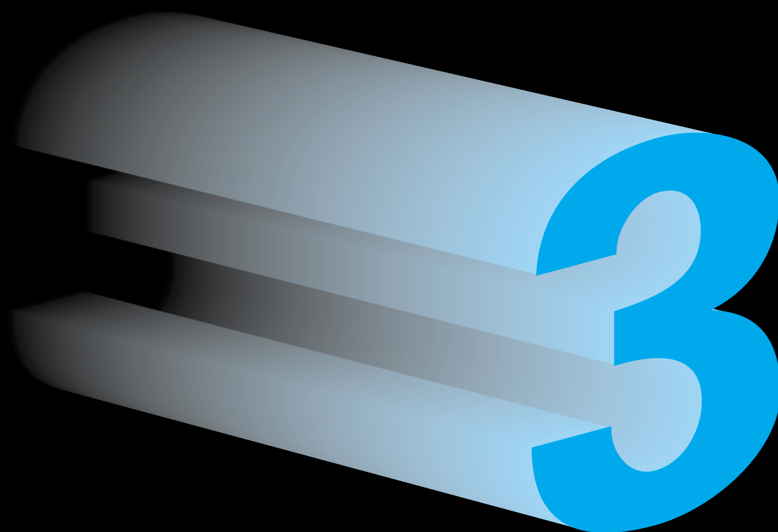
8 **奥につきあたるところまでトレイをゆっくりと押し込みます。**

基本コピー画面の用紙トレイに、セットした用紙サイズが表示されます。



注記

- A4サイズの用紙をセットしたときに、基本コピー画面に8.5×11"（レター）が表示される場合は、手順6で用紙にガイドが当たっていることを確認し、合わせてください。



原稿のセット（コピー）

3-1 原稿について

原稿は、自動両面原稿送り装置または原稿ガラスにセットします。

次のような原稿は、原稿ガラスにセットしてください。自動両面原稿送り装置にセットすると、原稿づまりや原稿破損の原因になります。

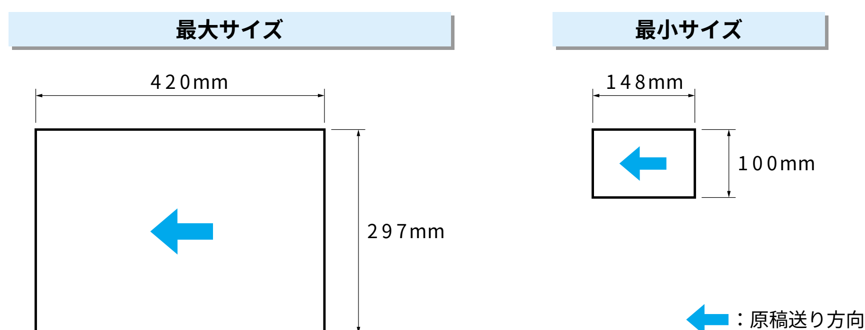
- **厚みのある原稿(パンフレット、小冊子)**
- **破れ、しわ、のり貼り、穴あき、折れ、カールが激しい原稿**
- **クリップ、ホチキスがついている原稿**
- **裏カーボンのついた原稿**
- **透過度の高い原稿(OHPフィルム、トレーシングペーパーなど)**
- **鉛筆の粉が落ちやすい用紙(トレーシングペーパーなど)に鉛筆書きをした原稿**
- **感熱紙**
- **A、B系列以外の原稿**

自動両面原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットするときは、以下の点に注意してください。

自動両面原稿送り装置に原稿をセットするとき

- **原稿搬送中は原稿を押さえないでください。原稿づまりの原因になります。**
- **排出された原稿を原稿排出口にためたり(A3: 35枚、B4: 50枚、A4以下: 50枚まで)、原稿排出口に物を置かないでください。原稿づまりの原因になります。**
- **自動両面原稿送り装置を開けるときは、止まるところまでゆっくり上げます。無理に上げすぎないようにしてください。**
- **OHPフィルム、トレーシングペーパーの原稿サイズを自動検知することはできません。**
- **自動両面原稿送り装置にセットできる原稿は以下のとおりです。**

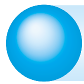
・サイズ



・メートル坪量　片面原稿：35～110g/m²、両面原稿：50～110g/m²
・枚数　A3：35枚、B4：50枚、A4以下：50枚（64g/m²）

- **自動両面原稿送り装置を使用する場合に機械が自動的に原稿サイズを検知できるのは、A5▯、B5▯、B5、A4▯、A4、B4、A3の定形サイズの原稿です。**

補足
- メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。
- A5は、B5として検知されます。

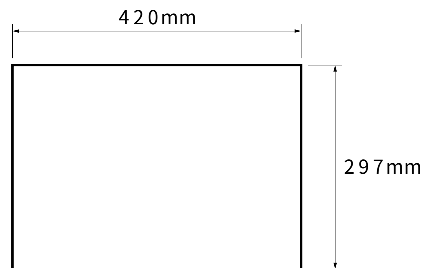


原稿ガラスに原稿をセットするとき

補足

● セットできる原稿の最小サイズの制限はありません。

●原稿ガラスにセットできる原稿の最大サイズは以下のとおりです。



●機械が自動的に原稿サイズを検知できるのは、A5▯、A5、B5▯、B5、A4▯、A4、B4、A3の定形サイズの原稿だけです。
透過度の高い原稿はサイズを自動検知できない場合がありますので、サイズの指定をしてください。

⚠注意

●原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

●厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをすることがあります。

3-2 原稿をセットする

原稿セットについて説明します。原稿セットの方法には、以下の2つがあります。
●原稿を自動両面原稿送り装置にセットする
●原稿を原稿ガラスにセットする

原稿を自動両面原稿送り装置にセットする

自動両面原稿送り装置は、複数枚の原稿を読み取り部に1枚ずつ送り込み、排出する装置です。一度にまとめてセットできるので、原稿を手で入れ替える手間が省けます。

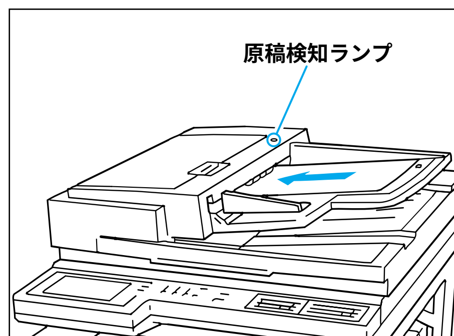
● 原稿によっては、自動両面原稿送り装置を使用できないものもあります。詳しくは、「3-1　原稿について」を参照してください。

操作手順

1 コピーする面(両面の場合はおもて面とする側)を上に向け、奥側のガイドに沿って原稿をセットします。

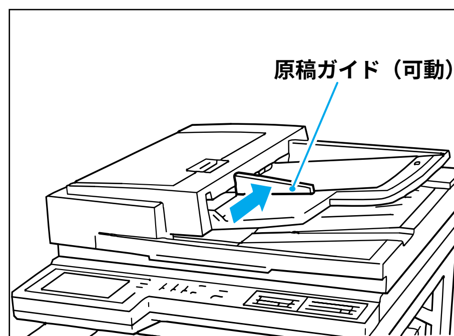
原稿検知ランプが点灯します。

● 原稿の先端をきれいにそろえてセットしてください。



補足
● 1度にセットできる原稿枚数は、A3：35枚、B4：50枚、A4以下：50枚(64g/m²)です。それ以上セットすると原稿づまりの原因となります。

2 原稿ガイド(可動)を原稿の端に軽く当てます。



補足
● 原稿ガイド(可動)が原稿サイズに合っていないと、原稿が正常に引き込まれないことがあります。

原稿を原稿ガラスにセットする

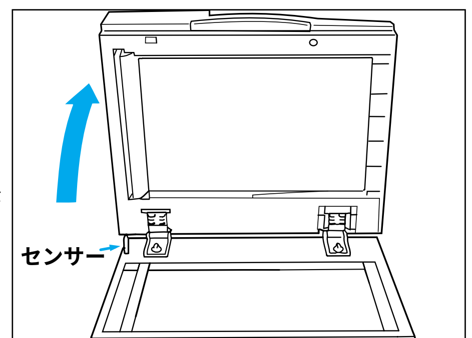
原稿カバーを開けて原稿を直接原稿ガラスに1枚セットし、原稿カバーを閉じます。

操作手順

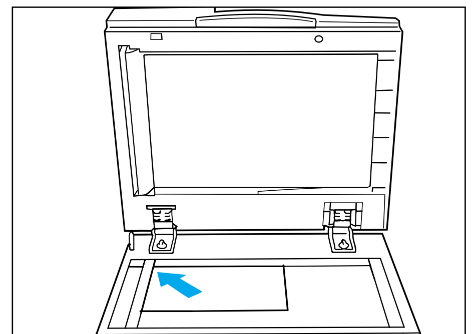
1 原稿カバーを開けます。



● 原稿カバーは棒状のセンサーが離れる位置まで開けてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズを正しく検知できないことがあります。



2 コピーする面を下に向け、原稿ガラス左奥の角に合わせて原稿をセットします。

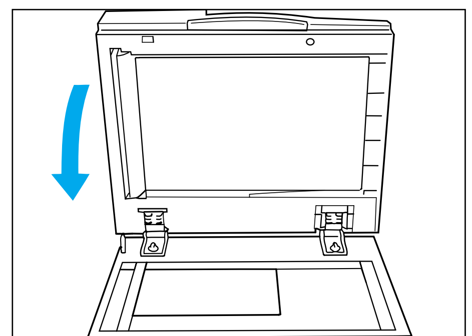




● トレーシングペーパーなど透過度の高い原稿では、原稿カバー裏面の汚れがコピーに写ることがあります。この場合は、原稿の上に同じ大きさの白紙をのせてください。

3 原稿カバーを閉じます。

⚠注意 **厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをすることがあります。**



次の原稿があるとき

次の原稿があるときは、原稿を読み取り中にタッチパネルディスプレイに表示される 次の原稿あり を選択し、機械に次の原稿があることを認識させます。

● 次の原稿あり は、以下のときに表示されます。
- ・ソート機能を設定して、原稿を読み取り中
- ・小冊子作成機能、OHPコピー機能の 白紙/色紙挿入＋配布用コピー を選択して、原稿を読み取り中
- ・両面コピー機能を設定して、原稿ガラスで原稿のおもて面を読み取り後

3

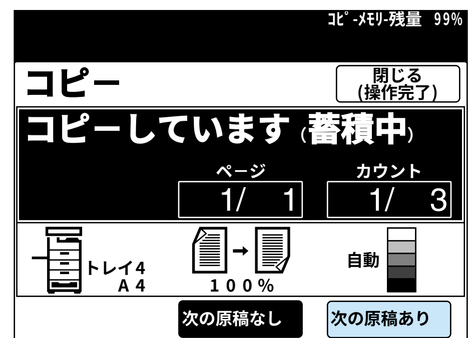
原稿のセット（コピー）

操作手順

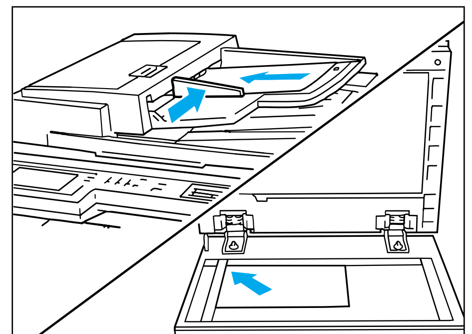
補足

● 自動両面原稿送り装置を使っているときは、機械は最初にセットした原稿をすべて読み取ってから、次の原稿のセットを待ちます。

1 原稿を読み取り中に、次の原稿あり を選択します。

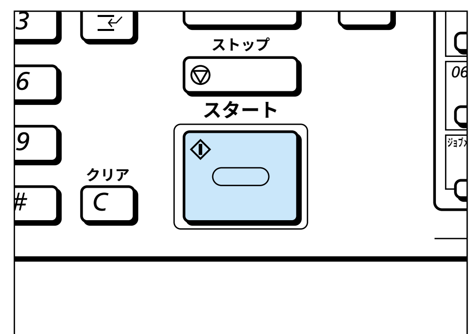


2 次の原稿をセットします。



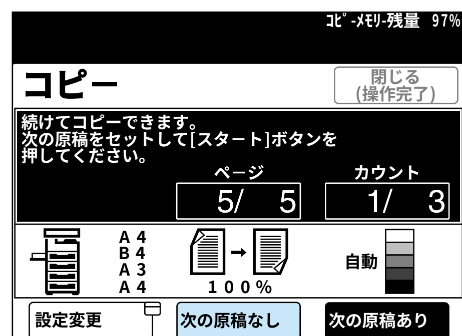
3 スタート を押します。

次原稿があるときには、原稿のセットと スタート を押す操作を繰り返します。



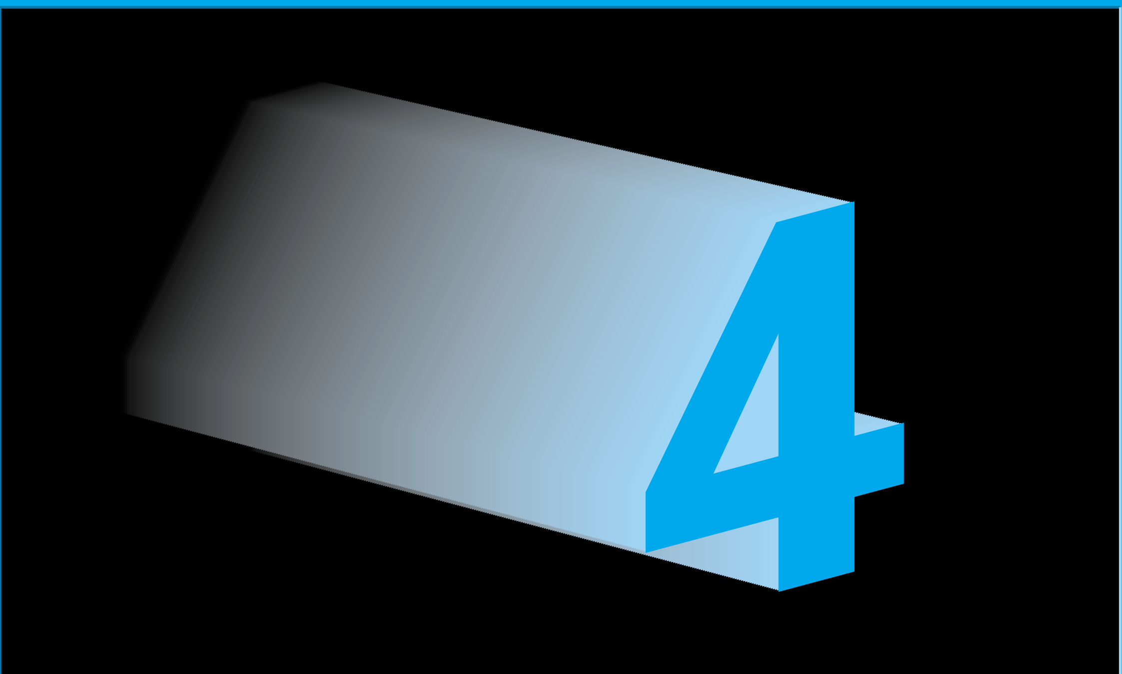
4 最後の原稿を読み取ったら、次の原稿なし を選択します。

コピーが開始されます。



3

原稿のセット（コピー）



基本のコピーと操作

4-1 基本となるコピー操作の流れ

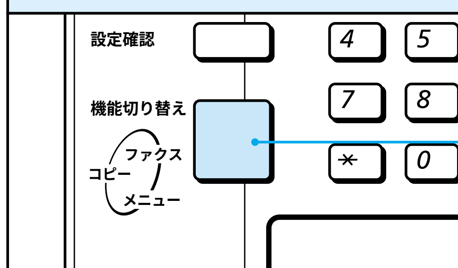
●基本的なコピー操作の流れ

ここでは、基本的なコピー操作のおおまかな流れを説明します。

原稿をセットする

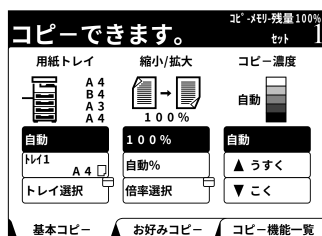
参照 ●「第3章　原稿のセット（コピー）」

コピー画面を表示させる

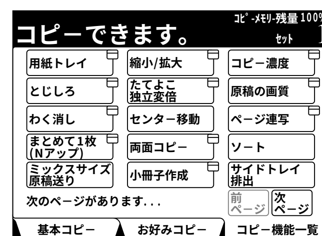


機能切り替え を押す

各種機能を設定する（必要に応じて設定します）







●機能は複数設定することができます。ただし、組み合わせによっては設定できない機能もあります。
「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。
基本コピー画面で設定できる機能は、コピー機能一覧画面でも設定することができます。

テンキーでコピー枚数を入力する

スタート を押す

コピーが正常に終了した場合に音が鳴るように設定することもできます。設定方法については、「6-1　仕様設定について」を参照してください。

4-2 用紙を選ぶ（用紙トレイ）

補足

● 多重手差しトレイとトレイ4はオプションです。

コピーしたい用紙がセットされているトレイを選んでコピーします。
用紙トレイにセットされていない用紙や用紙トレイにセットできない用紙にコピーする場合は、多重手差しトレイに用紙をセットしてコピーします。

本節では、以下の3とおりのコピーのしかたを説明します。

●自動

機械が検知した原稿サイズと設定された倍率から、適切なサイズの用紙がセットされている用紙トレイを機械に自動的に選択させてコピーする方法です。多重手差しトレイは対象となりません。

●トレイ選択

コピーしたい用紙がセットされている用紙トレイを選んでコピーする方法です。

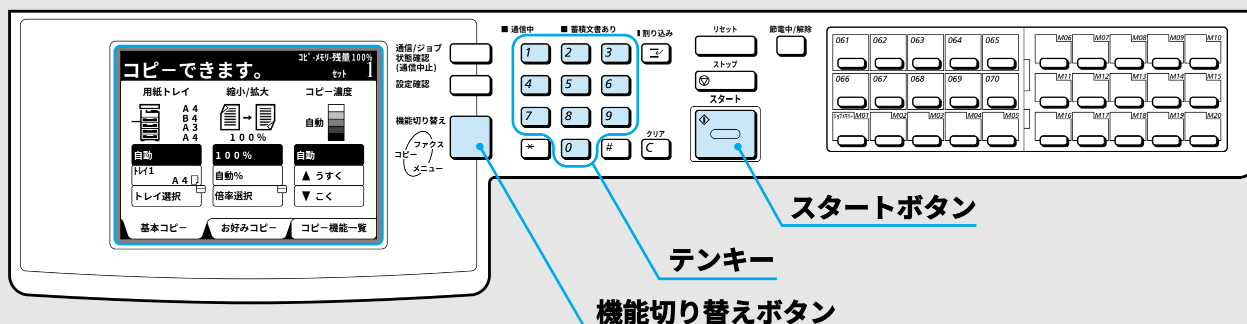
●手差しトレイ

コピーしたい用紙を多重手差しトレイにセットしてコピーする方法です。定形外や、厚手（はがきなど）の用紙にコピーする場合に使用すると便利です。

4

基本のコピーと操作

ここで使うボタン

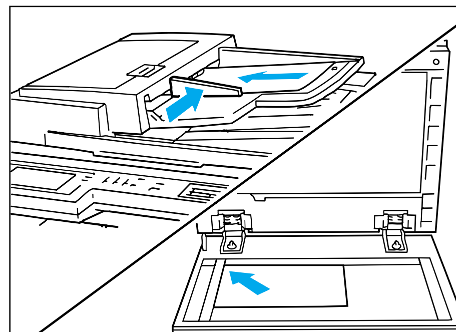


操作手順

参照

● 「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 原稿をセットします。



2 [機能切り替え] を、コピー画面が表示されるまで1、2回押します。

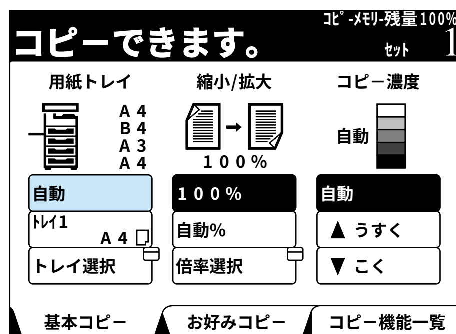
補足

● 工場出荷時の用紙トレイは［自動］に設定されています。

● 用紙トレイは、コピー機能一覧の画面でも設定することができます。

3 基本コピー画面で、用紙トレイを選択します。

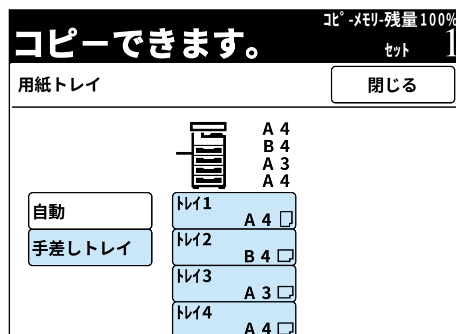
● ［自動］を選択した場合は、［自動%］以外の倍率を選択してください。



補足

● ［自動］と［トレイ選択］の間にあるボタンは自動解除時に選択されるトレイを表しています。設定方法については、「6-1　仕様設定について」を参照してください。

4 ［トレイ選択］を選択した場合は、用紙トレイを選択します。

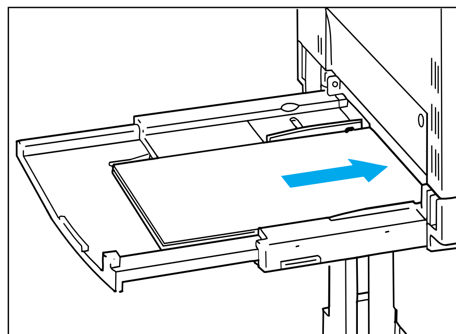


参照

● 用紙のセットのしかたについては、「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」の「多重手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

5 ［手差しトレイ］を選択した場合は、多重手差しトレイに用紙をセットします。

● セットした用紙の下の面にコピーされます。



6 必要に応じてその他の機能の設定をします。

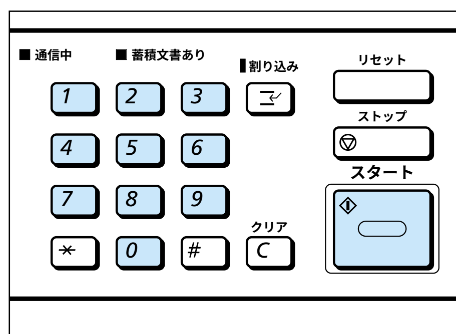
参照

●「4-3　倍率を選ぶ(縮小/拡大)」

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

7 コピー枚数をテンキーで入力し、［スタート］を押します。

設定した倍率に合った用紙にコピーされます。



補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、［C クリア］を押して入力し直してください。

4-3 倍率を選ぶ(縮小/拡大)

倍率を選ぶコピーについて説明します。

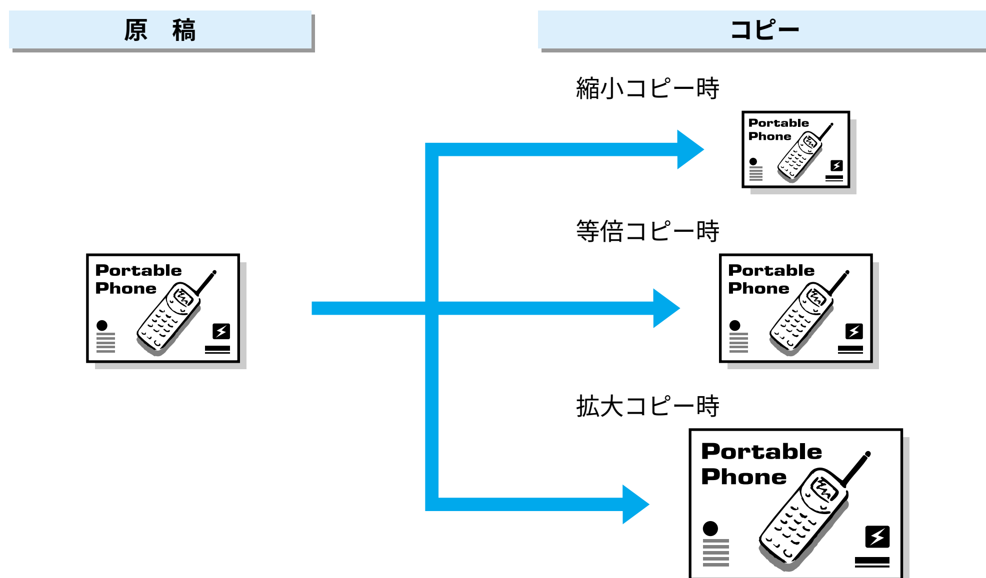
●等倍にコピーする

原稿イメージの大きさを変えずにコピーする方法です。

●縮小/拡大してコピーする

縮小/拡大してコピーする方法には、次の3とおりの方法があります。

- **倍率を機械に選択させてコピーする**
  選択した用紙に原稿イメージが入るように、自動的に倍率を選択させてコピーする方法です。
- **あらかじめ設定されている倍率から選んでコピーする**
  6種類の固定倍率から、倍率を選んでコピーする方法です。
- **任意の倍率を入力してコピーする**
  任意の倍率を入力してコピーする方法です。

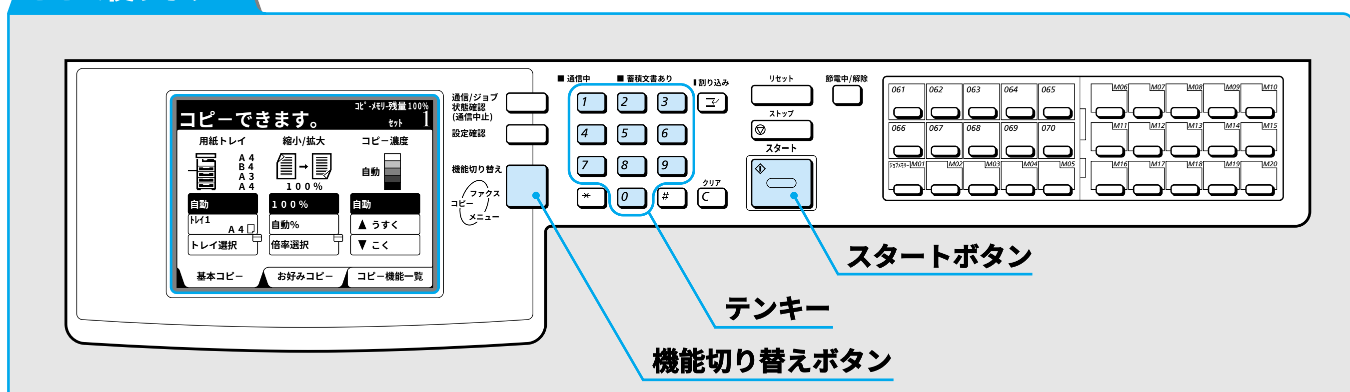


●倍率一覧表

原稿＼コピー	A6	B6	A5	B5	A4	B4	A3
A6	100%	122%	141%	173%	200%	245%	282%
B6	81%	100%	115%	141%	163%	200%	231%
A5	70%	86%	100%	122%	141%	173%	200%
B5	57%	70%	81%	100%	115%	141%	163%
A4	50%	61%	70%	86%	100%	122%	141%
B4	41%	50%	57%	70%	81%	100%	115%
A3	35%	43%	50%	61%	70%	86%	100%

※A6、B6、A5サイズの用紙にコピーする場合は、手差しトレイを使用してください。

ここで使うボタン



等倍にコピーする

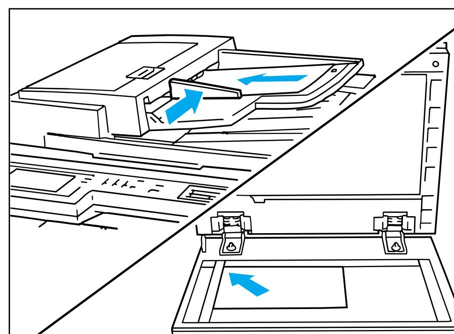
縮小/拡大で 100% を選択してコピーすると、大きさが変わらず(等倍)にコピーされます。

操作手順

参照

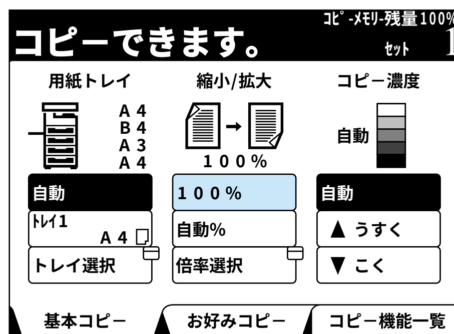
●「第3章 原稿のセット(コピー)」

1 原稿をセットします。



2 機能切り替え を、コピー画面が表示されるまで1、2回押します。

3 基本コピー画面で、縮小/拡大の 100% を選択します。



4 必要に応じてその他の機能の設定をします。

補足

● 工場出荷時の縮小/拡大は 100% に設定されています。

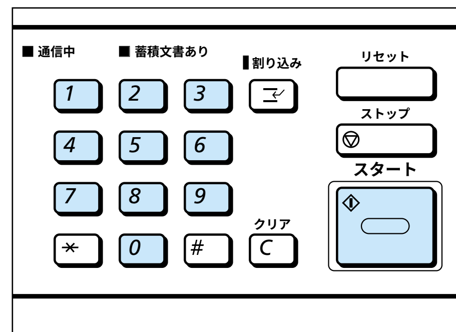
● 縮小/拡大は、コピー機能一覧の画面でも設定することができます。

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B 機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

5 **コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。**

設定した倍率でコピーされます。



補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

倍率を機械に選択させてコピーする

コピーする用紙サイズの用紙トレイを選択し、縮小/拡大で 自動% を選択してコピーします。

選択した用紙に原稿イメージが入るように、自動的に倍率を選択してコピーします(自動倍率選択)。

用紙トレイの 自動 と縮小/拡大の 自動% は同時に選択することはできません。

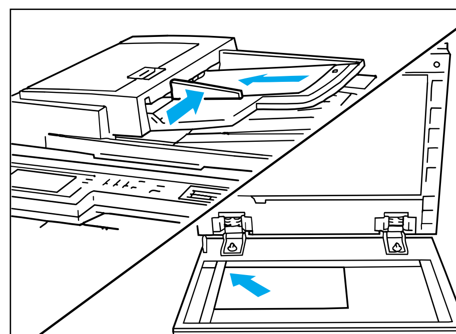
操作手順

参照

●「第3章 原稿のセット(コピー)」

1 **原稿をセットします。**

2 **機能切り替え を、コピー画面が表示されるまで1、2回押します。**



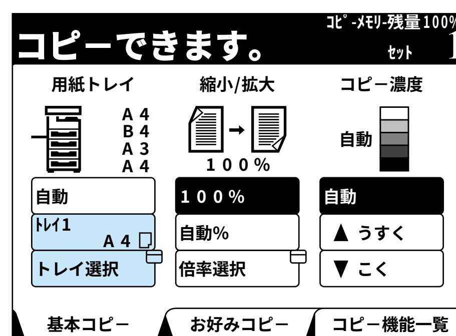
3 **基本コピー画面で、コピーしたい用紙がセットされているトレイを設定します。**

ここでは、例として トレイ3 を選択します。

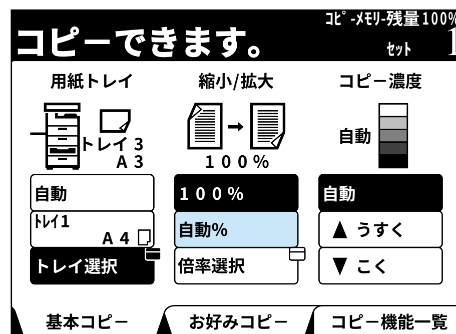
● 用紙トレイの 自動 と 手差しトレイ は、縮小/拡大の 自動% と同時に設定できません。倍率を機械に選択させるときは、用紙トレイで 自動 や 手差しトレイ を選択しないでください。

参照

●「4-2 用紙を選ぶ(用紙トレイ)」を参照してください。



4 縮小/拡大の 自動% を選択します。



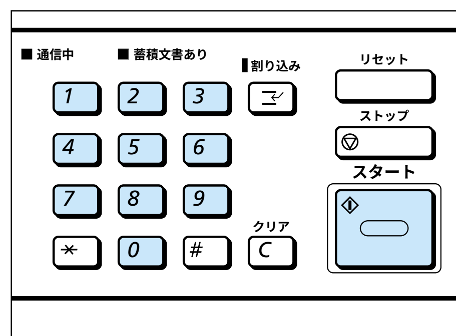
5 必要に応じてその他の機能の設定をします。

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B 機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

6 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。

設定した用紙に合う倍率でコピーされます。



補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、 C クリア を押して入力し直してください。

4

基本のコピーと操作

倍率を選んでコピーする

固定倍率から希望の倍率を選択してコピーしたり、任意の倍率を指定してコピーします。

任意倍率は、25～400%の間を1%きざみで設定することができます。
固定倍率は、次の6つが設定されています。

●141% (A4→A3 / B5→B4)
●122% (A4→B4 / A5→B5)
●115% (B4→A3 / B5→A4)
●86% (A3→B4 / A4→B5)
●81% (B4→A4 / B5→A5)
●70% (A3→A4 / B4→B5)

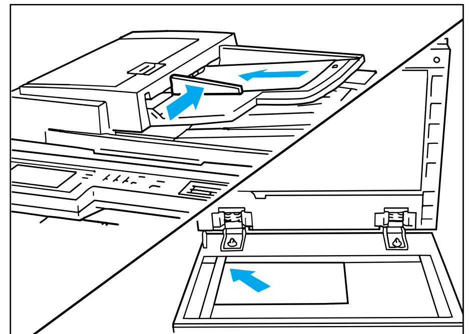
● 固定倍率の数値を変更することができます。上記以外の倍率でコピーすることが多い場合は、固定倍率の数値をよく使う倍率に変更しておくと便利です。変更のしかたについては「6-1 仕様設定について」を参照してください。

操作手順

参照

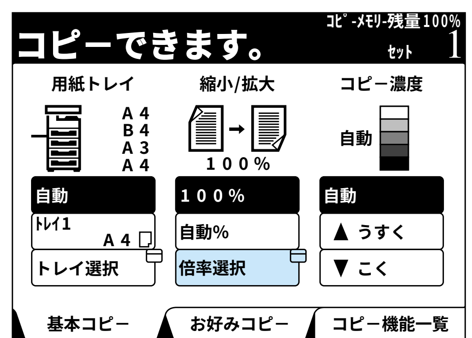
●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 原稿をセットします。



2 機能切り替え を、コピー画面が表示されるまで1、2回押します。

3 基本コピー画面で、縮小/拡大の 倍率選択 を選択します。



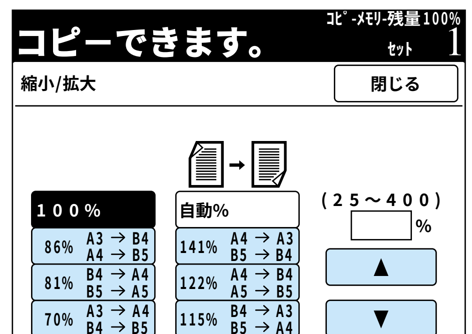
4 希望の倍率を表しているボタンを選択するか、▲ や ▼ を使って希望の倍率を入力します。

参照

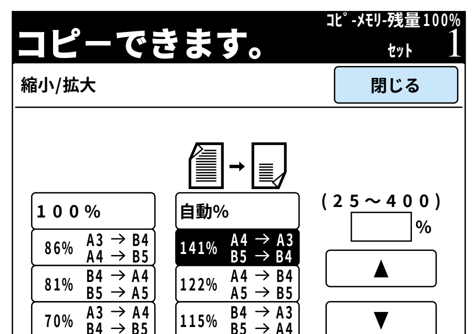
●「6-1　仕様設定について」を参照してください。

ここでは、例として 141% A4→A3 B5→B4 を選択します。

● 固定倍率の値は変更することができます。

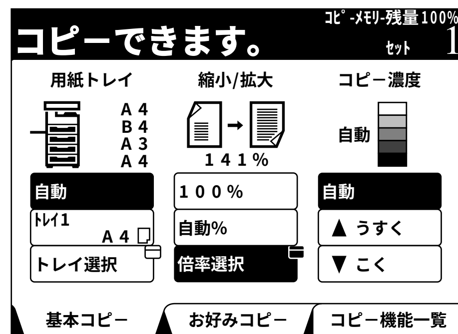


5 閉じる を選択します。



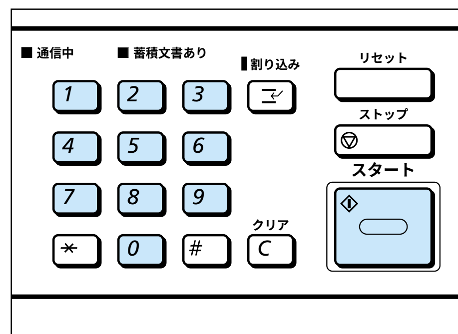
6 必要に応じてその他の機能の設定をします。

● 用紙トレイを [自動] にしておくと、原稿のサイズと倍率から自動的に用紙を選びます。
● 最小/拡大の機能アイコンの下に操作手順4で選択した倍率が表示されます。



7 コピー枚数をテンキーで入力し、[スタート] を押します。

設定した倍率でコピーされます。



参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、[C クリア] を押して入力し直してください。

4 基本のコピーと操作

4-4 コピー濃度を調整する(コピー濃度)

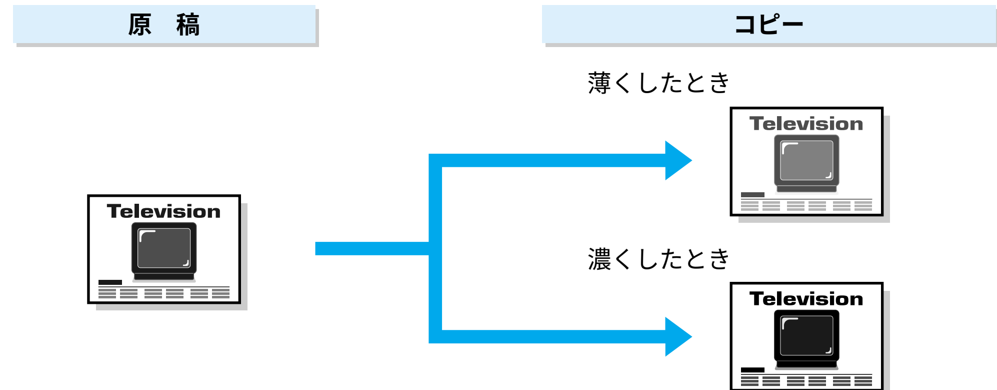
濃度を調整してコピーする方法について説明します。

●背景部のコピー濃度を自動調整させてコピーする（自動）

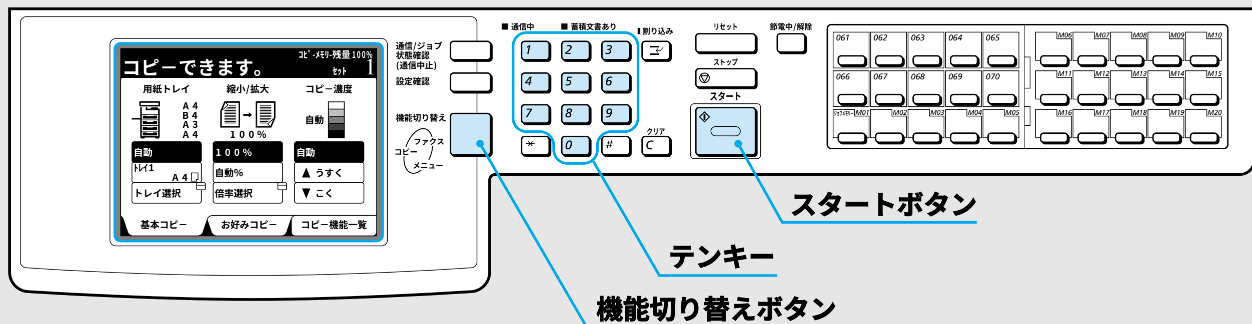
セットした原稿によって、背景部のコピー濃度を自動的に調整させてコピーする方法です。

●コピー濃度を任意に選んでコピーする（▲うすく／▼こく）

5段階のコピー濃度から、濃度を任意に選んでコピーする方法です。



ここで使うボタン



4 基本のコピーと操作

操作手順

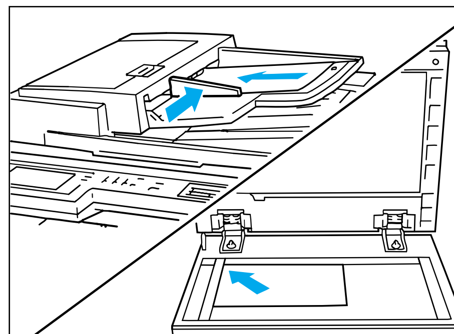
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

4

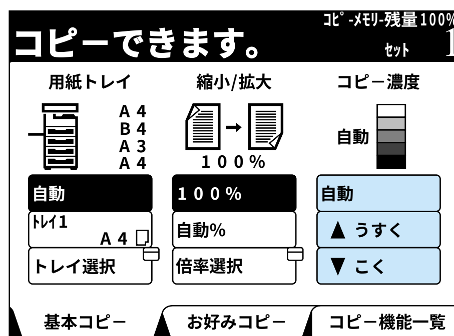
基本のコピーと操作

1 **原稿をセットします。**



2 **[機能切り替え] を、コピー画面が表示されるまで1、2回押します。**

3 **基本コピー画面で、コピー濃度を選択します。**



補足

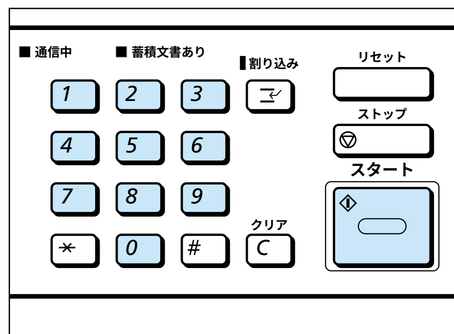
● 工場出荷時のコピー濃度は [自動] に設定されています。

● コピー濃度は、コピー機能一覧の画面でも設定することができます。

4 **必要に応じて、その他の機能の設定をします。**

5 **コピー枚数をテンキーで入力し、[スタート] を押します。**

自動的に背景部の濃度を調整し、コピーされます。



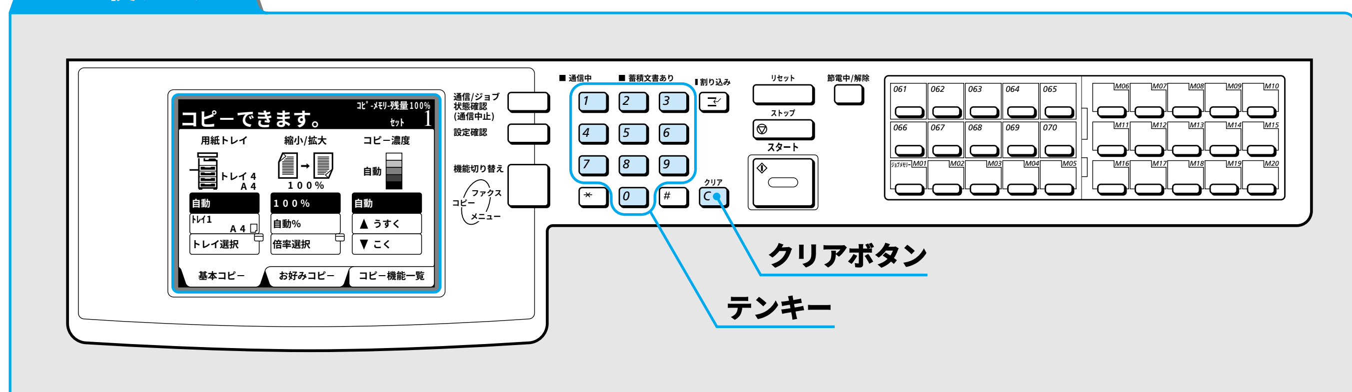
補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、[C クリア] を押して入力し直してください。

4-5 コピー枚数を訂正する

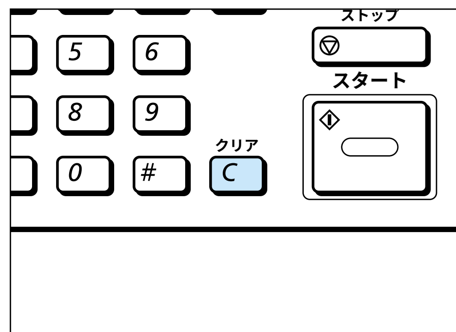
コピー枚数を間違えて入力してしまったとき、または前の操作で入力したコピー枚数がクリアされていないときには、操作パネルの C クリア を押し、テンキーでもう一度希望するコピー部数を入力します。

ここで使うボタン

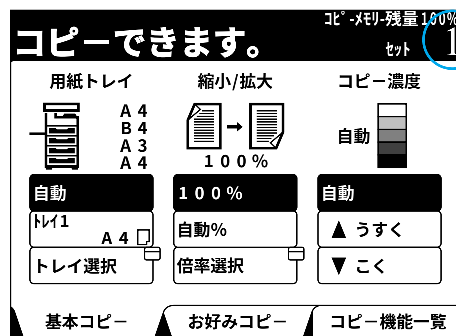


操作手順

1 **C クリア を押します。**



コピー枚数の表示が「1」になります。



2 **コピー枚数をテンキーで入力します。**

補足

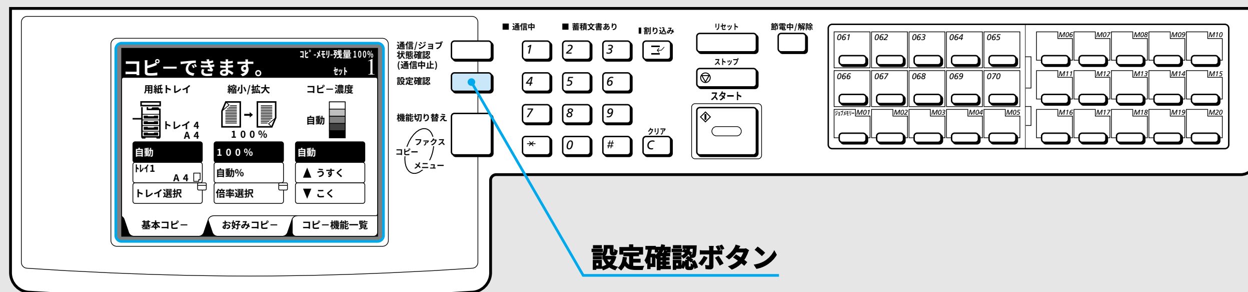
- 入力できるコピー枚数は、1～99枚の間で設定することができます。「6-1　仕様設定について」を参照してください。

4 基本のコピーと操作

4-6 設定を確認する

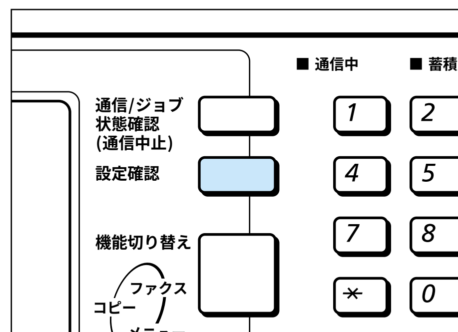
設定した機能は、設定確認画面を表示させて確認することができます。

ここで使うボタン

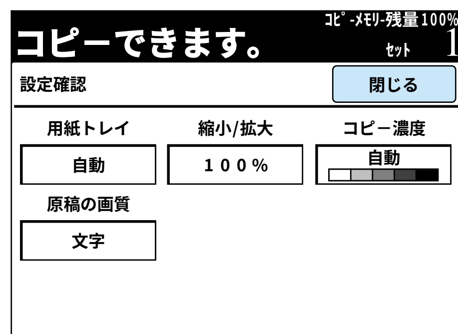


操作手順

1 **[設定確認] を押します。**



設定確認画面が表示されます。
このままスタートすることもできます。



2 **[閉じる] を選択します。**

コピー画面に戻ります。

補足

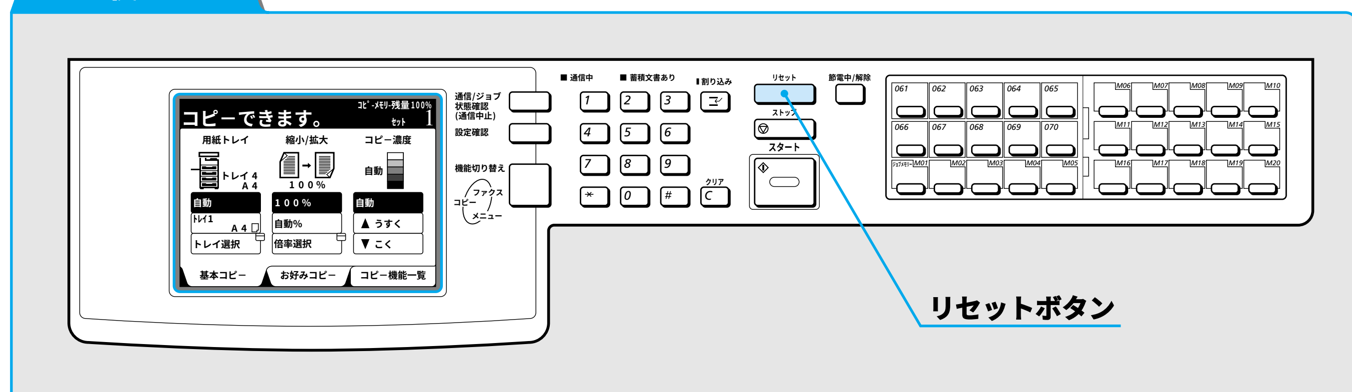
● 機能を1ページに表示しきれない場合は、画面右下に表示される [前ページ] や [次ページ] を選択します。

4-7 設定をすべて取り消す（リセット）

設定をすべて取り消すときは、 リセット を押します。

● 仕様設定画面で 決定 を選択していた場合は、 決定 選択以前の設定は取り消されません。

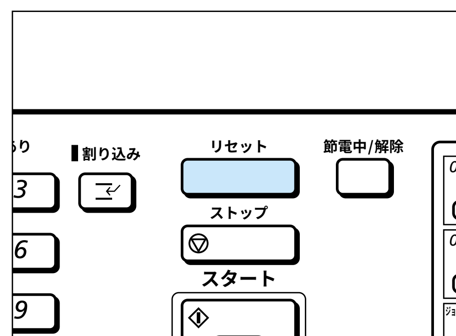
ここで使うボタン



操作手順

1 リセット を押します。

設定がすべて取り消されます。



オートクリア機能について

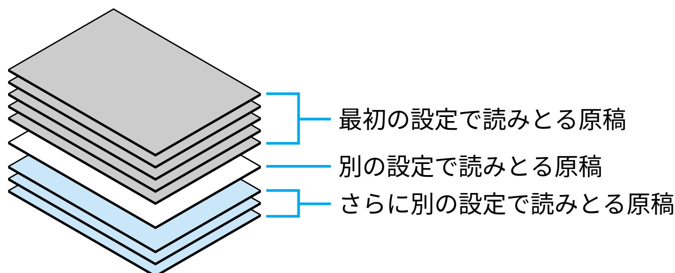
本機は一定の時間機械に触れないとき、自動的にリセットされるように設定されています。この機能をオートクリアといいます。

● 工場出荷時には、オートクリア機能は1分に設定されています。設定を変更する場合は、「6-1 仕様設定について」を参照してください。

4 基本のコピーと操作

4-8 原稿の途中から異なった設定で読み取る

原稿の途中からコピー濃度と原稿の種類の設定を変更してコピーしたいときには、設定ごとに原稿を分けて読み取ります。



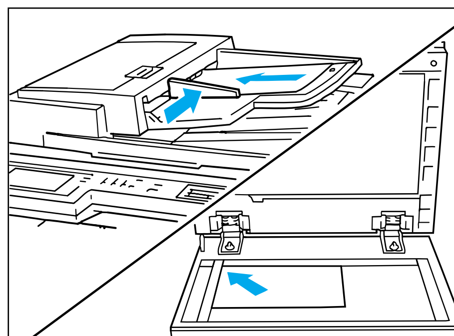
● 以下のとき、原稿の途中から設定を変更できます。
- ・ソート機能、小冊子作成機能を設定して、原稿を読み取り中
- ・OHPコピー機能の [白紙/色紙 挿入+配布用コピー] を選択して、原稿を読み取り中
- ・両面コピー機能を設定して、原稿ガラスで原稿のおもて面を読み取り後

操作手順

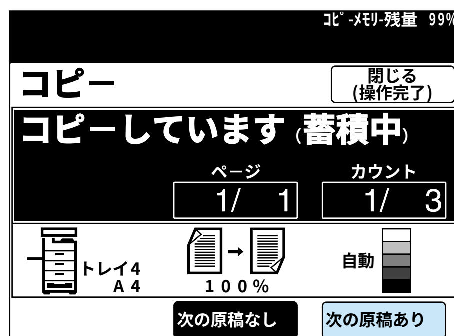
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 最初の設定で読み取る原稿をセットし、[スタート] を押します。



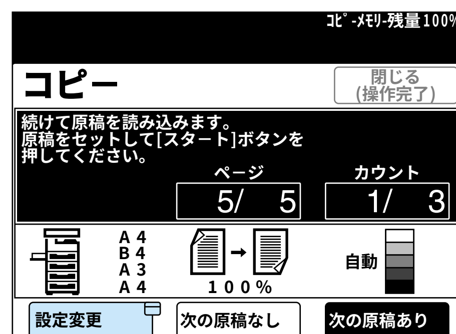
2 最初の原稿の読み取り中に、[次の原稿あり] を選択します。



● 原稿ガラスを使っているときは、1枚目の原稿を読み取り中に [次の原稿あり] を選択します。

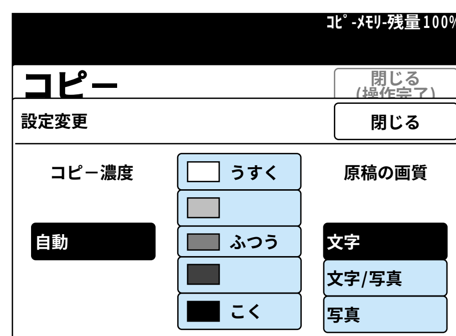
● 自動両面原稿送り装置を使っているときは、[次の原稿あり] を選択すると、機械は最初にセットした原稿をすべて読み取ってから、次の原稿のセットを待ちます。

3 設定変更 を選択します。



4 設定を変更します。

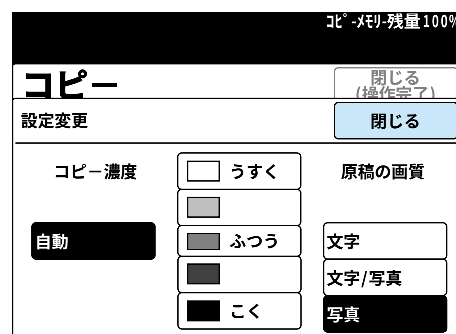
ここでは、例として原稿の種類を 写真 に変更します。



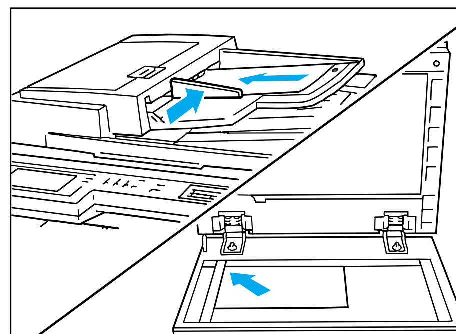
参照

- 「4-4 コピー濃度を調整する(コピー濃度)」
- 「5-3 原稿の画質に合わせてコピーする(原稿の画質)」

5 閉じる を選択します。



6 変更した設定でコピーしたい原稿をセットして、 スタート を押します。



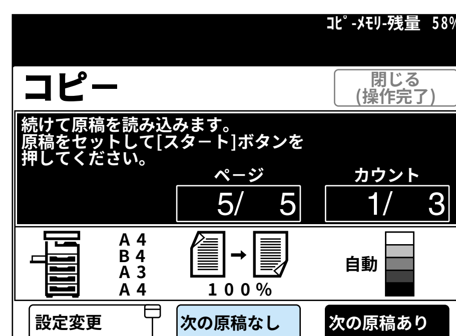
参照

- 「第3章 原稿のセット(コピー)」

● さらに設定を変更して読み取りたい原稿があるときには、操作手順3～6を繰り返します。

7 最後の原稿を読み取ったら、 次の原稿なし を選択します。

コピーが開始されます。



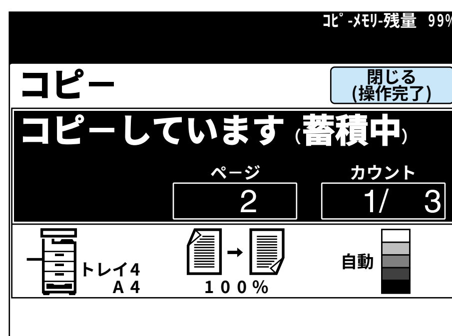
4-9 次のコピーの設定をする

原稿読み取り中やコピー出力中に、次のコピーの設定をしておくことができます。

● 次のファクスの設定を設定しておくこともできます。
● 電源投入後すぐに、コピー画面を表示させて原稿をセットし、[スタート] ボタンを押しておくと、機械が使用できる状態になり次第、自動的にコピーが実行されます。「1-3　電源を入れる/切る」の「スタート予約について」を参照してください。

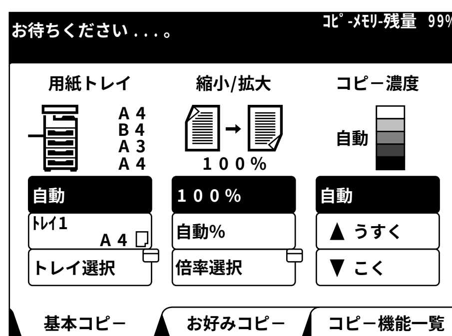
操作手順

1 原稿読み取り中やコピー出力中に、[閉じる(操作完了)] を選択します。



2 次のコピーの設定をします。

● ディスプレイのメッセージエリアに「お待ちください…。」と表示されていますが、設定できます。



補足

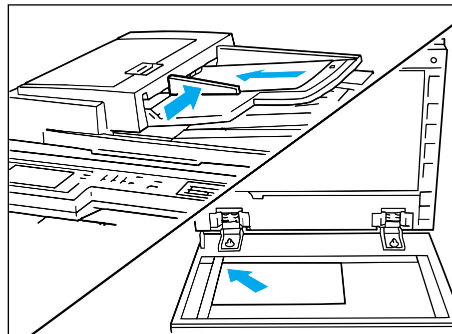
● コピー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] を2、3回押すと表示されます。

参照

● 「第3章 原稿のセット(コピー)」

3 前の原稿の読み取りが終わったら、次の原稿をセットし、[スタート] を押します。

● ディスプレイのメッセージエリアに「自動的にスタートします。(スタート予約中)」と表示され、前のコピーの出力が終了すると、自動的に次のコピーの読み取りが開始されます。

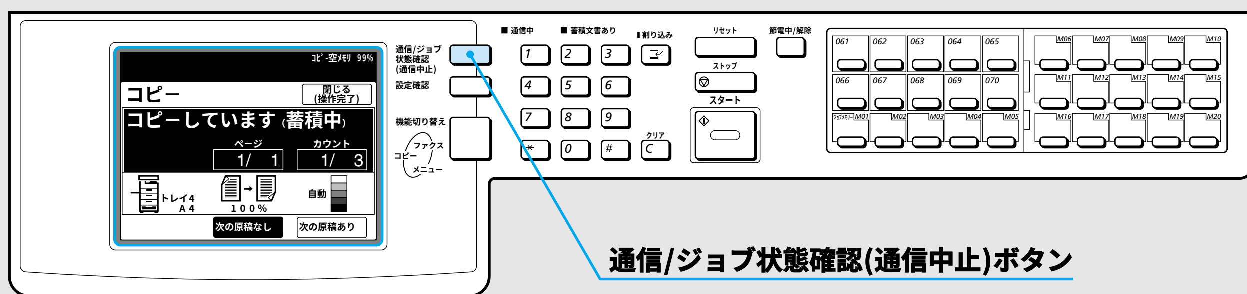


4-10 ジョブの状態確認やジョブの削除をする

通信/ジョブ状態確認(通信中止) ボタンを押すと、コピー中またはコピー排出待ちのジョブの状態を確認することができます。また、メモリーに蓄積されたジョブも削除することができます。

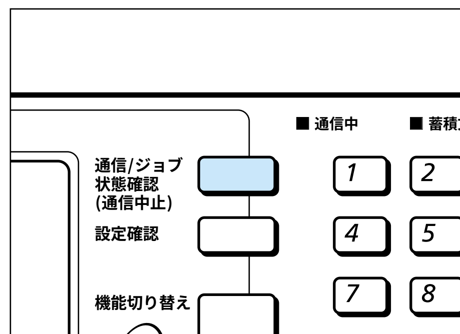
● ファクスやプリントのジョブ状態確認やジョブの削除をすることもできます。

ここで使うボタン



操作手順

1 コピー中またはコピー排出待ち中に、通信/ジョブ状態確認(通信中止) を押します。



通信/ジョブ状態確認画面が表示されます。ジョブを削除したいときは手順4へ進みます。

- 実行待ち 、 実行中 、 実行完了 を選択すると、それぞれの画面が表示されます。
- コピージョブは、コピーが完了しても 実行完了 の画面に表示されません。

選択したジョブを[ストップ]ボタンで中止できます。

通信/ジョブ状態確認　確認終了

実行待ち　実行中　実行完了

文書番号-ジョブ	相手/内容	ページ
コピー		2/ 5
0002- ファクス受信	0312345678	6

前ページ　次ページ　詳細表示　ストップ

2 **実行中 の画面に確認したいジョブが表示されていないときは、フォルダーインデックスの 実行待ち を選択します。**

● 実行待ち のジョブの状態確認や削除、 実行完了 のジョブの状態確認をするときは、それぞれの画面を表示させて、操作手順3の操作をします。

3 **ジョブの状態を詳しく確認したいときは、確認したいジョブを選択して、 詳細表示 を選択します。**
ジョブを削除する場合は、詳細表示画面の ストップ を押します。

手順5に進みます。

4 **ジョブを削除したいときは、削除したいジョブを選択して、次に ストップ または、タッチパネルディスプレイの ストップ を選択します。**

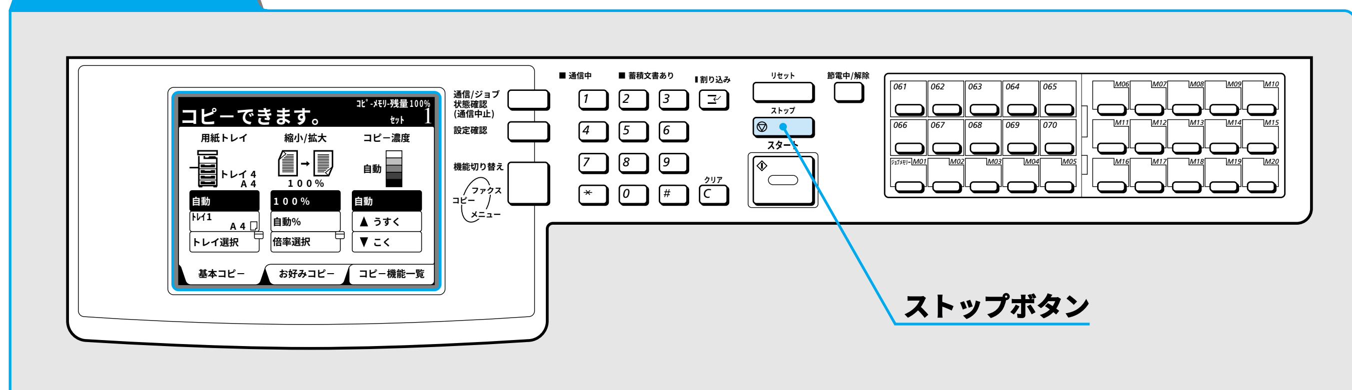
5 **確認終了 を選択し、もとの画面に戻ります。**

4-11 コピーを中止する

コピーを途中で中止するには、［ストップ］を押します。

● 読み取った文書がメモリーに蓄積された状態になったときは、「4-10　ジョブの状態確認やジョブの削除をする」を参照して削除してください。

ここで使うボタン

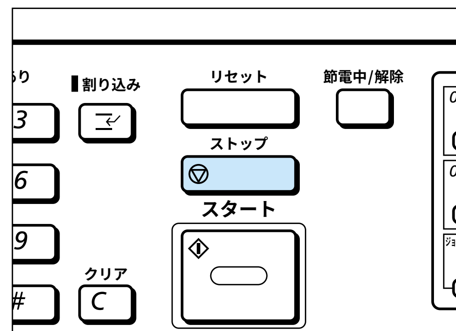


操作手順



コピー中に、［ストップ］を押します。

コピーが中止されます。

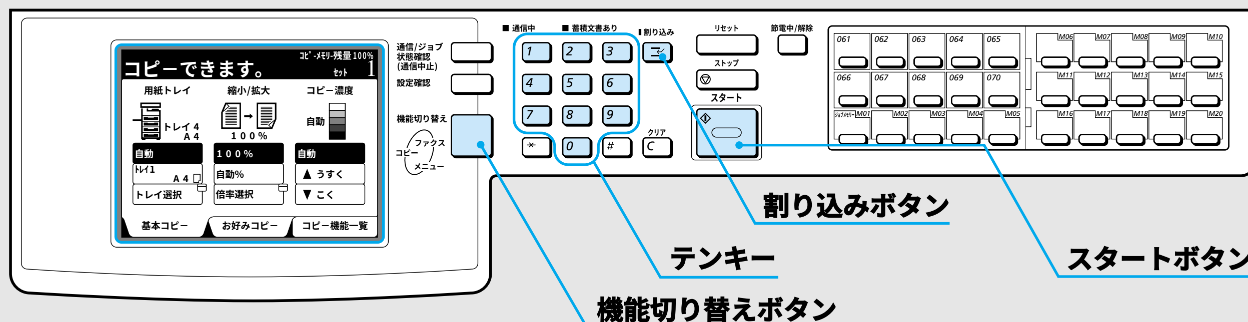


4-12 割り込んでコピーする

コピー中に割り込んで、急ぎのコピーを先にすませ、その後もとの中断したコピーを継続します。

● ファクスの受信プリント中でも割り込むことができますが、機械の動作状態によっては、割り込み機能がはたらかない場合があります。そのようなときは、動作中のプリントが終了するまでお待ちください。

ここで使うボタン

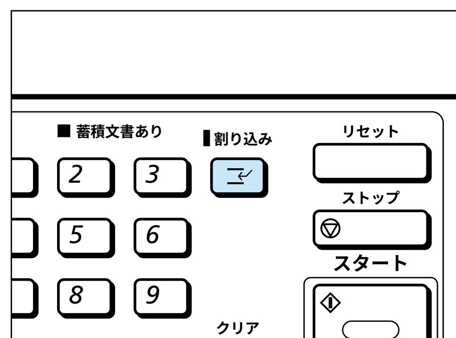


操作手順

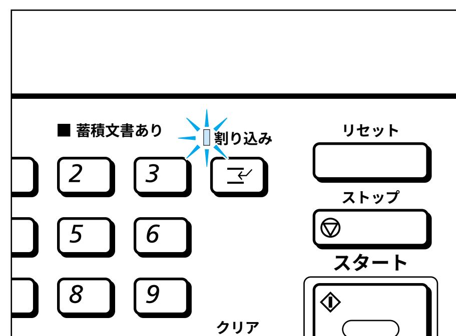
1 **割り込み を押します。**

割り込み 左上のランプが点灯します。

コピー中などの場合は、ランプが点滅し、割り込み予約され、割り込み可能になったときにランプが点灯に変わります。



● 受信文書などのプリント中の場合は、プリントが一時中断されます。



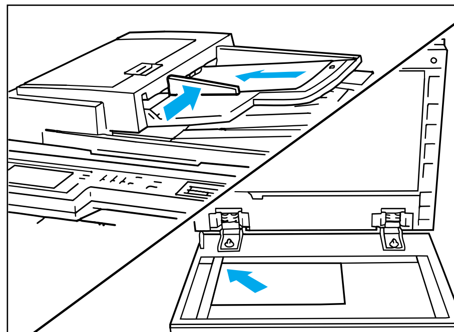
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

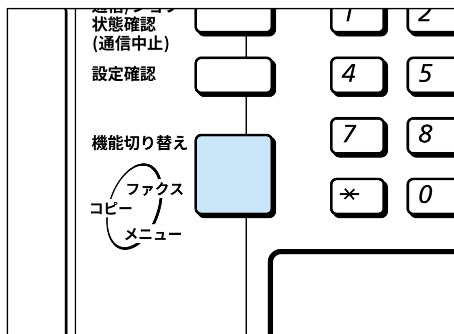
補足

●受信文書などのプリントを中断した場合は、原稿を取り除く作業は必要ありません。

2 もとの原稿を取り除き、割り込んでコピーする原稿をセットします。



3 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されていない場合は、 機能切り替え を1、2回押し、コピー画面を表示させます。



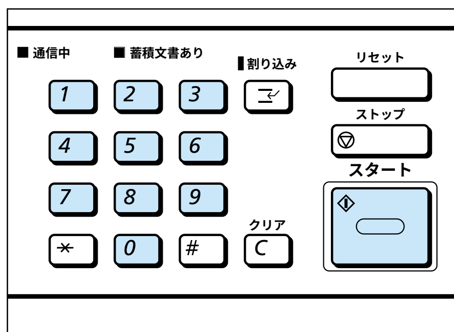
4 必要に応じて機能を設定します。

補足

●コピー枚数を間違えて入力した場合は、 C クリア を押して入力し直してください。

5 コピー枚数をテンキーで入力し、 スタート を押します。

コピーが出力されます。



6 割り込み を押します。



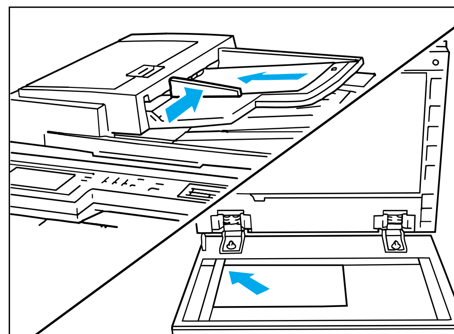
ランプが消灯します。

●受信文書などのプリントを中断していた場合は、自動的にプリントが再開されますので、操作手順7～8は必要ありません。



7 必要な場合は、もとの原稿をセットします。

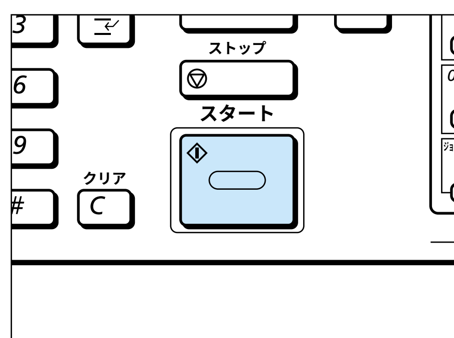
割り込み前の状態になります。



- 自動両面原稿送り装置を使っていた場合は、原稿再セットの画面が表示されることがあります。その場合は最初のページから原稿をセットします。
- 原稿ガラスを使っていた場合は、中断されたページからセットします。

8 [スタート]を押します。

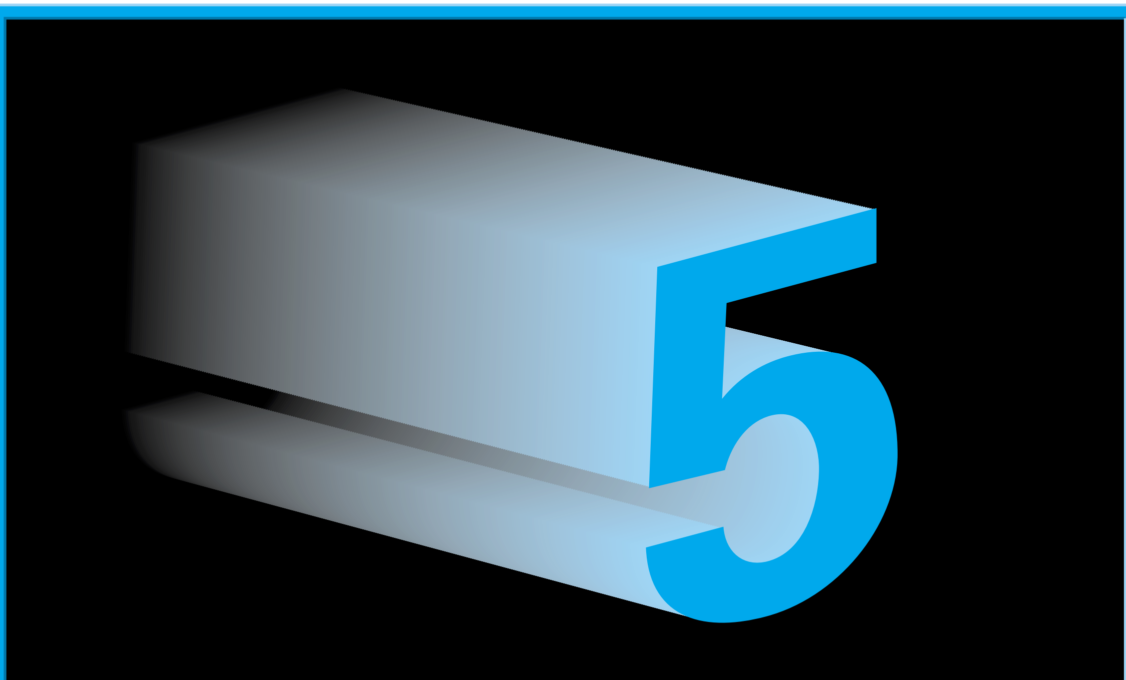
もとのコピー作業が再開されます。



補足

- 操作手順7で原稿を自動両面原稿送り装置に再セットした場合は、割り込む前の状態まで原稿が送られます。

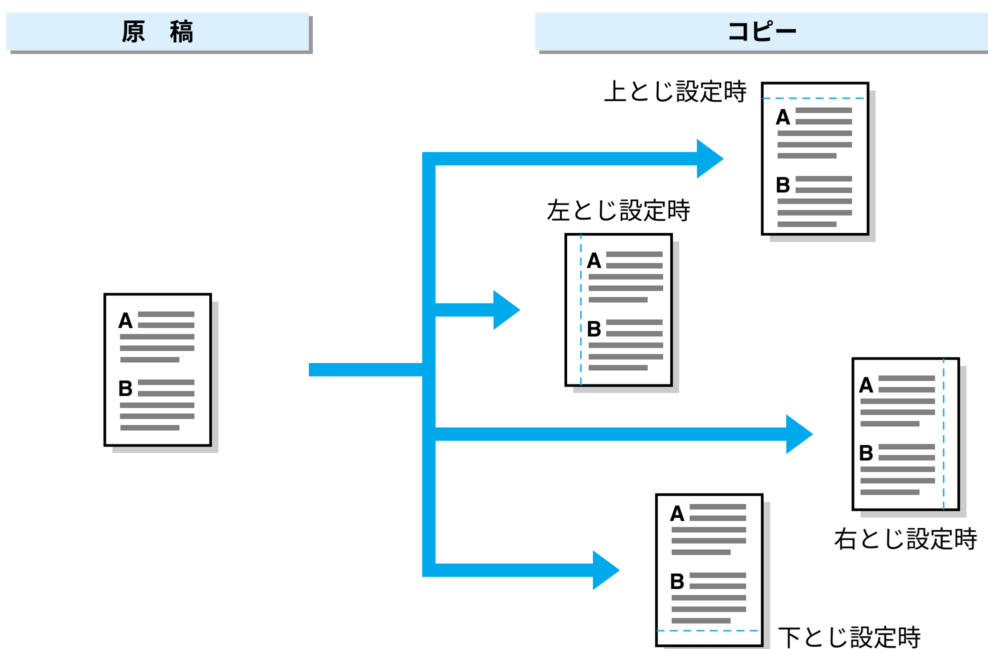
4 基本のコピーと操作



便利な機能を使ったコピー

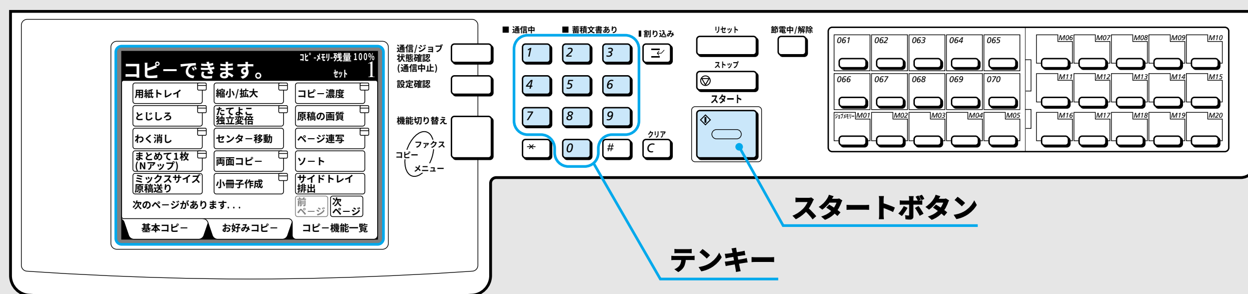
5-1 とじしろをつける(とじしろ)

原稿のイメージを上下左右にずらし、余白(とじしろ)をつけてコピーします。
ホチキスでとじたり、穴あけをする場合に便利です。
とじしろをつける位置により左右方向、上下方向を設定します。また両面コピーと併用するときは、うら面も設定できます。
とじしろ量は0～50mmの範囲で1mmきざみで設定できます。



- 上下方向と左右方向のとじしろを併用することもできます。
- 端までイメージがある原稿では、イメージが一部欠けてコピーされる場合があります。
- 同時に両面コピー機能を使ってコピーするときには、おもて面とうら面で異なったとじしろ量を設定することができます。
- まとめて１枚機能を併用すると、2枚または4枚の原稿を1枚に並べた状態でイメージを上下左右にずらしてコピーされます。
- とじしろ量は、縮小/拡大しても変わりません。

ここで使うボタン



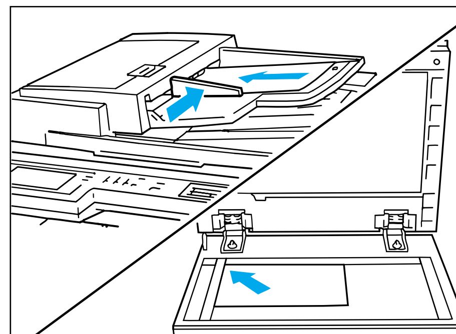
5 便利な機能を使ったコピー

操作手順

参照

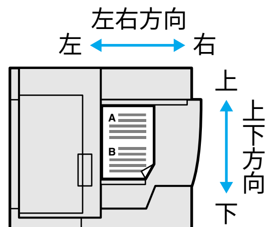
●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 原稿をセットします。

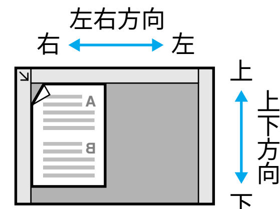


原稿のセットの向きと、とじしろがつく位置の関係は、以下のとおりです。

●自動両面原稿送り装置にセットする場合



●原稿ガラスにセットする場合



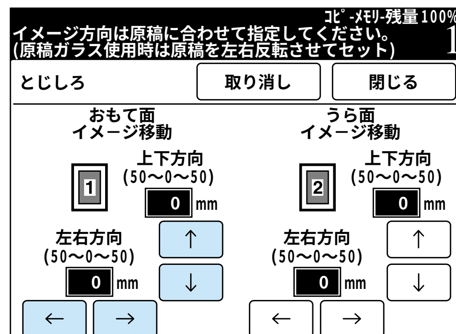
2 コピー機能一覧画面の［とじしろ］を選択します。



3 希望のとじしろ量を、［↑］［↓］［←］［→］を使って入力します。

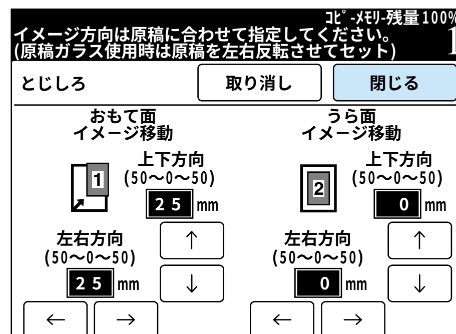
ここでは、例として上「25」mmと左「25」mmと入力します。

- ●同時に両面コピー機能を使うときには、おもて面とうら面の両方を設定します。
- ●片面にだけコピーするときは、うら面の設定をしてもコピーには反映されません。
- ●うら面の左右方向のイメージ移動は、おもて面と逆に設定します。



4 閉じる を選択します。

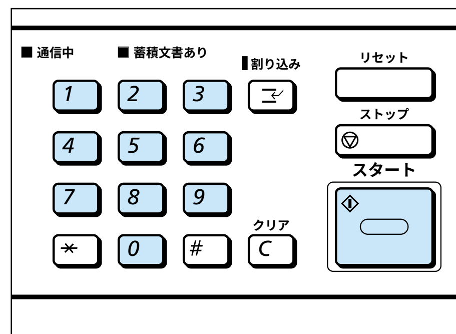
● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。



5 必要に応じてその他の機能を設定します。

6 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。

設定したとじしろ量でコピーされます。



参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

5

便利な機能を使ったコピー

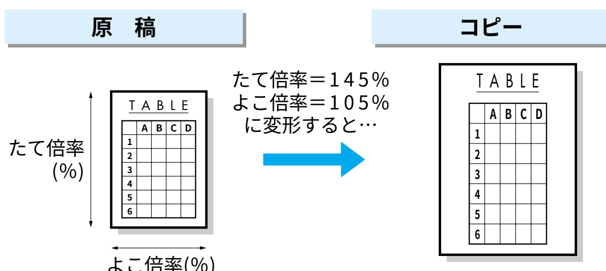
5-2 縦長/横長に変形する(たてよこ独立変倍)

原稿イメージを縦長/横長に変形してコピーするには、次の2つの方法があります。

補足

- 設定できる倍率は25～400%の範囲で1%きざみで設定できます。
- センター移動機能を併用すると右図のようにイメージが用紙のセンターにコピーされます。

●たて倍率とよこ倍率を別々に設定する

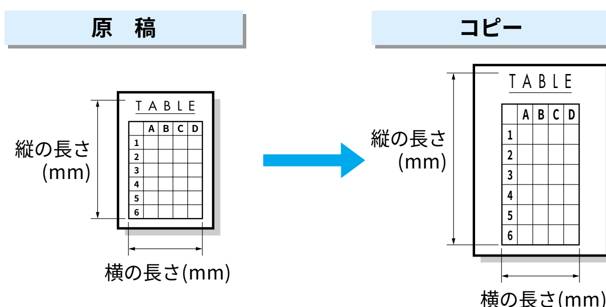


たて倍率とよこ倍率を別々に任意の倍率で設定して、原稿イメージを変形します。

補足

- 長さは1mmきざみで設定できます。
- センター移動機能を併用すると右図のようにイメージが用紙のセンターにコピーされます。

●原稿の長さとコピー後の長さを設定する



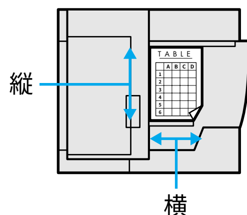
原稿の長さとコピーの長さを入力して、原稿イメージを変形します。

補足

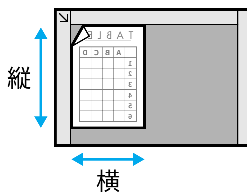
- 手差しトレイが設定されていると、たてよこ独立変倍の自動設定はできません。
- 自動両面原稿送り装置にA5 の原稿をセットした場合は、B5 の原稿サイズとして扱われます。

●原稿の縦と横の考え方

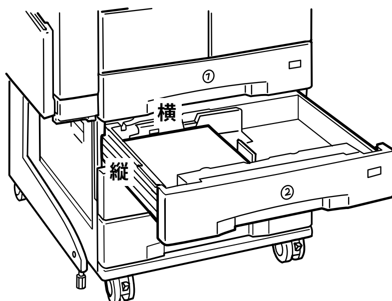
自動両面原稿送り装置のとき



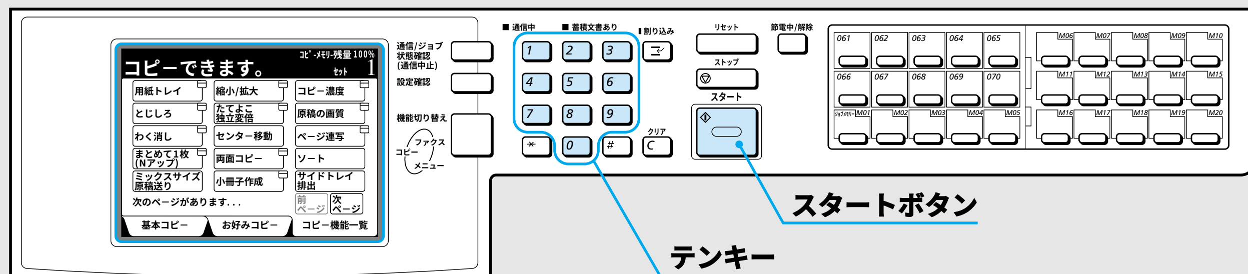
原稿ガラスのとき



●用紙の縦と横の考え方



ここで使うボタン



5

便利な機能を使ったコピー

たて倍率とよこ倍率を別々に設定する

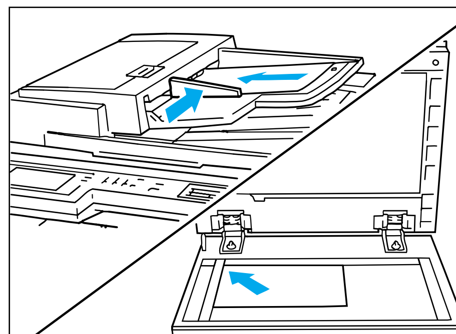
たて倍率とよこ倍率に、任意の倍率を別々に入力して原稿イメージを変形してコピーします。

操作手順

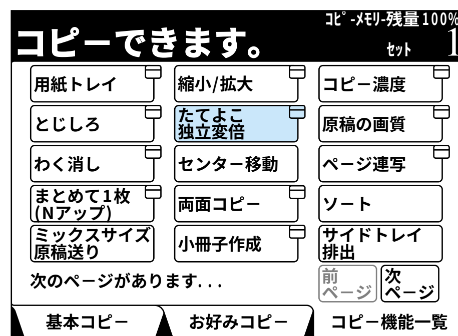
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 **原稿をセットします。**



2 **コピー機能一覧画面の たてよこ独立変倍 を選択します。**

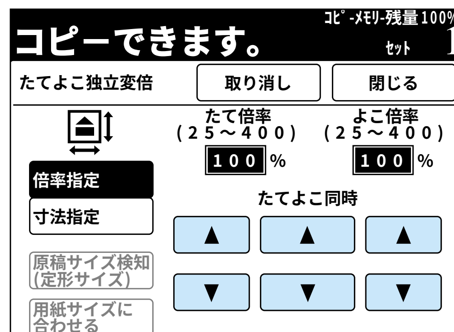


補足

● 同じ倍率でよいときには［たてよこ］同時の ▲ や ▼ を使うと たて倍率 と よこ倍率 の値が同時に増減します。

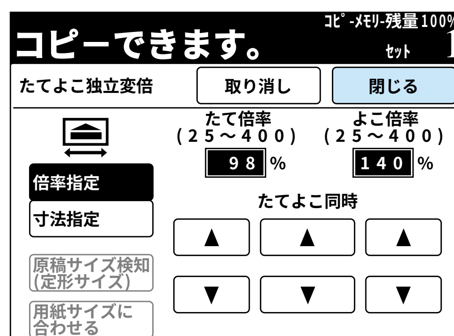
3 倍率指定 が黒く反転表示されているのを確認し、たて倍率とよこ倍率を、▲ や ▼ を使って入力します。

ここでは、例として［たて倍率］に「98」%、［よこ倍率］に「140」%と入力します。



4 閉じる を選択します。

● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。



5 必要に応じてその他の機能を設定します。

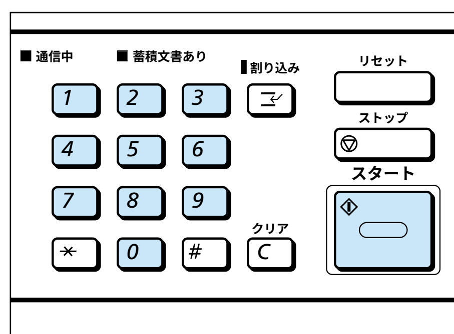
● たてよこ独立変倍 を設定したあとに 縮小/拡大 を設定すると、たてよこ独立変倍 の設定が解除されます。

補足

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

6 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。

設定した倍率で変形してコピーされます。



補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

原稿の長さとコピーの長さを設定する

原稿の長さとコピー後の長さを入力して、原稿イメージを変形してコピーします。
原稿の長さとコピー後の長さによって決まるたて倍率およびよこ倍率が、25%以下となる場合は25%、400%以上となる場合は400%の倍率でコピーされます。

操作手順

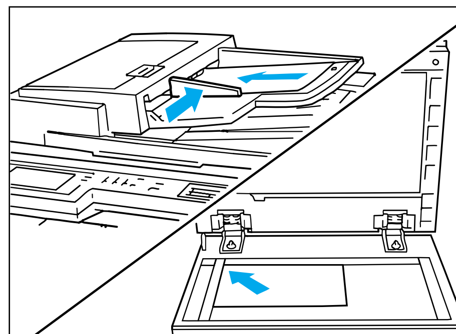
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

5

便利な機能を使ったコピー

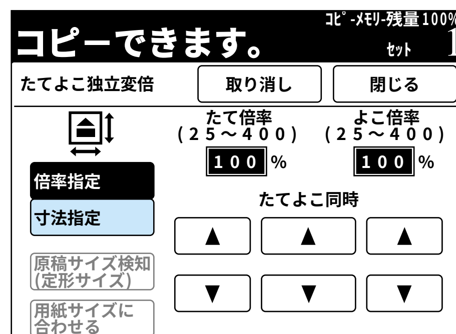
1 原稿をセットします。



2 コピー機能一覧画面の [たてよこ独立変倍] を選択します。



3 [寸法指定] を選択します。



4 ►たて倍率の原稿サイズの左横に ► があることを確認し、原稿の縦の長さをテンキーで入力します。

ここでは、例として「210」mmと入力します。

►原稿サイズが、検知することのできる定形サイズの場合は、原稿サイズ検知(定形サイズ) を選択し、手順6へ進みます。

コピーできます。 コピ-メモリ-残量100% セット 1
たてよこ独立変倍 取り消し 閉じる
たて倍率 (25～400) 100 % よこ倍率 (25～400) 100 %
倍率指定 寸法指定
原稿サイズ ► mm 原稿サイズ mm
原稿サイズ検知(定形サイズ) コピーサイズ mm コピーサイズ mm
用紙サイズに合わせる 決定/次選択

補足

● 数値を間違って入力したときには、C クリア を押すと消すことができます。

5 決定/次選択 を選択して、► を左側のコピーサイズの左横に移動させます。

コピーできます。 コピ-メモリ-残量100% セット 1
たてよこ独立変倍 取り消し 閉じる
たて倍率 (25～400) 100 % よこ倍率 (25～400) 100 %
倍率指定 寸法指定
原稿サイズ ► 210 mm 原稿サイズ mm
原稿サイズ検知(定形サイズ) コピーサイズ mm コピーサイズ mm
用紙サイズに合わせる 決定/次選択

6 ►コピー後の縦の長さをテンキーで入力します。

ここでは、例として「257」mmと入力します。

►コピーサイズが、用紙トレイにセットされている用紙サイズの場合は、用紙サイズに合わせる を選択し、手順9に進みます。

コピーできます。 コピ-メモリ-残量100% セット 1
たてよこ独立変倍 取り消し 閉じる
たて倍率 (25～400) 100 % よこ倍率 (25～400) 100 %
倍率指定 寸法指定
原稿サイズ 210 mm 原稿サイズ mm
原稿サイズ検知(定形サイズ) コピーサイズ ► mm コピーサイズ mm
用紙サイズに合わせる 決定/次選択

補足

● 数値を間違って入力したときには、C クリア を押すと消すことができます。

7 決定/次選択 を選択して ► の位置を移動させ、手順4～6の要領でよこ倍率の原稿サイズとコピーサイズの入力箇所に、原稿とコピー後の横の長さをテンキーで入力します。

ここでは、原稿サイズを「297」mm、コピーサイズを「330」mmと入力します。

コピーできます。 コピ-メモリ-残量100% セット 1
たてよこ独立変倍 取り消し 閉じる
たて倍率 (25～400) 100 % よこ倍率 (25～400) 100 %
倍率指定 寸法指定
原稿サイズ 210 mm 原稿サイズ mm
原稿サイズ検知(定形サイズ) コピーサイズ ► 257 mm コピーサイズ mm
用紙サイズに合わせる 決定/次選択

8 決定/次選択 を選択します。

9 閉じる を選択します。

● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

10 必要に応じてその他の機能を設定します。

● 用紙サイズに合わせる を選択した場合はコピーする用紙がセットされているトレイを選択します。

● たてよこ独立変倍 を設定したあとに 縮小/拡大 を設定すると、たてよこ独立変倍 の設定が解除されてしまいます。

11 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。

入力した原稿サイズとコピーサイズから計算されたたてよこそれぞれの倍率でコピーされます。

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

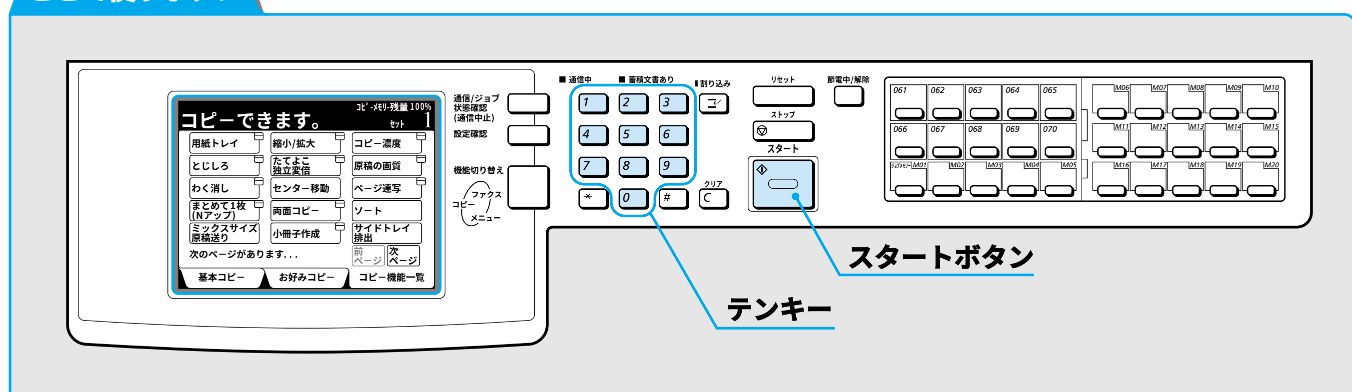
補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

5-3 原稿の画質に合わせてコピーする(原稿の画質)

写真、写真/文字が混在する原稿をコピーするとき、原稿の画質を設定すると原稿に応じた画質でコピーすることができます。

ここで使うボタン



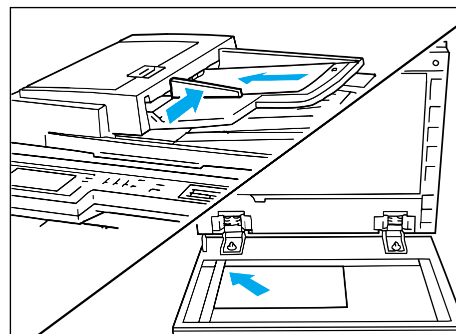
5 便利な機能を使ったコピー

操作手順

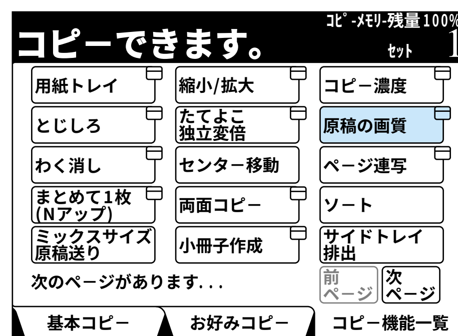
参照

●「第3章 原稿のセット(コピー)」

1 **原稿をセットします。**

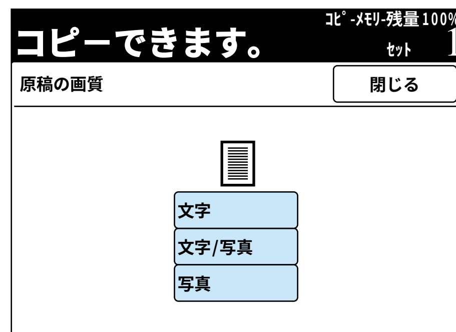


2 **コピー機能一覧画面の 原稿の画質 を選択します。**



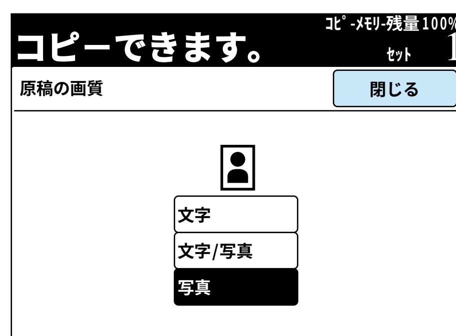
3 原稿の画質を選択します。

ここでは、例として 写真 を選択します。



● 各ボタンの選択は、次のような原稿のとき選択します。
- 文字 ：文字や線の原稿
- 文字/写真 ：文字と写真が混在する原稿
- 写真 ：写真原稿

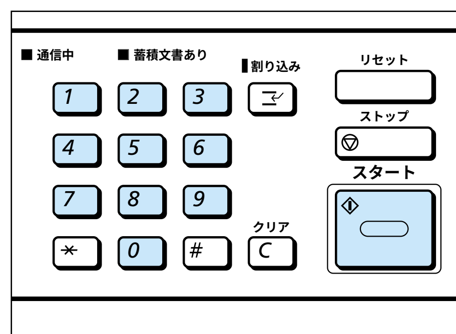
4 閉じる を選択します。



5 必要に応じてその他の機能を設定します。

6 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。

原稿の種類に合った画質でコピーされます。



5

便利な機能を使ったコピー

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

補足

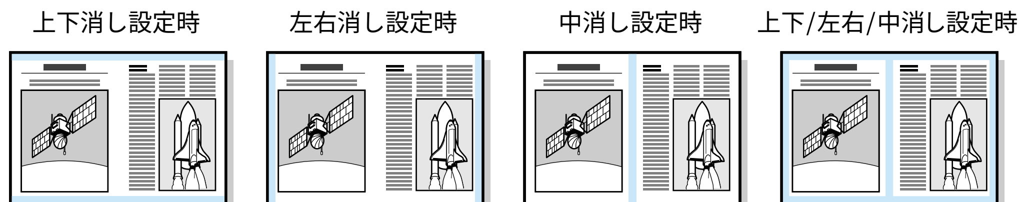
● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

5-4 原稿の影を消す(わく消し)

参照

● わく消し量の初期値は設定することができます。設定方法については「6-1　仕様設定について」を参照してください。

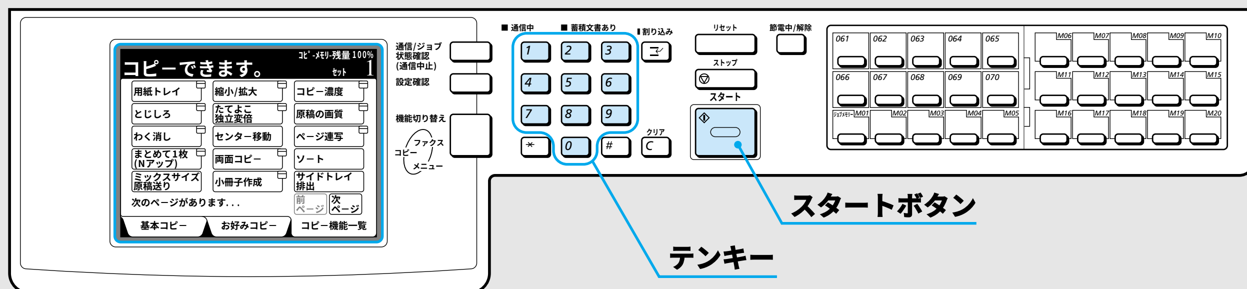
原稿カバーを開いたままコピーしたり、冊子になっている原稿などをコピーしたときに、コピーのまわりや中央に影がついてコピーされることがあります。
このようなときに、わく消し機能を使うと影を消してコピーすることができます。



：影が消える部分

● わく消しの設定にかかわらず、機械の制限により用紙の周囲約2mmのイメージは消されてコピーされます。
● 縮小/拡大機能やページ連写機能を組み合わせてコピーする場合は、縮小/拡大やページ分割する前の原稿イメージに対してわく消しされます。
● まとめて１枚機能を組み合わせてコピーする場合は、ページを合成する前の個々の原稿イメージに対してわく消しされます。
● 多重手差しトレイにセットした用紙にわく消しする場合は、定形サイズの原稿を使用し倍率を必ず指定してコピーしてください。指定しないとわく消し位置がずれる場合があります。

ここで使うボタン

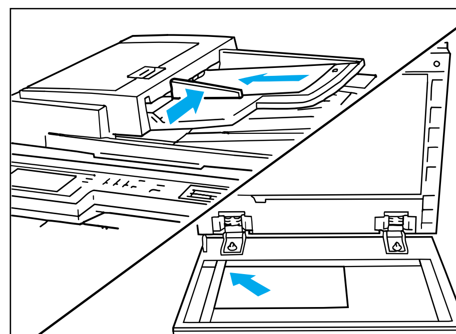


操作手順

参照

●「第3章 原稿のセット(コピー)」

1 原稿をセットします。



5

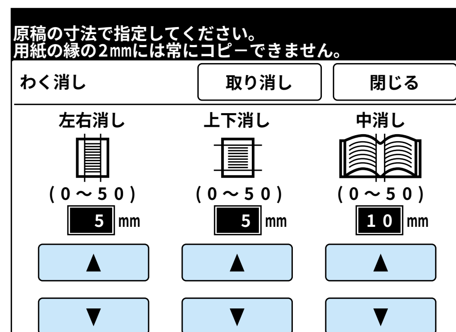
便利な機能を使ったコピー

2 コピー機能一覧画面の [わく消し] を選択します。

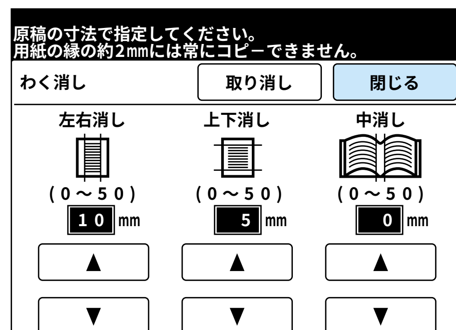


3 左右消し、上下消し、中消しのわく消し量を、[▲] や [▼] を使って入力します。

ここでは、例として左右消しを「10」mm、上下消しを「5」mm、中消しを「0」mmと入力します。



4 [閉じる] を選択します。



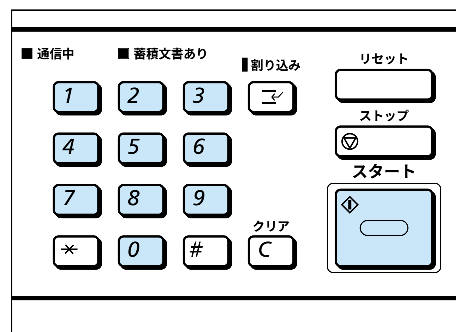
補足

● [取り消し] を選択すると設定が取り消されます。

5 必要に応じてその他の機能を設定します。

6 コピー枚数をテンキーで入力し、[スタート] を押します。

わく消しされて、コピーされます。



補足

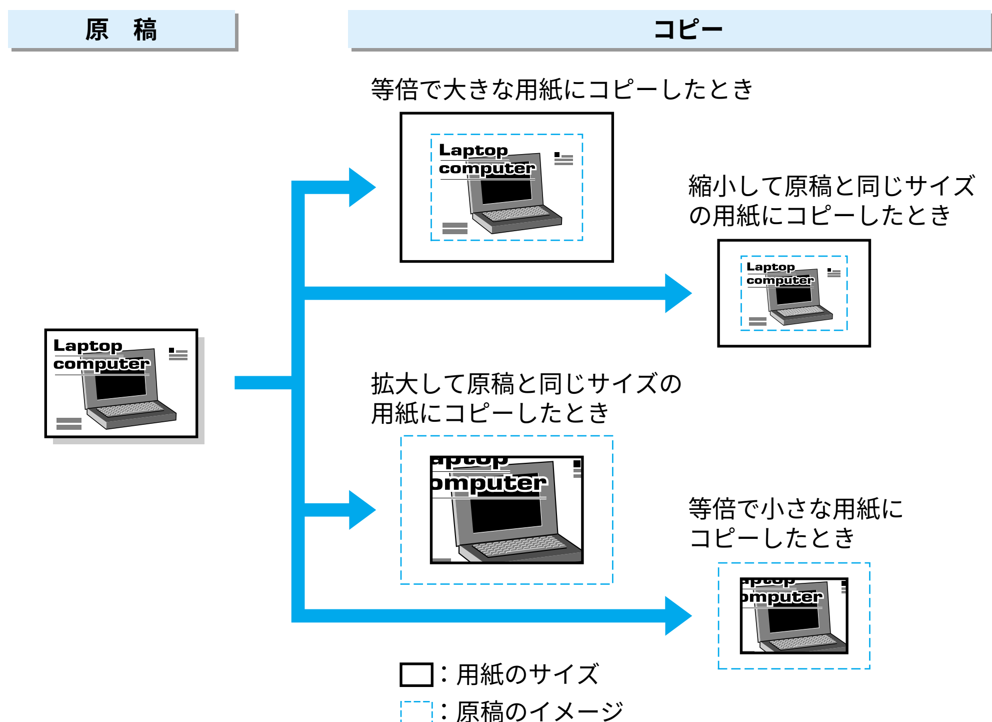
● コピー枚数を間違えて入力した場合は、[C クリア] を押して入力し直してください。

5-5 原稿イメージを中央に移動する(センター移動)

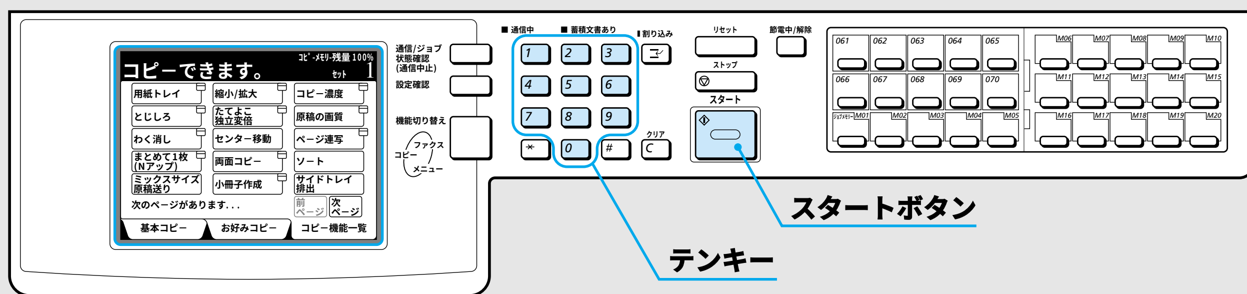
原稿の中心を用紙の中央に自動的に移動してコピーします。

補足

● 多重手差しトレイにセットした用紙を使うときはセンター移動はできません。



ここで使うボタン



5

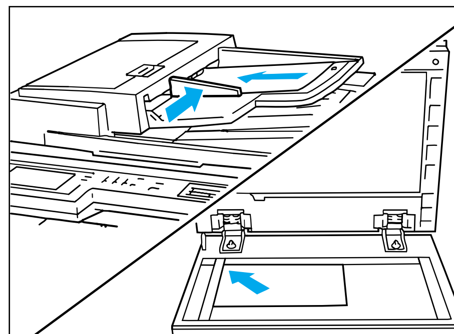
便利な機能を使ったコピー

操作手順

参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 **原稿をセットします。**



2 **コピー機能一覧画面の センター移動 を選択します。**



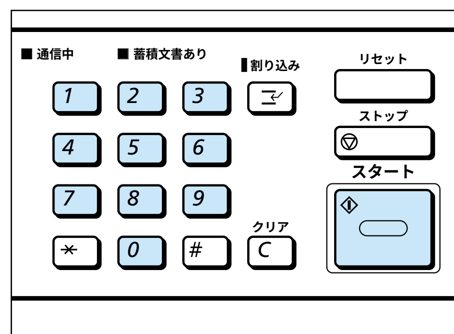
3 **必要に応じてその他の機能を設定します。**

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

4 **コピー枚数をテンキーで入力し、 スタート を押します。**

原稿イメージが用紙の中央に移動してコピーされます。

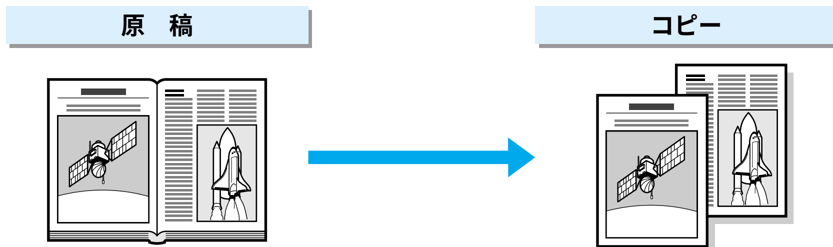


補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、 C クリア を押して入力し直してください。

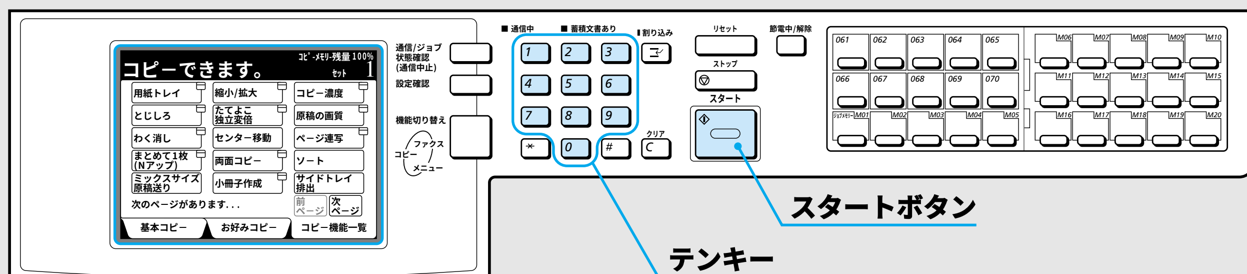
5-6 見開き原稿を左右に分割する(ページ連写)

とじた原稿の見開きページを別々の用紙にコピーします。
冊子になっている原稿の左右のページを分けてコピーしたいときなどに便利です。



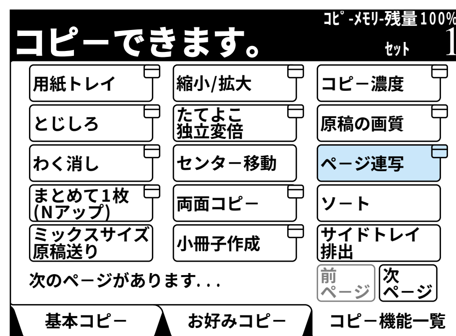
- ページ連写機能は、自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときは使用できません。
- 分割部分（原稿のとじ部分）の原稿イメージが2～4mm欠けてコピーされます。
- まとめて１枚、ミックスサイズ原稿送り、両面→片面コピー、両面→両面コピー、小冊子作成を併用してページ連写機能は使えません。
- 定形外の原稿やサイズを検知できない原稿などは、正確に2等分されない場合があります。

ここで使うボタン



操作手順

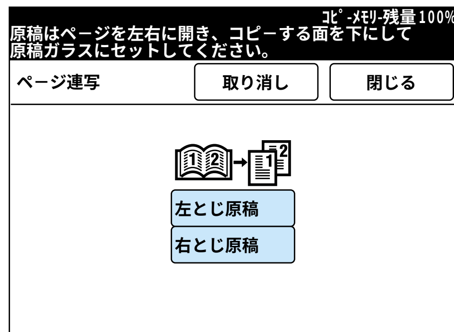
1 コピー機能一覧画面の ページ連写 を選択します。



2 左とじ原稿 または 右とじ原稿 を選択します。



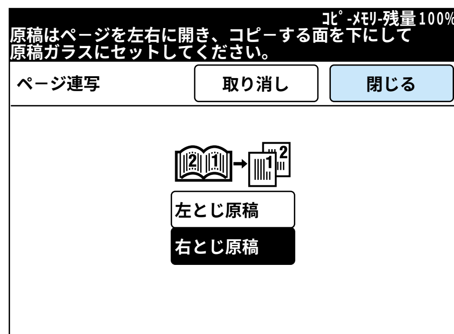
ここでは、例として 右とじ原稿 を選択します。



補足

● 左とじ原稿 と 右とじ原稿 を間違って選択すると、コピーが正しい順番で排出されません。

3 閉じる を選択します。



補足

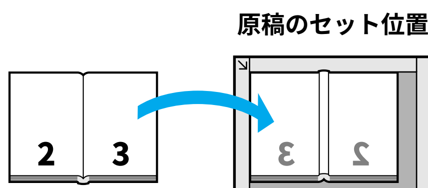
● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

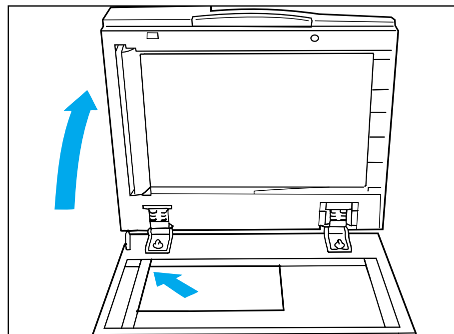
参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

4 必要に応じてその他の機能を設定します。

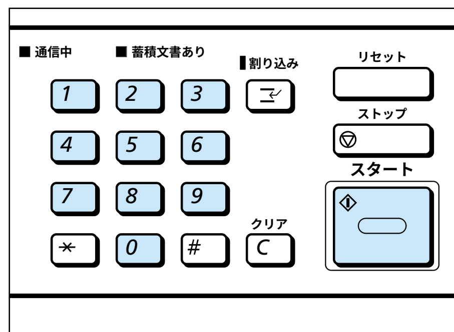
5 原稿を原稿ガラスにセットします。





6 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。

原稿の見開きページが、別々の用紙にコピーされます。



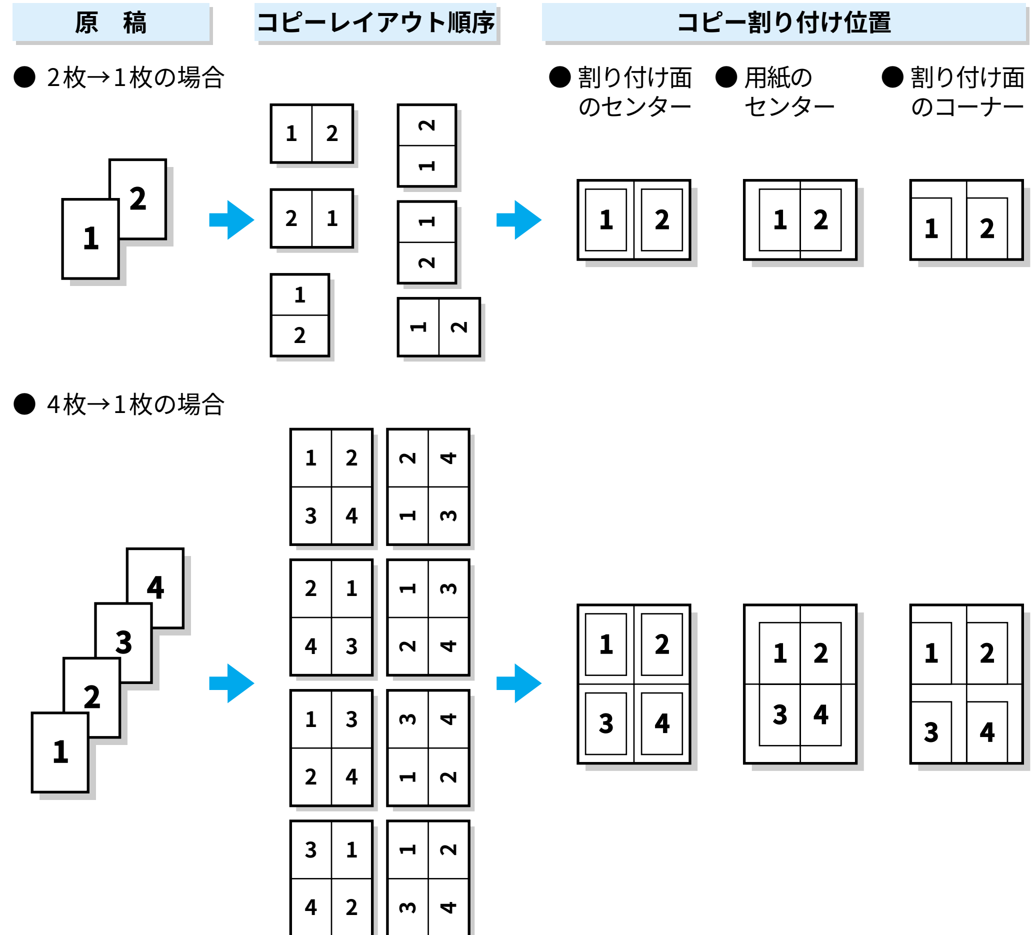
補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

5 便利な機能を使ったコピー

5-7 2枚または4枚の原稿を1枚の用紙にコピーする(まとめて1枚)

自動両面原稿送り装置に原稿をセットして、片面原稿の1枚めと2枚め（両面原稿の場合はおもて面とうら面）または、1枚めから4枚めまでを1枚の用紙にコピーします。用紙を節約することができ、コピー代も節約することができます。また、コピーの割り付け位置も設定することができます。

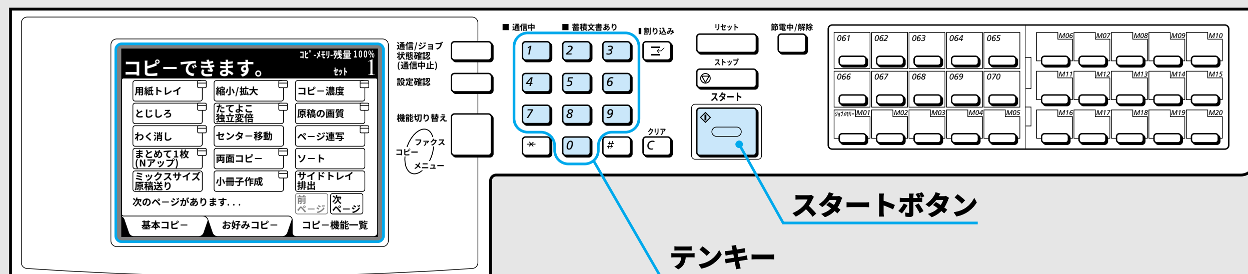


- とじしろ機能を組み合わせてコピーする場合は、割り付けられたイメージを上下左右にずらしてコピーされます。
- わく消し機能を組み合わせてコピーする場合は、ページを合成する前の個々の原稿イメージに対してわく消しされます。
- ミックスサイズ原稿送り機能、小冊子作成機能、ページ連写機能、多重手差しトレイからのコピーが設定されているときは、まとめて１枚はできません。

5

便利な機能を使ったコピー

ここで使うボタン

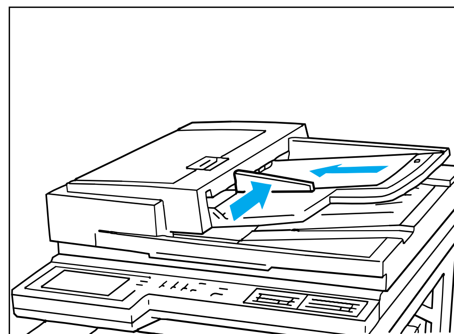


操作手順

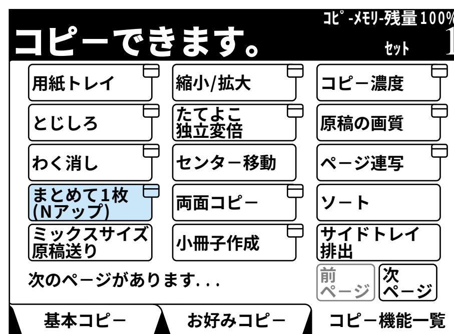
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 **原稿を自動両面原稿送り装置にセットします。**

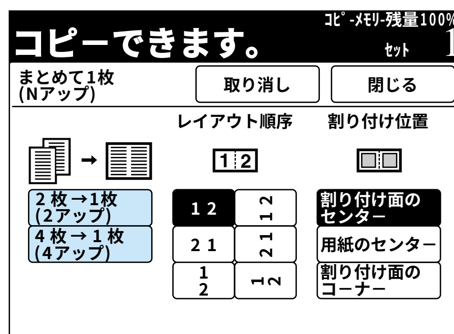


2 **コピー機能一覧画面の まとめて1枚(Nアップ) を選択します。**



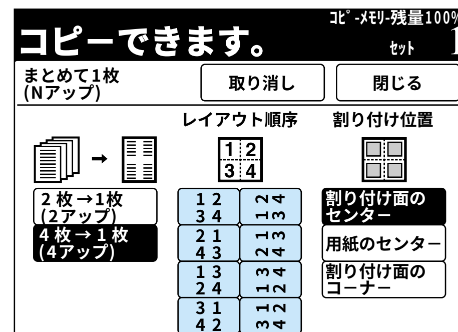
3 **2枚→1枚(2アップ) または 4枚→1枚(4アップ) を選択します。**

ここでは 4枚→1枚(4アップ) を選択します。



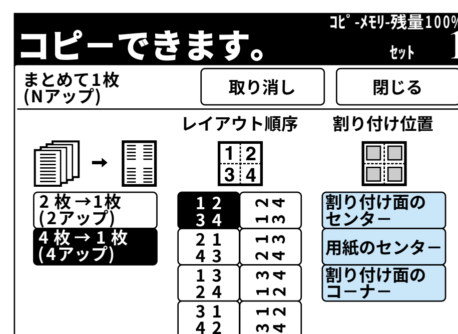
4 レイアウト順序を選択します。

ここでは [1 2 / 3 4] を選択します。

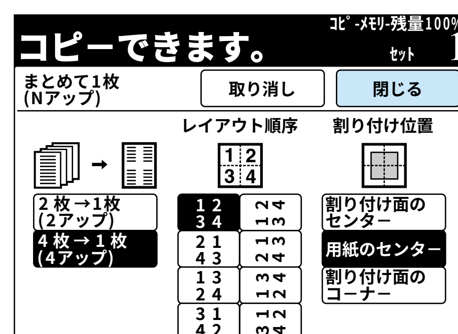


5 割り付け位置を選択します。

ここでは [用紙のセンター] を選択します。



6 [閉じる] を選択します。

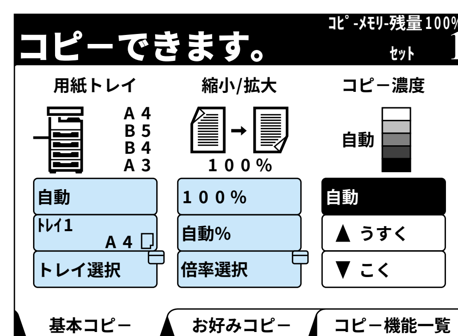


補足

● [取り消し] を選択すると、設定が取り消されます。

7 コピーする用紙を選択し、用紙サイズに応じた倍率を選択します。

● 縮小/拡大で [自動%] を選択すると、2アップまたは4アップの画像が選択した用紙サイズに収まるようにコピーされます。



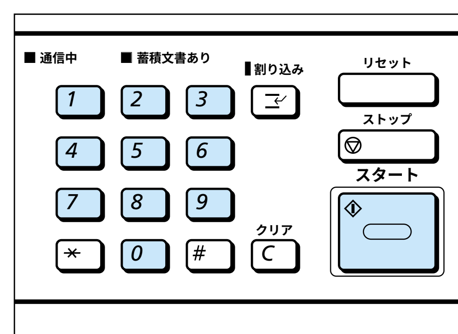
参照

●「4-2 用紙を選ぶ(用紙トレイ)」
●「4-3 倍率を選ぶ(縮小/拡大)」
● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B 機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

8 必要に応じてその他の機能を設定します。

9 コピー枚数をテンキーで入力し、[スタート] を押します。

コピーが開始されます。



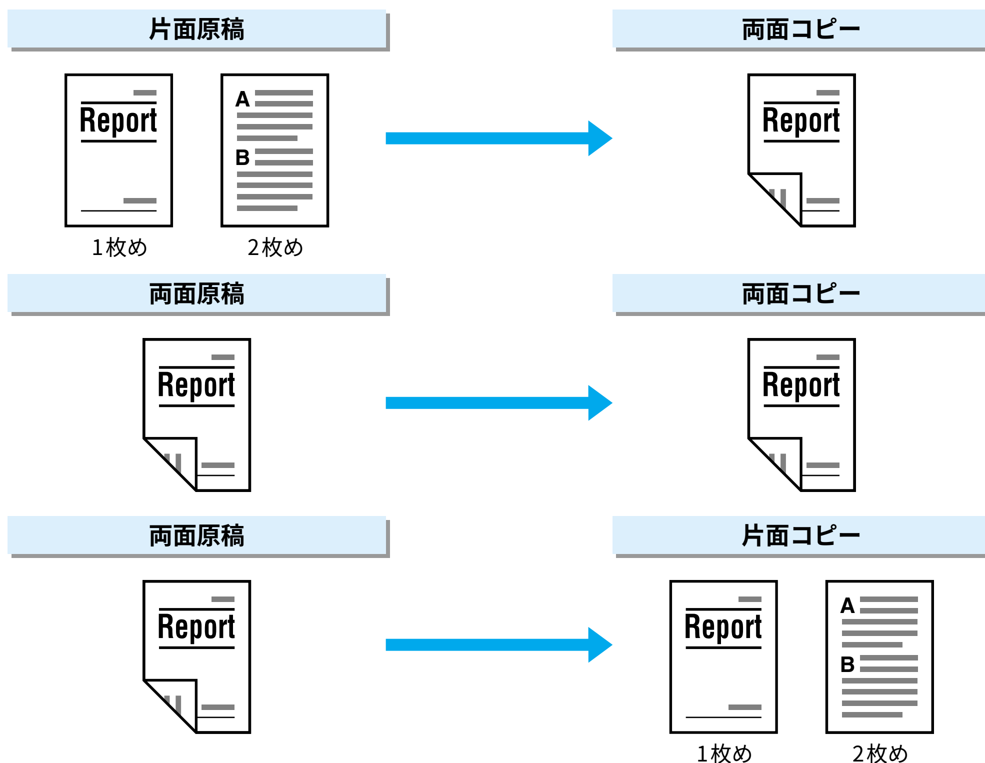
補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、[C クリア] を押して入力し直してください。

5-8 両面コピーする

両面コピーには、次の3つの方法があります。

●片面原稿を両面コピーする（自動両面ユニット（オプション）装着機）
●両面原稿を両面コピーする（自動両面ユニット（オプション）装着機）
●両面原稿を片面コピーする

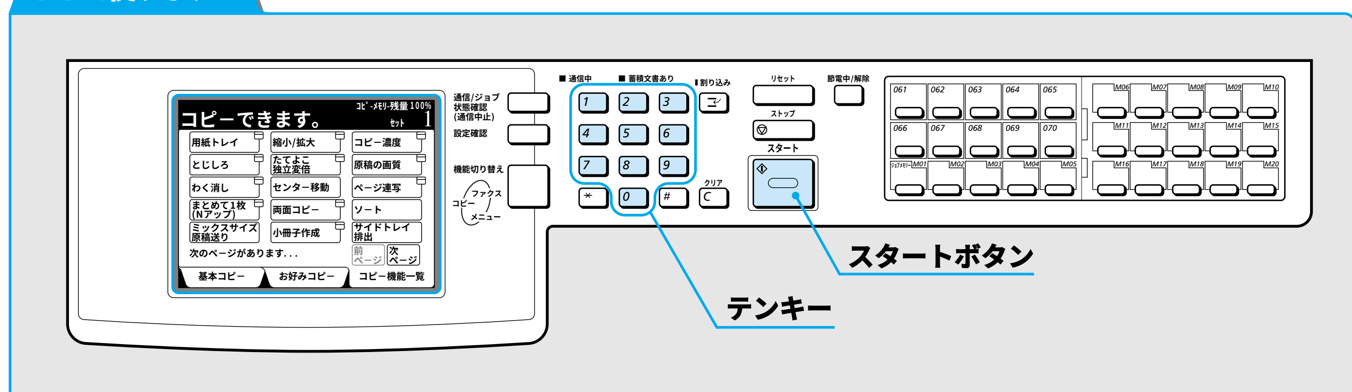


原稿のセット方法とオプションの自動両面ユニットの有無によって、可能な両面コピーは次のようになります。

	自動両面ユニットを装備している場合に可能な両面コピー	自動両面ユニットを装備していない場合に可能な両面コピー
原稿ガラスに原稿をセット	片面→両面	—
自動両面原稿送り装置に原稿をセット	片面→両面 両面→両面 両面→片面	両面→片面

● メモリーがいっぱいになったときには、両面コピーできません。タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。
● 多重手差しトレイを使用した場合には、両面→片面 のみ有効です。
● ページ連写を設定した場合には、片面→両面 のみ有効です。

ここで使うボタン



片面原稿を両面コピーする

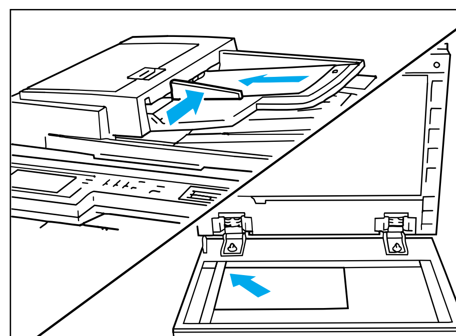
片面原稿を両面コピーする手順を説明します。

操作手順

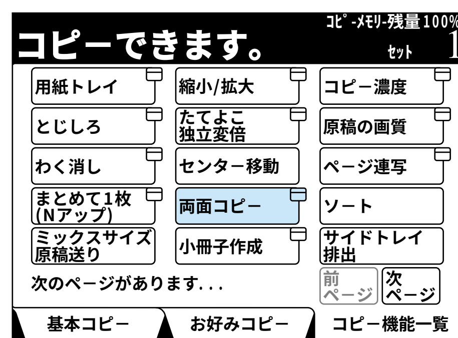
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

1 原稿をセットします。



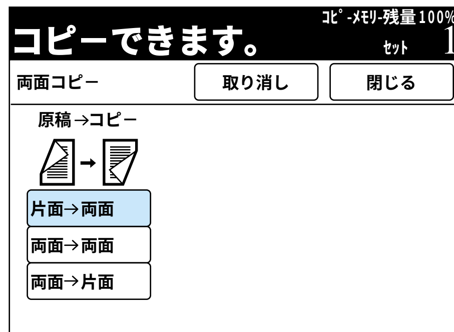
2 コピー機能一覧画面の 両面コピー を選択します。



補足

● 自動両面ユニットを装備していない場合は、片面→両面 は使用できません。

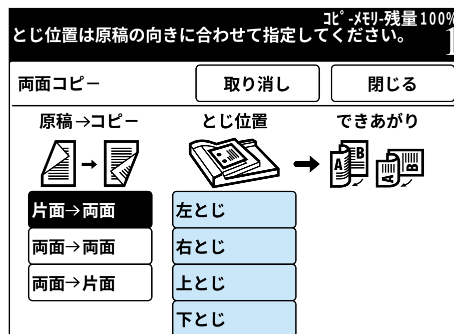
3 片面→両面 を選択します。



4 原稿の向きに合わせて 左とじ 、右とじ 、上とじ 、下とじ のいずれかを選択します。

ここでは、例として 右とじ を選択します。

● 左とじ 、右とじ 、上とじ 、下とじ の選択によって、以下の図のようにおもて面とうら面の天地が自動的に調整されます。

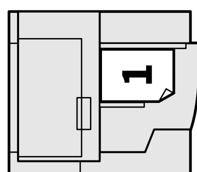


●とじ位置選択の考えかたとコピー結果

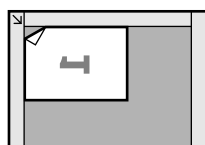
原稿を □ 方向にセットしたとき

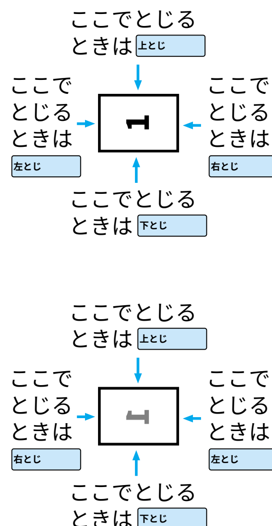
原稿セットの方法	とじ位置選択の考えかた	コピー結果

自動両面原稿送り装置



原稿ガラス



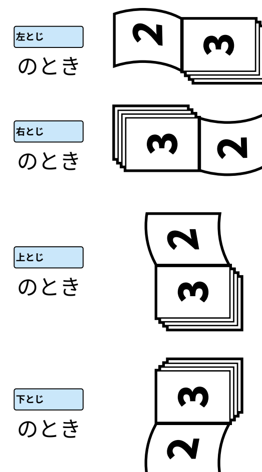


左とじ のとき

右とじ のとき

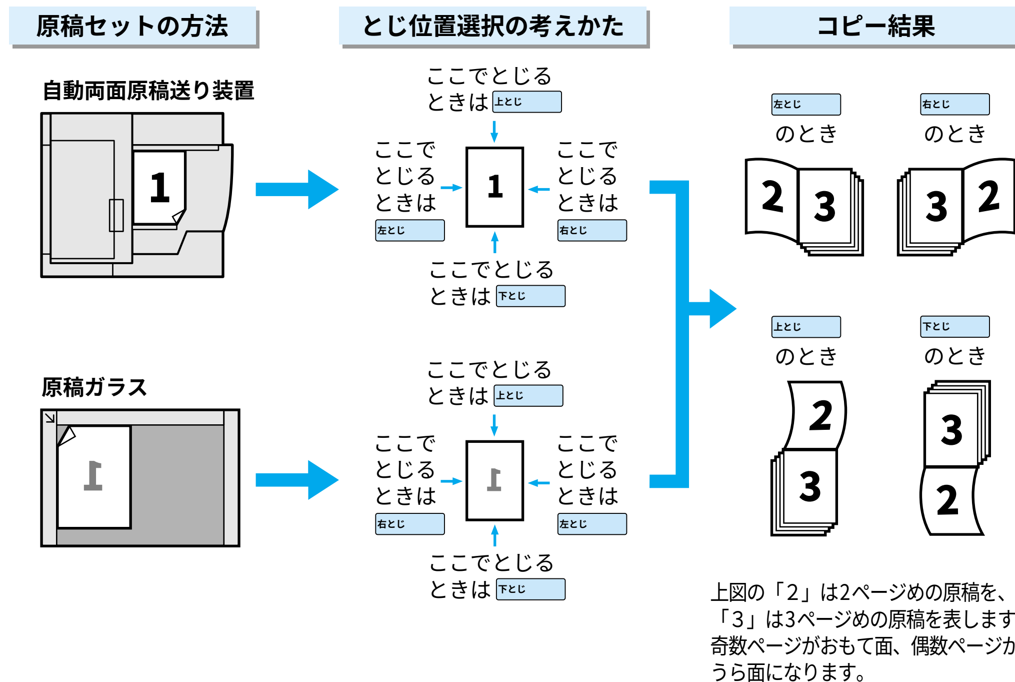
上とじ のとき

下とじ のとき



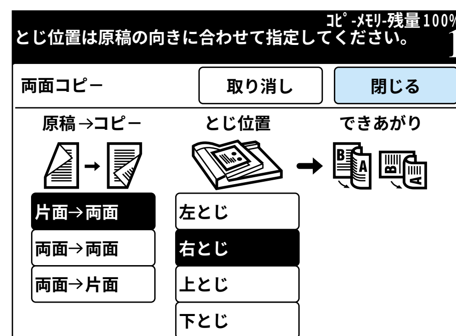
上図の「2」は2ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。

原稿を方向にセットしたとき



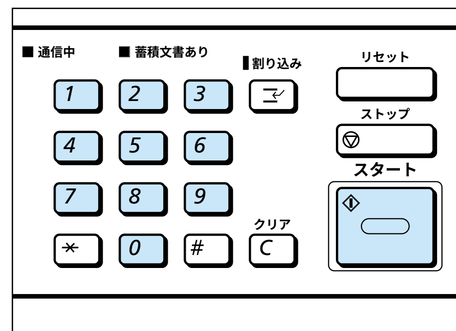
上図の「2」は2ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。

5 閉じる を選択します。



6 必要に応じてその他の機能を設定します。

7 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。



両面にコピーされます。原稿が奇数枚のときは、コピーの最後のページは片面でコピーされます。

- 原稿を原稿ガラスにセットする場合は、原稿のセットと スタート を押す操作を繰り返します。原稿の読み取りが、おもて面で終わる場合は 次の原稿なし を選択します。

補足

- 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

参照

- 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

参照

- 「3-2　原稿をセットする」の「次の原稿があるとき」を参照してください。

両面原稿を両面コピーする

両面原稿を両面コピーする手順を説明します。

● 自動両面ユニットを装備していない場合は、両面→両面 は使用できません。

操作手順

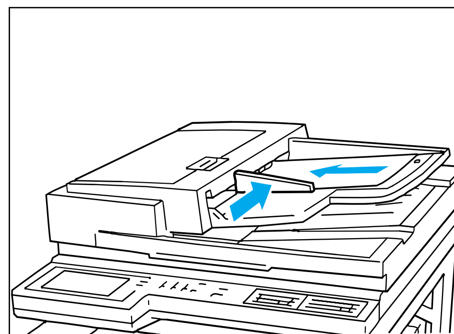
参照

●「第3章 原稿のセット（コピー）」

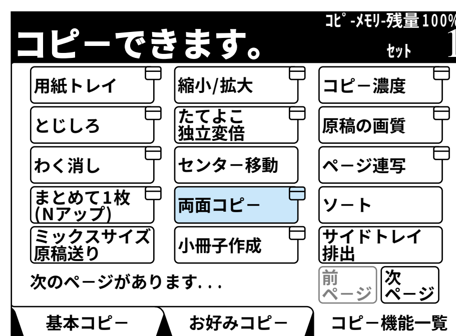
5

便利な機能を使ったコピー

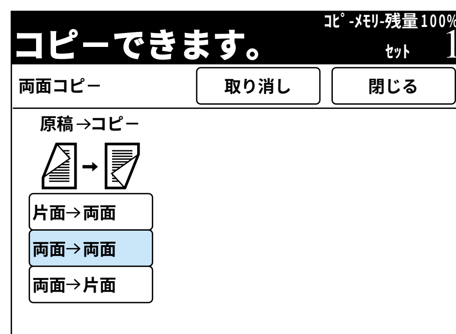
1 自動両面原稿送り装置に原稿をセットします。



2 コピー機能一覧画面の 両面コピー を選択します。



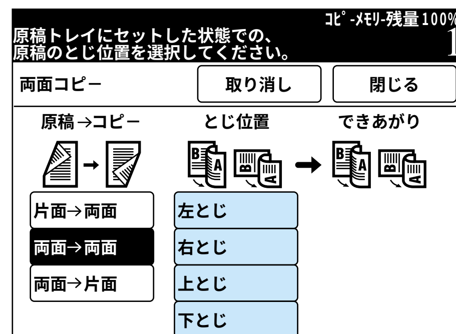
3 両面→両面 を選択します。



4 原稿の状態に合わせて 左とじ 、右とじ 、上とじ 、下とじ のいずれかを選択します。

ここでは例として 右とじ を選択します。

● まとめて1枚、またはOHPコピーの白紙／色紙挿入＋配布用コピーと併用するときのみ、原稿に合ったとじ位置を選択してください。

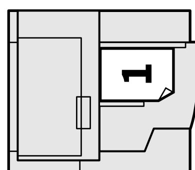


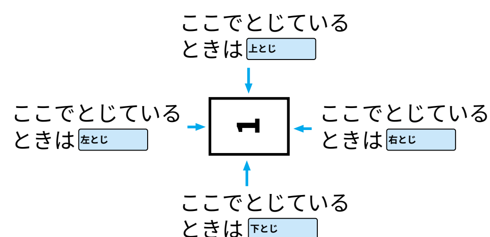
●とじ位置選択の考えかた

原稿を 方向にセットしたとき

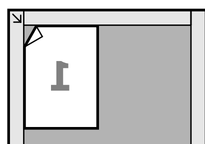
原稿セットの方法	原稿のとじ位置選択の考えかた

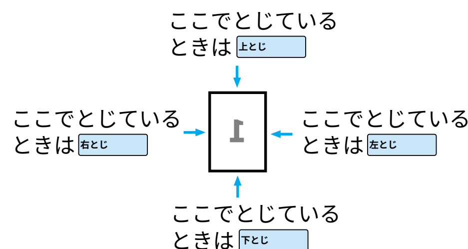
自動両面原稿送り装置



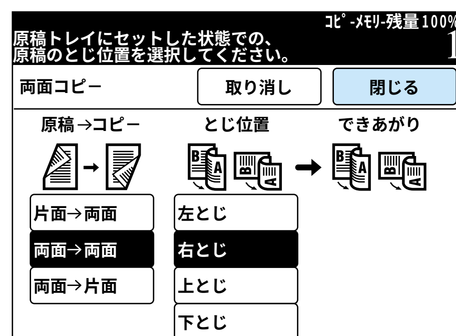


原稿ガラス





5 閉じる を選択します。



6 必要に応じてその他の機能を設定します。

補足

● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

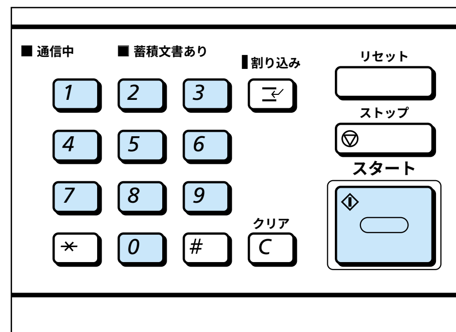
5 便利な機能を使ったコピー

補足

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

7 コピー枚数をテンキーで入力し、◇スタート を押します。

両面コピーされます。



両面原稿を片面コピーする

両面原稿のおもて面とうら面を、2枚の用紙に片面コピーする手順を説明します。

5

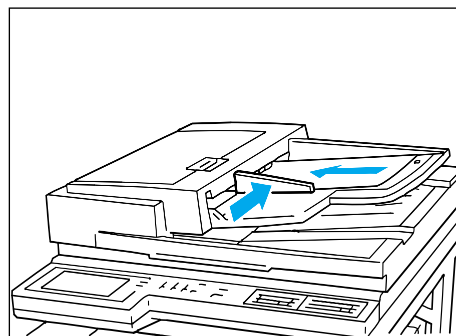
便利な機能を使ったコピー

操作手順

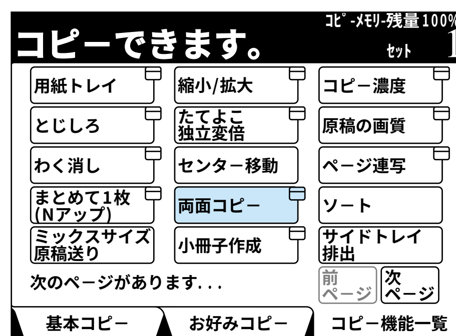
参照

● 「第3章 原稿のセット（コピー）」

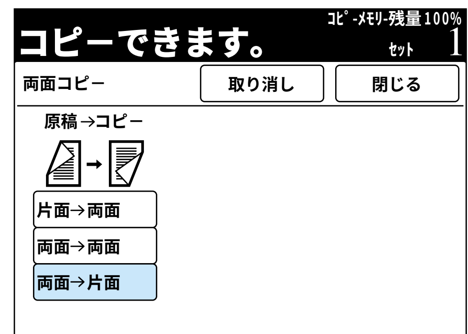
1 自動両面原稿送り装置に原稿をセットします。



2 コピー機能一覧画面の 両面コピー を選択します。



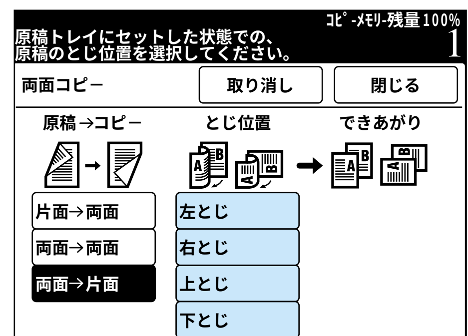
3 両面→片面 を選択します。



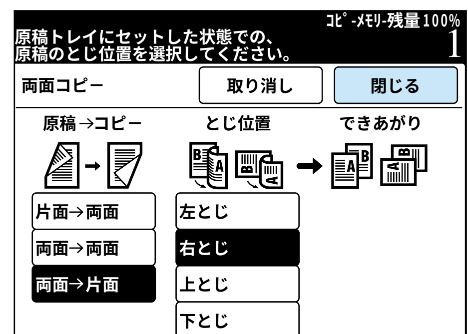
4 セットした状態での原稿のとじ位置に合わせて 左とじ 、 右とじ 、 上とじ 、 下とじ を選択します。

ここでは、例として 右とじ を選択します。

- 左とじ 、 右とじ 、 上とじ 、 下とじ の選択のしかたが正しくないと、コピーの天地が同じになって排出されません。



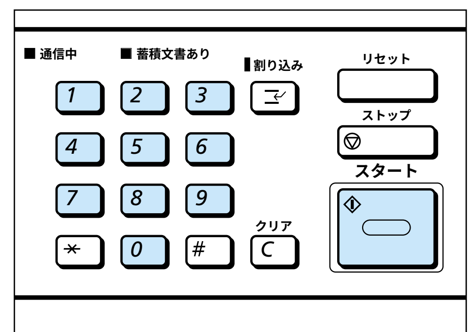
5 閉じる を選択します。



6 必要に応じてその他の機能を設定します。

7 コピー枚数をテンキーで入力し、 スタート を押します。

片面にコピーされます。



補足

- 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

参照

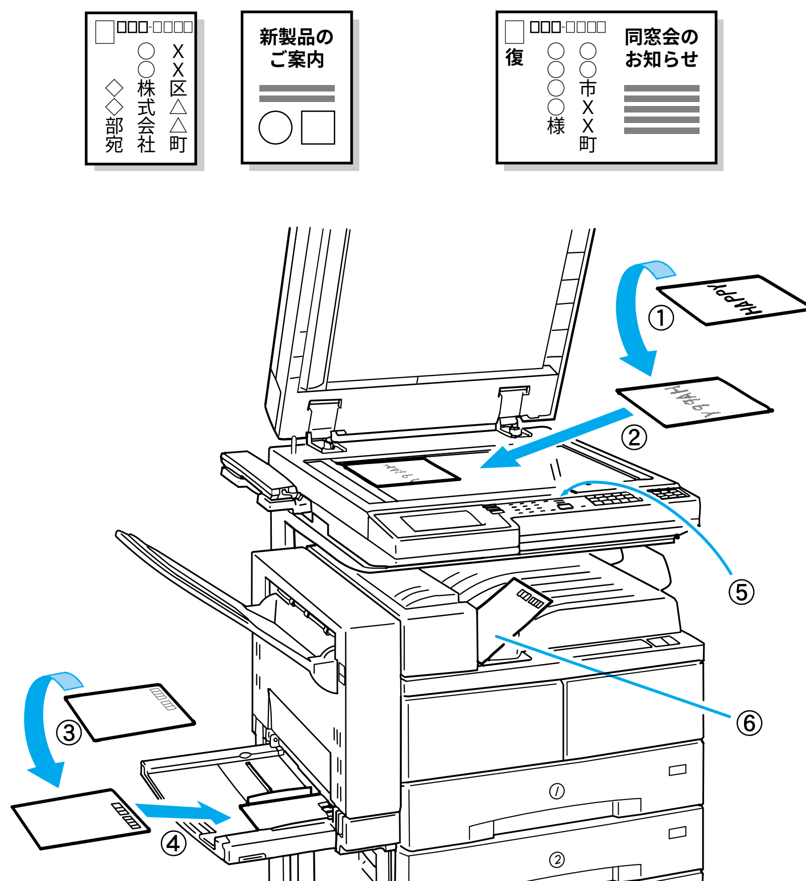
- 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

補足

- コピー枚数を間違えて入力した場合は、 C クリア を押して入力し直してください。

5-9 はがきにコピーする

はがきにコピーするときは、原稿は原稿ガラスに、はがきは多重手差しトレイにセットします。



上図は、はがきのうら面にコピーする要領を表しています。

①〜② …… コピーする面を下にして、原稿の上部が原稿ガラスの左側になるようにセットします。

③〜④ …… はがきのコピーする面を下にして、はがきの上部が多重手差しトレイの右側になるようにセットします。複数枚のはがきをセットできます。

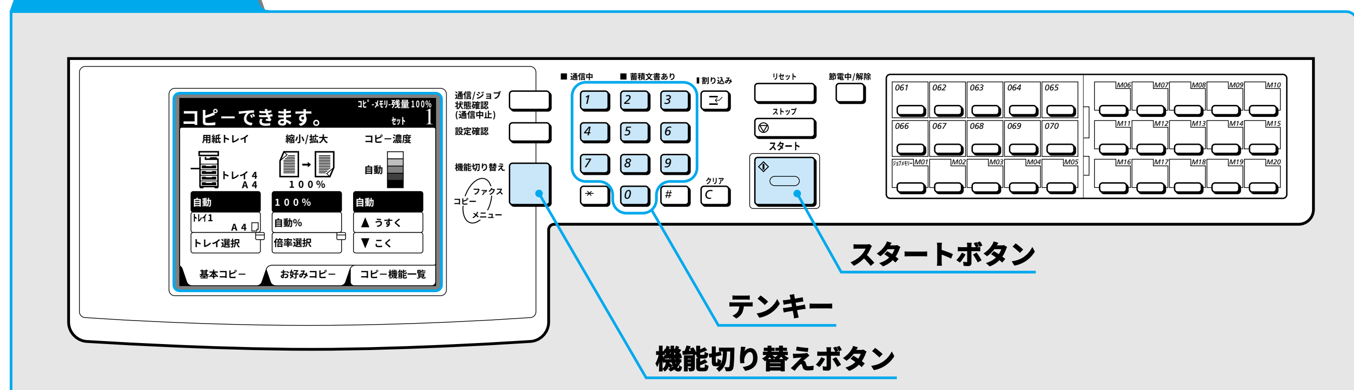
⑤ ………… コピー枚数を入力し、 スタート を押します。

⑥ ………… うら面にコピーされたはがきがセンタートレイに排出されます。

詳しい操作手順は、次ページからの説明を参照してください。

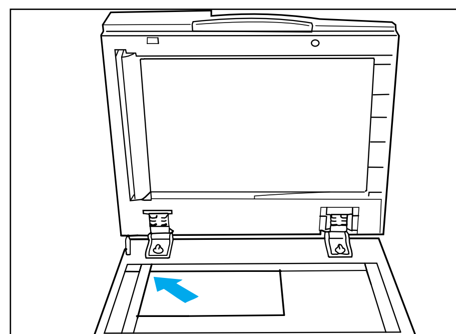
- 多重手差しトレイはオプションです。
- はがきにコピーしたとき、先端に最大で5mmの余白が発生します。

ここで使うボタン

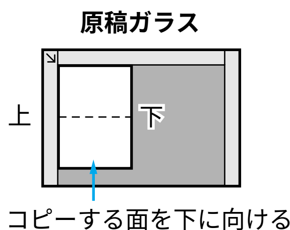


操作手順

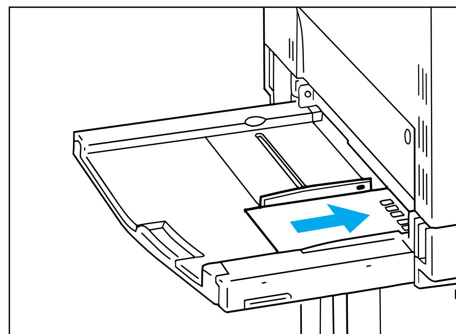
1 原稿を原稿ガラスにセットします。



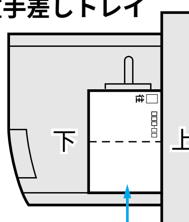
- コピーする面を下に向け、原稿の上部が(機械の正面に向かって)原稿ガラスの左側になるようにセットします。
- コピーする用紙(はがき)と同じ大きさの原稿をセットすることをおすすめします。倍率設定を誤る心配がありません。
- 往復はがきにコピーするときも、原稿セットの向きや位置は同じです。



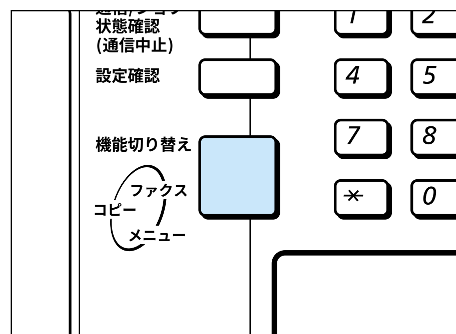
2 はがきを多重手差しトレイにセットします。



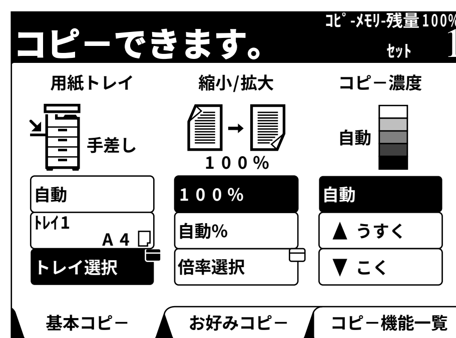
● コピーされる面を下に向けて、はがきの上部が機械の正面に向かって多重手差しトレイの右側になるようにセットします。
● 多重手差しトレイには複数枚のはがきをセットすることができます。
● 往復はがきにコピーするときも、用紙セットの向きや位置は同じです。



3 〔機能切り替え〕を1、2回押して、コピー画面を表示させます。

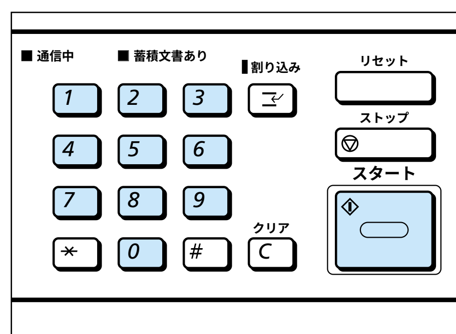


4 必要に応じてその他の機能を設定します。



● 多重手差しトレイに用紙をセットすると、コピー画面で用紙トレイは自動的に〔手差しトレイ〕が選択されます。機械の動作状態により〔手差しトレイ〕が選択されていないときには選択します。

5 コピー枚数をテンキーで入力し、〔スタート〕を押します。



はがきにコピーされます。

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

補足

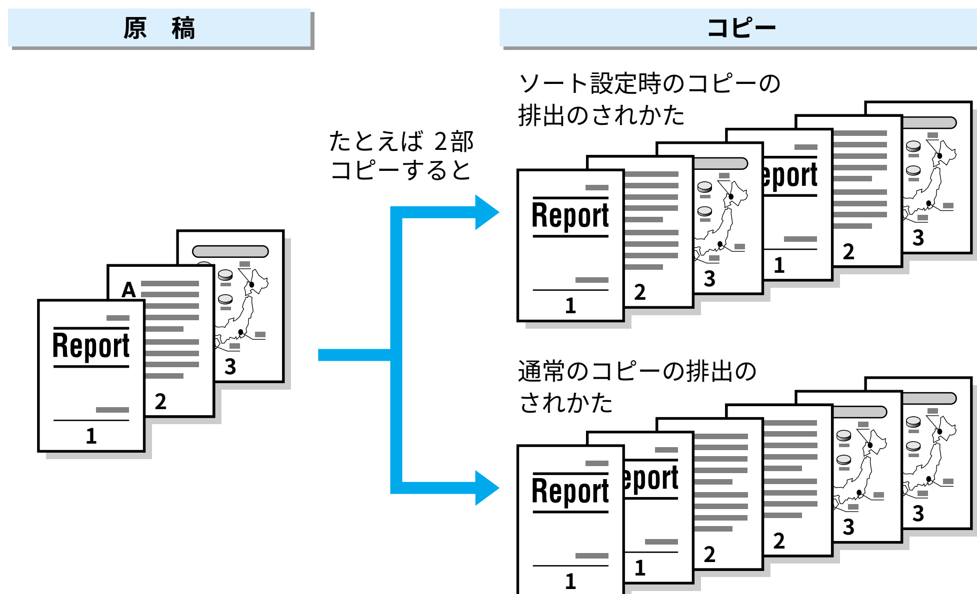
● コピー枚数を間違えて入力した場合は、〔C クリア〕を押して入力し直してください。

5-10 1部ごとにページ順に並べて排出させる(ソート)

参照

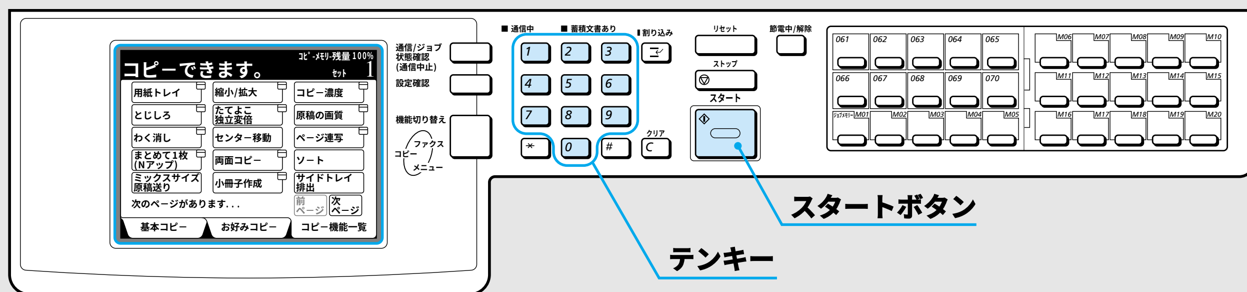
●「5-14 ページごとに位置をずらして排出させる（オフセット排出）」

ソート機能を設定すると、コピーを1部ごとにページ順に並べて排出させることができます。オフセット排出機能を併用すると1部ごとのくぎりが分かり便利です。



● メモリーがいっぱいになったときには、ソートはできません。メッセージが表示されます。
● 最大蓄積枚数は100枚（A4の場合）あるいはメモリーがいっぱいになるまでです。
● ミックスサイズ原稿送り機能を選択して用紙トレイで 自動 を選択している場合は、原稿ごとに設定された倍率から用紙トレイを自動で選択し、混在した用紙サイズのソートができます。また、縮小/拡大の 自動% を選択している場合は、原稿ごとに倍率が計算され、同一サイズの用紙へのソートができます。

ここで使うボタン



5
便利な機能を使ったコピー

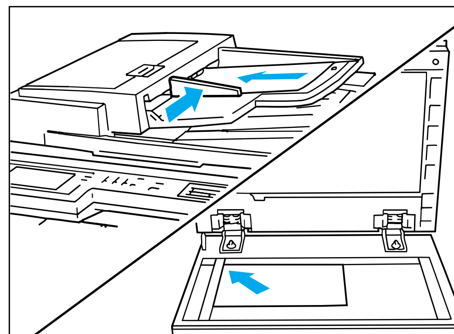
操作手順

参照

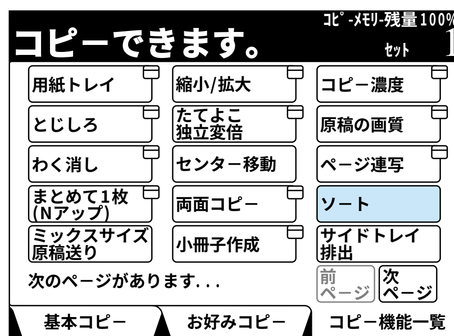
●「第3章　原稿のセット（コピー）」

●原稿ガラスを使って、複数の原稿をコピーする場合は、コピー中に 次の原稿あり を選択してコピーします。詳しくは「3-2　原稿をセットする」の「次の原稿があるとき」を参照してください。

1 **原稿をセットします。**



2 **コピー機能一覧画面の ソート を選択します。**



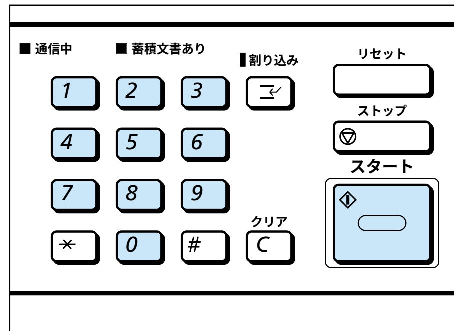
3 **必要に応じてその他の機能を設定します。**

参照

●機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

4 **コピー部数をテンキーで入力し、スタート を押します。**

コピーが1部ごとに、ページ順に並べて排出されます。



参照

●原稿を自動両面原稿送り装置に1度にセットしきれなかった場合や、原稿ガラスに原稿をセットした場合には、「3-2　原稿をセットする」の「次の原稿があるとき」を参照して操作してください。

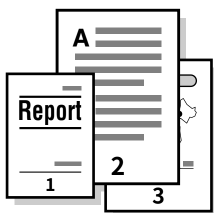
補足

●コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

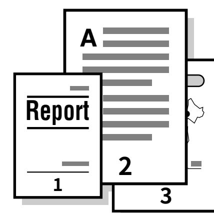
5-11 異なるサイズの原稿を一度に読み取る(ミックスサイズ原稿送り)

サイズの異なる原稿を一度に読み取って、それぞれの原稿と同一サイズの用紙にコピーすることや、任意の用紙サイズにそろえてコピーすることができます。

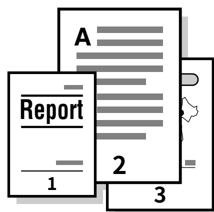
異なるサイズの原稿



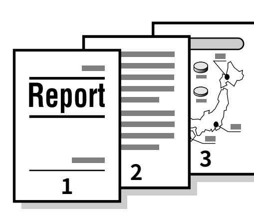
それぞれの原稿と同一サイズの用紙にコピー



異なるサイズの原稿

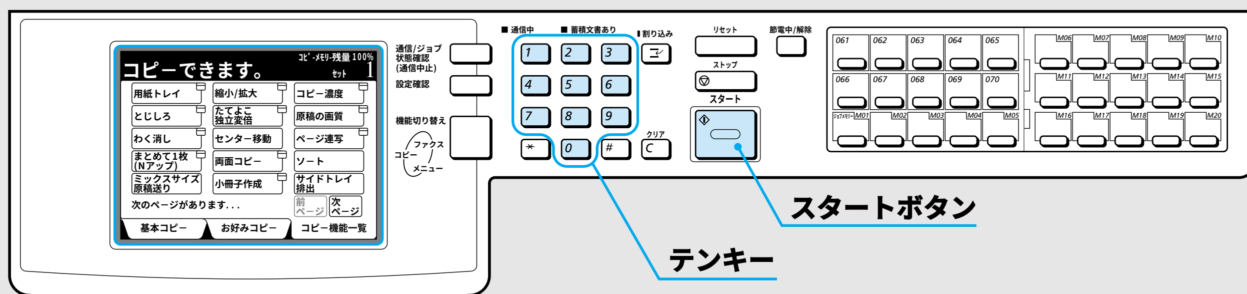


任意の用紙サイズにそろえてコピー



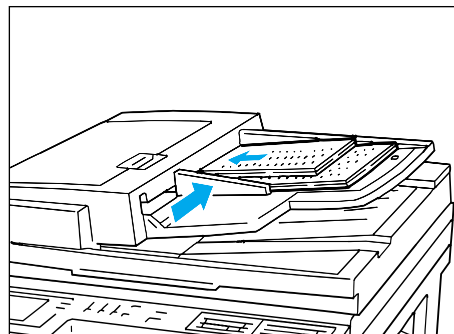
● ミックスサイズ原稿送り機能を使う場合は、原稿サイズを検知できる定形サイズの原稿をセットしてください。

ここで使うボタン



操作手順

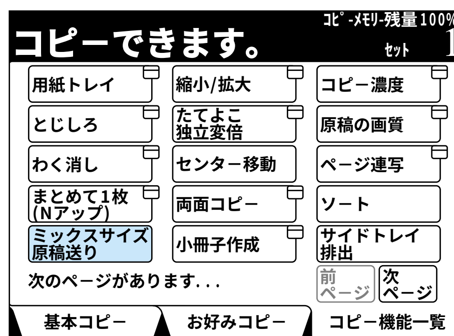
1 原稿を自動両面原稿送り装置にセットします。



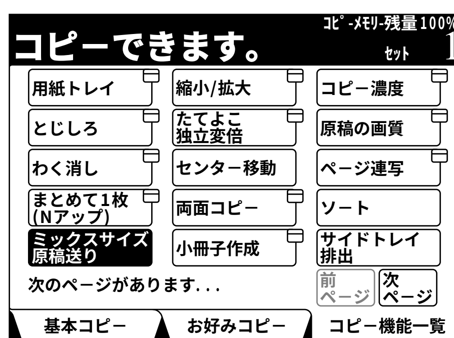
補足

- 右図のようにすべての原稿を原稿ガイド(固定)側にそろえて当て、原稿ガイド(可動)を最大原稿幅の位置に合わせます。
- 原稿をクリップやホチキスでとめている場合は、はずします。

2 コピー機能一覧画面の [ミックスサイズ原稿送り] を選択します。

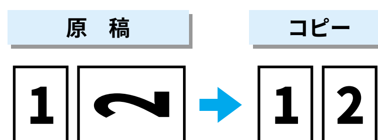


3 必要に応じてその他の機能を設定します。

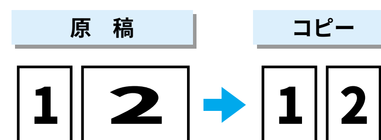


- [用紙トレイ] の [自動] と、[縮小/拡大] の [自動%] や [たてよこ独立変倍] で [用紙サイズに合わせる] は同時に選択することはできません。
- サイズの異なる原稿を、それぞれの原稿と同一サイズの用紙にコピーするときは、[用紙トレイ] を [自動] に設定します。
- サイズの異なる原稿を、任意の用紙サイズにそろえてコピーするときは、次の2つの方法があります。

① [用紙トレイ] で任意のトレイを指定し、[縮小/拡大] を [自動%] に設定します。このとき、自動画像回転が [する] に設定されていると、原稿と用紙の向きが異なっていても、下図のようにイメージが回転してコピーされます。



② [用紙トレイ] で任意のトレイを指定し、[たてよこ独立変倍] で [用紙サイズに合わせる] を設定します。このとき、自動画像回転が [する] に設定されていても機能しません。原稿と用紙の向きが異なっていると、下図のようにコピーされます。

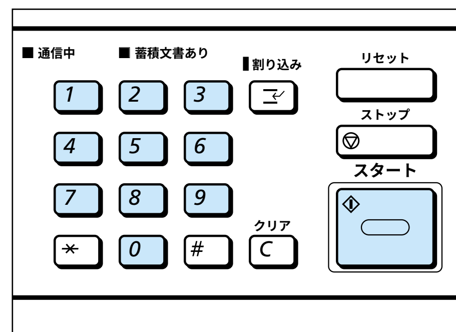


参照

- 「4-2　用紙を選ぶ(用紙トレイ)」
- 「4-3　倍率を選ぶ(縮小/拡大)」
- 「4-4　コピー濃度を調整する(コピー濃度)」
- 「第5章　便利な機能を使ったコピー」
- 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

4 コピー枚数をテンキーで入力し、[スタート]を押します。

コピーが開始されます。



補足

- コピー枚数を間違えて入力した場合は、[C クリア]を押して入力し直してください。

5

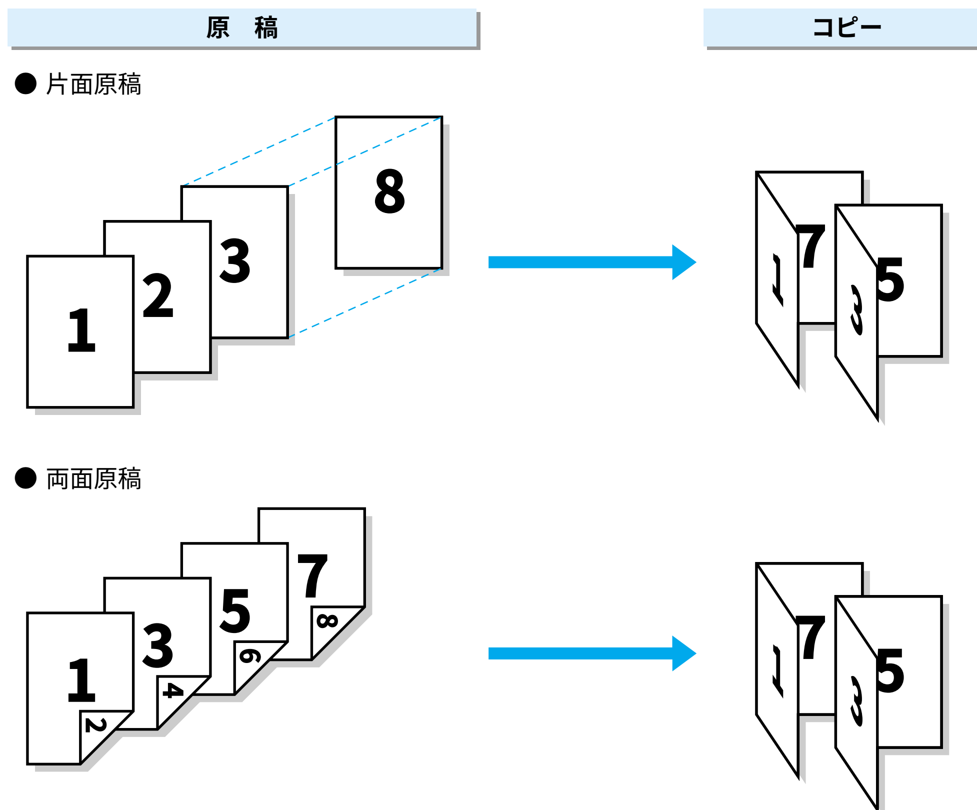
便利な機能を使ったコピー

5-12 中とじ冊子となるようにコピーする(小冊子作成)

連続した片面または両面原稿をとじ位置を決めて中とじ冊子（小冊子）となるようにコピーすることができます。また、小冊子作成をするときに中とじしろをつけることもできます。

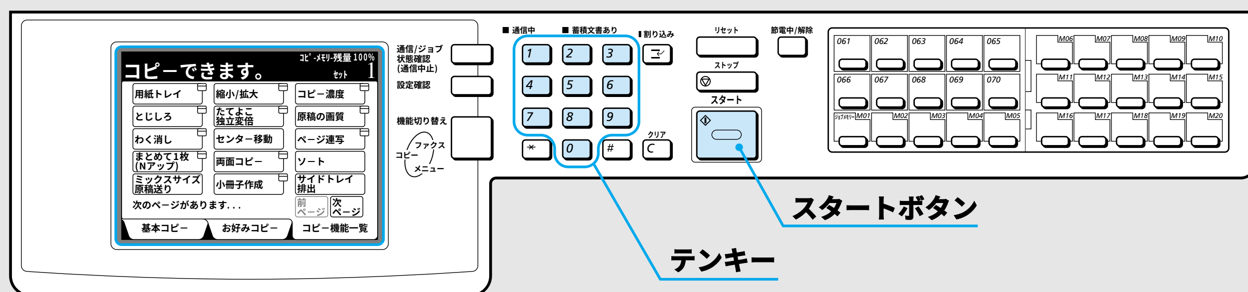
補足

● オプションの自動両面ユニットを装着していない場合は、小冊子作成はできません。



● ミックスサイズ原稿送り、とじしろ機能、まとめて1枚機能、両面コピー機能、OHPコピー機能との併用と、多重手差しトレイからのコピー時は使用できません。

ここで使うボタン



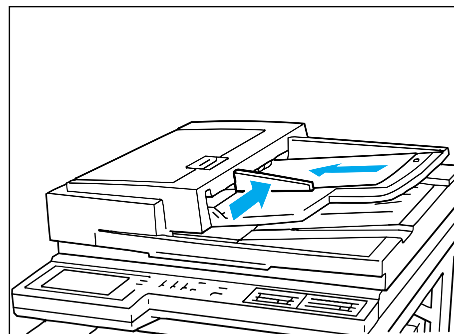
5 便利な機能を使ったコピー

操作手順

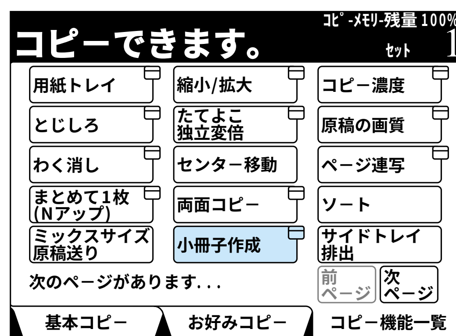
参照

●「第3章　原稿のセット（コピー）」

1 **自動両面原稿送り装置に原稿をセットします。**

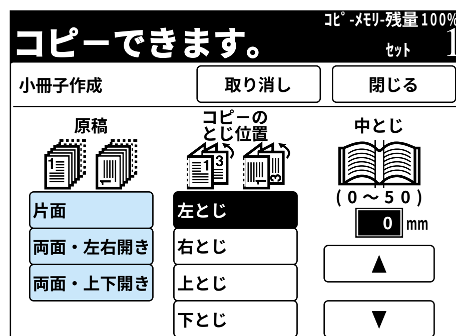


2 **コピー機能一覧画面の 小冊子作成 を選択します。**



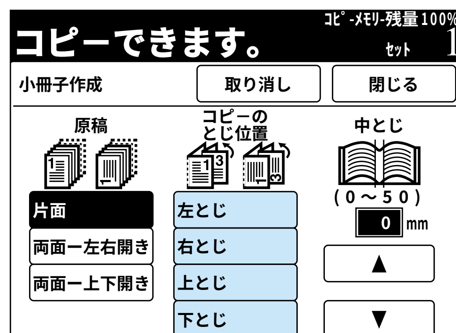
3 **原稿の状態を選択します。**

ここでは 片面 を選択します。



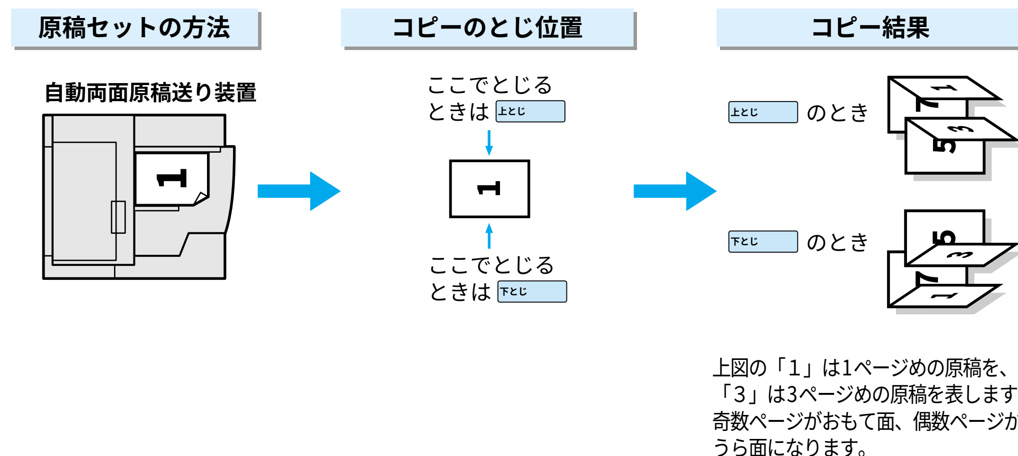
4 **コピーのとじ位置を選択します。**

ここでは 左とじ を選択します。



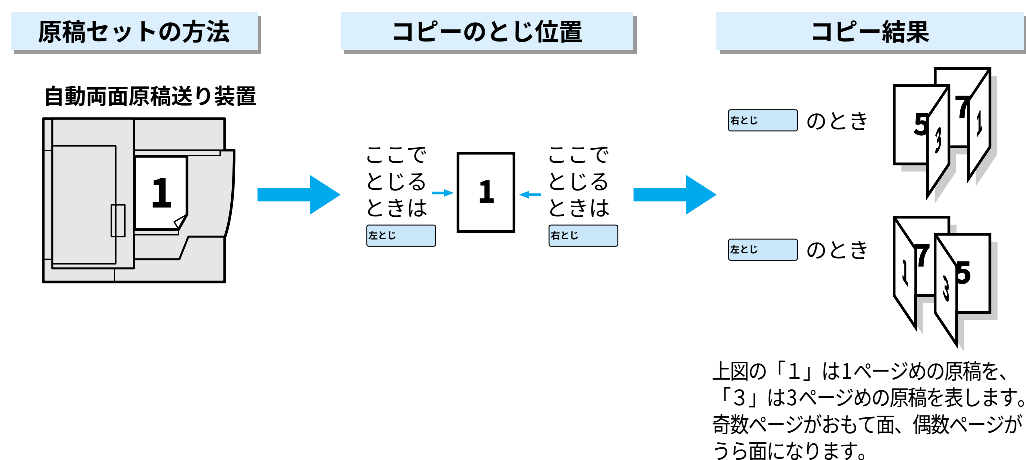
●とじ位置の考え方とコピー結果

原稿を 方向にセットしたとき



上図の「1」は1ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。

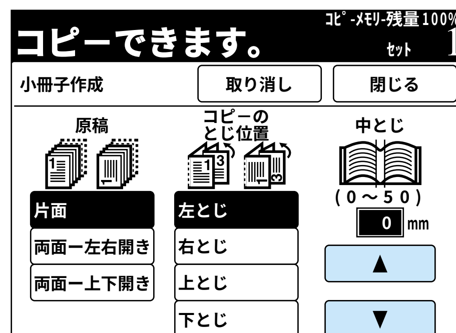
原稿を 方向にセットしたとき



上図の「1」は1ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。

5 中とじしろをつけるときは ▲ ▼ でとじしろ量を設定します。

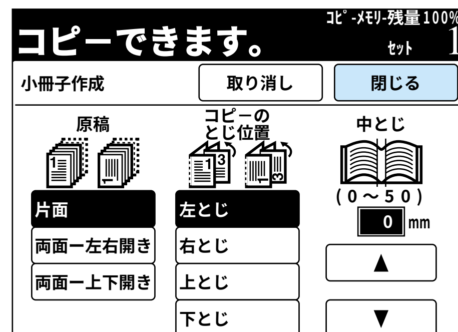
ここでは、0mmで設定します。



補足

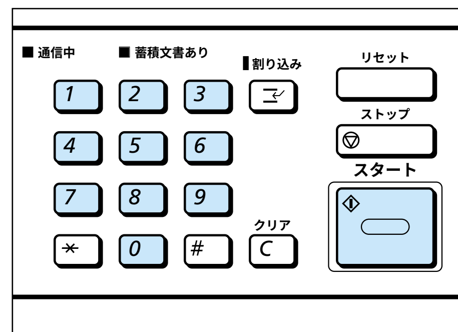
● 0～50mmの間で1mmきざみで設定できます。

6 閉じる を選択します。



7 必要に応じてその他の機能を設定します。

8 コピー枚数をテンキーで入力し、スタート を押します。



注記

● メモリーオーバーフローの場合は、「7-6　その他のエラーメッセージが表示されたとき」を参照してください。

補足

● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

参照

● 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

補足

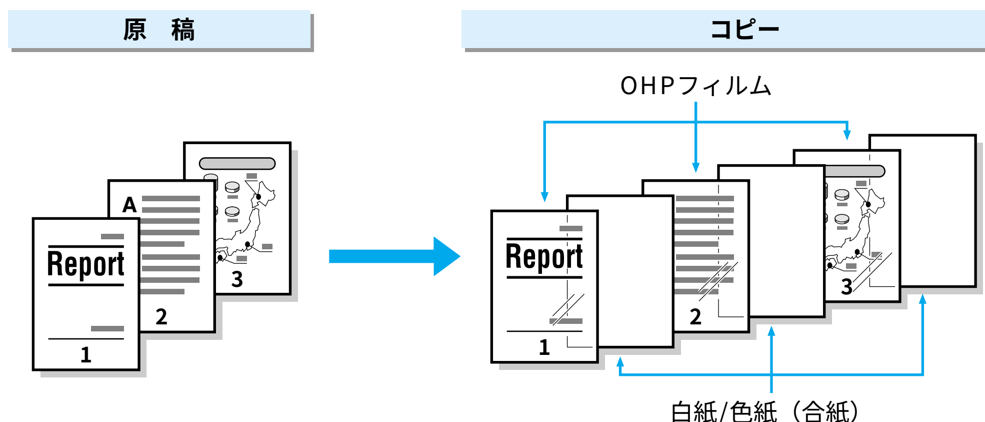
● コピー枚数を間違えて入力した場合は、C クリア を押して入力し直してください。

5-13 OHPフィルムにコピーする（OHPコピー）

補足

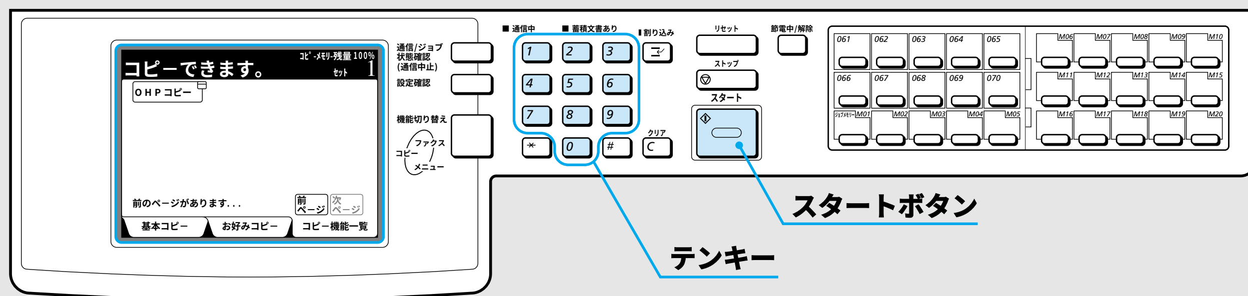
● オプションの多重手差しキットを装着していない場合は、OHPコピー（合紙なし）以外は使用できません。

OHPフィルムに合った画質でコピーすることができます。
また、コピーしたOHPフィルムの間に、合紙（あいし）として白紙／色紙やコピーを差し込んで排出させることもできます。OHPフィルムにコピーされた内容が見やすくなり便利です。
そしてコピーしたOHPフィルムの間に合紙（あいし）として白紙／色紙を差し込み、同時に必要部数のコピーをすることもできます。
OHPコピー機能の白紙／色紙挿入機能を行うと以下の様になります。



● 両面コピー機能　(両面→片面)を除く)は 白紙/色紙挿入＋配布用コピー とは、併用することができます。
● OHPコピー機能と併用できる機能はページ連写、まとめて1枚、ソートなどです。詳しくは「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

ここで使うボタン



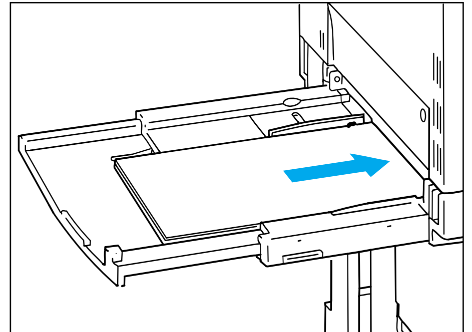
OHPフィルムにコピーしたり、OHPフィルムの間に白紙やコピーを差し込む

OHPフィルムに合った画質でコピーします。
また、コピーしたOHPフィルムの間に白紙／色紙(合紙)や、同時にコピーした用紙を差し込んで排出することもできます。

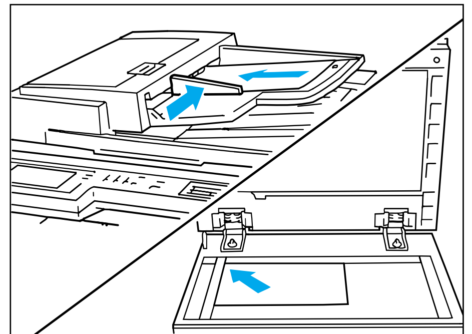
● 合紙として白紙／色紙を挿入して同時に必要部数のコピーをする場合の操作手順は、次項の「OHPフィルムの間に白紙を差し込み、コピーもする」を参照してください。

操作手順

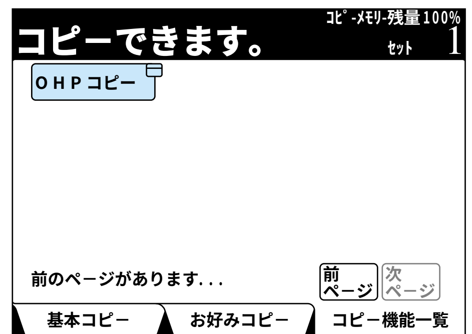
1 **OHPフィルムを多重手差しトレイにセットします。**



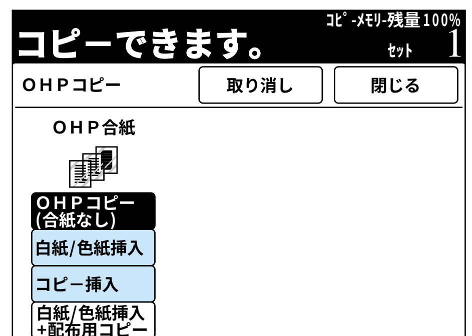
2 **原稿をセットします。**



3 **コピー機能一覧画面の［次ページ］を選択し、［OHPコピー］を選択します。**



4 **［OHPコピー（合紙なし）］が選択されていることを確認し手順6へ進みます。**
白紙やコピーをOHPフィルムの間に入れたい場合は、［白紙/色紙挿入］または［コピー挿入］を選択し手順5へ進みます。



補足

● OHPフィルムと同じ向きにセットしてください。

参照

● 「第3章　原稿のセット（コピー）」

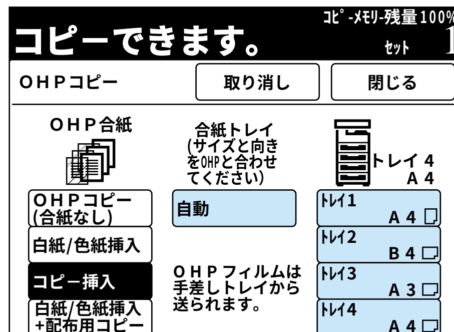
補足

● 多重手差しトレイに用紙をセットしていると、［用紙トレイ］は自動的に［手差しトレイ］が選択されます。
● ［白紙/色紙挿入］や［コピー挿入］を選択すると、［用紙トレイ］は自動的に［手差しトレイ］が選択されます。

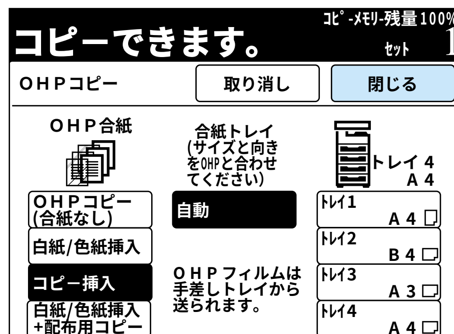
5 便利な機能を使ったコピー

5 合紙にしたい用紙がセットしてある用紙トレイを選択します。

ここでは、例として［自動］を選択します。



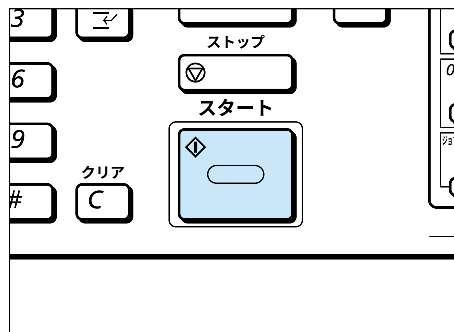
6 ［閉じる］を選択します。



7 必要に応じてその他の機能を設定します。

8 ［スタート］を押します。

OHPフィルムにコピーされ、間に合紙(白紙やコピー)が差し込まれて排出されます。



補足

- ［自動］を選択すると、機械が自動的に検知した原稿サイズと同じサイズの用紙を選びます。
- 機種によって表示されるトレイの数が異なります。

補足

- ［取り消し］を選択すると、設定が取り消されます。

参照

- 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

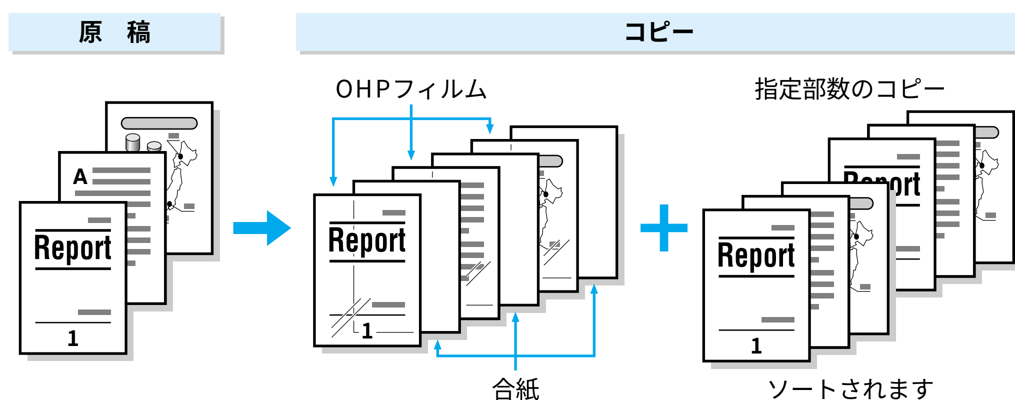
補足

- コピー枚数は「1」以外にはできません。

OHPフィルムの間に白紙を差し込み、コピーもする

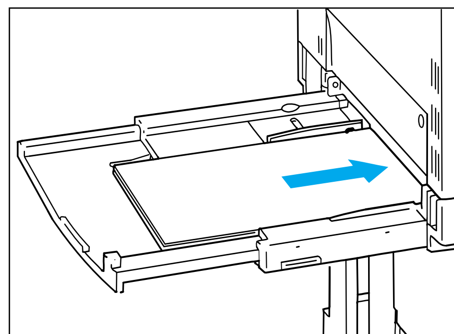
1回の読み取りで、コピーしたOHPフィルムの間に合紙として白紙を差し込んで排出させ、また必要部数のコピーもできます。

- この機能では、合紙としてOHPフィルムの間に白紙/色紙を差し込みます。コピーを差し込むことはできません。
- 合紙にする用紙とコピーする用紙は同一の用紙サイズになります。
- コピーは自動的にソートされます。
- 両面コピーと併用した場合は、指定部数のコピーが両面コピーされます。

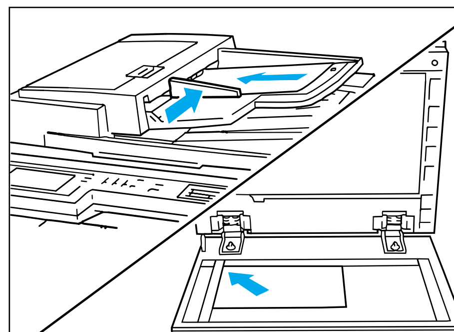


操作手順

1 **OHPフィルムを多重手差しトレイにセットします。**



2 **原稿をセットします。**



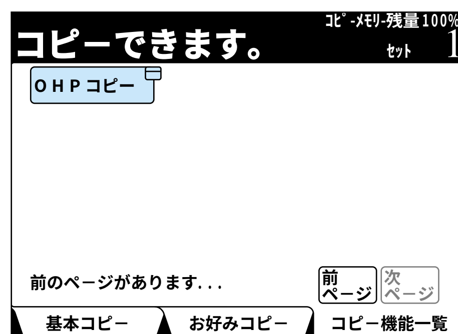
補足

- OHPフィルムと同じ向きにセットしてください。

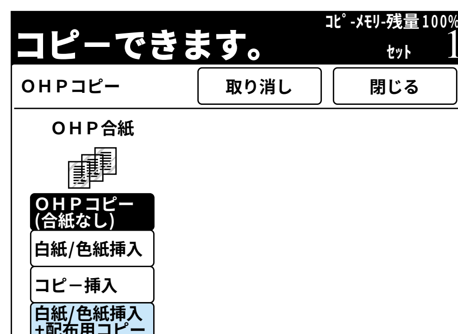
参照

- 「第3章　原稿のセット（コピー）」

3 コピー機能一覧画面の［次ページ］を選択し、［OHPコピー］を選択します。

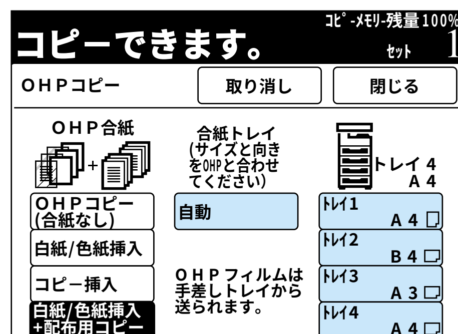


4 ［白紙/色紙挿入＋配布用コピー］を選択します。

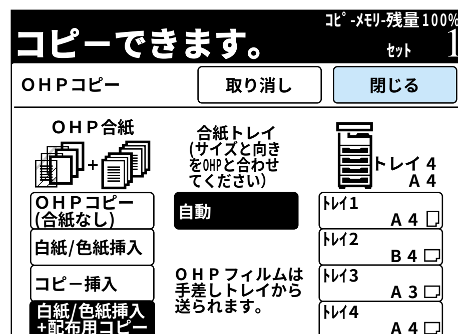


5 合紙およびコピーしたい用紙がセットしてある用紙トレイを選択します。

ここでは、例として［自動］を選択します。



6 ［閉じる］を選択します。



7 必要に応じてその他の機能を設定します。

補足

- 多重手差しトレイに用紙をセットしていると、［用紙トレイ］は自動的に［手差しトレイ］が選択されます。
- ［OHPコピー］を選択すると、［用紙トレイ］は自動的に［手差しトレイ］が選択されます。

補足

- ［自動］を選択すると、機械が自動的に検知した原稿サイズと同じサイズの用紙を選びます。
- 合紙とコピーの用紙サイズは同じになります。
- 機種によって表示されるトレイの数が異なります。

補足

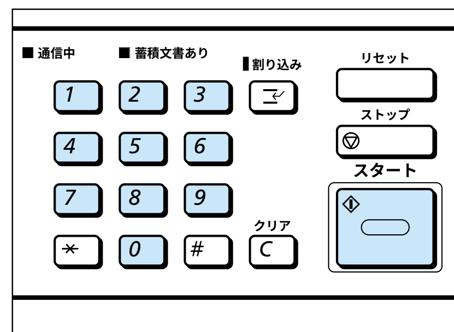
- ［取り消し］を選択すると、設定が取り消されます。

参照

- 機能によっては選べないものがあります。「付録-B　機能の組み合わせ一覧表」を参照してください。

8 コピーしたい部数をテンキーで入力し、[スタート]を選択します。

OHPフィルムにコピーされ、間に合紙として白紙が差し込まれて排出されます。また、入力した部数のコピーもソートされて排出されます。



補足

- ここで入力する枚数は、合紙と同じサイズの用紙にコピーされる部数です。コピーされるOHPフィルムは1枚です。
- コピー枚数を間違えて入力した場合は、[C クリア]を押して入力し直してください。

参照

- 原稿を自動両面原稿送り装置に1度にセットしきれなかったときや、原稿ガラスに原稿をセットしたときには、「3-2　原稿をセットする」の「次の原稿があるとき」を参照して操作してください。

5

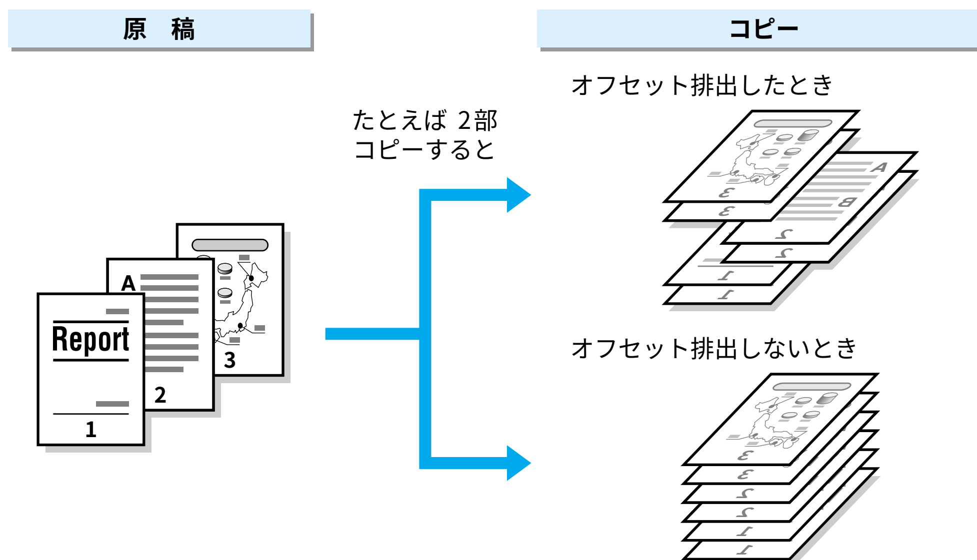
便利な機能を使ったコピー

5-14 ページごとに位置をずらして排出させる(オフセット排出)

補 足

● オプションのオフセット出力キット、またはステープルフィニッシャーを装着していない場合は、オフセット排出機能は使用できません。

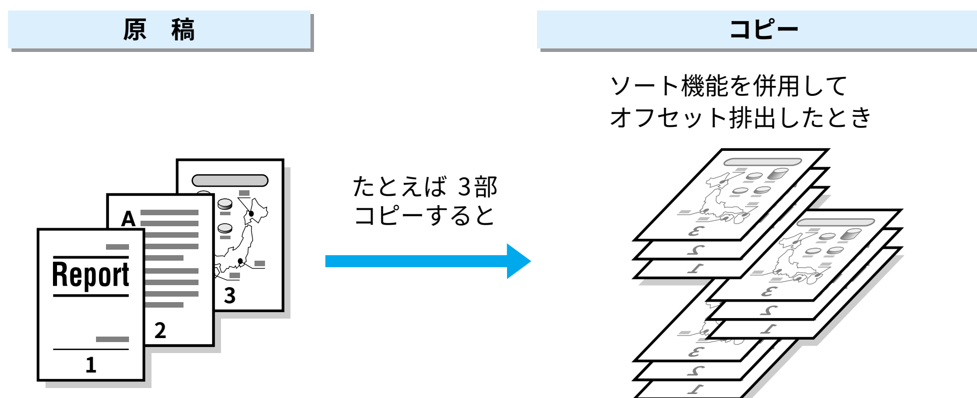
複数枚の原稿をコピーするとき、ページごとにコピーをまとめて、その区切りがわかるように排出位置を交互にずらして排出することができます。この機能を「オフセット排出」と呼びます。
コピーのオフセット排出はセンタートレイ、またはスタッカートレイで行います。



ソート機能を併用すると、1部ごとにコピーをまとめて、その区切りがわかるように排出位置を交互にずらして排出することができます。

参 照

● 「5-10　1部ごとにページ順に並べて排出させる（ソート）」



参 照

● 設定のしかたについては、「6-1　仕様設定について」を参照してください。

センタートレイ排出時のオフセット排出機能は、仕様設定画面で設定します。
仕様設定画面でオフセット排出を する と設定しておくと、コピー時にとくに操作しなくても、いつもオフセット排出機能が実行されます。
スタッカートレイ排出時は、常にオフセット排出されます。

- オフセット排出は、コピー画面で設定を変更することはできません。
- サイドトレイではオフセット排出することはできません。

5 便利な機能を使ったコピー

5-15 ホチキスとめをする/排出先を指定する

ステープルフィニッシャー（オプション）装着機の場合、スタッカートレイへ排出したり、排出した文書を自動的にホチキスとめしたりすることができます。ホチキスとめには、１か所とめと２か所とめがあります。またサイドトレイキットＡ（オプション）、またはサイドトレイキットＢ（オプション）装着機の場合、おもて面を上にして排出することができます。

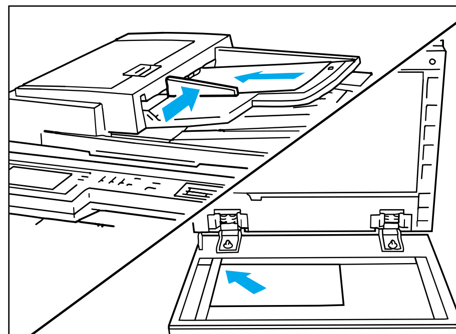
- ステープルフィニッシャーを接続した場合は、センタートレイのコピー収容可能枚数は、200枚となります。ただし、センタートレイへのファクス受信の排出は、200枚を超えても排出されつづけます。
- プリント開始前にステープルフィニッシャーの故障を検知すると、出力はセンタートレイに切り替えられます。
- ホチキス機能を選択する場合、必ず、［ソート］を使用します。
- ホチキスとめできる枚数は、2～50枚です。50枚を超えた場合にはホチキス機能は解除されますが、コピーはそのまま続けられます。
- 手差しでのコピーやミックスサイズの用紙の排出は、できません。
- OHPコピーとホチキス機能を同時に選択することはできません。OHPシートをフィニッシャーで使用できないため、［OHPコピー（合紙なし）］、［白紙/色紙挿入］、［コピー挿入］の設定はできません。ただし、［白紙/色紙 挿入＋配布用コピー］は設定でき、OHPと合紙はセンタートレイ、配布コピーはスタッカートレイに出力されます。
- 原稿と用紙の向きによって、ホチキスとめ出来ない場合があります。

次に手順について説明します。

操作手順

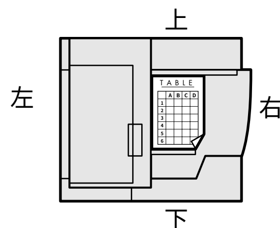
1 原稿をセットします。

原稿の上を以下の図のようにセットした場合、指定した位置にホチキスとめされます。

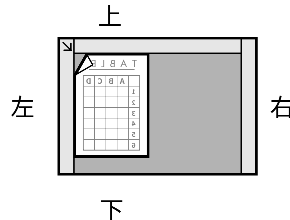


参照
●「第3章　原稿のセット（コピー）」

自動両面原稿送り装置のとき

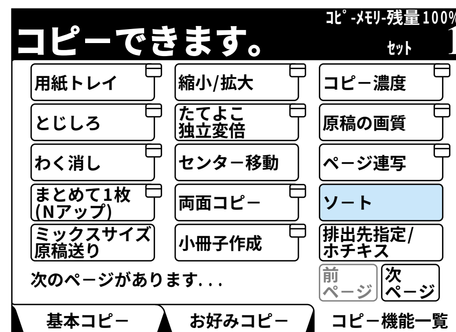


原稿ガラスのとき

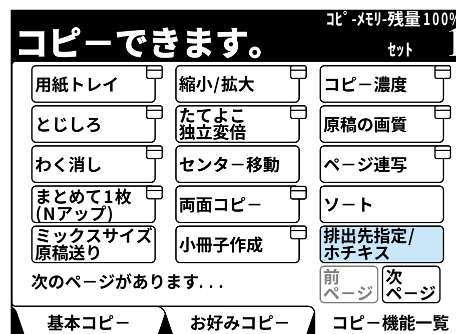


5
便利な機能を使ったコピー

2 **ホチキスとめする場合は、コピー機能一覧画面の ソート を選択します。**



3 **コピー機能一覧画面の 排出先指定/ホチキス または フィニッシャー(ホチキス) 等と表示された右図の位置のボタンを選択します。**

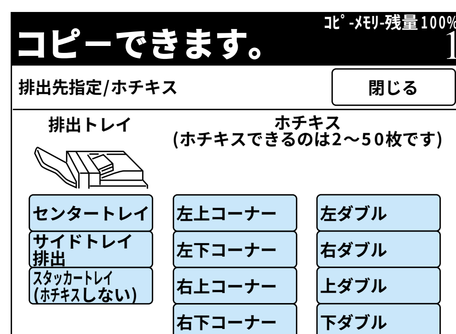


補足

● 装着されるオプションによって、ボタン名は異なります。

●仕様設定のスタッカートレイ設定でコピー排出先が設定されていない場合は、ホチキスやスタッカートレイ関連のボタンは表示されません。

4 **排出先トレイを選択します。ステープルフィニッシャーが装着されており、ホチキスとめしたい場合は、ホチキスとめの位置を選択します。**

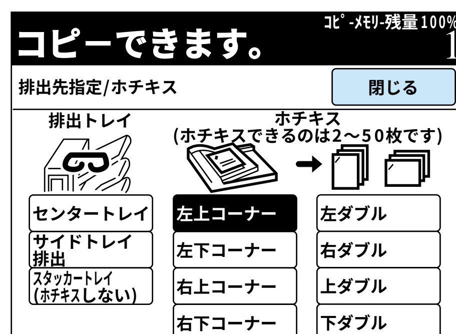


補足

● ホチキスとめをする場合、出力先は自動的にスタッカートレイになります。

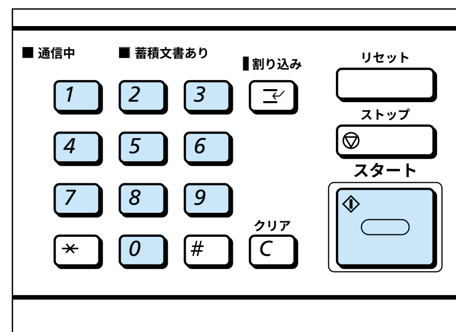
5 **閉じる を選択します。**

必要に応じてその他の機能を設定します。



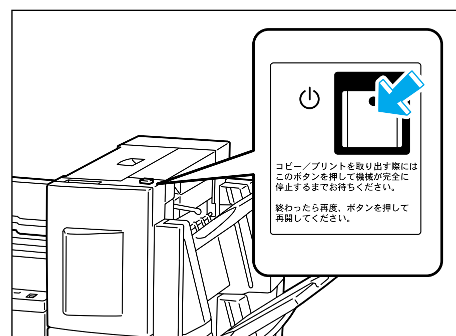
6 コピー部数をテンキーで入力し、[スタート] ボタンを押します。

コピーが指定したトレイへ、排出されます。



7 [一時停止/再開] ボタンを押します。

ステープルフィニッシャーが完全にストップすることを確認し、スタッカートレイへ排出された文書を取り出します。

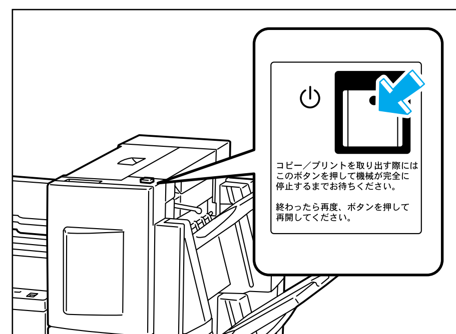


注記

● ホチキスとめする文書をプリントしている場合、[一時停止/再開] ボタンまたはプリンター操作パネルの [ポーズ] ボタンを押すと、現在排出中のホチキスとめ文書が排出されてからスタッカートレイは、下がりはじめます。

8 再び [一時停止/再開] ボタンを押します。

ステープルフィニッシャーの一時停止状態が解除されます。



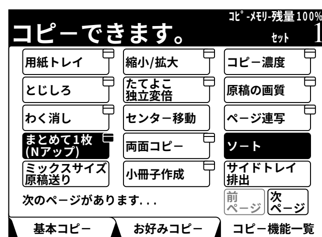
注記

● 一時停止状態は、約60秒経過すると自動的に解除され、プリントが開始されます。

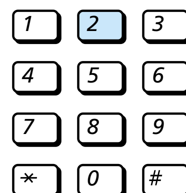
5-16 定型操作を登録してコピーする(ジョブメモリー)

一連の定型操作をジョブメモリーに登録しておくと、1つのボタンを押すだけで登録しておいたとおりに操作を実行する機能です。
いつも同じようにコピーするものがあるとき、一連の設定操作を登録しておくと便利です。

たとえば



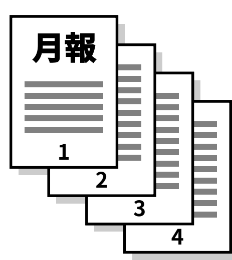




定型操作をジョブメモリーに登録しておく

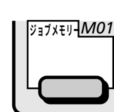


原稿をセットする





ジョブメモリーボタンを押す

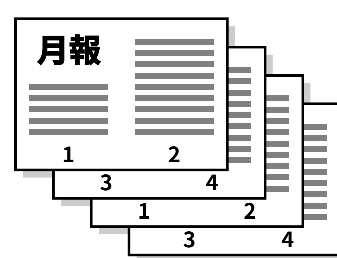


スタート を押すと



登録してある操作が実行される

コピーされる



ここでは、ジョブメモリーへの登録のしかたと、登録した操作を使ってコピーする方法を説明します。

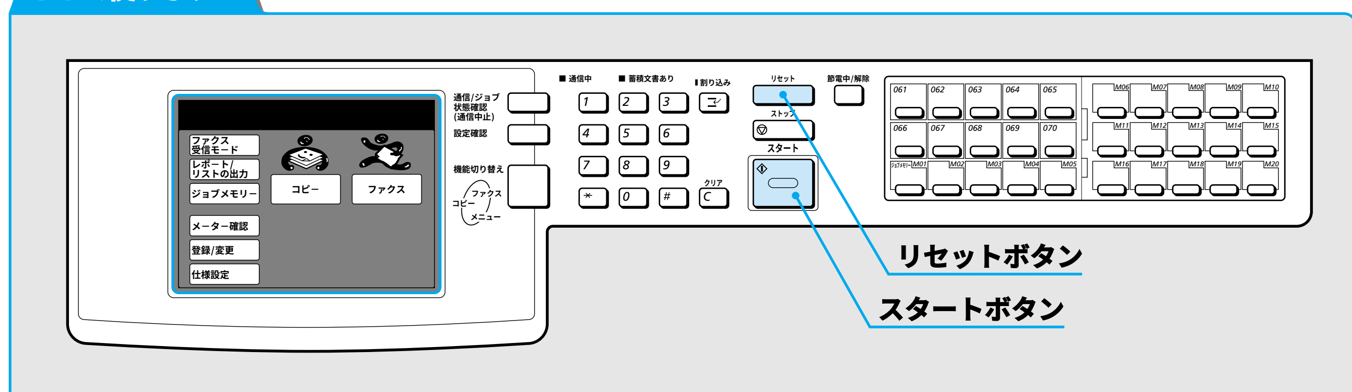
- ワンタッチパネルを2枚めくるとジョブメモリーボタンがあります。
- ジョブメモリーには、ジョブメモリーボタン、 メーター確認 、 スタート 、 リセット 、 仕様設定 、 ジョブメモリー は登録できません。

定型操作をジョブメモリーに登録する

定型操作をジョブメモリーに登録する手順について説明します。

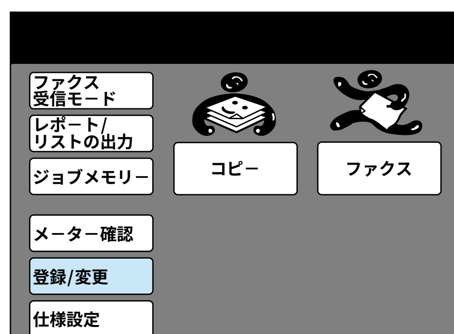
- ファクス機能のジョブメモリーの登録の数も含めて20種類登録することができます。

ここで使うボタン

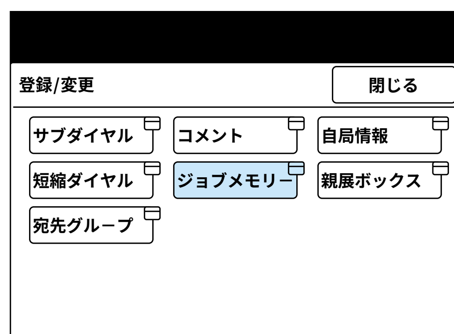


操作手順

1 **メニュー画面の 登録/変更 を選択します。**

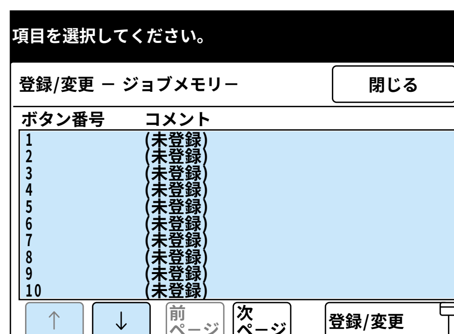


2 **ジョブメモリー を選択します。**



3 **登録するボタン番号を、直接指で触れるか ↓ や ↑ を使って選択します。**

ここでは、例として 1 を選択します。



参照

● ファクス関連の機能の登録/変更については、「ファクス編」を参照してください。

補足

● (登録済) となっているボタンやコメントの記入されているボタンは、すでに操作が登録されています。

4 登録/変更 を選択します。

項目を選択してください。
登録/変更 － ジョブメモリー　閉じる

ボタン番号	コメント
1	(未登録)
2	(未登録)
3	(未登録)
4	(未登録)
5	(未登録)
6	(未登録)
7	(未登録)
8	(未登録)
9	(未登録)
10	(未登録)

↑　↓　前ページ　次ページ　登録/変更

5 コメントをつけたいときは、コメント選択 を選択します。

● コメントをつけないときは、操作手順15に進みます。

[登録開始]から[リセット]または[スタート]ボタンを押す直前までの操作を登録します。
登録/変更 － ジョブメモリー－1　決定
登録状況　コメント番号　コメント内容
未登録
削除　コメントなし
登録開始　コメント選択

6 (未登録) と表示されているコメント番号を、直接指で触れるか ↓ や ↑ を使って選択します。

ここでは、例として 1 を選択します。

● すでに登録されているコメントを使うときは、そのコメント番号を選択して、操作手順14に進みます。

ジョブメモリー－1 コメント選択　決定

コメント番号	コメント内容
1	(未登録)
2	(未登録)
3	(未登録)
4	(未登録)
5	(未登録)
6	(未登録)
7	(未登録)
8	(未登録)
9	(未登録)
10	(未登録)

↑　↓　前ページ　次ページ　登録/変更

7 登録/変更 を選択します。

ジョブメモリー－1 コメント選択　決定

コメント番号	コメント内容
1	(未登録)
2	(未登録)
3	(未登録)
4	(未登録)
5	(未登録)
6	(未登録)
7	(未登録)
8	(未登録)
9	(未登録)
10	(未登録)

↑　↓　前ページ　次ページ　登録/変更

8 ディスプレイに表示されている文字を選択し、コメントを ► の横に入力します。

ここでは、「月報」と入力する例を操作手順9～14に説明します。

コメント1 登録/変更　取り消し　決定
►
わ ら や ま は な た さ か あ　後退
を り ゆ み ひ に ち し き い　空白
ん る よ む ふ ぬ つ す く う　無変換
゛ れ ー め へ ね て せ け え　シフト
゜ ろ 々 も ほ の と そ こ お
記号　英/数　カタカナ　ひらがな　単漢字変換

補足

● コメントは18文字まで入力できます。

● 記号 、英/数 、カタカナ 、ひらがな を選択すると、それぞれの文字の一覧画面が表示されます。文字に直接指で触れて入力します。

5 便利な機能を使ったコピー

9 順番に、[け]、[゛]、[つ] と選択します。

[►] の横に「げつ」と表示されます。

- [後退] を選択すると、入力した文字を1つ削除することができます。
- [空白] を選択すると、スペースを1つ入力することができます。
- [シフト] を選択すると、[英/数] の画面では大文字と小文字の切り替えが、[カタカナ] や [ひらがな] の画面では大きな文字と小さな文字の切り替えができます。

10 [単漢字変換] を選択します。

- 該当する漢字がないときにはアラーム音が鳴ります。
- 一文字に変換される分のひらがなを入力して [単漢字変換] を選択すると、該当する漢字が画面の下部に表示されます。希望の漢字を選択すると、[►] の横に入力されていたひらがなの文字が選択した漢字に変換されます。

参照

- 変換できる漢字とその読みがなについては「ファクス編」を参照してください。

11 [月] を選択します。

[►] の横の「げつ」が「月」に変換されます。

- [次候補] が実線で表示されているとき選択すると、さらに該当する漢字が表示されます。
- [ひらがな] の画面で表示されるボタンは次のように使います。
  - [次候補] を選択すると、さらに該当する漢字が表示されます。
  - [変換取消し] を選択すると、漢字への変換を中止できます。
  - [無変換] を選択すると、入力したひらがなをそのままにして、次の文字の入力にすすめます。
  - 濁音や半濁音は、[゛] や [゜] を選択して入力します。

12 **操作手順9～11の要領で、「月」の横に ほ 、 う を入力し、「報」に変換します。**

13 **決定 を選択します。**

補足

● 取り消し を選択すると、入力したコメントが取り消されます。

14 **コメント番号とコメント内容を確認し、 決定 を選択します。**

15 **登録開始 を選択します。**

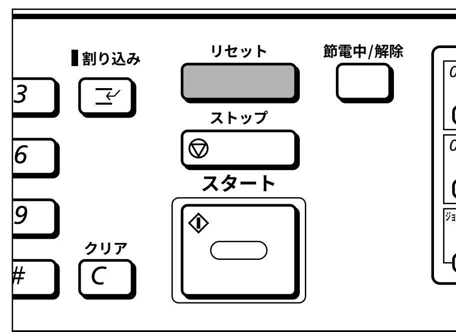
「プップップッ」という音が鳴ります。

16 **登録したい操作を、すべて選択します。**

補足

● 58ステップまで登録することができます。1ステップはボタンを1回選択する（押す）操作です。

17 最後に [リセット] を押し、操作の登録を終了します。



補足

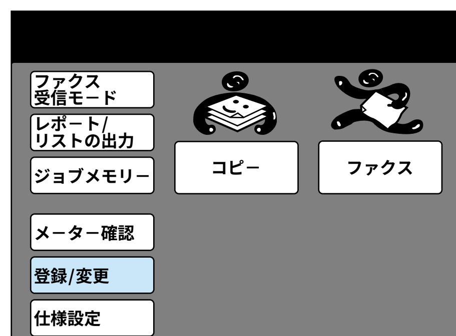
● [リセット] または [スタート] を押す操作は登録されません。

ジョブメモリーの登録を変更/削除する

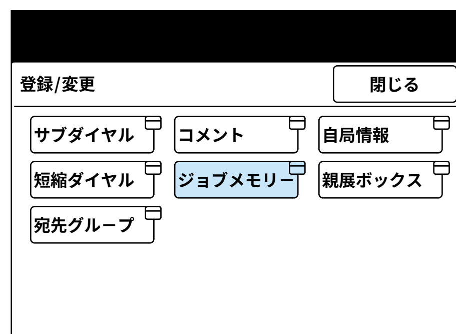
ジョブメモリーに登録してある操作手順を変更または削除する手順について説明します。

操作手順

1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。

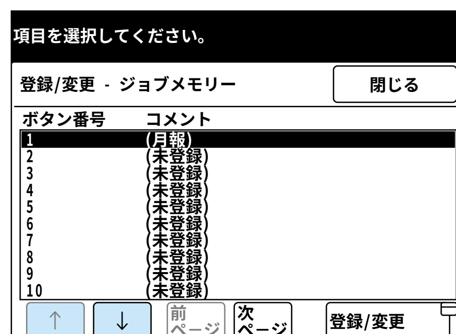


2 ジョブメモリー を選択します。



3 登録を変更、削除したいボタン番号を、直接指で触れるか、↓ や ↑ を使って選択します。

ここでは、例として 1 を選択します。



4 登録/変更 を選択します。

項目を選択してください。
登録/変更 - ジョブメモリー　閉じる

ボタン番号	コメント
1	月報
2	(未登録)
3	(未登録)
4	(未登録)
5	(未登録)
6	(未登録)
7	(未登録)
8	(未登録)
9	(未登録)
10	(未登録)

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

5 ●**コメントのみ変更するときは、コメント選択 を選択し、コメントを設定します。**

●**登録操作を変更、または削除するときは、削除 を選択します。**

登録/変更 – ジョブメモリー – 1　決定
登録状況　コメント番号　コメント内容
登録済　1　月報
削除　コメントなし
登録開始　コメント選択

参照
● 前項「定型操作をジョブメモリーに登録する」の操作手順6〜14を参照してください。

6 ●**コメントをつけるときは、コメント選択 を選択し、コメントを設定します。**

コメントの設定終了後、またはコメントをつけないときは、操作手順7に進みます。

●**登録を変更しないときは、決定 を選択し、次に リセット を押して操作を終了します。**

[登録開始]から[リセット]または[スタート]ボタンを押す直前までの操作を登録します。
登録/変更 – ジョブメモリー – 1　決定
登録状況　コメント番号　コメント内容
未登録
削除　コメントなし
登録開始　コメント選択

7 登録開始 を選択します。

登録画面が表示されますので、あらたな操作をはじめから登録します。

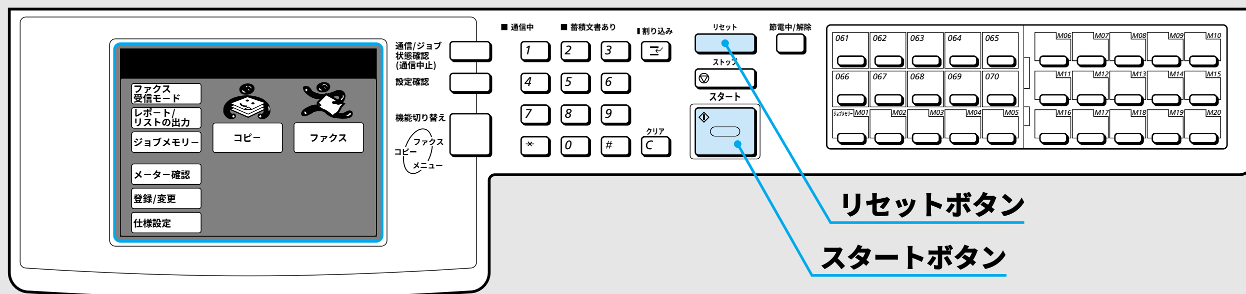
[登録開始]から[リセット]または[スタート]ボタンを押す直前までの操作を登録します。
登録/変更 – ジョブメモリー – 1　決定
登録状況　コメント番号　コメント内容
未登録
削除　コメントなし
登録開始　コメント選択

補足
● 登録のしかたについては、前項「定型操作をジョブメモリーに登録する」の操作手順15〜17の要領で、操作を登録します。

ジョブメモリーを使ってコピーする

ジョブメモリーに登録しておいた一連の操作を使ってコピーします。

ここで使うボタン

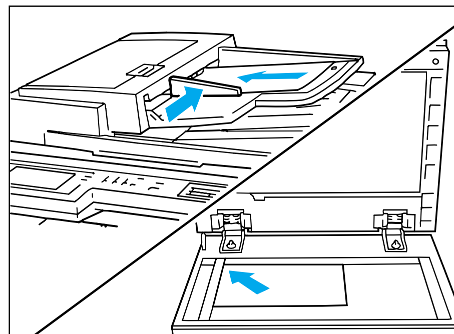


操作手順

参照

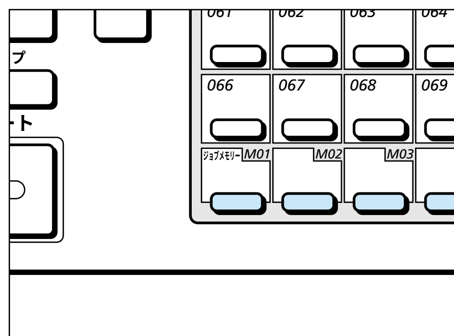
●「第3章　原稿のセット（コピー）」

1 **原稿をセットします。**



2 **登録されているジョブメモリーボタンを押します。**

登録されているとおりの操作が実行されます。

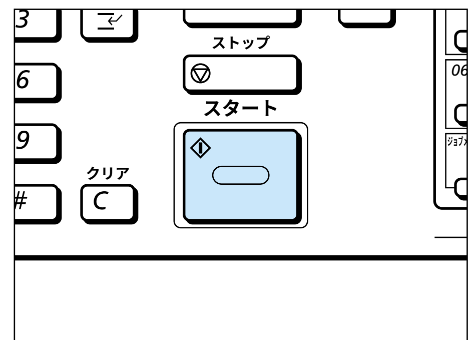


補足

●ワンタッチパネルにジョブメモリーが見えない場合は、パネルをめくってください。

3 ◇スタート を押します。

選択したジョブメモリーに登録されている設定で、コピーが開始されます。



5

便利な機能を使ったコピー

5-17 縦横に回転させてコピーする（自動画像回転）

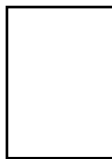
補足

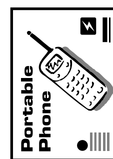
● 工場出荷時の自動画像回転は する に設定されています。

原稿と同じ向きの用紙がセットされていなくても、原稿のイメージを回転させてコピーすることができます。この機能を「自動画像回転」と呼びます。

原稿をセットしてある向き	セットしてある用紙の向き	コピー



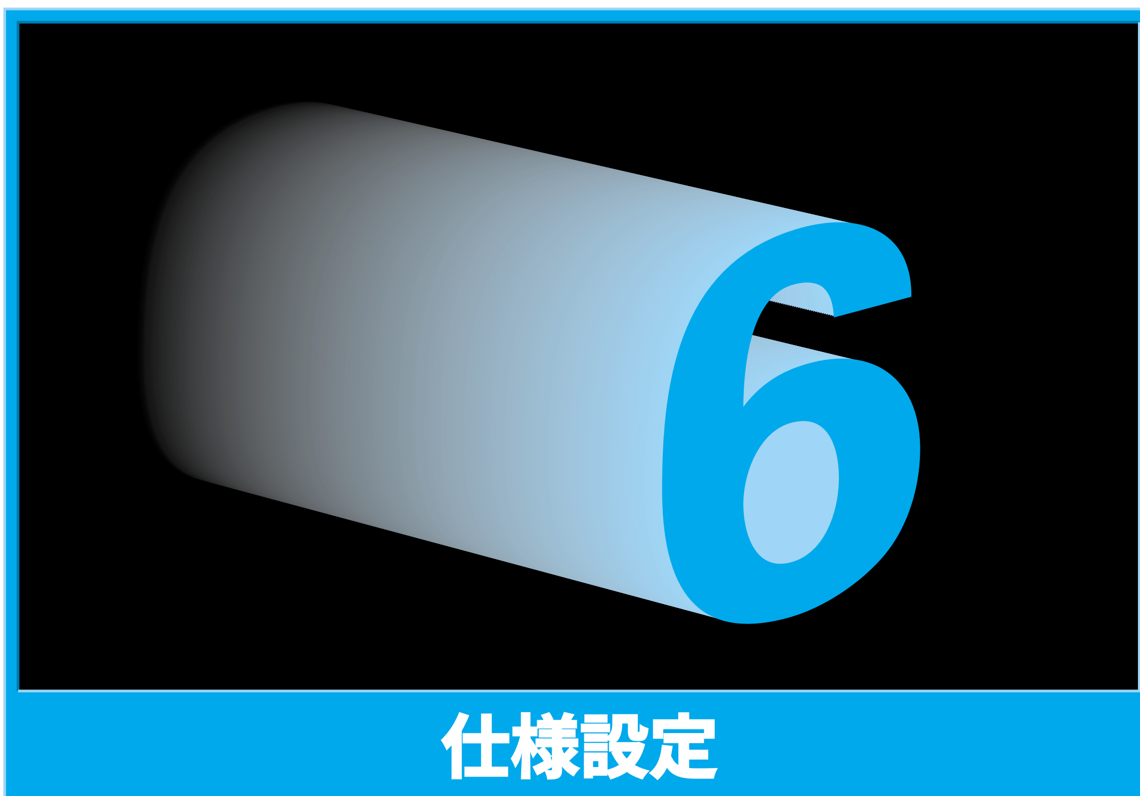


参照

● 設定のしかたについては、「6-1　仕様設定について」を参照してください。

自動画像回転の設定は、仕様設定画面で設定します。
仕様設定画面で自動画像回転を する と設定しておくと、用紙トレイを 自動 に設定したときや縮小/拡大を 自動% に設定したときには、とくに操作しなくても自動画像回転が自動的に実行されます。

- 自動画像回転は、出力する用紙サイズがA4以下の場合に実行されます。ただしまとめて１枚機能が選択されている場合のみ、用紙サイズがA4以上でも実行されます。
- 任意の用紙トレイと倍率を指定したときは自動画像回転は実行されません。
- 小冊子作成機能を設定したときは、自動画像回転を しない に設定していても必要に応じて自動画像回転を行います。
- 非定形サイズの原稿の場合は自動画像回転できません。



仕様設定

6-1 仕様設定について

電源を投入したとき、節電状態から復帰したとき、 リセット を押したとき本機の設定状態は、あらかじめ設定してある値(初期値)に戻ります。仕様の設定とは、初期値を設定したり、また本機が備えている機能を使うか使わないかを決めておくことです。

本機の各機能の仕様設定は工場出荷時に設定されていますが、仕様設定の各画面で変更できるものもあります。よく使う値があるとき、よく使う機能があるときは、仕様設定しておくと操作するたびに変更する手間が省けて便利です。

仕様設定で変更できる機能およびその概要、設定できる値の範囲は、以下の表のようになります。
なお、実際の設定方法は、次の操作手順例を参考に操作を行ってください。

●画面表示設定

機能	機能概要	設定できる値
1.初期画面（電源投入時）	電源を入れたとき、タッチパネルディスプレイに最初に表示される画面を設定することができます。	<u>メニュー</u>、コピー、ファクス
2.コピー初期画面	コピー画面を表示したときに、最初に表示される画面を変更することができます。	<u>基本コピー</u>、お好みコピー、コピー機能一覧
3.ファクス初期画面	ファクス画面を表示したときに、最初に表示される画面を変更することができます。	ファクス編を参照してください。
4.スキャナー初期画面*	スキャナー画面を表示したときに、最初に表示される画面を変更することができます。	スキャナガイドを参照してください。

＿＿がついている値が、工場出荷時の値です。
*：LAN接続ユニット装着機

●タイマー設定

機能	機能概要	設定できる値
1.日付	現在の日付を設定します。	ファクス編を参照してください。
2.時計	現在の時刻を設定します。	ファクス編を参照してください。
3.オートクリア	一定期間機械を操作しない場合、タッチパネルディスプレイの表示を自動的に初期画面に戻すことができます。	<u>する</u>（<u>1</u>～4分)、しない
4.ジョブ自動解除	用紙がなくなったり、用紙/原稿づまりが発生してから一定時間たってもその原因が解決されない場合には、機械は停止したままとなります。 この場合、機械停止の原因となったコピー作業を自動解除して、中断の原因になった機械の部分を使用せずに他のコピーができるように設定することができます。 逆にジョブ自動解除しない場合は、原因が解決されるまで他のコピーはできません。また原稿イメージをいったんメモリーしてからコピーする作業（ソート機能やまとめて1枚機能など）中に、ジョブ自動解除が実行されると、原稿イメージはメモリーから削除されます。	<u>する</u>（4～99分（<u>10分</u>)、しない

6
仕様設定

機能	機能概要	設定できる値
5.プリント起動	機械を操作しているときにファクス受信文書やレポートが蓄積されている場合、機械の操作を終えてからプリント起動されるまでの時間を設定することができます。	ファクス編を参照してください。
6.ROSセーブ	一定の時間（秒）機械を操作しないとき、出力装置のモーターが自動的に待機状態になります。	する（30～99秒）、しない
7.自動節電モード	一定の時間（分）機械を操作しないとき、定着部ヒーターおよびモニターが自動的に待機状態となるローパワーモードと、機械のほとんどが待機状態となり消費電力が最も少ないスリープモードがあります。自動節電モード時は、タッチパネルディスプレイは消灯し、<節電中/解除>ボタンが点灯します。	ローパワーモードまでの時間：15分（15～110分） ローパワーモードからスリープモードまでの時間：45分（10～105分）

____がついている値が、工場出荷時の値です。

●音調整

機能	機能概要	設定できる値
1.操作パネル正常入力音	操作パネルやタッチパネルディスプレイのボタンを正しく押したときに鳴る音です。	あり、なし
2.操作パネル異常入力音	選択不可能な操作パネルやタッチパネルディスプレイのボタンを押したときに鳴る音です。	あり、なし
3.準備完了音	電源を入れたときなど、機械が待機状態から使用可能になったときに鳴る音です。	あり、なし
4.正常終了音（コピー）	コピーが正常に終了したときに鳴る音です。	あり、なし
5.異常終了音	用紙がなくなったり、原稿/用紙づまりなどが発生して、コピーが異常終了したときに鳴る音です。	あり、なし
6.トナー残量警告音	ドラム/トナーカートリッジの交換が必要になっていて、初期画面（メニュー/コピー/ファクス）を表示したときに鳴る音です。	あり、なし

____がついている値が、工場出荷時の値です。

●コピー画面設定

機能	機能概要	設定できる値
1～6.お好み機能1～6	お好み機能画面に表示されている機能は、コピー機能一覧画面に表示されている機能の中から任意に６つ選んで入れ換えることができます。よく使う機能などを入れておくと便利です。	コピー機能一覧
7～12.倍率1～6	基本コピー画面の縮小/拡大の［倍率選択］を選択し、表示される［自動］、［100%］以外の倍率ボタンの倍率値を変更することができます。	定型倍率（10種類173%、163%、141%、122%、115%、86%、81%、70%、61%、57%）、任意倍率（25～400%）

機能	機能概要	設定できる値
13.左右わく消し初期値 **14.上下わく消し初期値** **15.中消し初期値**	わく消しの値（初期値）を設定することができます。良く使うわく消し位置や、わく消し量がある場合、初期値を変更しておくと便利です。	0～50mm（5mm） 0～50mm（5mm） 0～50mm（10mm）

____がついている値が、工場出荷時の値です。

●コピー機能設定

機能	機能概要	設定できる値
1.用紙トレイ*	用紙トレイの初期値を設定します。 縮小/拡大の初期値を［自動%］に設定している場合は、［自動］を設定できません。	自動、手差しトレイ**、トレイ1～トレイ4** (縮小/拡大 自動% のとき、 自動 に設定できません。)
2.縮小/拡大*	縮小/拡大の初期値を設定します。良く使う倍率を設定すると便利です。	100%、自動%、141%、122%、115%、86%、81%、70% (用紙トレイ 自動 のとき、 自動% に設定できません。)
3.コピー濃度*	コピー濃度の初期値を設定します。良く使う濃度を設定すると便利です。	自動、うすく2、うすく1、ふつう、こく1、こく2
4.原稿の画質*	原稿の画質の初期値を設定します。良く使う画質を設定すると便利です。	文字、文字/写真、写真
5.センター移動*	センター移動の初期値を設定します。［センター移動］を良く使う場合、設定すると便利です。	する、しない
6.ソート*	ソートの初期値を設定します。［ソート］を良く使う場合に、設定すると便利です。	する、しない
7.排出トレイ*	サイドトレイ（オプション）または、ステープルフィニッシャー（オプション）が装着されている場合、コピーの排出先を設定します。	センタートレイ、サイドトレイ**、スタッカートレイ**
8.セット枚数制限	コピー時にテンキーを使って入力するコピー枚数やコピー部数の値を、制限することができます。セット枚数制限以上の値を入力しても、自動的にセット枚数制限の値に制限されます。	する(1～99枚)、しない（99枚）
9.自動トレイ切り替え	コピー中に用紙がなくなったとき、同一サイズ/同一方向の用紙がセットされている他の用紙トレイから自動的に用紙を送るようにする機能です。	する、しない
10.トレイ優先順位	同一サイズ、同一方向の用紙が複数の用紙トレイにセットされている時、どの用紙トレイの用紙から使用するか優先順位を設定します。用紙トレイを［自動］や、自動トレイ切り替えを［する］に設定している場合に機能します。なお多重手差しトレイは対象となりません。	各順位でトレイ1～トレイ4**(1→2→3→4**)

6
仕様設定

機能	機能概要	設定できる値
11.自動解除時の用紙トレイ	縮小/拡大の［自動%］を選択したときなど、用紙トレイの［自動］が解除されたときに自動的に選択される用紙トレイをあらかじめ設定します。良く使用する用紙の入った用紙トレイを設定しておくと便利です。	トレイ1～トレイ4**
12.自動画像回転	自動画像回転を行うか行わないかを設定します。	する、しない
13.オフセット排出	オフセット出力キット（オプション）を装着している場合、センタートレイ排出時にオフセット排出を行うか行わないかを設定します。	する、しない

* 印のついている機能はコピー画面で一時的に値を変更できます。
** 装着されていない場合は、表示されません。
____がついている値が、工場出荷時の値です。

●スタッカートレイ設定

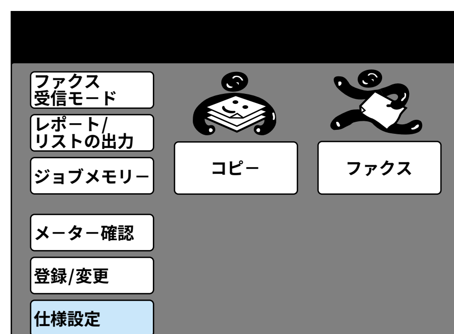
オプションのステープルフィニッシャーを装着している場合に、設定することができます。

機能	機能概要	設定できる値
1.コピー排出先	コピーを排出するスタッカートレイを設定します。	全トレイ、スタッカートレイ1（上段）、スタッカートレイ2（中段）、スタッカートレイ3（下段）
2.プリンター文書排出先*	プリント時、自動選択を指定した場合に排出するスタッカートレイを設定します。	全トレイ、スタッカートレイ1（上段）、スタッカートレイ2（中段）、スタッカートレイ3（下段）

____がついている値が、工場出荷時の値です。
*：PCプリンタユニット装着機の場合

操作手順例

1 **メニュー画面の 仕様設定 を選択します。**

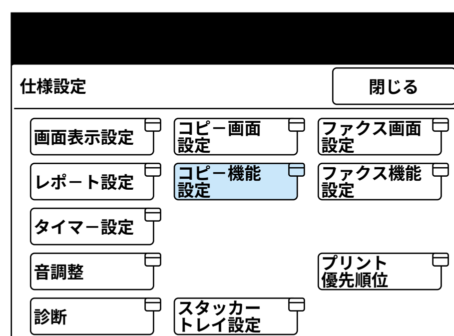


補足

● 右の画面が表示されていない場合は、機能切り替え を押し、メニュー画面を表示させます。

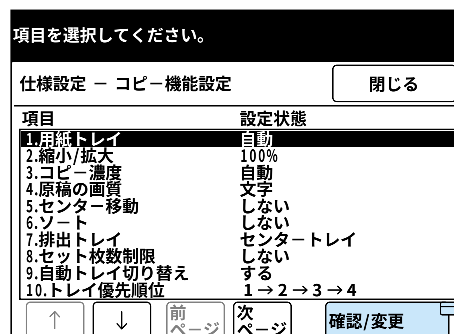
2 **設定するボタンを選択します。**

ここでは、コピー機能設定 を選択します。



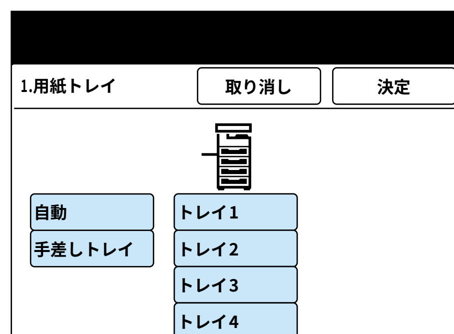
3 **設定する項目を選択し、確認/変更 を選択します。**

ここでは、1.用紙トレイを選択します。



4 **設定したい値を選択します。**

ここでは、例として トレイ3 を選択します。



6 仕様設定

5 決定 を選択します。

1.用紙トレイ 取り消し 決定

自動 / 手差しトレイ / トレイ1 / トレイ2 / トレイ3 / トレイ4

補足

● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

設定した値が表示されます。

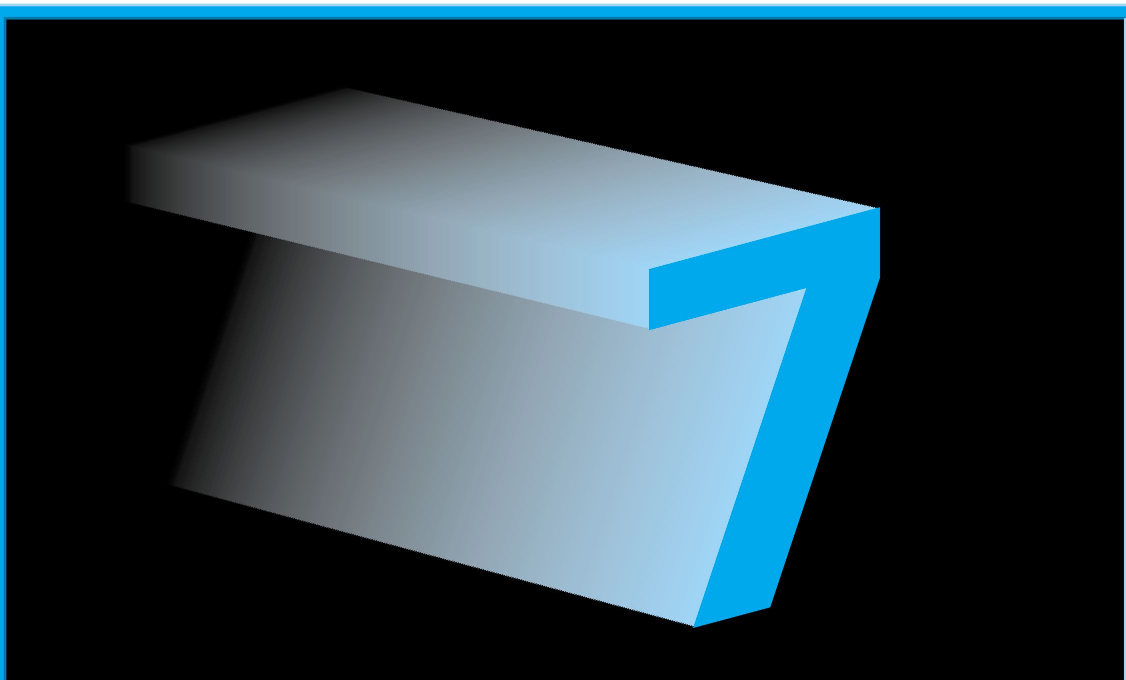
リセット を押すと、初期画面に戻ります。

項目を選択してください。

仕様設定 − コピー機能設定 閉じる

項目	設定状態
1.用紙トレイ	トレイ3
2.縮小/拡大	100%
3.コピー濃度	自動
4.原稿の画質	文字
5.センター移動	しない
6.ソート	しない
7.排出トレイ	センタートレイ
8.セット枚数制限	しない
9.自動トレイ切り替え	する
10.トレイ優先順位	1→2→3→4

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更



トラブルと思ったら

7-1 トラブルと思ったら

トラブルと思ったときは、以下の表のチェック項目を確認してください。

以下の処置をしても正常に戻らないときは、局番なしの113番にご連絡ください。

症　状	チェック項目	処　置
タッチパネルディスプレイに何も表示されない	電源プラグがはずれていませんか?	コンセントに電源プラグを確実に接続してください。
	ブレーカースイッチが ❙（入）になっていますか?	ブレーカースイッチを ❙（入）にしてください。 参照 ●「1-3　電源を入れる/切る」
	電源スイッチが ❙（入）になっていますか?	電源スイッチを ❙（入）にしてください。 参照 ●「1-3　電源を入れる/切る」
「コピーできます」の表示にならない	タッチパネルディスプレイに、エラーメッセージが表示されていませんか? 例:　自動両面ユニット部で用紙づまりが発生したときのエラーメッセージ 紙づまり　閉じる 自動両面ユニットを開けてください。 E 8－1 状態表示コード	エラーメッセージの内容に従って処置してください。 参照 ●「7-3　原稿がつまったとき」 ●「7-4　用紙がつまったとき」 ●「7-6　その他のエラーメッセージが表示されたとき」
	タッチパネルディスプレイに状態表示コード(上図参照)が表示されていませんか?	「7-2　タッチパネルディスプレイに状態表示コードが表示されたとき」を参照し、処置してください。
	タッチパネルディスプレイに「節電中」または 節電中/解除 が点灯していませんか?	本機は、節電状態に入っています。操作パネルの 節電中/解除 を押して、節電状態を解除してください。 参照 ●「1-3　電源を入れる/切る」
コピーが汚れている コピーが濃すぎる コピーが薄すぎる	原稿がカラーペーパー、ザラ紙などではありませんか? また、汚れていませんか?	コピー濃度を調整してコピーしてください。 参照 ●「4-4　コピー濃度を調整する(コピー濃度)」
	原稿ガラス、原稿カバーなどが汚れていませんか?	原稿ガラス、原稿カバーなどを清掃してください。 参照 ●「8-1　清掃をする」
セットした用紙サイズが正しく表示されない	用紙トレイのガイドがずれていませんか?	用紙トレイのガイドを正しく用紙に合わせてください。 参照 ●「2-2　トレイの用紙サイズを変更する」

症　状	チェック項目	処　置
コピーが汚れている **コピーが濃すぎる** **コピーが薄すぎる**	OHPフィルムなどの透過度の高い原稿ではありませんか?	透過度の高い原稿では、原稿カバーの汚れが写ります。原稿の上に原稿と同じサイズの白紙を重ねてコピーしてください。
	コピー濃度が「こく」に設定されていませんか?	コピー濃度を調整してください。 参照 ●「4-4　コピー濃度を調整する(コピー濃度)」
	原稿の濃度が薄くありませんか?	コピー濃度を調整してください。 参照 ●「4-4　コピー濃度を調整する(コピー濃度)」
	コピー濃度が「うすく」に設定されていませんか?	コピー濃度を調整してください。 参照 ●「4-4　コピー濃度を調整する(コピー濃度)」
コピーが部分的に **写らない**	用紙が湿気を含んでいませんか?	用紙が湿気を含んでいると、部分的に写らないコピーになったり、不鮮明になります。新しい包装の用紙と交換してください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
	ミックスサイズ原稿ではありませんか?	ミックスサイズ原稿を使用するときは、ミックスサイズ原稿送り機能を使用してください。 参照 ●「5-11　異なるサイズの原稿を一度に読み取る（ミックスサイズ原稿送り)」
	折り目やシワの入った用紙がトレイに入っていませんか?	不良用紙を取り除くか、新しい包装の用紙と交換してください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
コピーがズレたり、 **曲がって写っている**	原稿が正しくセットされていますか?	原稿を正しくセットしてください。 参照 ●「3-2　原稿をセットする」
	用紙がトレイや多重手差しトレイに正しくセットされていますか?	用紙を正しくセットしてください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
	用紙トレイが確実にセットされていますか?	用紙トレイを確実に奥まで押し込んでください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
原稿または用紙が **つまっている**	原稿づまりですか?	つまった原稿を取り除いてください。 参照 ●「7-3　原稿がつまったとき」
	用紙づまりですか?	つまった用紙を取り除いてください。 参照 ●「7-4　用紙がつまったとき」
紙づまり、紙しわが **たびたび発生する**	用紙がトレイや多重手差しトレイに正しくセットされていますか?	用紙を正しくセットしてください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
	トレイが機械に正しくセットされていますか?	トレイを正しくセットしてください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」

症　状	チェック項目	処　置
紙づまり、紙しわがたびたび発生する	折り目やシワの入った用紙がトレイに入っていませんか?	不良用紙を取り除くか、新しい包装の用紙と交換してください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
	用紙がカールしていませんか?	トレイの用紙を裏返すか、新しい包装の用紙と交換してください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
	機械の内部につまった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか?	機械を開けるかトレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。 参照 ●「7-4　用紙がつまったとき」
	用紙が湿気を含んでいませんか?	新しい包装の用紙と交換してください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
	規格外の用紙がトレイに入っていませんか?	規格に合った用紙と交換してください。 参照 ●「2-1　用紙を補給する(用紙のセット)」
原稿が送り込まれない	タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか?	エラーメッセージの内容に従って処置してください。 参照 ●「7-6　その他のエラーメッセージが表示されたとき」
		原稿をセットしたときに、原稿検知ランプが点灯するかどうか確かめてください。
	自動両面原稿送り装置が原稿ガラス面から浮いていませんか?	自動両面原稿送り装置を完全に閉じてください。
	原稿が小さくありませんか?	自動両面原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズは100×148mmです。原稿が100×148mmより小さい場合は、原稿ガラスを使ってください。 参照 ●「3-1　原稿について」
原稿がたびたびつまる	適切な原稿を使用していますか?	自動両面原稿送り装置に適した原稿をセットしてください。 参照 ●「3-1　原稿について」
	原稿ガイドの位置がずれていませんか?	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 ●「3-2　原稿をセットする」
	自動両面原稿送り装置に紙片が残っていませんか?	自動両面原稿送り装置の原稿読み取り部カバーを開けて確認してください。 参照 ●「7-3　原稿がつまったとき」

症　状	チェック項目	処　置
原稿の端が折れる	原稿がカールしていませんか?	原稿のカールを直してからセットしてください。
ホチキスとめがうまくいかない(ステープルフィニッシャー装着機)	ホチキス針がつまったりしていませんか?	参照 ●「7-5　ホチキスとめがうまくいかないとき」

7

トラブルと思ったら

7-2 タッチパネルディスプレイに状態表示コードが表示されたとき

タッチパネルディスプレイ左下に、状態表示コードが表示された場合の状態と処置について説明します。

下記以外の状態表示コードが表示された場合や、以下の処置をしても正常に戻らない場合は、局番なしの113番にご連絡ください。

補足

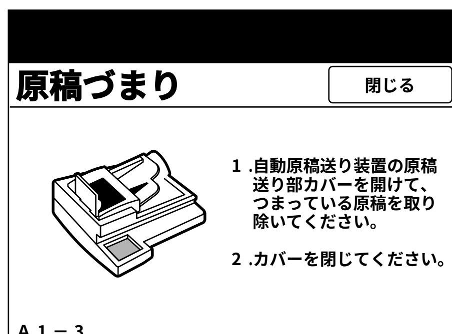
●「A1-×」の「×」には、1けたの数字が示されます。

状態表示コード	状態と処置	参照節
A1-×	自動両面原稿送り装置入口付近の原稿づまりです。手順に従ってつまっている原稿を取り除いてください。	7-3
A2-×	自動両面原稿送り装置の原稿反転部の原稿づまりです。中のカバーを開き、原稿送り部のノブを回して原稿を取り除きます。	7-3
A3-×	自動両面原稿送り装置の原稿排出部の原稿づまりです。中のカバーを開き、原稿送り部のノブを回すか、原稿トレイを上げて、原稿を引き抜いて取り除きます。	7-3
A5-×	自動両面原稿送り装置の読み取り部のカバーが開いています。カバーを閉じてください。 自動両面原稿送り装置の背面のコネクターの接続を確認してください。	—
C1-×,C2-×,C3-×, C4-×,C8-×	紙づまりです。手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください。	7-4
C6-×	自動両面ユニット内および機械内部の紙づまりです。手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください。	7-4
C9-×	多重手差しトレイ部での紙づまりです。手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください。	7-4
E1-×,E3-×,E4-×	機械内部および出口部での紙づまりです。手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください。	7-4
E5-×	本体左側上部カバーが開いています。閉じてください。	—
E6-×	本体左側下部カバーが開いています。閉じてください。	—
E7-×	自動両面ユニットを閉じてください。	—
E8-×	自動両面ユニット内の紙づまりです。手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください。	7-4
F×-×	オプションのサイドトレイ、ステープルフィニッシャー、メールボックスでのエラーです。手順に従って処置してください。	—
H1-×	トレイの故障です。電源スイッチを切/入してください。なお他のトレイを使用すればコピーはできます。	—
H2-×	自動両面ユニットの故障です。電源スイッチを切/入してください。なお自動両面ユニットを使用しないコピーはできます。	—
H4-×	用紙トレイにセットできない用紙がセットされています。なお原稿ガラスでのコピーはできます。	—
H6-×	自動両面原稿送り装置の故障です。電源スイッチを切/入してください。なお原稿ガラスでのコピーはできます。	—
H8-×	機械内部の故障です。電源スイッチを切/入してください。	—
J1-×	トナーがなくなりました。フロントカバー、左側上部カバーを開いて、手順に従ってドラム/トナーカートリッジを交換してください。	8-3
J3-×	ドラム/トナーカートリッジが正しくセットされていません。フロントカバー、左側上部カバーを開いて、手順に従ってドラム/トナーカートリッジをセットし直してください。	8-3
U0-×,U1-×,U2-×, U3-×, U4-×,U6-×, U7-×,U8-×, UE-×	電源スイッチを切/入してください。	1-3

7-3 原稿がつまったとき

自動両面原稿送り装置に原稿がつまったとき、機械は停止します。
タッチパネルディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、つまっている原稿を取り除き、コピーを続けてください。

自動両面原稿送り装置を使ってコピー中に原稿がつまった場合、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。

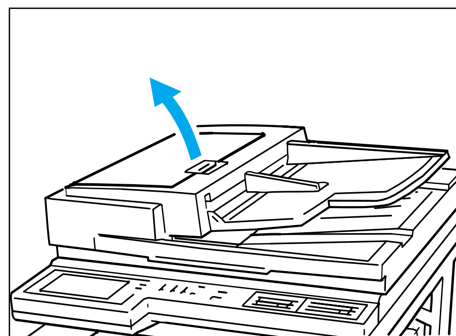


● 左下の状態表示コードは異なる場合があります。

以下の手順で、つまっている原稿を取り除いてください。

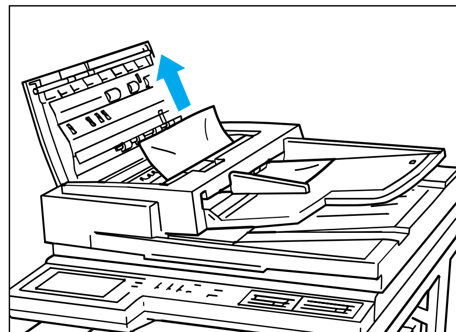
処置手順

1 **自動両面原稿送り装置の中央のレバーを引き上げて、カバーを開けます。**



●「A 1-×」が表示された場合

2 **自動両面原稿送り部につまっている原稿を矢印の方向へゆっくり引いて取り除きます。**



補足

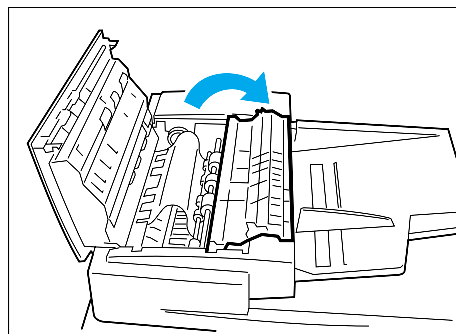
●「A 1-×」以外の状態表示コードが表示された場合は、次の手順に進みます。

●「A 2-×」「A 3-×」が表示された場合

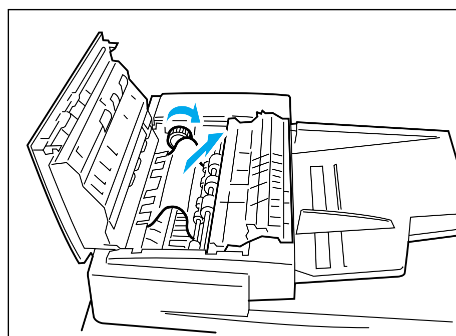
補 足

● 原稿がすでに原稿反転部を通過している場合は、手順5に進みます。

3 **取っ手を持って、中のカバーを上げます。**

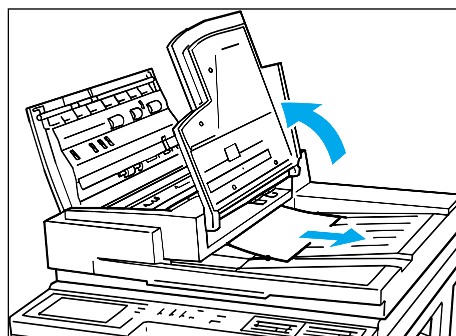


4 **ノブを矢印の方向に回して、原稿反転部および原稿排出部につまっている原稿を取り除きます。**
手順3で上げたカバーを元に戻します。



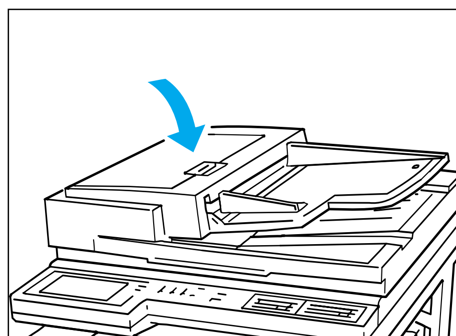
5 **原稿排出部の原稿は、原稿トレイを上げてゆっくり引き抜きます。**

すべての原稿づまりがなくなったことを確認し、原稿トレイを元に戻します。



6 **自動両面原稿送り装置のカバーを「カチッ」と音がするまで押し下げて、確実に閉じます。**

ディスプレイ上部に、「原稿再セット」と表示されます。

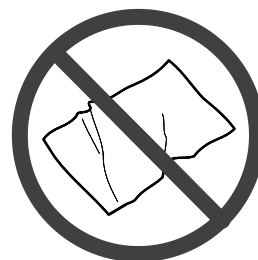


補 足

● カバーが完全に閉じていない場合、「A 5-×」が表示されますので、再度閉じてください。

7 トラブルと思ったら

7 原稿に破れ、しわ、折れがないかを確認し、すべての原稿をページ順に並べ直してもう一度セットします。





● 原稿に破れ、しわ、折れがあるときは原稿づまりや原稿破損の原因になります。原稿を直接原稿ガラスにセットして、コピーしてください。

7 トラブルと思ったら

7-4 用紙がつまったとき

用紙がつまったとき、機械は停止します。
タッチパネルディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、つまっている用紙を取り除いてください。
本節では、以下の場所で発生した用紙づまりの処置のしかたを説明しています。

- **本体左側上部およびセンタートレイ(出口部)での用紙づまり**
- **本体左側下部およびトレイ部での用紙づまり**
- **自動両面ユニット部での用紙づまり**
- **多重手差しトレイ部での用紙づまり**
- **ステープルフィニッシャー装着時のセンタートレイ排出口での用紙づまり**
- **ステープルフィニッシャー接続部上面での用紙づまり**
- **ステープルフィニッシャー排出部での用紙づまり**
- **サイドトレイでの用紙づまり**
- **メールボックスでの用紙づまり**

複数の場所で用紙づまりが発生することもあります。用紙を取り除いてもさらにエラーメッセージが表示される場合は、メッセージに従ってください。

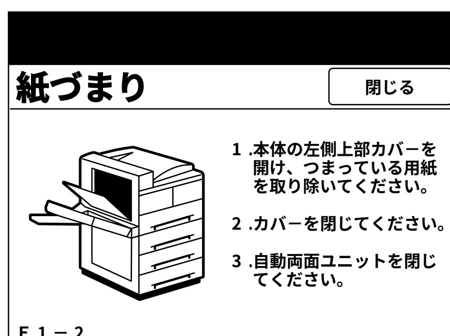


● 万一、発煙をともなう紙づまりが発生したときには、カバーを開けずに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、局番なしの113番にご連絡ください。

⚠ 注意 **つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。**
特に折紙などの導電率の高い紙は、確実に取り除いてください。
なお、紙片がヒーター部やローラー部に用紙が巻きついているときや、見えない部分や見にくい部分につまった用紙を取り除くときは、無理に取らないでください。ケガの原因となります。直ちに電源を切り、局番なしの113番に連絡してください。

本体左側上部およびセンタートレイ(出口部)でつまっている用紙を取り除く

本体左側上部およびセンタートレイ(出口部)で用紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。



● 左下の状態表示コードは異なる場合があります。

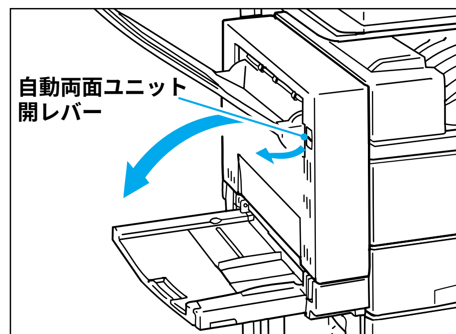
次の手順で、つまっている用紙を取り除きます。

処置手順

補足

● 自動両面ユニットはオプションです。

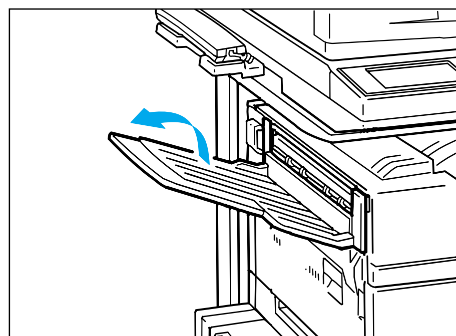
1 **自動両面ユニットを装着している場合は、自動両面ユニット開レバーを引きながら、ゆっくりと自動両面ユニットを開けます。**



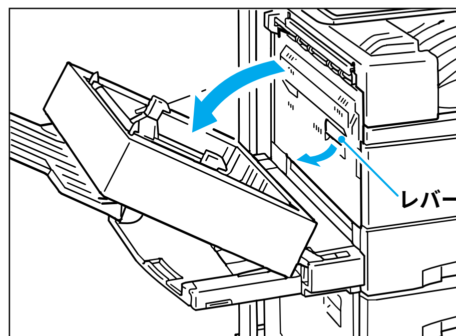
補足

● 簡易サイドトレイはオプションです。

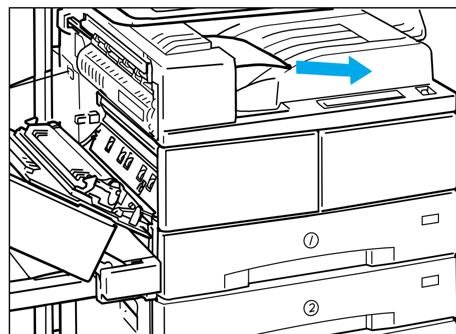
簡易サイドトレイを装着している場合は、トレイを持ち上げるようにして、機械本体から取り外します。



2 **レバーを引きながら、左側上部カバーを開けます。**

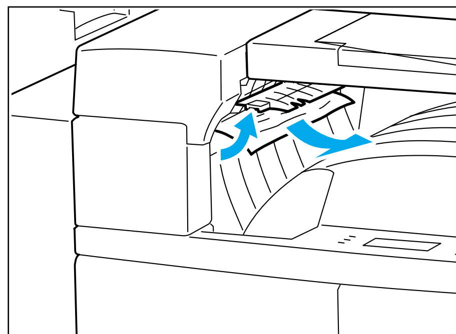


3 **つまっている用紙の先端がセンタートレイの方向に出ている場合は、つまっている用紙を排出方向にまっすぐに引いて取り除きます。**

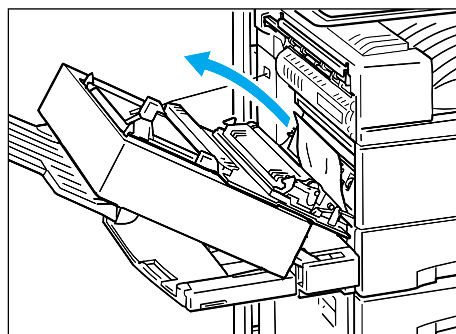


7 トラブルと思ったら

4 ステープルフィニッシャーを装着している場合は、図のようにセンタートレイ排出口のカバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。



5 つまっている用紙を取り除きます。

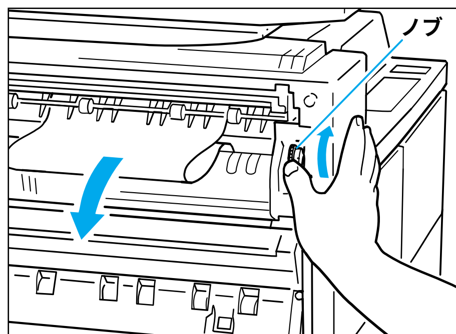


⚠ 注意 **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。**

参照

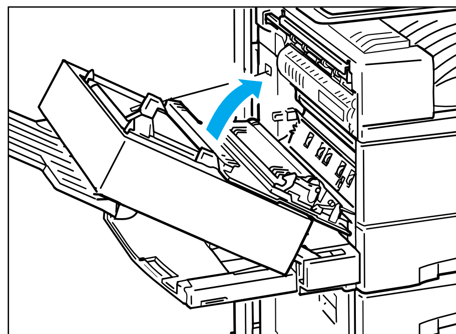
● 用紙トレイ2～4からA3やB4の用紙を送っている場合、用紙が取りづらいときは、左側下部カバーを開けて処置してください。次項「本体左側下部およびトレイ部でつまっている用紙を取り除く」を参照してください。

定着部に用紙がつまっている場合には、定着部に触れないように注意してください。ノブを押し込みながら矢印の方向に何回か回して、用紙が矢印の方向に充分排出してから取り除きます。

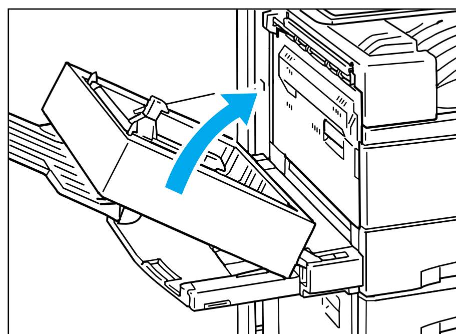


⚠ 注意 **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。**

6 左側上部カバーおもて面の「ここを押して閉じてください。」の表示部を押して、左側上部カバーを閉じます。

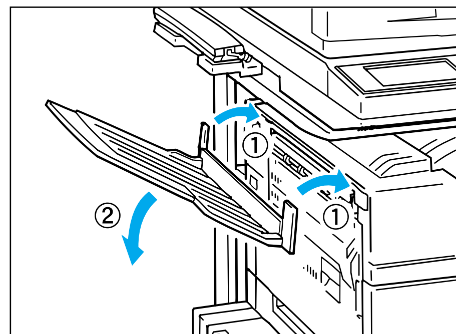


7 自動両面ユニットを装着している場合は、自動両面ユニットを閉じます。



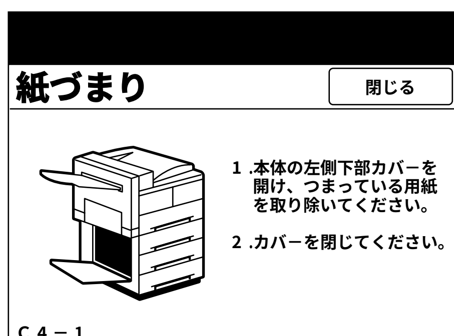
7 トラブルと思ったら

簡易サイドトレイを取り外した場合は、簡易サイドトレイを機械本体に取り付けます。



本体左側下部およびトレイ部でつまっている用紙を取り除く

本体左側下部およびトレイ部で用紙づまりが発生するとタッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。



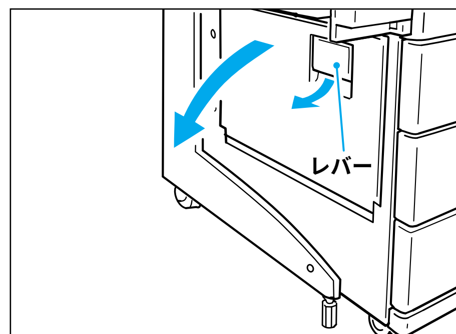


● 左下の状態表示コードは異なる場合があります。

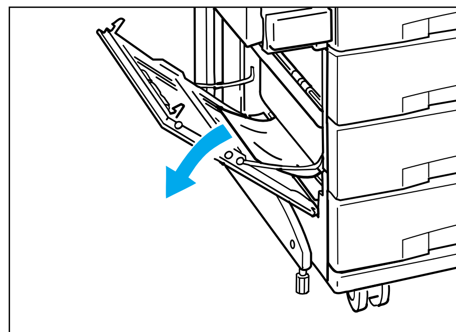
以下の手順で、つまっている用紙を取り除きます。

処置手順

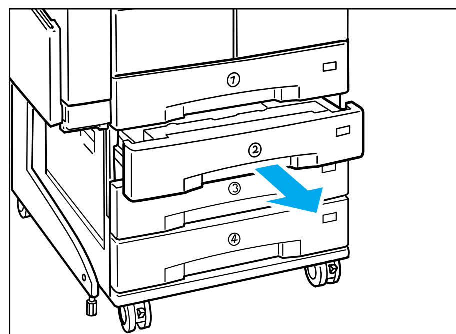
1 左側下部カバーを、レバーを引いて開けます。



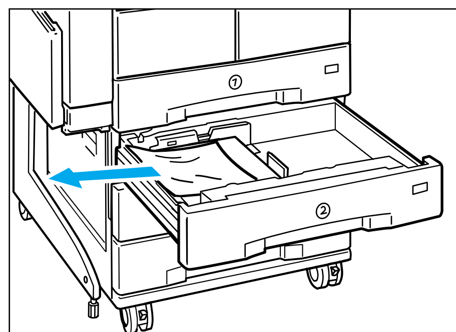
2 つまっている用紙を取り除き、カバーを閉じます。



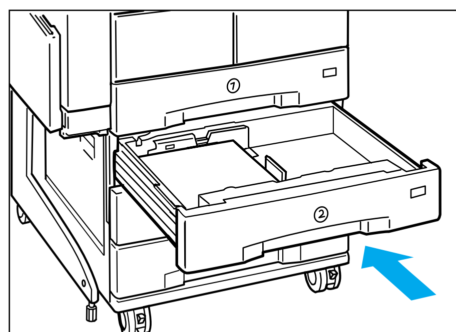
3 タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されている場合は、指定された用紙トレイを引き出します。



4 つまっている用紙を取り除きます。



5 奥につきあたるところまでトレイをゆっくりと押し込みます。



参照

● 用紙が取り除けない、あるいは紙づまりが解消されない場合は、本節「本体左側上部およびセンタートレイ(出口部)でつまっている用紙を取り除く」を参照してください。

自動両面ユニット部でつまっている用紙を取り除く

自動両面ユニット部で用紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。

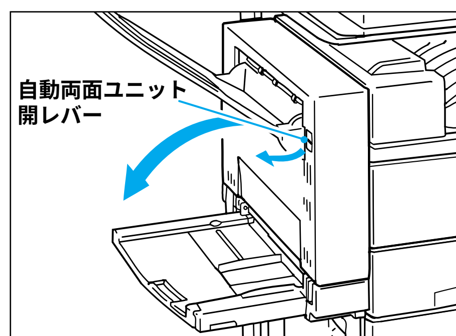


- 左下の状態表示コードは異なる場合があります。
- 自動両面ユニットはオプションです。

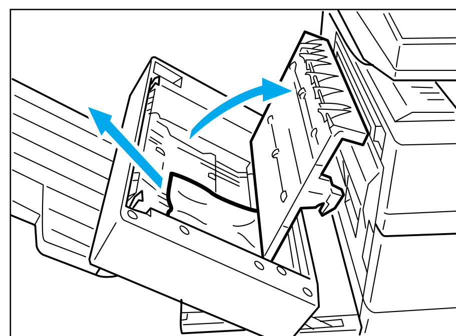
以下の手順で、つまっている用紙を取り除きます。

処置手順

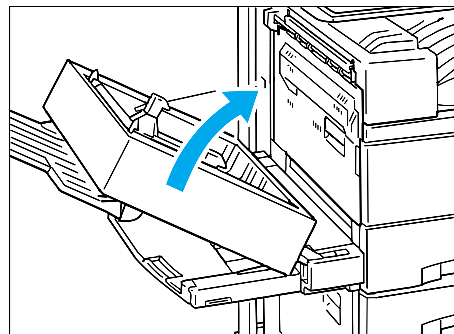
1 **自動両面ユニット開レバーを引きながら、ゆっくりと自動両面ユニットを開けます。**



2 **自動両面ユニット内部につまっている用紙を取り除きます。**

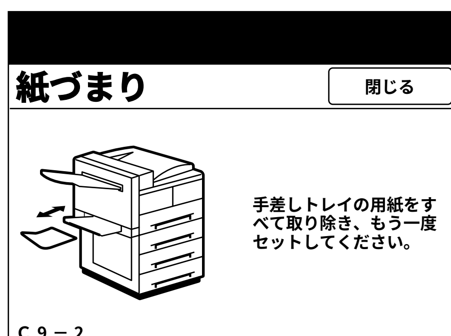


3 **自動両面ユニットを閉じます。**



多重手差しトレイ部でつまっている用紙を取り除く

多重手差しトレイ部で用紙づまりが発生するとタッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。



- 左下の状態表示コードは異なる場合があります。
- 多重手差しトレイはオプションです。

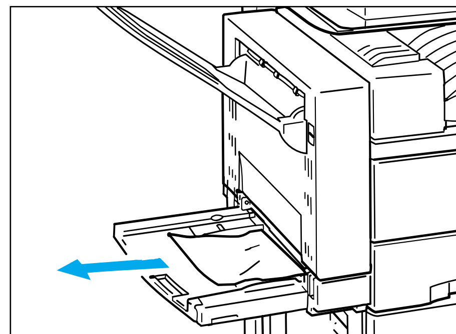
次の手順で、つまっている用紙を取り除きます。

7
トラブルと思ったら

処置手順

1 つまっている用紙を取り除き、残っている用紙を一度すべて取りだします。

2 用紙をそろえて再度多重手差しトレイにセットします。



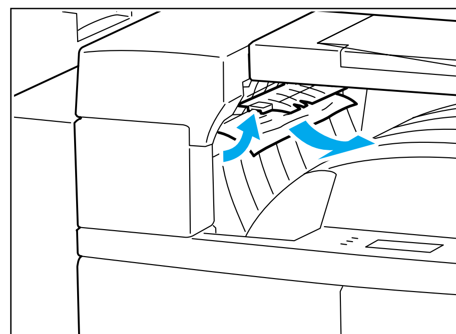
参照

● 用紙が取り除けない、あるいは紙づまりが解消されない場合は、本節の「本体左側上部およびセンタートレイ(出口部)でつまっている用紙を取り除く」を参照してください。

ステープルフィニッシャー装着時のセンタートレイ排出口での用紙づまり

処置手順

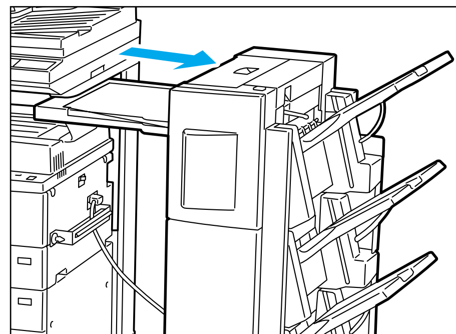
1 センタートレイ排出口のカバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。



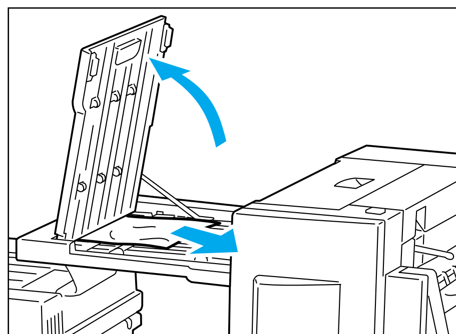
ステープルフィニッシャー接続部上面での用紙づまり

処置手順

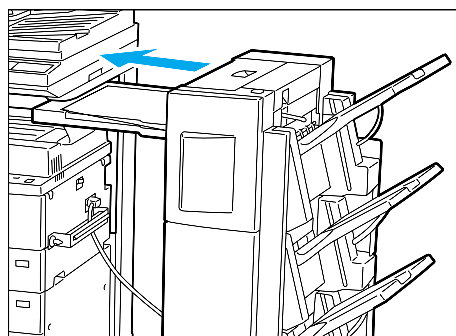
1. ステープルフィニッシャーを右方向へ、止まるところまで動かします。



2. フィニッシャー接続部の上面カバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。



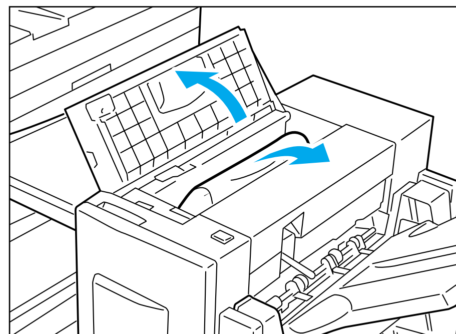
3. ステープルフィニッシャーを左方向へ押して、本体に取り付けます。



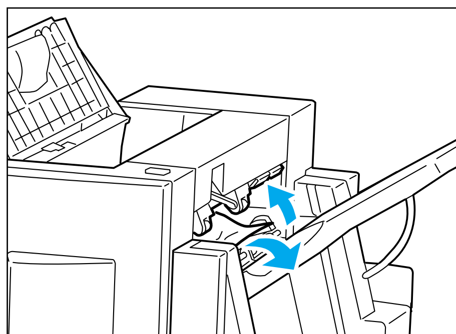
ステープルフィニッシャー排出部での用紙づまり

処置手順

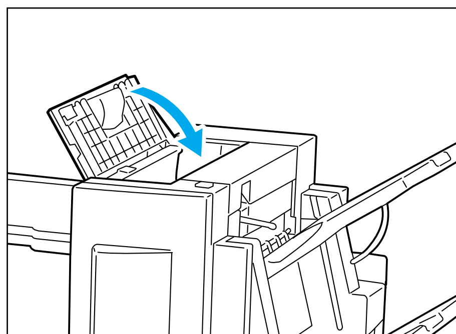
1. フィニッシャーの上面カバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。



2. 排出側に用紙がつまっている場合は、排出口のカバーを持ち上げて取り除きます。

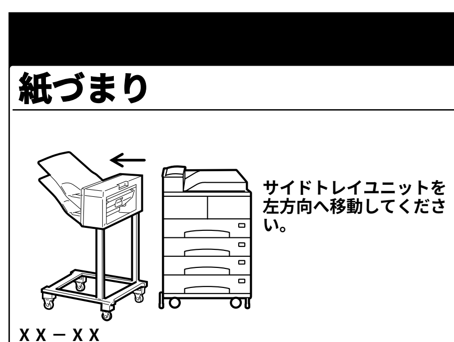


3. フィニッシャーの上面カバーを閉じます。



サイドトレイでの用紙づまり

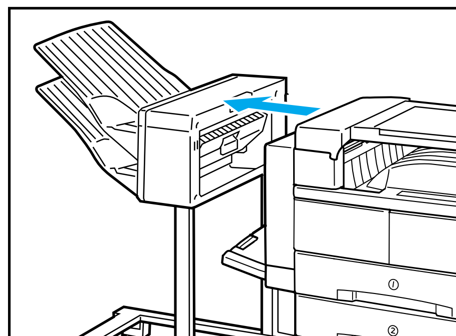
サイドトレイで紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。



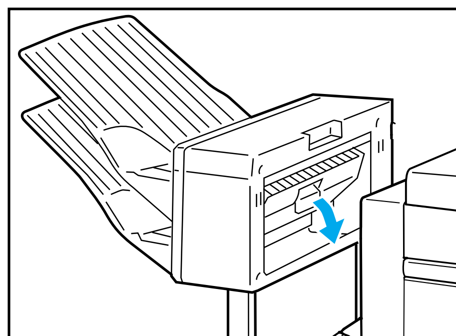
以下の手順で、つまっている用紙を取り除きます。

処置手順

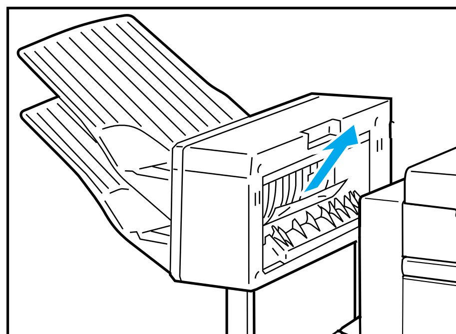
1. **サイドトレイユニットを左方向へ、止まる所まで動かします。**



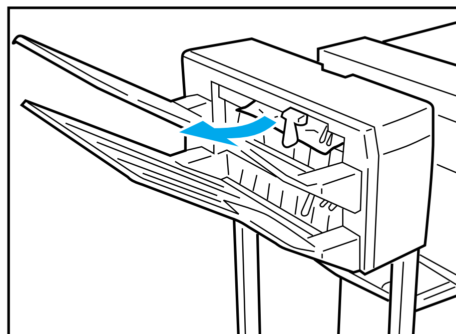
2. **緑色のレバーを持って、中のカバーを開けます。**



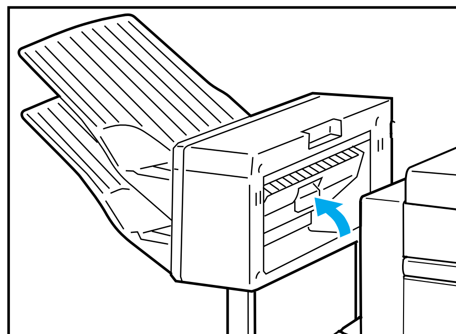
3 つまっている用紙を取り除きます。



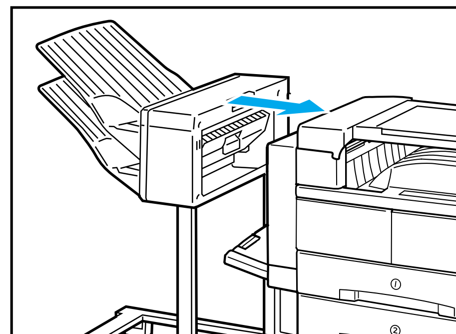
4 トレイ側へつまっている用紙が出ているときには、トレイ側から取り除きます。



5 緑色のレバーを持って、中のカバーを閉じます。



6 サイドトレイユニットを右方向へ押して、本体に取り付けます。

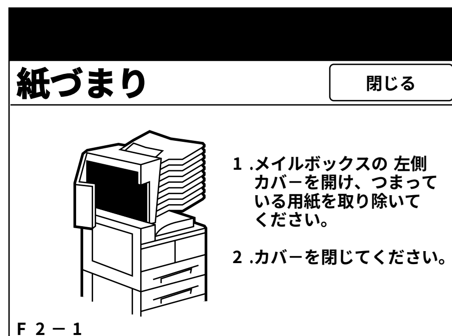


メールボックスでの用紙づまり

補足

● メールボックスはオプションです。

メールボックス部で紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のようなメッセージが表示されます。



以下の手順に従って、つまっている用紙を取り除いてください。

処置手順

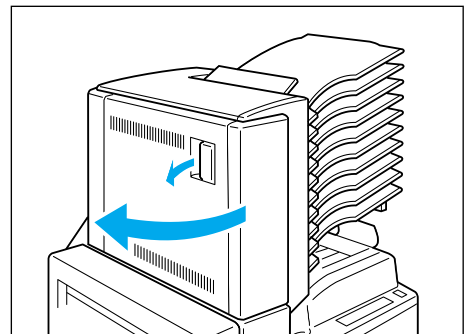
補足

● 本体の電源を入れたままで、紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、内部に残っている印刷データやメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

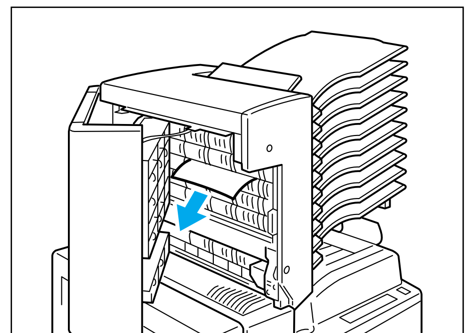
補足

● 取り除きづらい場合は、メールボックスピン側から引いて、取り除いてください。

1 **メールボックスのカバー開レバーを引き上げ、ゆっくりとメールボックスのカバーを開きます。**



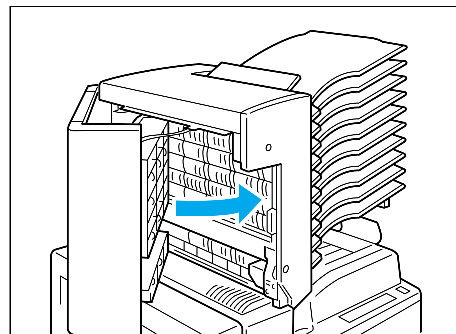
2 **つまっている用紙を矢印の方向に引いて、取り除きます。**



補足

● 紙片が本体内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。

3 メールボックスのカバーを閉じます。



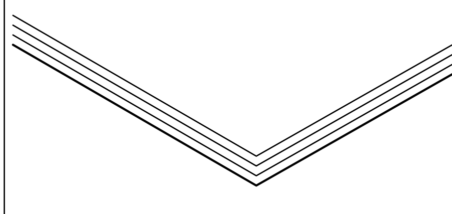
7

トラブルと思ったら

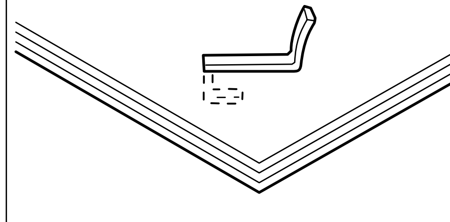
7-5 ホチキスとめがうまくいかないとき

ステープルフィニッシャーでホチキスとめをした場合のトラブルについて、説明します。
針がうたれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ホチキス本体を確認します。
この節では、ホチキスの針づまりの処理方法を説明します。

針がうたれない

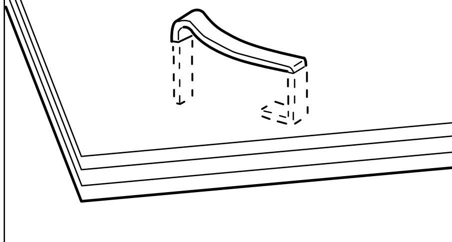


針が曲がってとめられている

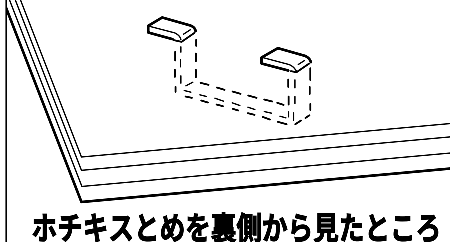


下図のように針がうたれているときは、局番なしの113番にご連絡ください。

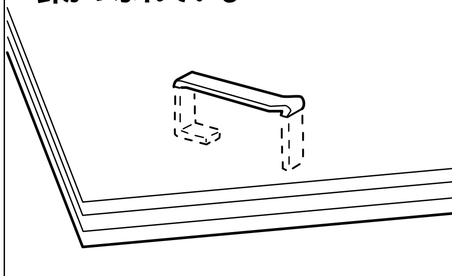
針の片側が浮いている



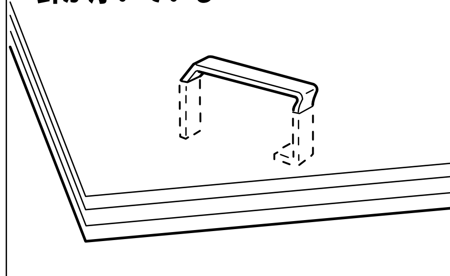
針が逆方向に曲がっている



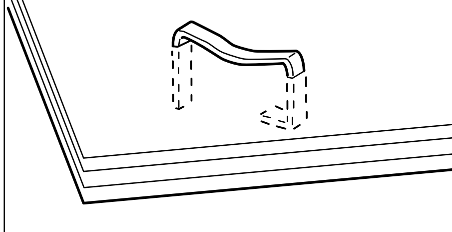
針がつぶれている



針が浮いている



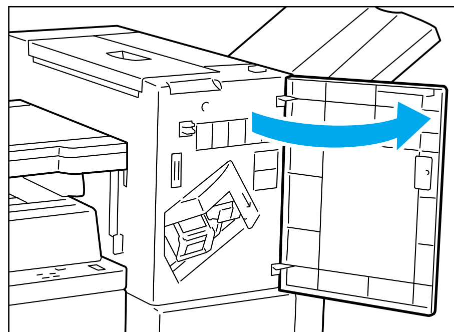
針が浮いて中央が凹んでいる



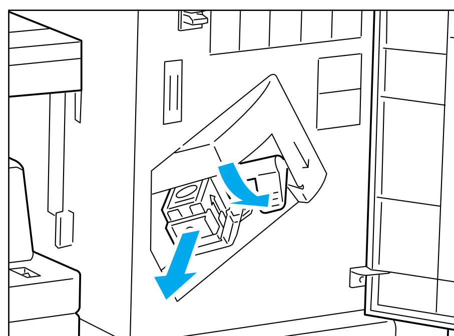
● 次ページ以降の処置をしても正常に戻らないときは、局番なしの113番にご連絡ください。

処置手順

1. **ステープルフィニッシャーのフロントカバーを開けます。**

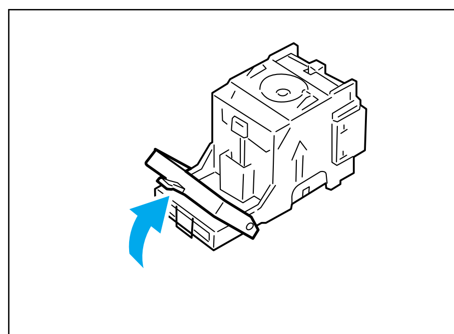


2. **オレンジ色のレバーを図のように押し、ホチキスカートリッジを取り出します。**



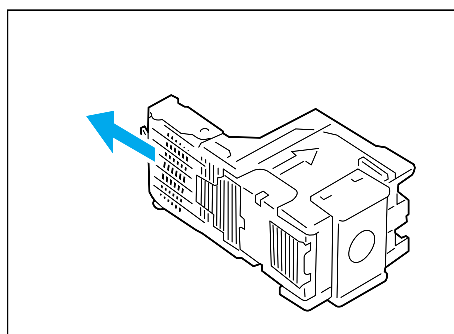
3. **図のようにホチキスカートリッジのカバーを開け、つまっている針を取り除きます。**

⚠ 注意　**つまったホチキス針を取り除くときは、指などにケガをしないよう十分にご注意ください。**

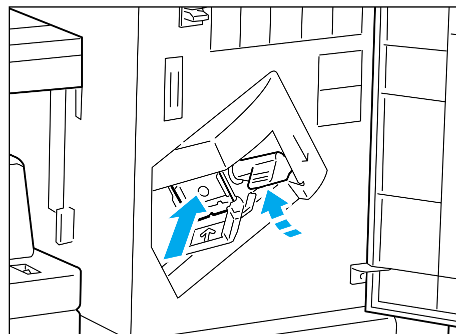


4. **図の位置までホチキス針がつまっている場合は、矢印の方向へ押し出して取り除きます。**

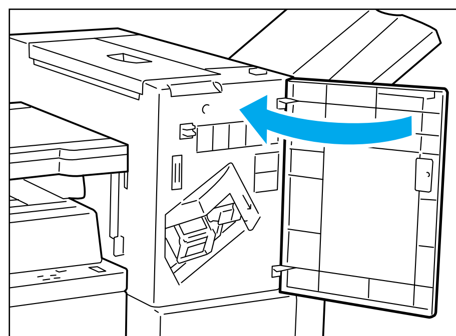
● 以上の操作をしても針が取り除けないときは、局番なしの113番にご連絡ください。



5 **ホチキスカートリッジをオレンジ色のレバーが元の位置に戻るまで押し込みます。**



6 **ステープルフィニッシャーフロントカバーを閉じます。**



7

トラブルと思ったら

7-6 その他のエラーメッセージが表示されたとき

原稿づまり、用紙づまり以外のエラーメッセージを以下のように分類して、処置について説明します。

●用紙補給または原稿セットによるエラーメッセージ

●メモリーオーバーによるエラーメッセージ

●機械内部のエラーによるエラーメッセージ

- 以下に示すエラーメッセージは、仕様の異なる機種をご使用のときには、表示が多少異なる場合があります。また以下にないメッセージが表示される場合もあります。表示されたメッセージに従って処置してください。
- 以下の処置を行っても正常な動作に戻らない場合は、局番なしの113番にご連絡ください。

●用紙補給または原稿セットによるエラーメッセージ

エラーメッセージ	現象と処置
トレイXXに用紙を補給してください。	用紙切れです。適切なサイズの用紙を補給してください。 ● コピー中に用紙がなくなった場合は、用紙補給後に以下のメッセージが表示されますので、これに従ってください。 「続けてコピーできます。」
原稿サイズが検知できません。[縮小/拡大]を選択して倍率を指定してください。	縮小/拡大で 自動% が選択されていますが、原稿サイズが検知できないために適切な倍率選択ができません。 倍率を指示してください。
原稿サイズが検知できません。[用紙トレイ]を選択してください。	用紙トレイで 自動 が選択されていますが、原稿サイズが検知できないために適切な用紙トレイが選択できません。 用紙トレイで適切なトレイを選択してください。
XXサイズの用紙トレイをセットしてください。	用紙トレイで 自動 が選択されていますが、該当する用紙トレイがセットされていません。以下の処置のいずれかを行ってください。 ● 該当する用紙トレイをセットし、適切な用紙に出力させます。 ● 該当する用紙トレイがない場合は、用紙トレイや縮小/拡大の設定を変えてコピーするか、用紙トレイの用紙サイズを変更します。
原稿全体はコピーできません。[縮小/拡大]または、[用紙トレイ]を確認してください。[スタート]ボタンでコピーできます。	用紙トレイの 自動 が選択された状態で拡大を指示し、原稿全体が用紙に収まらない場合、以下の処置のいずれかを行ってください。 ● 縮小/拡大または用紙トレイの設定を確認して、原稿イメージの欠けが問題にならない場合は、そのまま スタート を押してコピーします。 ● 用紙トレイや縮小/拡大の設定をし直して、原稿イメージ全体が用紙に収まるようにコピーします。
原稿と用紙の方向が違います。原稿または用紙の方向を変更してください。このままでよい場合は[スタート]ボタンでコピーできます。	自動画像回転が働かない場合、左のメッセージが表示されることがあります。原稿または用紙の縦/横を確認してください。

●メモリーオーバーによるエラーメッセージ

エラーメッセージ	現象と処置
メモリーオーバーフローです。[スタート]ボタンで蓄積したページをコピーします。[ストップ]ボタンでコピーを中止します。	ソートコピー時のメモリーオーバーです。以下のいずれかの処置を行ってください。 ● スタート を押して、蓄積済みのページだけを出力させます。 ● ストップ を押して、コピーを中止します。不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します。
蓄積原稿枚数が多すぎます。[スタート]ボタンで蓄積したページをコピーします。[ストップ]ボタンでコピーを中止します。	ハードディスクドライブのメモリーオーバーです。以下のいずれかの処置を行ってください。 ● スタート を押して、蓄積済みのページだけを出力させます。 ● ストップ を押して、コピーを中止します。不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します。
メモリーオーバーフローです。蓄積を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。	ソートを使用しないでコピーするか、割り込みを解除して、割り込み前のジョブが終了してからコピーしてください。

●機械内部のエラーによるエラーメッセージ

エラーメッセージ	現象と処置
取扱説明書を参照してください。U×-××	機械内部のエラーです。電源スイッチを切/入をしてください。正常に戻らない場合は、タッチパネルディスプレイ右下に表示されるUコードを局番なしの113番にご連絡ください。
システムエラーが発生。処理を中止しました。はじめから操作をしてください。エラーが続く時は取扱説明書を参照してください。	機械内部のエラーです。操作をやり直してください。正常に戻らない場合やエラーが度重なる場合には、局番なしの113番にご連絡ください。
選択されたトレイは故障しています。他のトレイを選択するか、取扱説明書を参照してください。	選択された用紙トレイの故障です。この用紙トレイは使用できませんので、他の用紙トレイを選択するか、多重手差しトレイを使用してください。 故障した用紙トレイの修理を局番なしの113番に依頼してください。
自動両面ユニットが故障しています。[×××××]は使えません。取扱説明書を参照してください。	自動両面ユニットが故障した状態で、自動両面ユニットを使用する機能が選択されました。自動両面ユニット故障時は、これらの機能は使用できません。局番なしの113番に修理を依頼してください。
自動原稿送り装置が故障しています。[×××××]は使えません。取扱説明書を参照してください。	自動両面原稿送り装置の故障です。自動両面原稿送り装置を使用する機能は使用できません。局番なしの113番に修理を依頼してください。

補足

● 多重手差しトレイはオプションです。
● 自動両面ユニットはオプションです。

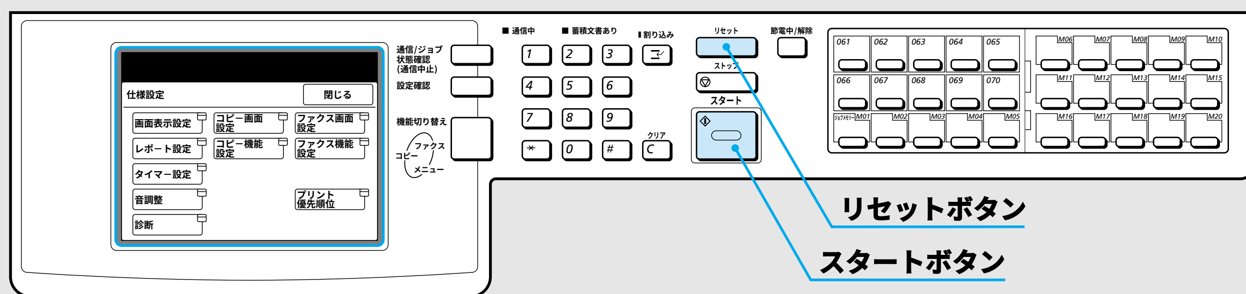
エラーメッセージ	現象と処置
作業用メモリーが故障しています。処理を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。	機械内部の故障です。両面コピー、自動両面原稿送り装置を使った複数部コピー、自動画像回転などの機能は使用できません。局番なしの113番に修理を依頼してください。
エラー発生。処理を中止しました。いずれかのボタンを押すと復帰します。	機械内部のエラーです。いずれかのボタンを押すと復帰します。
エラー発生。処理を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。	上記のエラーに分類されないエラーが発生しました。局番なしの113番に修理を依頼してください。
ハードディスク準備中です。 少し待ってから、もう一度[スタート]ボタンを押してください。	ハードディスクの準備中です。しばらくしてからもう一度スタートを押してください。
ハードディスクが故障しています。 蓄積を必要とする機能は使えません。 取扱説明書を参照してください。HD-××	ハードディスクの故障です。ソート機能や小冊子作成コピーは行えません。局番なしの113番にご連絡ください。
ハードディスクエラーです。 電源を切/入してください。エラーが続く時は、取扱説明書を参照してください。HD-××	ハードディスクのエラーです。通信中などでないことを確認し、電源スイッチを切/入してください。正常に戻らない場合やエラーが度重なる場合は局番なしの113番にご連絡ください。
ハードディスクエラーです。 通信中でない事を確認し、電源を切/入してください。 エラーが続く時は、取扱説明書を参照してください。HD-××	

7-7 診断する

診断は本機の内部的な障害箇所を調べるための機能です。

- 以下の機能が実行中は診断を行うことはできません。また、診断中に以下の機能を動作させることはできません。
  - ・コピー、プリント、蓄積、レポート出力
  - ・送信および受信、通話
- 通信トラブルの場合、原因が本体にあるか相手側や回線側にあるかがわからない場合に有効です。

ここで使うボタン

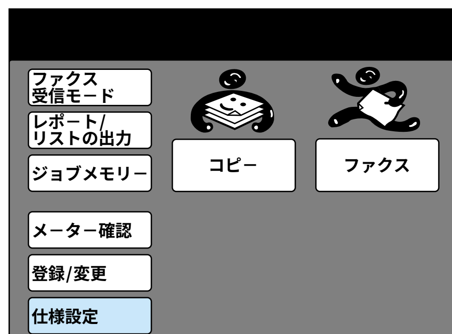


操作手順

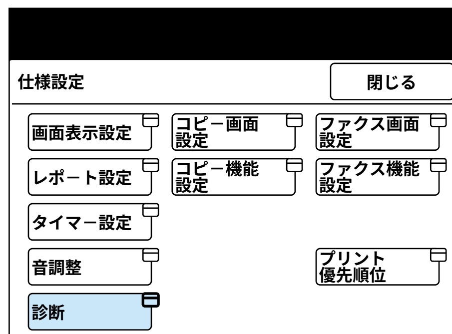
補足

- 右の画面が表示されていない場合は、［機能切り替え］を押し、メニュー画面を表示させます。

1 メニュー画面の［仕様設定］を選択します。



2 ［診断］を選択します。

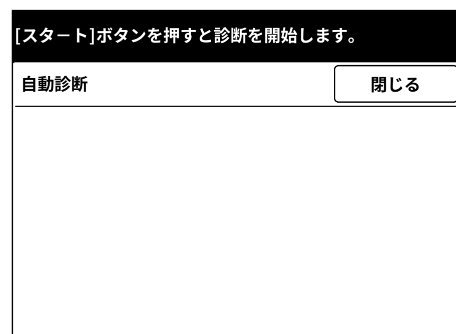


3 自動診断 を選択します。

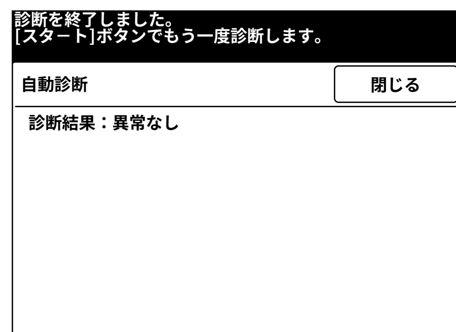


4 ディスプレイに右図が表示されたら、操作パネルの スタート を押します。

診断が開始されます。

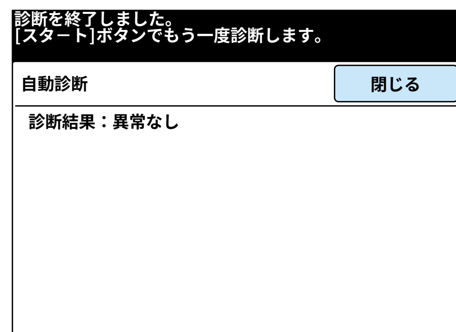


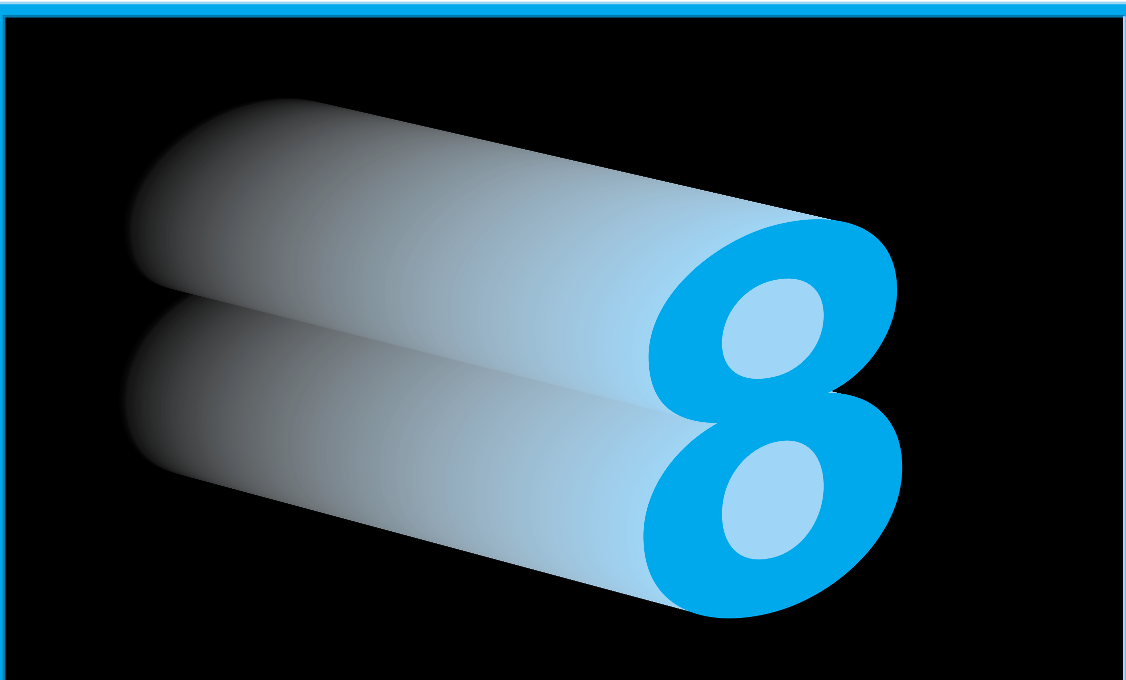
しばらくして右の画面が表示されれば、正常です。それ以外の画面が表示された場合は、局番なしの113番にご連絡ください。



5 閉じる を選択し、仕様設定画面に戻ります。

リセット を押し、初期画面に戻ります。





日常の管理

8-1 清掃をする

いつもきれいなコピーをおとりいただくために約1か月に1回をめどに、以下の事項をお願いいたします。

- **原稿カバーの清掃**
- **原稿ガラスの清掃**
- **自動両面原稿送り装置の読み取り部の清掃**
- **自動両面原稿送り装置のマイラー部の清掃**
- **自動両面原稿送り装置のローラーの清掃**



- ベンジンやシンナーなどでふくと、プラスチック部品や塗装を傷めることがあります。
- 水でぬらしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

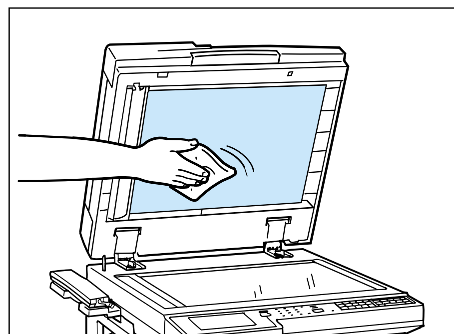
原稿カバーおよび原稿ガラスの清掃をする

以下の手順で、原稿カバーおよび原稿ガラス部分の清掃をしてください。

●原稿カバーの清掃

原稿カバーが汚れていると、コピーが汚れたり、原稿サイズを誤検知することがあります。少し水でぬらした柔らかい布で清掃してください。

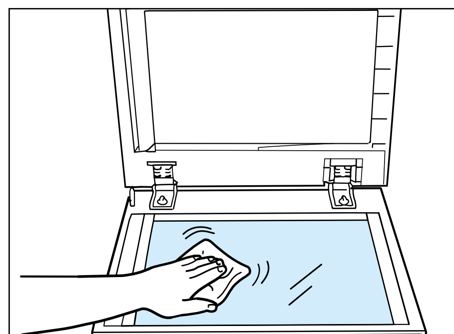
その後、かわいた柔らかい布でからぶきしてください。



●原稿ガラスの清掃

原稿ガラスが汚れていると、汚れがそのままコピーされることがあります。少し水でぬらした柔らかい布で清掃してください。

その後、かわいた柔らかい布でからぶきしてください。



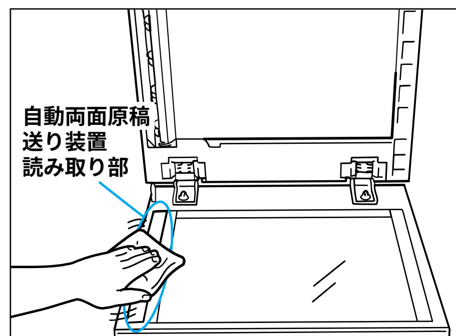
自動両面原稿送り装置の清掃をする

以下の手順で、自動両面原稿送り装置の清掃をしてください。

●自動両面原稿送り装置の読み取り部の清掃

自動両面原稿送り装置の読み取り部が汚れていると、原稿づまりやプリント汚れの原因になります。少し水でぬらした柔らかい布で清掃してください。

その後、かわいた柔らかい布でからぶきしてください。

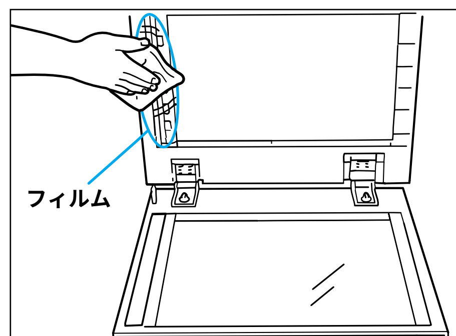


補足

● フィルム部は破損しやすいので強く押しすぎないでください。

●自動両面原稿送り装置のフィルム部の清掃

自動両面原稿送り装置のフィルム部が汚れていると、プリント汚れの原因になります。少し水でぬらした柔らかい布で清掃してください。その後、かわいた柔らかい布でからぶきしてください。



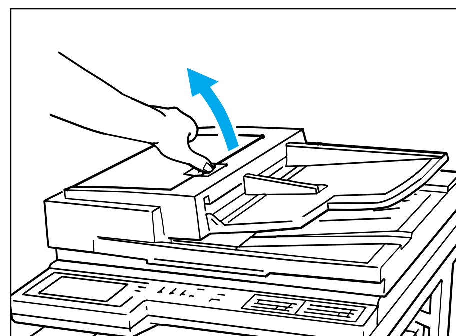
補足

● 原稿読み取り部カバーを充分開くと、固定される位置があります。

●自動両面原稿送り装置のローラーの清掃

自動両面原稿送り装置のローラーが汚れていると、原稿づまりやプリント汚れの原因になります。

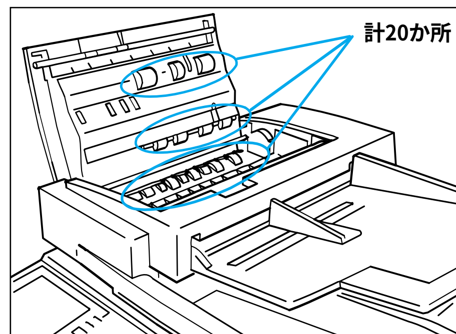
まず、自動両面原稿送り装置の中央のレバーを引き上げて、カバーを開けます。



補足

● 布は水滴が落ちない程度に堅く絞ってご使用ください。内部に水滴が落ちると誤動作を起こす場合があります。

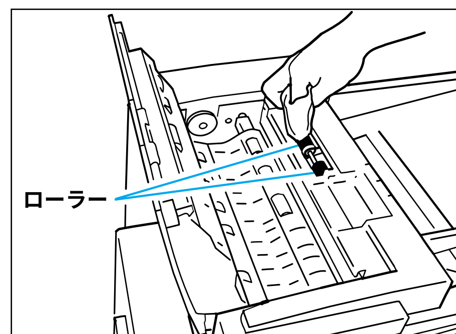
ローラー(計20か所)を、適当に回しながら少し水でぬらした柔らかい布で清掃してください。



8

日常の管理

ローラー(計2か所)を、適当に回しながら少し水でぬらした柔らかい布で清掃してください。



8-2 消耗品について

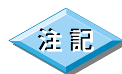
本装置には、次のような消耗品があります。

● ドラム/トナーカートリッジ

● 済スタンプ用インク
（済スタンプはオプション）

● 用紙（記録紙）
A３（２９７×４２０mm）
B４（２５７×３６４mm）
A４（２１０×２９７mm）
B５（１８２×２５７mm）
A５（１４８×２１０mm）

● ホチキス針



● 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
・高温、多湿の場所
・火気のある場所
・直射日光の当たる場所
・ホコリの多い場所
● 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
● 消耗品は予備を置くことをお勧めします。

8
日常の管理

8-3 ドラム/トナーカートリッジを交換する

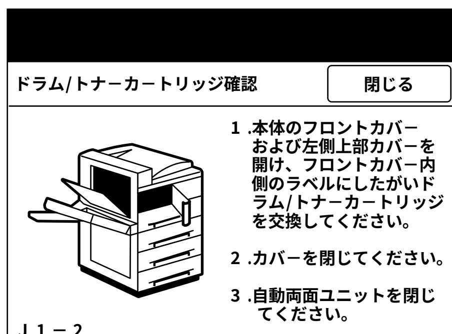
補足

● 工場出荷時の値では、ドラム/トナーカートリッジの交換時期になったら警告音が鳴るように設定されています。

参照

●「6-1 仕様設定について」を参照してください。

ドラム/トナーカートリッジの交換時期になると、タッチパネルディスプレイのメッセージエリアに「ドラム/トナーカートリッジ交換の時期です。」と表示されます。以下のようなメッセージが表示されるまでは、そのまま使うことができます。
以下のようなメッセージが表示されたら、ドラム/トナーカートリッジを交換してください。



● ドラム/トナーカートリッジの交換時には、必ず新品のドラム/トナーカートリッジに交換してください。

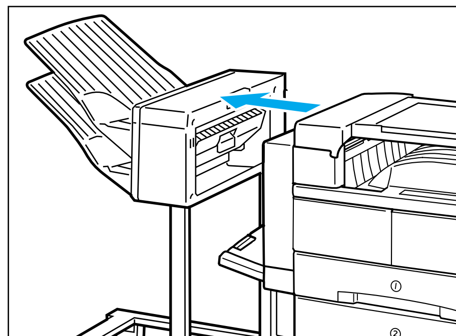
⚠ 警告 **ドラム/トナーカートリッジ を、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

処置手順

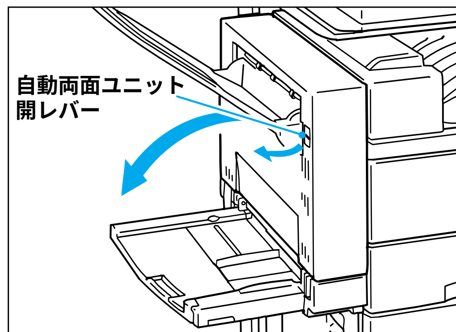
補足

● サイドトレイユニット、自動両面ユニットはオプションです。

1 **サイドトレイユニットを装着している場合は、サイドトレイユニットを左方向へ、止まるところまで動かします。**



自動両面ユニットを装着している場合は、自動両面ユニット開レバーを引きながら、ゆっくりと自動両面ユニットを開けます。

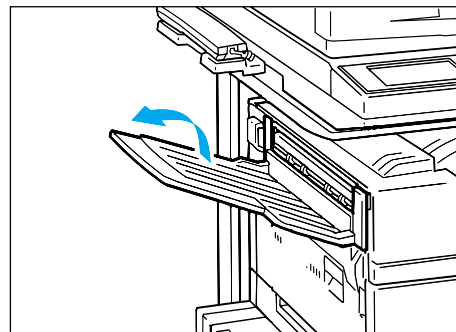


8 日常の管理

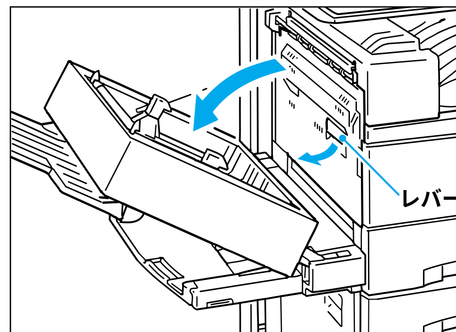
補足

● 簡易サイドトレイはオプションです。

簡易サイドトレイを装着している場合は、トレイを持ち上げるようにして、2つのフックを機械本体のくぼみから取り外します。

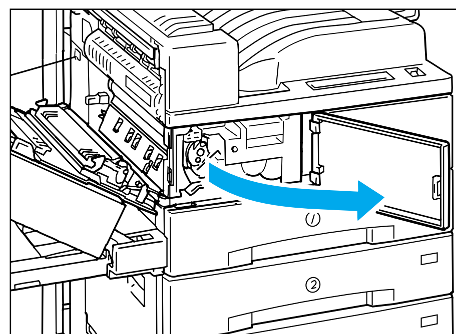


2 レバーを引きながら、左側上部カバーを開けます。



3 フロントカバーを開けます。

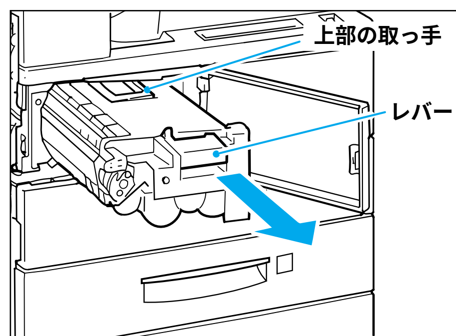
⚠ 注意　**「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。**



4 ドラム/トナーカートリッジのレバーを引いて、カートリッジをゆっくりと引き出しながら、カートリッジの上部の取っ手を起こして持ちます。

補足

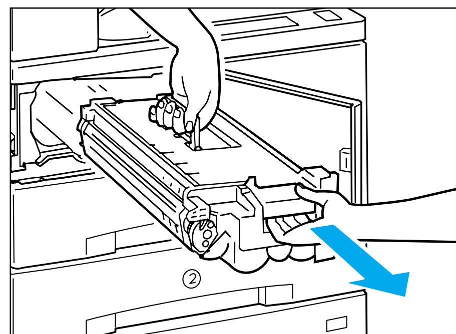
● トナーなどで床をよごさないように、取り出したドラム/トナーカートリッジを置く場所にはあらかじめ用紙等を敷いておくことをお勧めします。



5 カートリッジの上部の取っ手とレバーを持って、カートリッジを取り出します。

注記

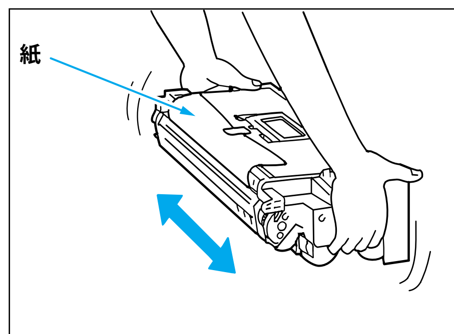
● 必ず上部の取っ手を持ってカートリッジを引き出してください。上部の取っ手を持たずにカートリッジを引き出すと、カートリッジが抜け落ちて床をよごすことがあります。



補足

● フロントカバーは、押さえていないと自動的に閉じるようになっています。

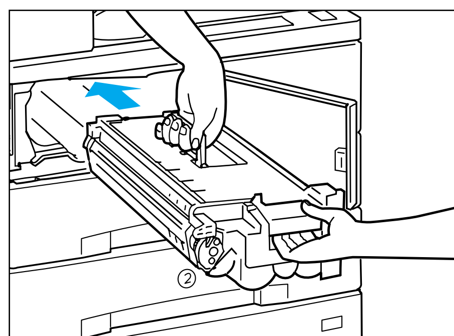
6 新しいドラム/トナーカートリッジを袋から取り出し、トナーを均一にするために、水平に持って図のように5〜6回振ります。



7 テープでとまっている紙を外します。

8 カートリッジをゆっくりと奥までセットします。

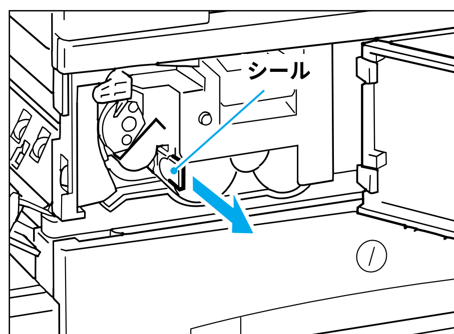
「カチッ」と音がするまで確実にセットしてください。



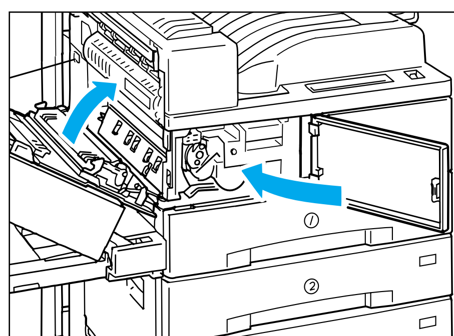
補足

- フロントカバーは、押さえていないと閉じるようになっています。

9 シールを抜き取ります。



10 フロントカバーを閉じます。

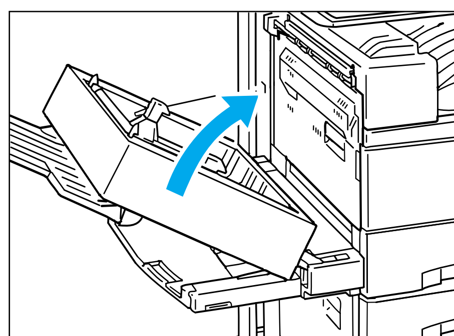


11 左側上部カバーおもて面の「ここを押して閉じてください。」の表示部を押して、左側上部カバーを閉じます。

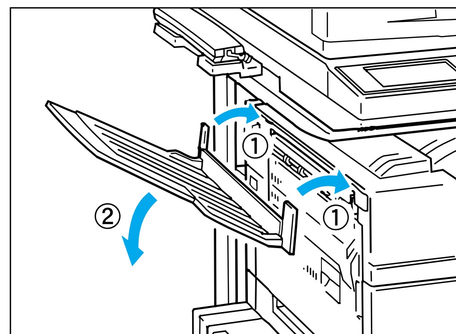
補足

- ドラム/トナーカートリッジが正しくセットされていないと、左側上部カバーを閉じることができません。左側上部カバーが閉じないときは、ドラム/トナーカートリッジをセットしなおしてください。
- ドラム/トナーカートリッジの交換後、1、2枚めまでの出力の際に音がすることがありますが、動作および画質には影響ありません。

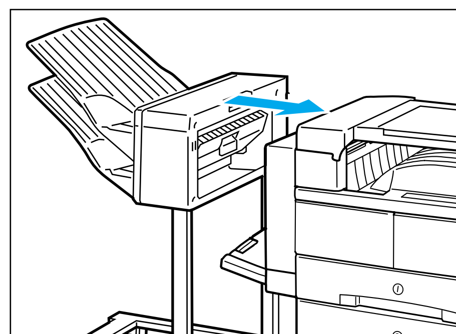
12 自動両面ユニットを装着している場合は、自動両面ユニットを閉じます。



簡易サイドトレイを取り外した場合は、簡易サイドトレイについている2つのフックを機械本体のくぼみに引っかけ、取り付けます。



サイドトレイユニットを装着している場合は、サイドトレイユニットを右方向へ押して、本体に取り付けます。



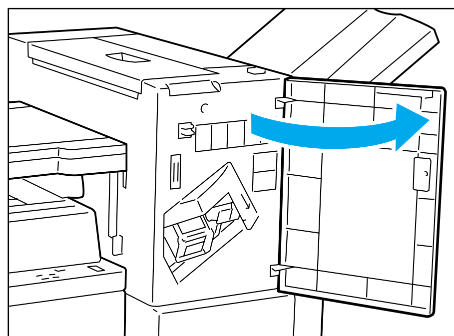
8
日常の管理

8-4 ホチキス針を補給する

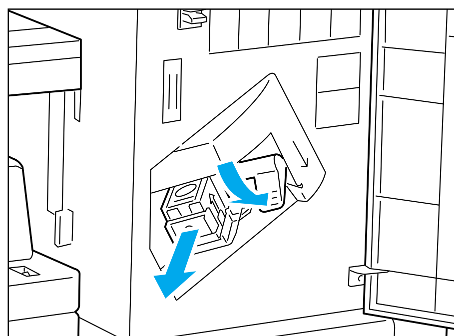
ホチキスカートリッジのホチキス針補給時期になると、タッチパネルディスプレイに「ホチキスの針が足りません。フィニッシャーのフロントカバーを開け、中のラベルまたは取扱説明書に従い針を補給してください。」と表示されます。
このメッセージが表示されていると、ホチキス針が残り40本以下になっています。手順に従って、ホチキスカートリッジへホチキス針を補給してください。

処置手順

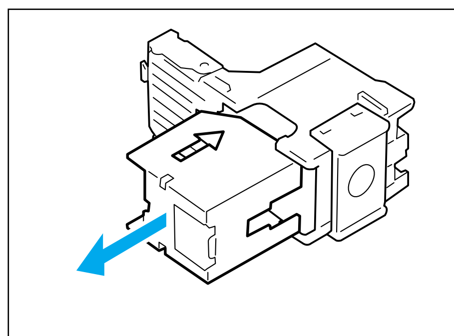
1 **ステープルフィニッシャーのフロントカバーを開けます。**



2 **オレンジ色のレバーを図のように押し、ホチキスカートリッジを取り出します。**

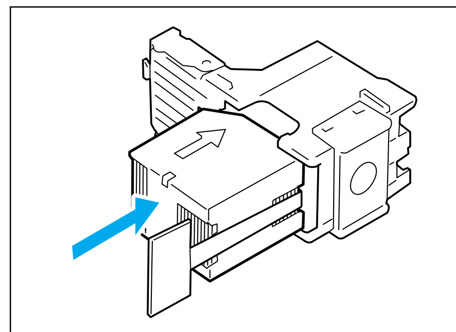


3 **右図のように、空になったホチキス針ケースを取り出します。**

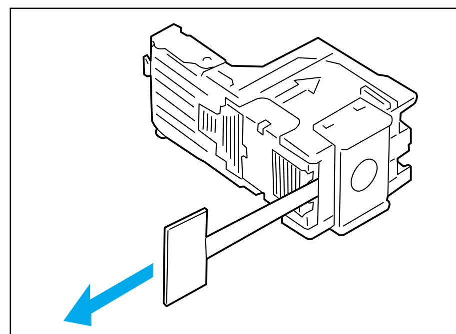


8
日常の管理

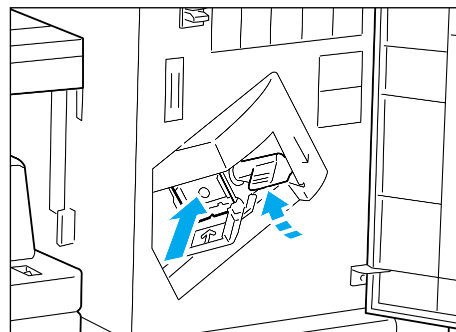
2 新しいホチキス針ケースをホチキスカートリッジに挿入します。



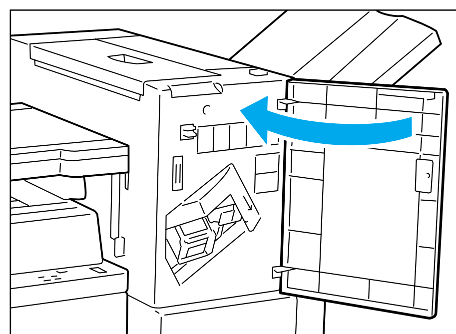
3 ホチキス針ケースに付いているシールを図のように引き抜いて、取り除きます。



4 ホチキスカートリッジをオレンジ色のレバーが元の位置に戻るまで押し込みます。

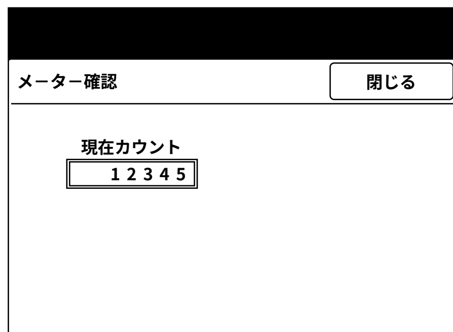


5 ステープルフィニッシャーのフロントカバーを閉じます。



8-5 メーターを確認する

メニュー画面の メーター確認 を選択すると、以下のようなメーター確認画面が表示されます。



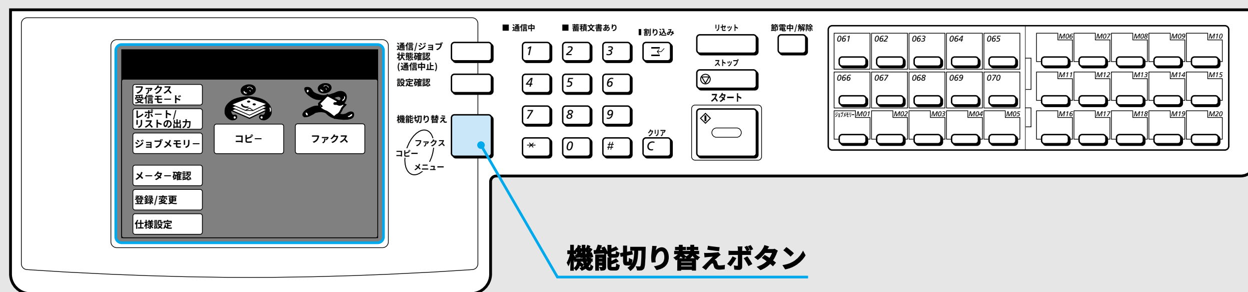
現在カウントには、本機を使ってコピーされた通算のコピー枚数がカウントされます。

また、受信枚数や各種リストやレポートをプリントした枚数もカウントされます。また、PCプリンタユニットを装着している場合は、プリント出力や、レポート出力した枚数もカウントされます。

以下のものはメーターにカウントされません。

●機械が挿入した白紙
たとえば、両面プリントで原稿が奇数枚のときに、自動的に作成される白紙のページ
●OHPコピー機能を使ってコピーしたときの合紙(白紙を合紙にしたときのみ)
●機械に異常が発生したために、コピーやプリントを中止した用紙や紙づまりとなった用紙

ここで使うボタン

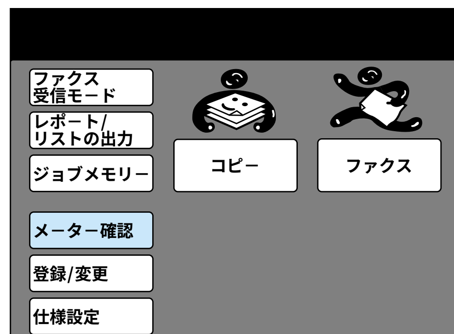


操作手順

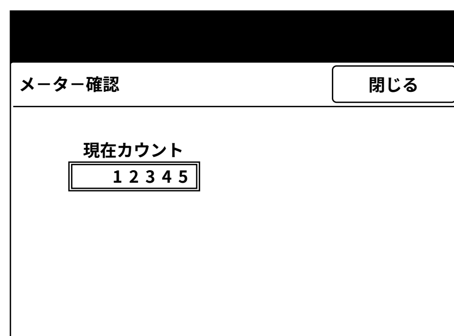
補足

- メニュー画面が表示されていないときは、操作パネルの 機能切り替え を1、2回押すと表示されます。

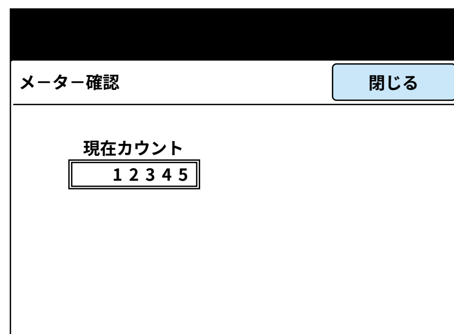
1 **メニュー画面の メーター確認 を選択します。**



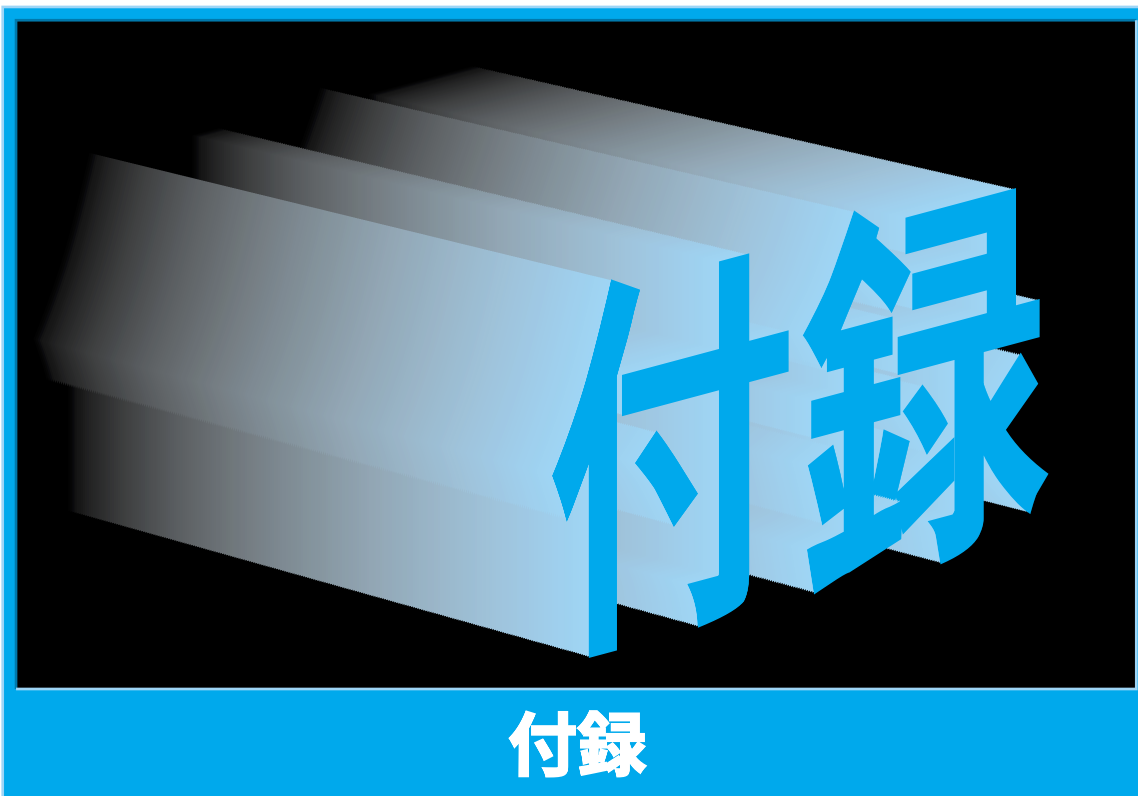
メーター確認画面が表示されますので、数値を確認します。



2 **閉じる を選択し、メニュー画面に戻ります。**



8 日常の管理


付録
付録

A 主な仕様

参照

● ファクス機能の仕様についてはファクス編を参照してください。

以下にOFISTAR H7000の主な仕様を記載します。製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

形式	送受信兼用コンソール型
記録方式	電子写真記録方式
走査方式	イメージセンサによる平面走査
解像度（コピー時）	読み取り: 600dpi×600dpi 記録: 600dpi×600dpi
ウォームアップタイム	48秒(20°C)
電源	AC100±10V・15A (50/60Hz)
消費電力	ローパワーモード時： 94W スリープモード時： 21W 最大： 1420W
外形寸法	652（横幅）×669（奥行）×1118（高さ）mm（突起部含む）
機械占有寸法	652（横幅）×669（奥行）mm
直流抵抗	154Ω

付録

付録

質量	約109kg(記録紙を除く)
使用環境	温度:　10～35°C 湿度:　15～85%(ただし結露しないこと) 温度が35°Cのときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8°C以下でご使用ください。
複写原稿	原稿ガラス:　297×420mm(最大)(最小の制限はなし) 自動両面原稿送り装置:　297×420mm(最大) 100×148mm(最小)
記録紙	●トレイ1～4共通 B5、B5、A4、A4、B4、A3、 8.5×11"(レター)、8.5×11"(レター)、8.5×13"、8.5×14"、11×17"、ハ開 ※8.5×14"とB4は、どちらか一方のみの使用となります。工場出荷時はB4に設定されています。設定を変える場合は、当社のサービス取扱所までお問い合わせください。 ●トレイ1のみ 上記サイズとA5 ●多重手差しトレイ 最大　A3(幅297×長さ420mm)または幅11×長さ17インチ 最小　はがき 像欠け幅(等倍/縮小時):　先端4mm以内,後端4mm以内,両端4mm以内 像欠け幅(拡大時):　先端6mm以内,後端4mm以内,両端4mm以内 ※多重手差しトレイ使用時は、先端に最大5mmの像欠けが発生します。
ファーストコピータイム	3.9秒(A4,トレイ1使用)
連続記録速度(トレイ1使用時)	OFISTAR H7000(記録速度25枚/分) A4:25枚/分　A4:20枚/分 A3:14枚/分　B4:15枚/分 OFISTAR H7000(記録速度35枚/分) A4:35枚/分　A4:28枚/分 A3:18枚/分　B4:21枚/分 OFISTAR H7000(記録速度40枚/分) A4:40枚/分　A4:30枚/分 A3:18枚/分　B4:21枚/分

付録

付録

複写倍率	等倍 : 100±0.8%(原稿ガラス面使用時) 固定倍率 : 57%、61%、70%、81%、86%、115%、122%、141%、163%、173% (このうち6つを設定できます。) 任意倍率 : 25〜400%(原稿ガラス面使用時、1%きざみ)
給紙方式	4段カセット給紙(トレイ4はオプション)
給紙容量	トレイ1〜トレイ4 : 500枚(64g/m²) 多重手差しトレイ : 50枚(64g/m²)
連続複写	1〜99枚
濃度調整	自動/5段階
多重手差しキット（オプション）	用紙サイズ: 最大 幅297×長さ420mm 幅11×長さ17インチ 最小 はがき 収容枚数: 50枚(64g/m²)あるいは最大高さ5mm以下 メートル坪量: 55〜190g/m² 質量: 3.5kg 機械占有寸法: 本体占有寸法+100mm（横幅）
ステープルフィニッシャー（オプション）	用紙サイズ： A5、B5、A4、B4、A3、8.5×11”、11”×17”、八開 スタッカートレイ段数： 3段 コピー収容枚数： スタッカートレイ1（上段）：660枚（64g/m²） スタッカートレイ2（中段）：670枚（64g/m²） スタッカートレイ3（下段）：670枚（64g/m²） ただし、A4または8.5×11”を超える大きさの場合、各335枚 消費電力： 92W未満 質量： 58kg以下 大きさ： 633（横幅）×658（奥行）×1026（高さ）mm
その他のオプション	増設記録紙カセット、自動両面ユニット、サイドトレイキットA、サイドトレイキットB、オフセット出力キット

補足

● ここに記載されているオプション品は、コピー機能に関するものの一部です。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

B 機能の組み合わせ一覧表

設定しようとする機能＼設定されている機能		用紙トレイ選択 自動	用紙トレイ選択 トレイ1～4	用紙トレイ選択 手差し	縮小/拡大 自動%	縮小/拡大 倍率選択	濃度調整 自動	濃度調整 任意	とじしろ	たてよこ独立変倍 用紙サイズに合わせる	たてよこ独立変倍 倍率指定	たてよこ独立変倍 寸法指定	原稿の画質 文字／写真	原稿の画質 文字	原稿の画質 写真	わく消し	センター移動	ページ連写	両面コピー 両面→片面	両面コピー 両面→両面	両面コピー 片面→両面	小冊子作成	まとめて1枚	OHPコピー	白紙/色紙挿入+配布用コピー	スタッカートレイ排出	ホチキス	サイドトレイ排出	ソート	オフセット排出	ミックスサイズ原稿送り	原稿セット 原稿ガラス	原稿セット 自動両面原稿送り装置
用紙トレイ選択	自動		△	△	×					×																●	●						
	トレイ1～4	△		△																						●	●						
	手差し	△	△		×					×							×			×	×	×	×	●[2]	●	×	×						
縮小/拡大	自動%	×		×		△				△	△	△																					
	倍率選択				△					△	△	△																					
濃度調整	自動							△					×		×																		
	任意						△																										
とじしろ																						×											
たてよこ独立変倍	用紙サイズに合わせる	×		×	△	△					△	△											×										
	倍率指定				△	△				△		△																					
	寸法指定	●[1]		●	△	△				△	△												●										
原稿の画質	文字/写真						×							△	△																		
	文字												△		△																		
	写真						×						△	△																			
わく消し																																	
センター移動				×																													
ページ連写																			×		×		×								×		×
両面コピー	両面→片面																	×		△	△	×										×	
	両面→両面			×														×	△		△	×		×								×	
	片面→両面			×															△	△		×		×									
小冊子作成									×									×	×	×	×		×	×	×		×				×	×	
まとめて1枚				×						×		●						×				×									×	×	
OHPコピー				●[2]																×	×	×				×	×						
白紙/色紙挿入+配布用コピー				●																		×											
スタッカートレイ排出		●	●	×																				×				×		×			
ホチキス		●	●	×																		×		×				×		×			
サイドトレイ排出																										×	×			×			
ソート																																	
オフセット排出																										×	×	×					
ミックスサイズ原稿送り																		×				×	×									×	
原稿セット	原稿ガラス																		×	×		×	×								×		△
	自動両面原稿送り装置																	×														△	

無印：同時設定可

△　：後で選択したほうが設定され、前の選択はクリアされる

×　：同時設定不可

●　：条件つきで設定可

●[1]　：「用紙サイズに合わせる」を選択した場合は、用紙トレイ自動選択を解除する。

●[2]　：白紙やコピーを挿入する場合は、OHPフィルムを手差しトレイにセットします。

付録

C 保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月決められた料金をお支払いいただくことで、定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換※など、性能維持に必要な保守サービスを行いますので、本装置を安心してご利用いただけます。 ●定額保守サービスには、サービス内容により以下のような種別があります。 •Aコース：毎月の定額料金のみで、定期点検を含む保守サービスを提供いたします。 •Cコース：定期点検を除く保守サービスを提供いたします。
実費保守サービス	●定期交換部品の交換、故障時の修理等に要した費用をそのつどいただきます。 •お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 •故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

※本装置を安心してお使いいただくために、是非とも定額保守Aコースのご契約を結ばれるようにお願いいたします。

●故障した場合のお問い合わせは

局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べ

局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

付録

用語集

OHPコピー	OHPフィルムにコピーしたり、コピーしたOHPフィルムの間に、白紙やコピーを差し込んで排出させる機能。
ROS	Raster Output Scanner の略で、画像信号をドラム(感光体)に書き込む装置。一般には、レーザービームスキャナー等の名称で呼ばれることもあります。
合紙	コピーを排出するときに差し込む白紙、色紙、コピーのこと。
オートクリア	一定の時間機械に触れないとき、タッチパネルディスプレイの表示を自動的に初期画面に戻す機能。
オプション	標準仕様に対し、お客様の希望に応じて有料で付加する機能。ただし機種によっては、標準装備のものもあります。本機には、サイドトレイキットなどがオプションとして用意されています。
オフセット排出	コピーを排出するときに、その区切りがわかるように排出位置を2か所に交互にずらす機能。
画面	タッチパネルディスプレイに表示される画面のこと。メッセージや操作項目が表示されます。
原稿イメージ	機械が読み取った原稿のイメージのこと。
サイドトレイ排出	サイドトレイに、コピーのおもて面を上にして排出させる機能。
自動画像回転	原稿と同じ向きの用紙がセットされていないとき、原稿イメージを90°回転させてコピーする機能。
自動トレイ切り替え	コピー中に用紙がなくなったとき、同一サイズ、同一方向の用紙がセットされている他の用紙トレイから自動的に用紙を送るようにする機能。
自動倍率選択	セットした原稿と選択した用紙に合わせて、適した倍率を機械が自動的に選択する機能。
自動用紙選択	セットした原稿と選択した倍率に合わせて、適した用紙を機械が自動的に選択する機能。
準備完了音	電源を入れたときなど、機械が待機状態から使用可能になったときに発する音。
状態表示コード	機械の状態を表すコード。 本機では、機械にトラブルが発生したときにタッチパネルディスプレイに表示されます。
初期画面	電源を入れた直後や、オートクリア機能がはたらいたときに表示される、タッチパネルディスプレイの画面のこと。
初期値	仕様設定 で、設定した値。
ジョブ	本来は「仕事」の意味ですが、本書では、コピーが終了するまでの一連の操作および動作のことをいいます。

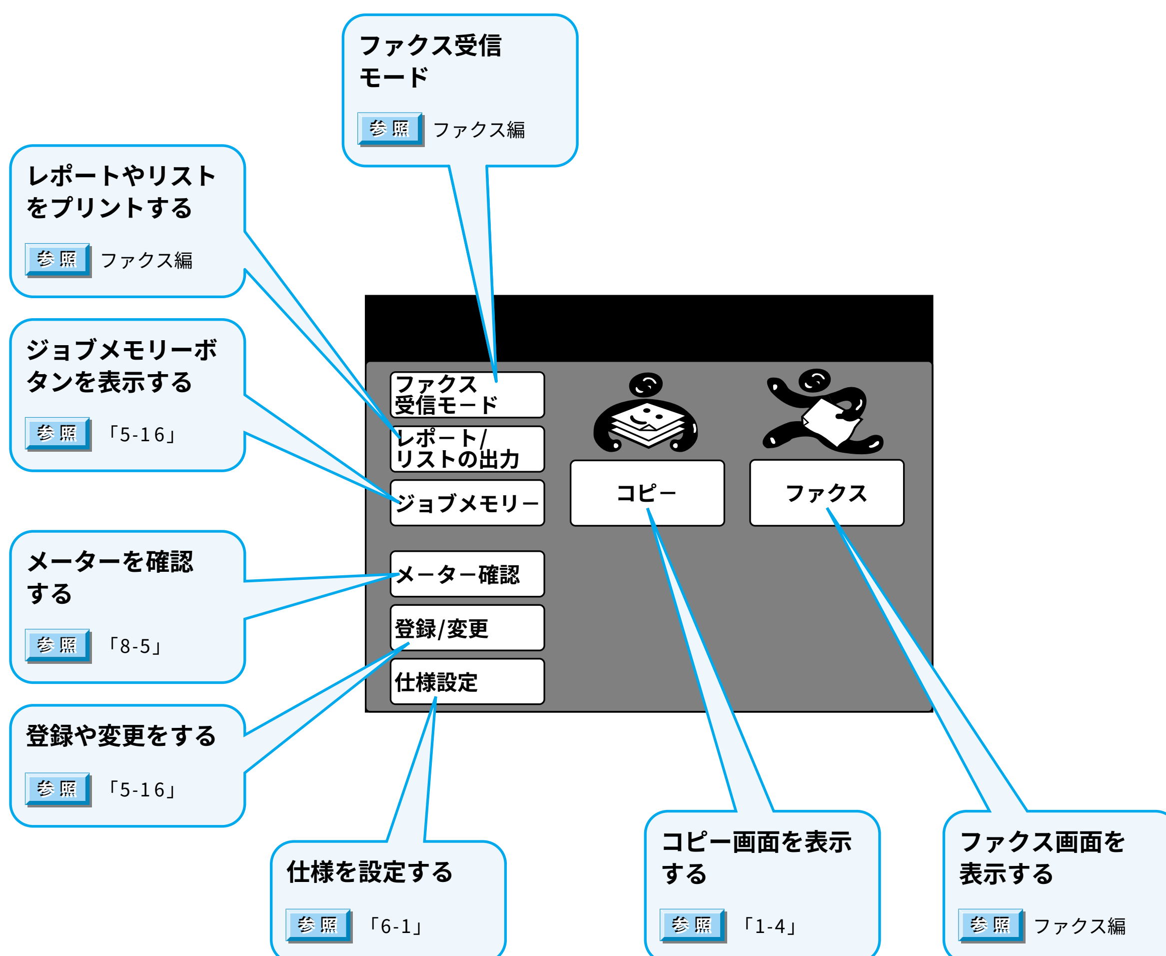
ジョブメモリー	一連の操作を登録しておくと、同じ操作でコピーするときに ジョブメモリー ボタンを1つ押すだけで、その操作が実行できる機能。
スタート予約	電源を入れた直後などに、原稿をセットして機能を設定し、 スタート ボタンを押しておくこと。機械が使用可能な状態になりしだい、コピーが自動的に開始されます。
センター移動	原稿の中央を用紙の中央に自動的に移動させてコピーする機能。
選択する	本書では、タッチパネルディスプレイ内の機能ボタンを指で触れて、項目を反転表示させることをいいます。
たてよこ独立変倍	原稿イメージを縦長や横長に変形してコピーする機能。
ソート	コピーを1部ごとにページ順に並べて排出する機能。
トナー残量警告音	ドラム/トナーカートリッジの交換が必要になったときに、機械が発する音。
節電機能	一定の時間使用しないときに機械を待機状態にさせる機能。 本機では、次の節電機能を設定することができます。 ROSセーブ　一定の時間(秒)機械を使用しないとき、モーターが自動的に待機状態になる機能。 自動節電モード ・ローパワーモード:　一定の時間(秒)機械を使用しないとき、定着部ヒーターおよびモーターが自動的に待機状態になる機能。このときタッチパネルディスプレイは消灯し、 節電中/解除 のみ点灯している状態となります。 ・スリープモード:　機械のほとんどが待機状態となり、消費電力は最も少ない状態となります。
中とじしろ	小冊子作成の場合に、真ん中のとじ部分にとじしろをつける機能。
ページ連写	見開き原稿の左右のページを片面ずつ別々の用紙にコピーする機能。
まとめて1枚	2枚または4枚の原稿を、左右上下に並べて1枚の用紙にコピーする機能。
わく消し	上下や左右、中央の原稿イメージを消してコピーする機能。

画面一覧

メニュー画面

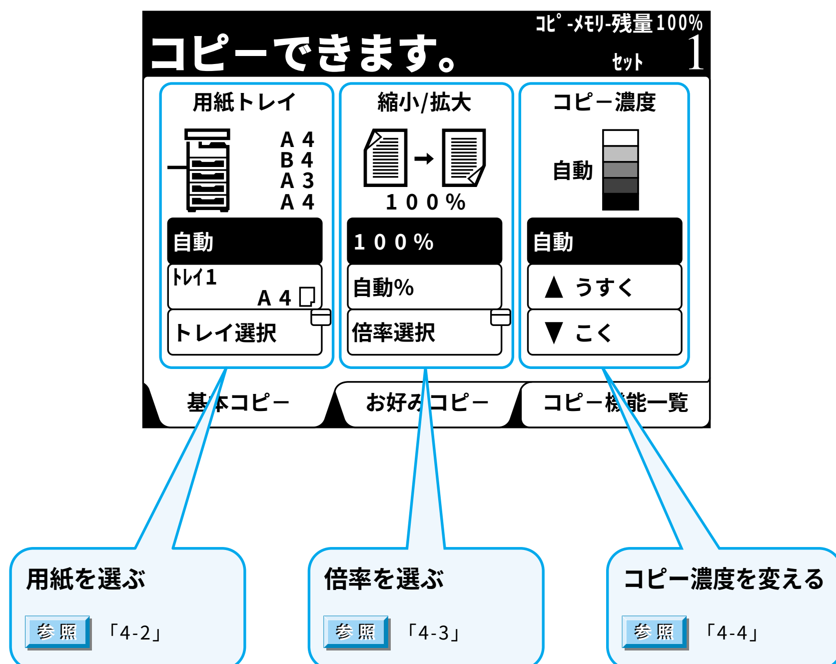
メニュー画面の表示です。
レポート/リストの出力、ジョブメモリー、登録/変更、仕様設定や、コピー/ファクスの各画面に入る前の画面です。
この画面から、それぞれの操作を選択し、各画面表示させてください。

補足　オプションの有無と設定によって、表示される画面が異なる場合があります。



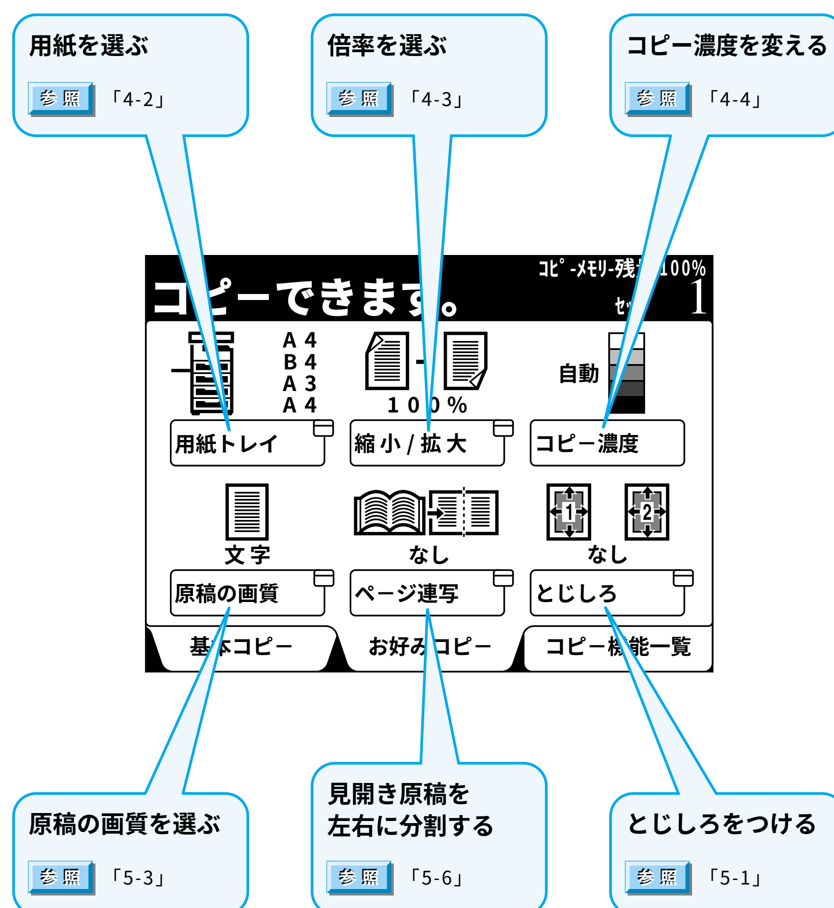
基本コピー画面

基本コピー画面の表示です。
基本的な機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてご覧ください。



お好みコピー画面

お好みコピー画面の表示です。
お好みコピー画面は、ユーザーが頻繁に使う機能を選んで、自由に設定できる画面です。
以下に表示されている画面は、工場出荷時の画面です。
お好みコピー画面の変更方法については、「6-1　仕様設定について」を参照してください。
機能の概略と参照先を参考にしてご覧ください。



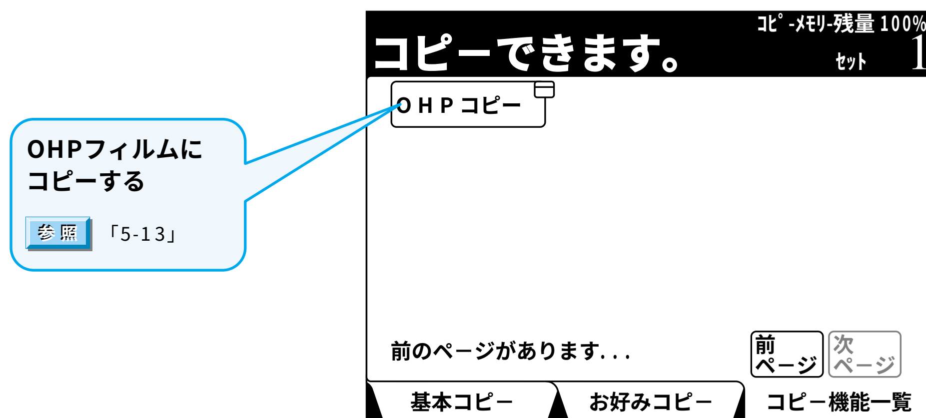
コピー機能一覧画面

コピー機能一覧画面の表示です。
すべてのコピー機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてご覧ください。

コピーできます。 コピ゚-メモリ-残量 100% セット 1

用紙トレイ ／ 縮小/拡大 ／ コピー濃度
とじしろ ／ たてよこ独立変倍 ／ 原稿の画質
わく消し ／ センター移動 ／ ページ連写
まとめて1枚(Nアップ) ／ 両面コピー ／ ソート
ミックスサイズ原稿送り ／ 小冊子作成 ／ 排出先指定/ホチキス
次のページがあります... 前ページ 次ページ
基本コピー ／ お好みコピー ／ コピー機能一覧

- 用紙を選ぶ 参照「4-2」
- 倍率を選ぶ 参照「4-3」
- 縦長/横長に変形する 参照「5-2」
- コピー濃度を変える 参照「4-4」
- 原稿の画質を選ぶ 参照「5-3」
- とじしろをつける 参照「5-1」
- 原稿の影を消す 参照「5-4」
- 見開き原稿を左右に分割する 参照「5-6」
- 2枚または4枚の原稿を1枚の用紙にコピーする 参照「5-7」
- ページ順に並べて排出させる 参照「5-10」
- 異なるサイズの原稿を一度に読み取る 参照「5-11」
- 排出先／ホチキスを指定する** 参照「5-15」
- 両面コピーをする 参照「5-8」
- 中とじ冊子となるようにコピーする* 参照「5-12」
- 原稿イメージを中央に移動する 参照「5-5」



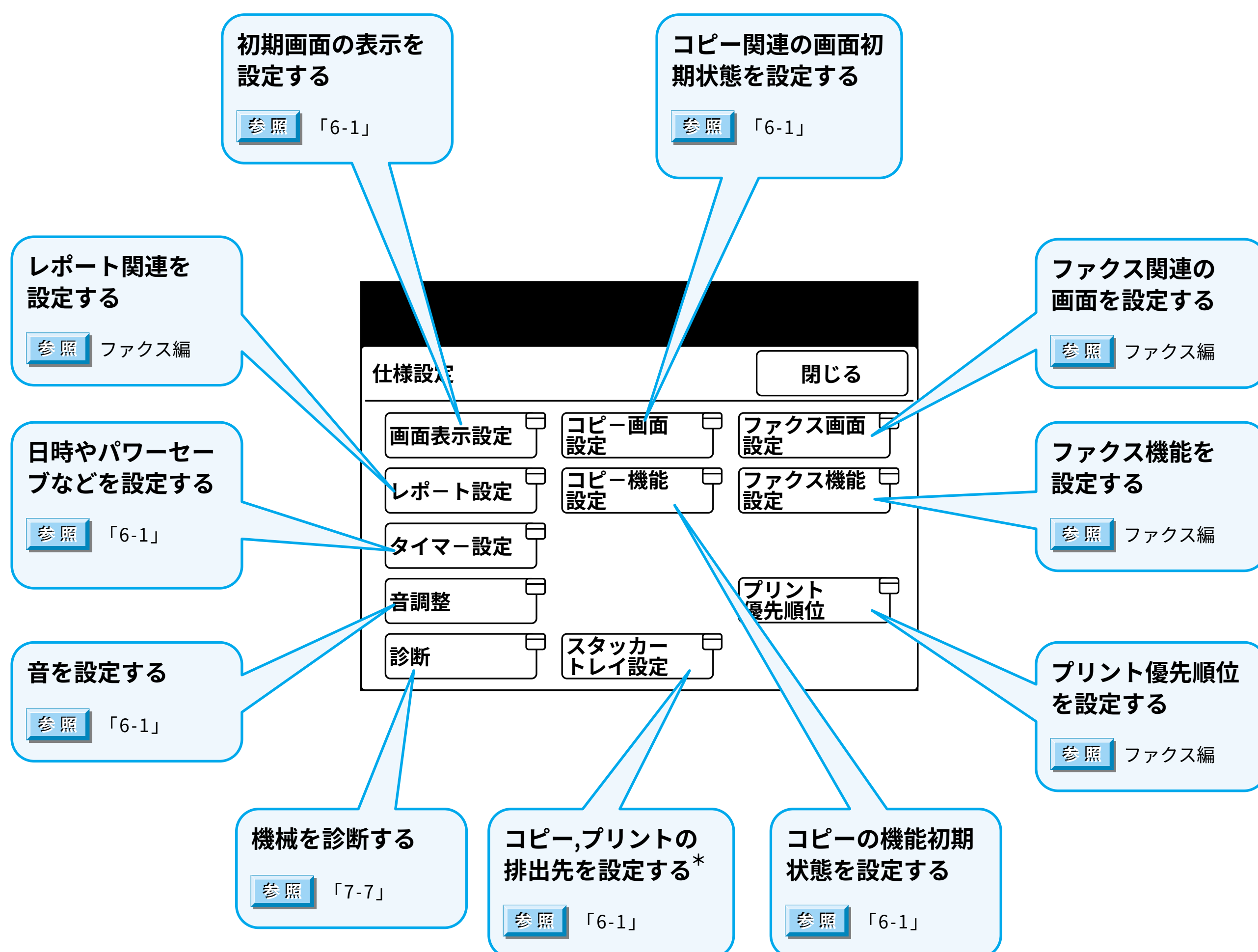
＊自動両面ユニット装着時に表示されます。

＊＊サイドトレイキットA,サイドトレイキットB,ステープルフィッシャーのいずれかが装着されている場合に表示されます。
また,装着されているオプションによって表示が異なります。

仕様設定画面

仕様設定画面の表示です。
仕様設定するための機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてご覧ください。

補足 オプションの有無と設定によって、表示される画面が異なる場合があります。



*ステープルフィッシャー装着時に表示されます。

索　引

さ

た

は

ま

や

ら

わ

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



本2145-2(2000.10)
G3-<2><L740>-FAXトリセツ<H7000>
帳票No. DE-1049
892E35481